

関市人権市民意識調査
調査報告書

令和7年3月

関市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
7	回答者の属性.....	2
II	調査の結果	4
1	人権全般について.....	4
2	女性の人権について.....	22
3	こどもの人権について.....	33
4	高齢者の人権について.....	44
5	障がいのある人の人権について.....	51
6	部落差別（同和問題）について.....	55
7	外国人の人権について.....	79
8	感染症患者等の人権について（H I V、ハンセン病等）.....	83
9	アイヌの人々の人権について.....	89
10	刑を終えて出所した人の人権について.....	91
11	犯罪被害者とその家族の人権について.....	93
12	インターネット等による人権について.....	97
13	性的マイノリティの人権について.....	105
14	人権意識などについて.....	116
15	今後の人権教育啓発について.....	118

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、本市における市民の人権意識等を把握し、今後の関市人権教育・啓発に関する基本計画の基礎資料とすることを目的として、実施しました。

2 調査対象

市内在住の18歳以上の市民から無作為抽出した3,000人

3 調査期間

令和6年11月12日から令和6年12月3日

4 調査方法

郵送による配布、郵送・WEB回収

5 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
3,000通	1,214通	40.5%

6 調査結果の表示方法

- (1) 回答は各質問の回答者数「n」を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- (4) 本報告書中の表、グラフ、本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合があります。
- (5) 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、「無回答」を除き、最も高い割合のものに網かけをしています。なお、回答者数(n)が10未満の場合は順位づけを省略し、分析コメントの対象外としています。
- (6) 過去の調査結果との比較について、本報告書中のグラフに前回調査(平成28年度)、前々回調査(平成22年度)の調査結果を表示し、可能な限り比較するものとしましたが、選択肢の項目や内容の変更などにより、単純に比較できないものは、表示を省略している場合があります。

(7) 一部の調査結果については、以下の調査結果をもとにグラフを作成し、参考として掲載しています。

● 県調査：「人権に関する県民意識調査」（令和3年10～11月調査実施）

実施機関：岐阜県

調査対象：県内在住の18歳以上の者 2,000人

調査期間：令和3年10月～11月

調査方法：郵送法・オンライン調査法の併用

回収結果：有効回収数1,099人（有効回収率55.0%）

● 国調査：「人権擁護に関する世論調査」（令和4年8月調査）

実施機関：内閣府

調査対象：全国の日本国籍を有する18歳以上の者 3,000人

調査期間：令和4年8月4日～9月11日

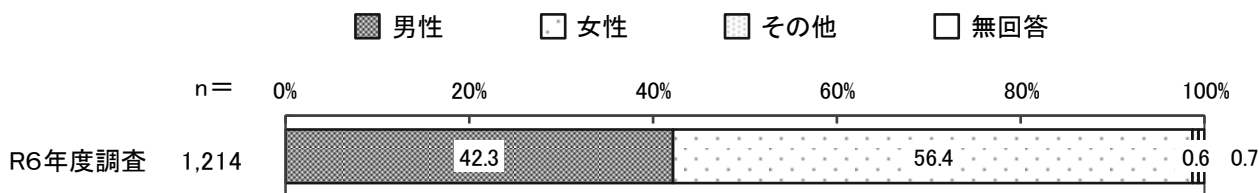
調査方法：郵送法（配布：郵送、回収：郵送又はインターネット回答）

回収結果：有効回収数1,556人（有効回収率51.9%）

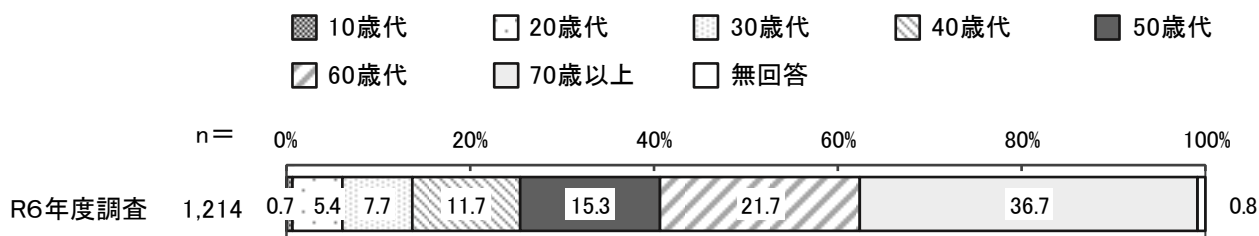
出典 URL：https://survey.gov-online.go.jp/r04/r04-jinken/3_chosahyo.html

7 回答者の属性

(1) 性別

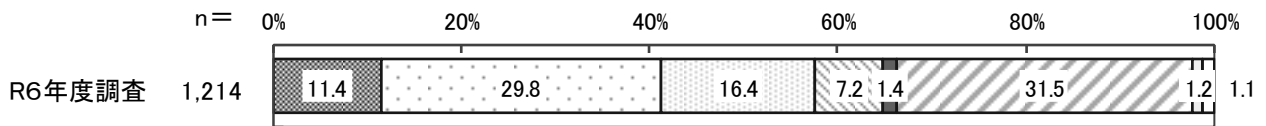


(2) 年代



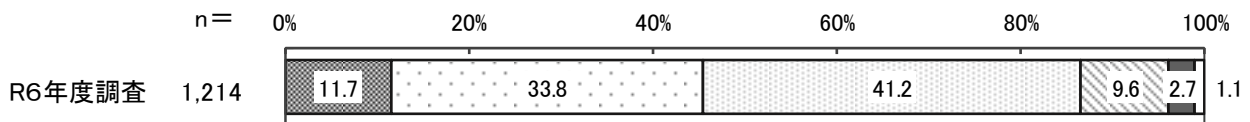
(3) 職業

- 自営業・経営者（農林水産業・商工・サービス業・自由業等個人事業主と家族従業員、会社経営者など）
- 勤め人（役員、会社員、公務員など）
- パート、アルバイト（内職含む）
- ▨ 家事、育児（専業）
- 学生
- ▨ 無職
- その他
- 無回答



(4) 家族構成

- ▨ ひとり暮らし
- 一世代世帯（夫婦のみなど）
- ▨ 二世帯世帯（親とそのこども）
- ▨ 三世帯世帯（祖父・祖母と親とそのこども）
- その他
- 無回答



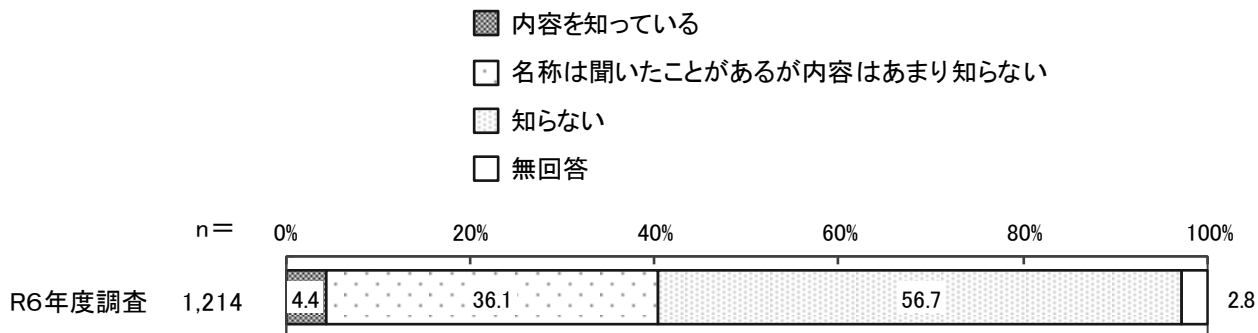
Ⅱ 調査の結果

1 人権全般について

問1 あなたは、関市が「人権宣言都市」であることを知っていますか。(1つだけ)

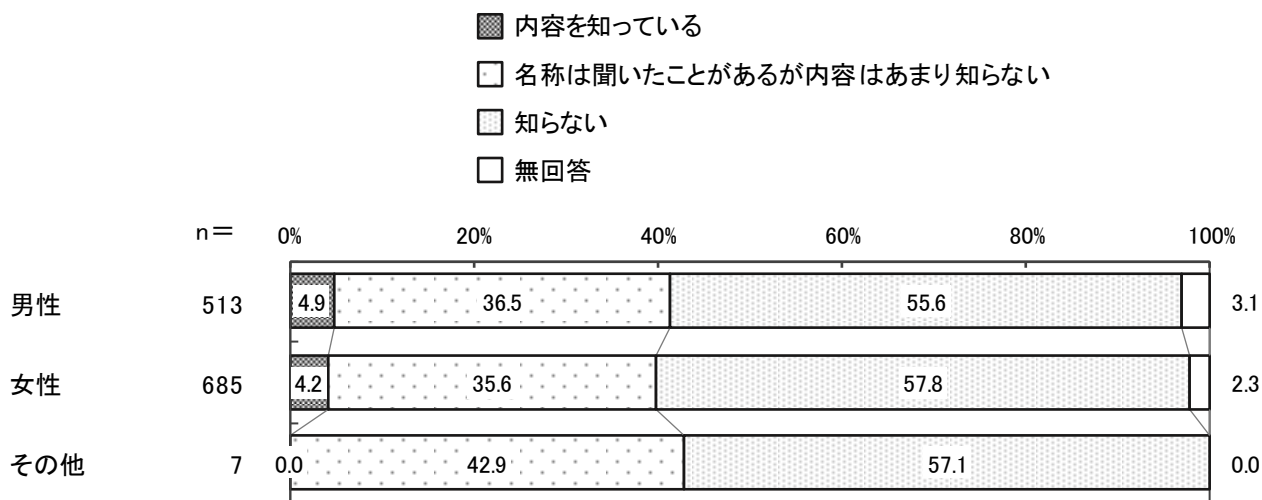
【全体】

「知らない」が56.7%と最も高く、次いで「名称は聞いたことがあるが内容はあまり知らない」が36.1%、「内容を知っている」が4.4%となっています。



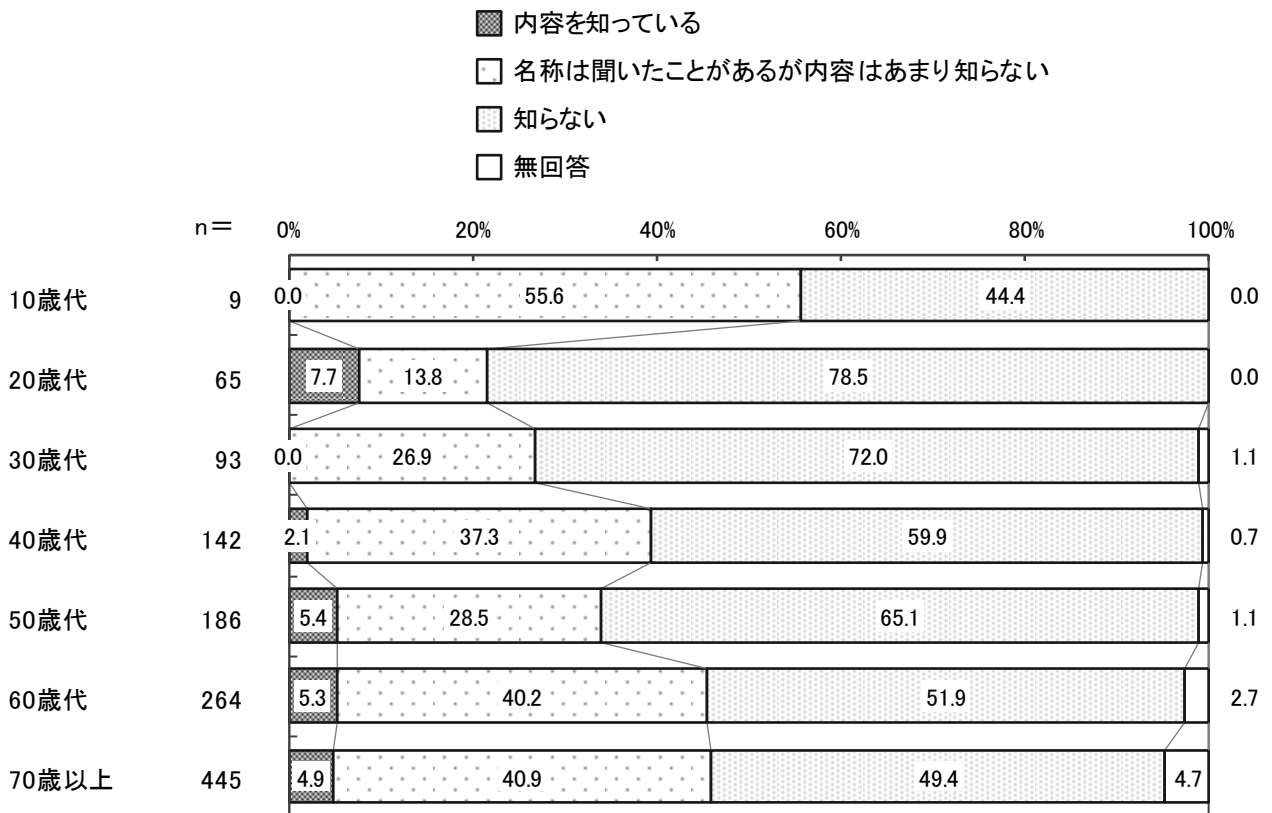
【性別】

性別にみると、男女ともに「知らない」が最も高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、いずれの年代においても「知らない」が最も高くなっており、若い年代ほど高くなる傾向がみられ、20歳代では約8割となっています。

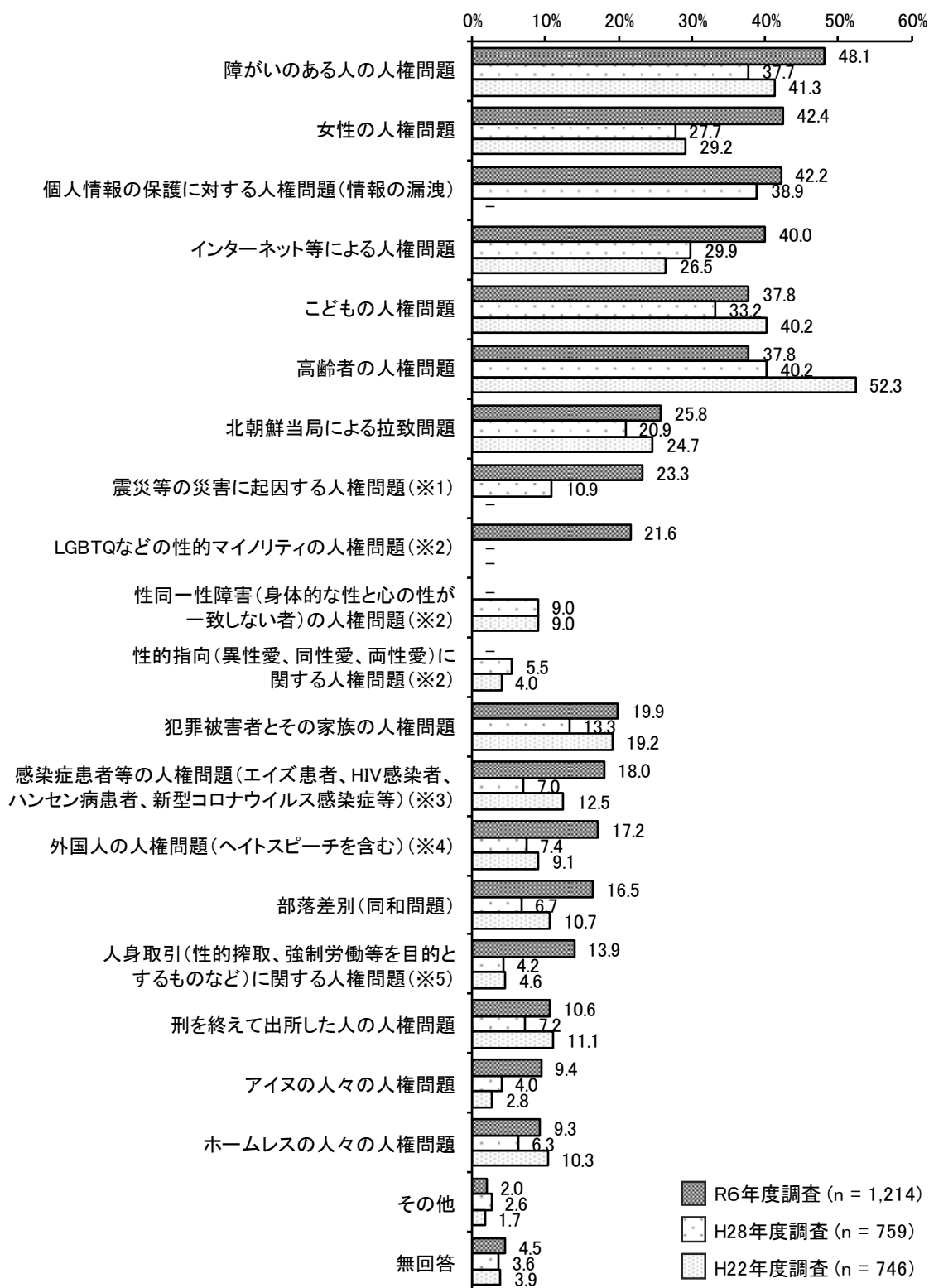


問2 日本の社会にはいろいろな人権問題がありますが、次のうち、あなたが関心を持っている問題は何ですか。(いくつでも)

【全体/前回・前々回比較】

「障がいのある人の人権問題」が48.1%と最も高く、次いで「女性の人権問題」が42.4%、「個人情報保護に対する人権問題（情報の漏洩）」が42.2%、「インターネット等による人権問題」が40.0%、「子どもの人権問題」「高齢者の人権問題」が37.8%となっています。

前回調査（H28年度）と比較すると、「障がいのある人の人権問題」が前回（37.7%）より10.4ポイント、「女性の人権問題」が前回（27.7%）より14.7ポイント、「インターネット等による人権問題」が前回（29.9%）より10.1ポイント、それぞれ増加しています。



※1：H28年度調査では「東日本大震災に起因する人権問題」でした。

※2：R6年度調査では、H28年度調査の「性同一性障害(身体的な性と心の性が一致しない者)の人権問題」と「性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)に関する人権問題」の選択肢を統合し、「LGBTQなどの性的マイノリティの人権問題」としました。そのため、前回・前々回調査との正確な比較はできません。

※3、※4、※5：R6年度調査では、()内の記載を追加しました。

【性別】

性別にみると、男女ともに「障がいのある人の人権問題」が最も高くなっています。「女性の人権問題」、「高齢者の人権問題」では、女性が男性より 19.1 ポイント、11.1 ポイントそれぞれ高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	障がいのある人の人権問題	女性の人権問題	個人情報保護に対する人権問題	インターネット等による人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	北朝鮮当局による拉致問題	震災等の災害に起因する人権問題	LGBTQなどの性的マイノリティの人権問題	犯罪被害者とその家族の人権問題
男性	513	45.8	31.4	39.4	41.9	32.7	31.4	26.3	22.2	17.9	22.2
女性	685	50.7	50.5	44.4	38.7	42.3	42.5	25.8	24.7	24.2	18.1
その他	7	14.3	57.1	42.9	42.9	-	14.3	-	-	42.9	42.9

区分	有効回答数(件)	感染症患者等の人権問題	外国人の人権問題	部落差別(同和問題)	人身取引に関する人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	アイヌの人々の人権問題	ホームレスの人々の人権問題	その他	無回答
男性	513	17.5	20.5	18.5	13.8	11.5	9.6	8.0	1.9	5.8
女性	685	18.4	15.2	14.9	14.3	9.8	9.5	10.2	2.0	3.5
その他	7	28.6	-	28.6	-	28.6	-	14.3	-	-

【年代別】

年代別にみると、20歳代、40歳代では「女性の人権問題」、30歳代では「インターネット等による人権問題」、50歳代、60歳代では「障がいのある人の人権問題」、70歳以上では「高齢者の人権問題」が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	障がいのある人の人権問題	女性の人権問題	個人情報保護に対する人権問題	インターネット等による人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	北朝鮮当局による拉致問題	震災等の災害に起因する人権問題	LCBTQなどの性的マイノリティの人権問題	犯罪被害者とその家族の人権問題
10歳代	9	55.6	33.3	22.2	33.3	11.1	-	11.1	-	22.2	11.1
20歳代	65	38.5	50.8	43.1	35.4	29.2	12.3	9.2	20.0	38.5	13.8
30歳代	93	33.3	41.9	38.7	46.2	45.2	12.9	5.4	21.5	23.7	18.3
40歳代	142	49.3	52.1	37.3	44.4	47.2	20.4	15.5	21.1	32.4	15.5
50歳代	186	58.1	41.4	45.7	45.7	39.8	30.1	21.0	24.7	27.4	23.1
60歳代	264	51.1	47.0	50.0	47.7	37.9	40.5	28.0	23.1	21.2	23.9
70歳以上	445	46.7	36.0	38.7	31.2	34.6	53.9	37.1	25.4	13.0	19.3

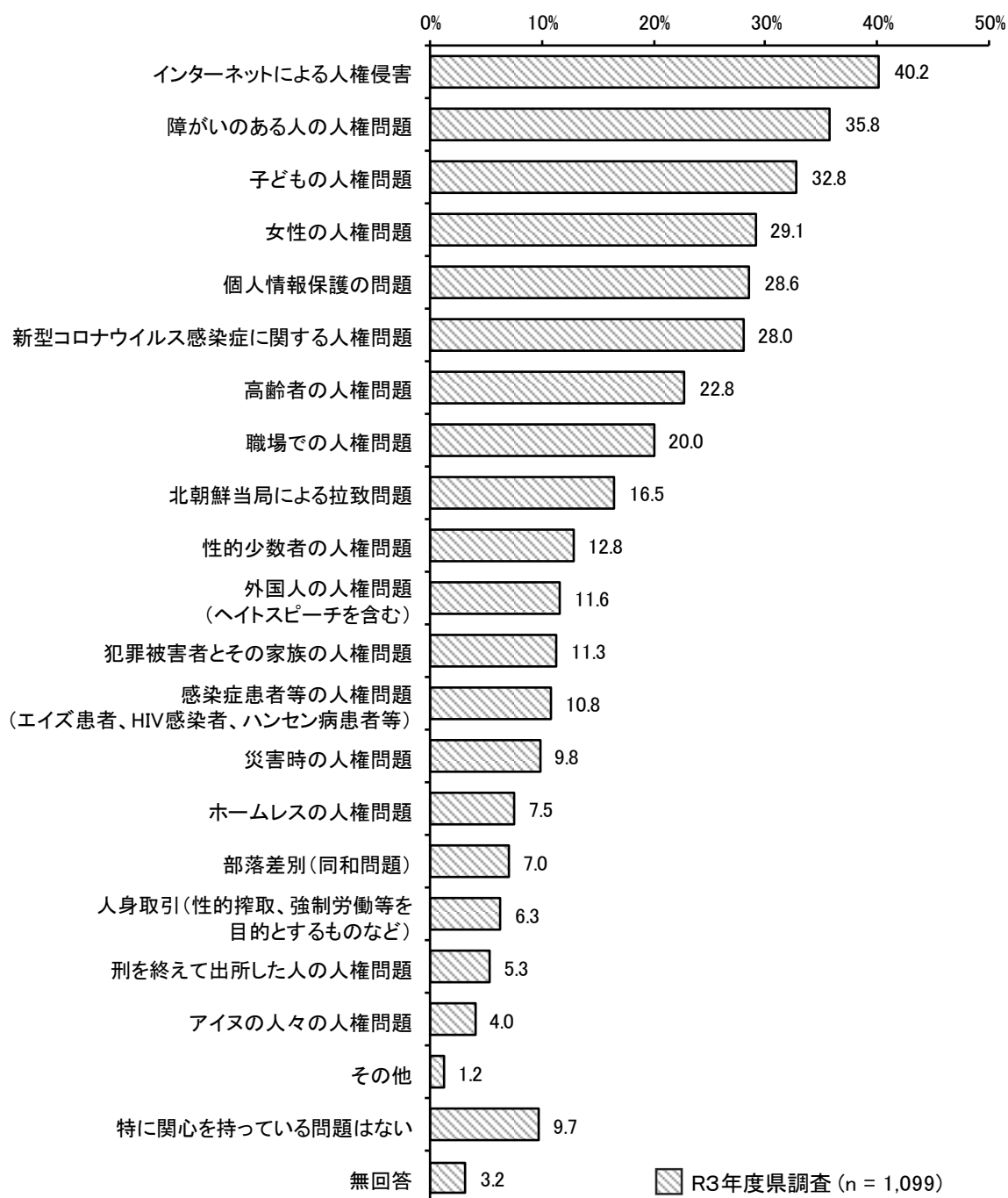
区分	有効回答数(件)	感染症患者等の人権問題	外国人の人権問題	部落差別(同和問題)	人身取引に関する人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	アイヌの人々の人権問題	ホームレスの人々の人権問題	その他	無回答
10歳代	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	65	13.8	30.8	13.8	15.4	10.8	10.8	9.2	3.1	1.5
30歳代	93	10.8	11.8	10.8	9.7	5.4	1.1	5.4	3.2	5.4
40歳代	142	12.7	14.8	14.1	8.5	9.9	5.6	9.2	1.4	1.4
50歳代	186	22.6	24.7	25.8	18.8	12.4	11.8	11.8	1.6	3.8
60歳代	264	18.6	18.9	18.9	17.4	10.6	11.0	9.1	2.3	3.8
70歳以上	445	20.2	13.7	13.9	12.8	11.5	10.6	9.4	1.8	6.5

【県・国調査との比較】

県・国調査と比較すると、県・国の上位3項目は、ともに「インターネット」(市4位)、「障がいのある人」(市1位)、「子ども」(市5位)に関する人権問題となっています。市の上位3項目は、「障がいのある人の人権問題」、「女性の人権問題」、「個人情報の保護に対する人権問題(情報の漏洩)」となっています。

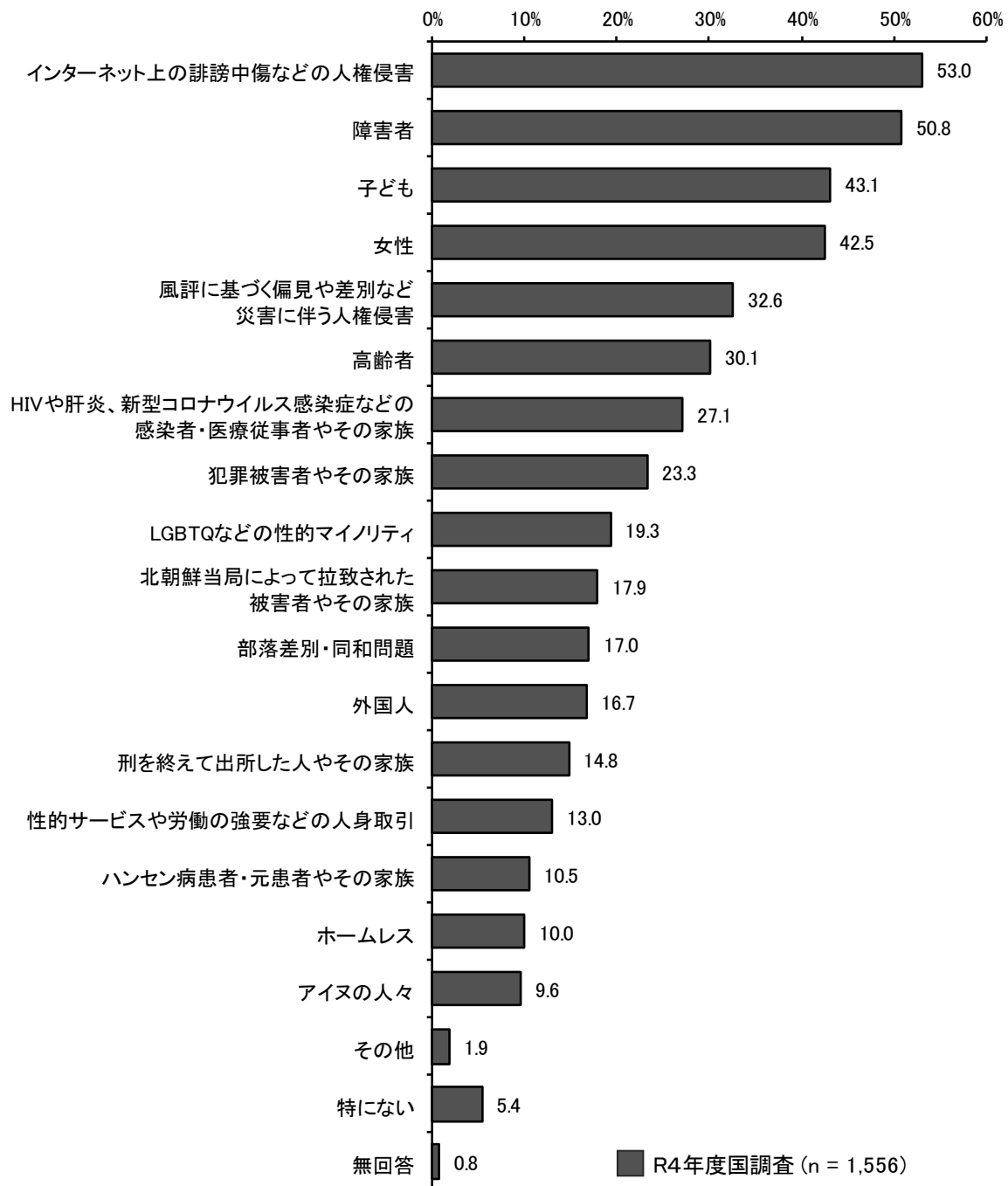
参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 以下にあげた各人権問題の中で、あなたが現在関心をもっているものはどの問題ですか。(いくつでも)



参考：国調査（内閣府「人権擁護に関する世論調査」）

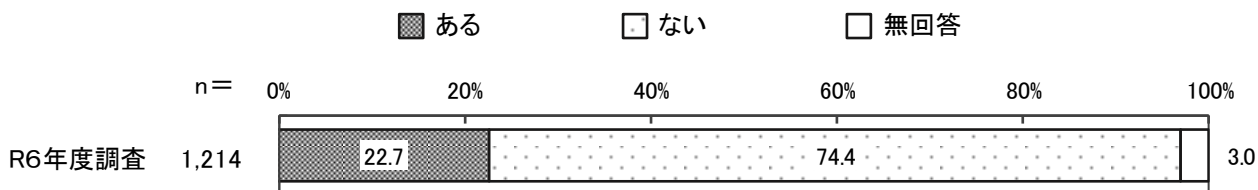
問. あなたが、日本における人権問題について、関心があるのはどのようなことですか。（いくつかでも）



問3 あなたは、これまでに自分や自分の家族の人権が侵害されたと感じたことがありますか。(1つだけ)

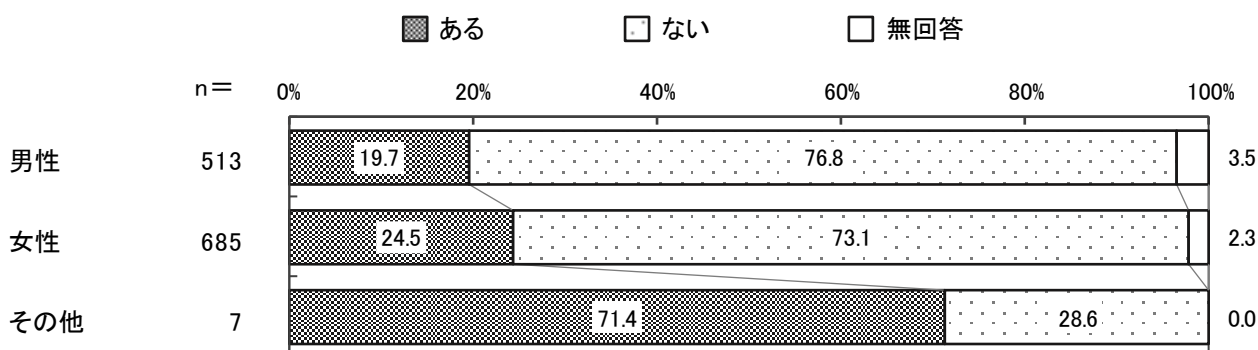
【全体】

「ある」が22.7%、「ない」が74.4%となっています。



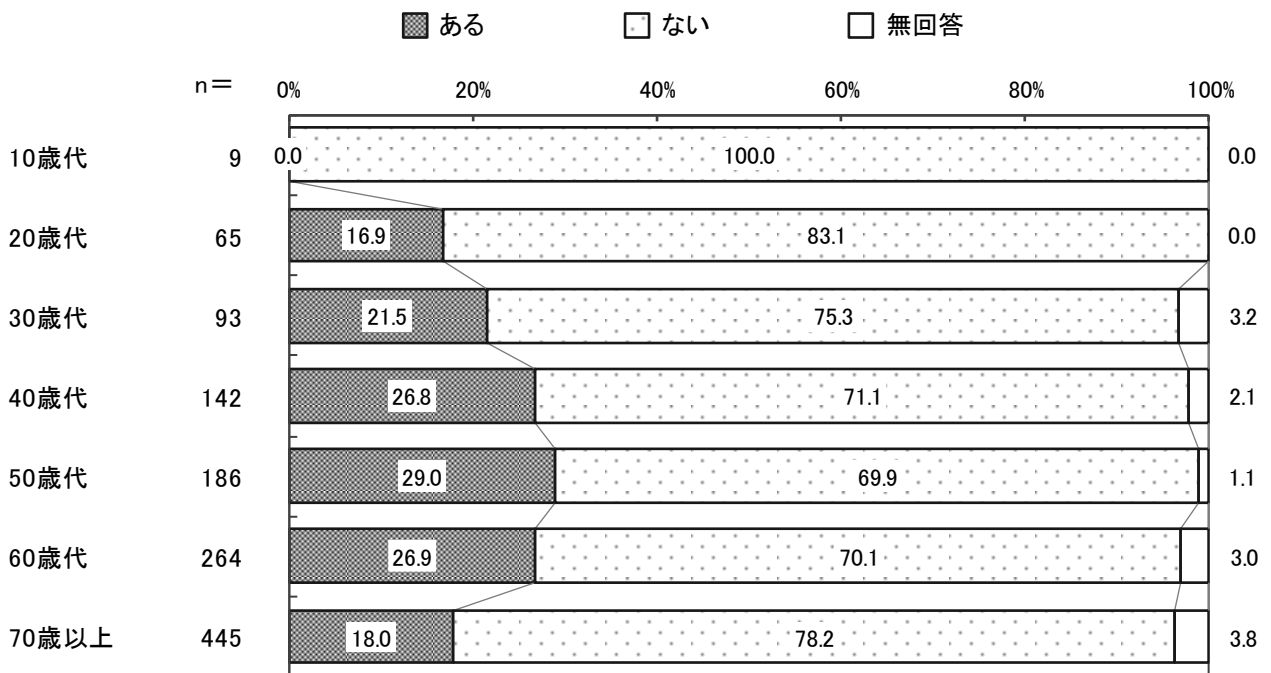
【性別】

性別にみると、男女ともに「ない」が最も高くなっています。「ある」は、男性が19.7%、女性が24.5%で、女性が男性より4.8ポイント高くなっています。



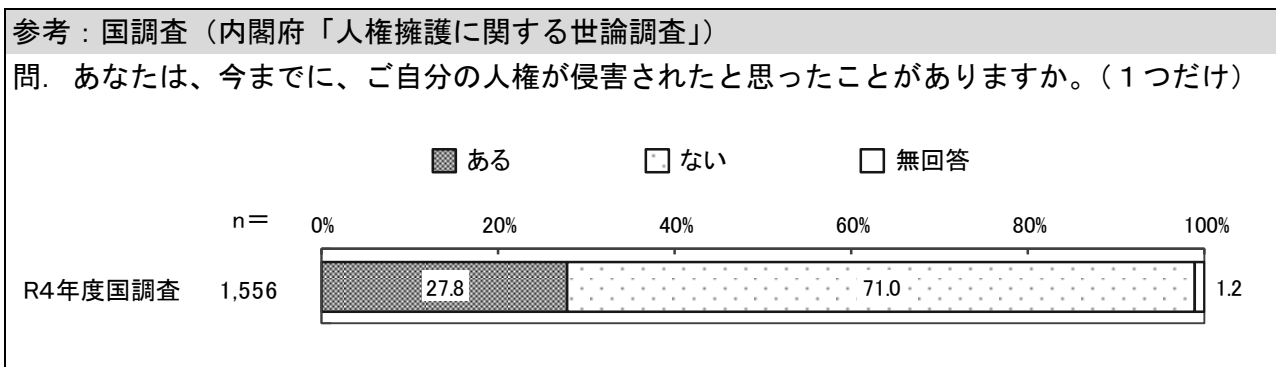
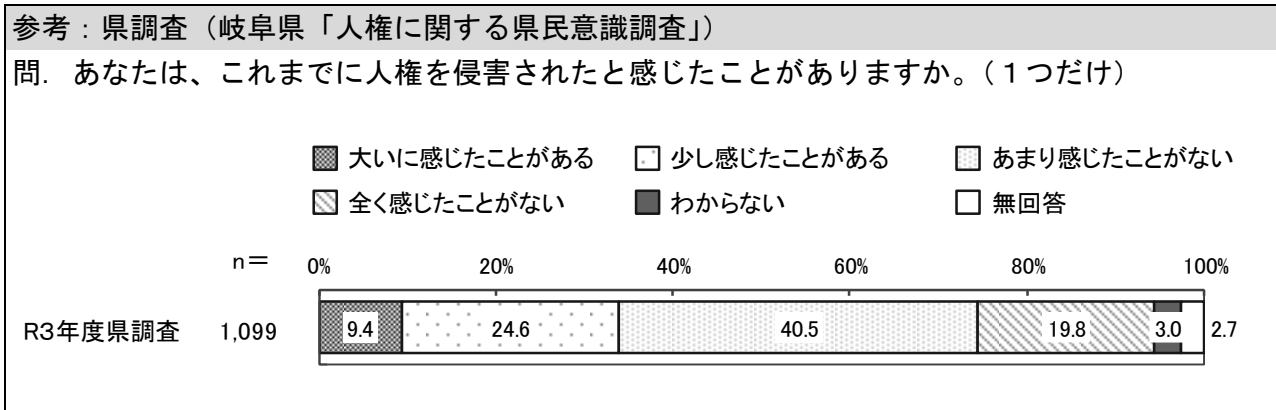
【年代別】

年代別にみると、いずれの年代においても「ない」が最も高くなっています。40～60歳代では、「ある」が、他の年代に比べて高くなっています。



【県・国調査との比較】

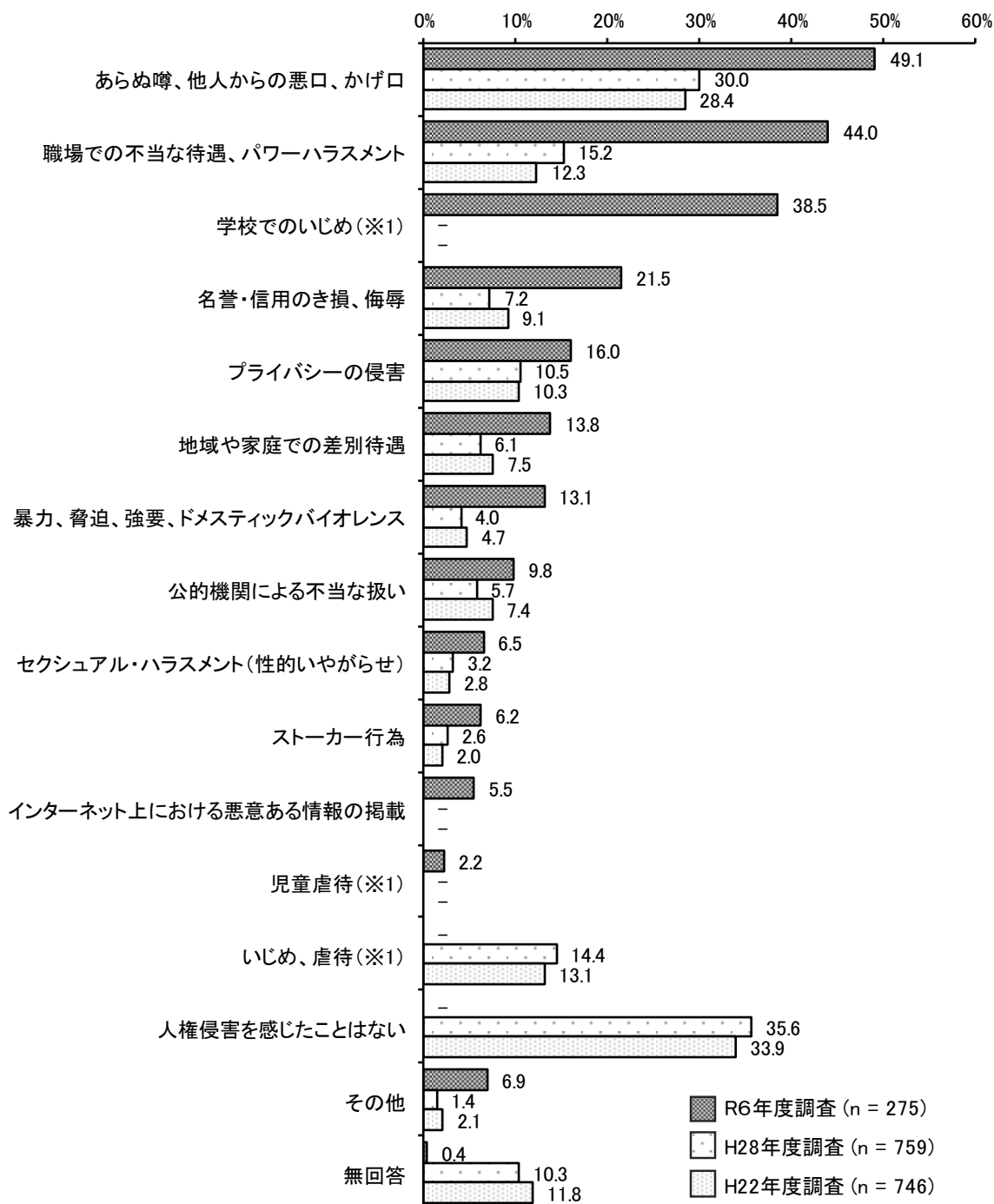
県・国調査と比較すると、「ある」は、市（22.7%）が県（34.0%）、国（27.8%）より低くなっています。（県調査の「ある」は、「大いに感じたことがある」と「少し感じたことがある」を合わせた割合。）



問4 問3で「ある」と回答された方にお聞きします。それはどのような人権侵害ですか。
(いくつでも)

【全体】

「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が49.1%と最も高く、次いで「職場での不当な待遇、パワーハラスメント」が44.0%、「学校でのいじめ」が38.5%となっています。



※：本設問は、調査年度により設問の対象者が異なるため、前回・前々回比較の調査結果は参考として掲載しています。
(R6年度調査は、人権侵害について、自分や自分の家族の人権が侵害されたと感じたことが「ある」と回答された方、H28年度調査、H22年度調査は、すべての方を設問の対象者としてしました。)(※1：R6年度調査では、「いじめ、虐待」の選択肢を「学校でのいじめ」と「児童虐待」の選択肢に分けました。)

【性別】

性別にみると、男性では「職場での不当な待遇、パワーハラスメント」、女性では「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	職場での不当な待遇、パワーハラスメント	学校でのいじめ	名誉・信用のき損、侮辱	プライバシーの侵害	地域や家庭での差別待遇	暴力、脅迫、強要、ドメスティックバイオレンス	公的機関による不当な扱い	セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)	ストーカー行為	悪意ある情報の掲載	インターネット上における	児童虐待	その他	無回答
男性	101	44.6	45.5	37.6	26.7	19.8	10.9	13.9	13.9	2.0	3.0	8.9	2.0	4.0	1.0	
女性	168	52.4	42.3	38.7	17.3	13.1	13.7	11.9	6.5	8.9	7.7	3.0	1.8	7.7	-	
その他	5	40.0	60.0	40.0	40.0	40.0	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	

【年代別】

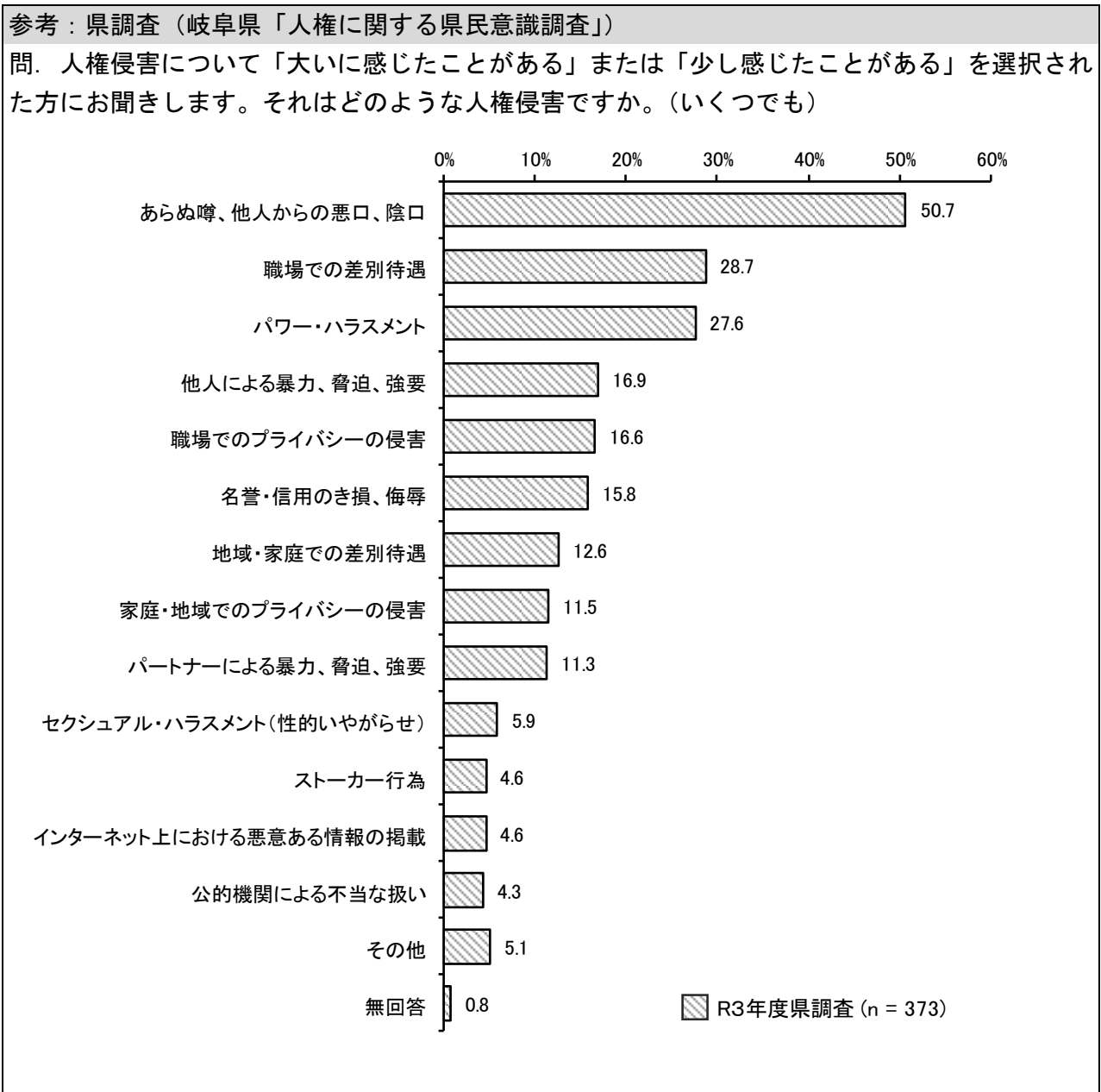
年代別にみると、30歳代、50歳代を除くいずれの年代においても「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が最も高く、30歳代、50歳代では「職場での不当な待遇、パワーハラスメント」が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	職場での不当な待遇、パワーハラスメント	学校でのいじめ	名誉・信用のき損、侮辱	プライバシーの侵害	地域や家庭での差別待遇	暴力、脅迫、強要、ドメスティックバイオレンス	公的機関による不当な扱い	セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)	ストーカー行為	悪意ある情報の掲載	インターネット上における	児童虐待	その他	無回答
10歳代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	11	63.6	36.4	45.5	36.4	18.2	-	18.2	18.2	-	-	27.3	-	18.2	-	
30歳代	20	40.0	70.0	30.0	15.0	15.0	15.0	25.0	10.0	15.0	15.0	15.0	5.0	15.0	-	
40歳代	38	57.9	42.1	34.2	15.8	7.9	7.9	10.5	2.6	10.5	2.6	2.6	-	2.6	-	
50歳代	54	50.0	53.7	42.6	29.6	22.2	13.0	24.1	13.0	13.0	9.3	1.9	-	9.3	-	
60歳代	71	52.1	49.3	36.6	18.3	18.3	19.7	11.3	9.9	4.2	5.6	5.6	2.8	2.8	1.4	
70歳以上	80	42.5	27.5	40.0	20.0	13.8	12.5	5.0	10.0	1.3	5.0	3.8	3.8	6.3	-	

【県・国調査との比較】

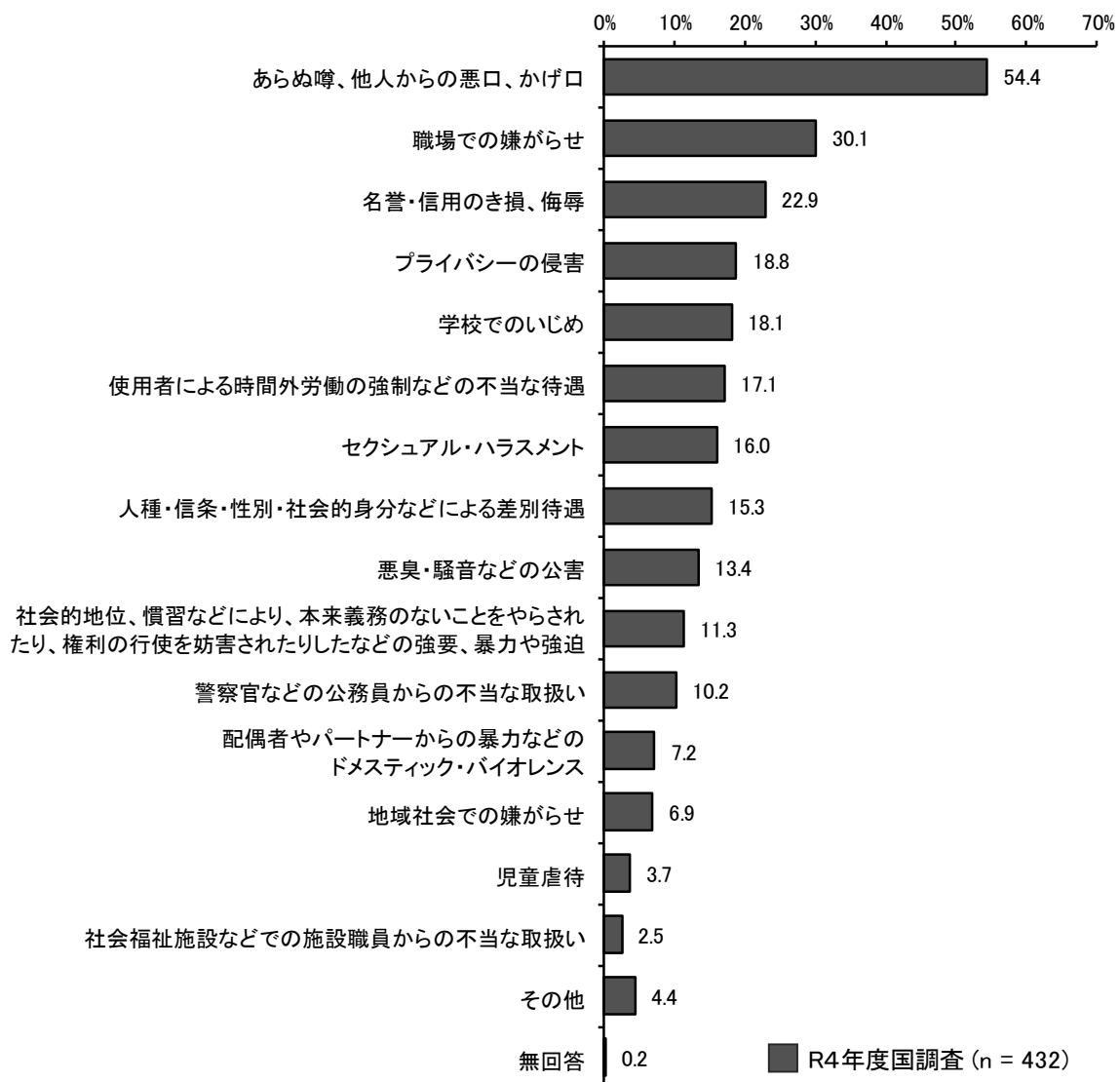
県・国調査と比較すると、市・県・国のいずれも「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が最も高く、次いで、職場における人権侵害の項目が高くなっています。



参考：国調査（内閣府「人権擁護に関する世論調査」）

問. ご自分の人権が侵害されたと思ったのは、どのような場合ですか。（いくつでも）

※人権が侵害されたと思ったことが「ある」と答えた方のみ

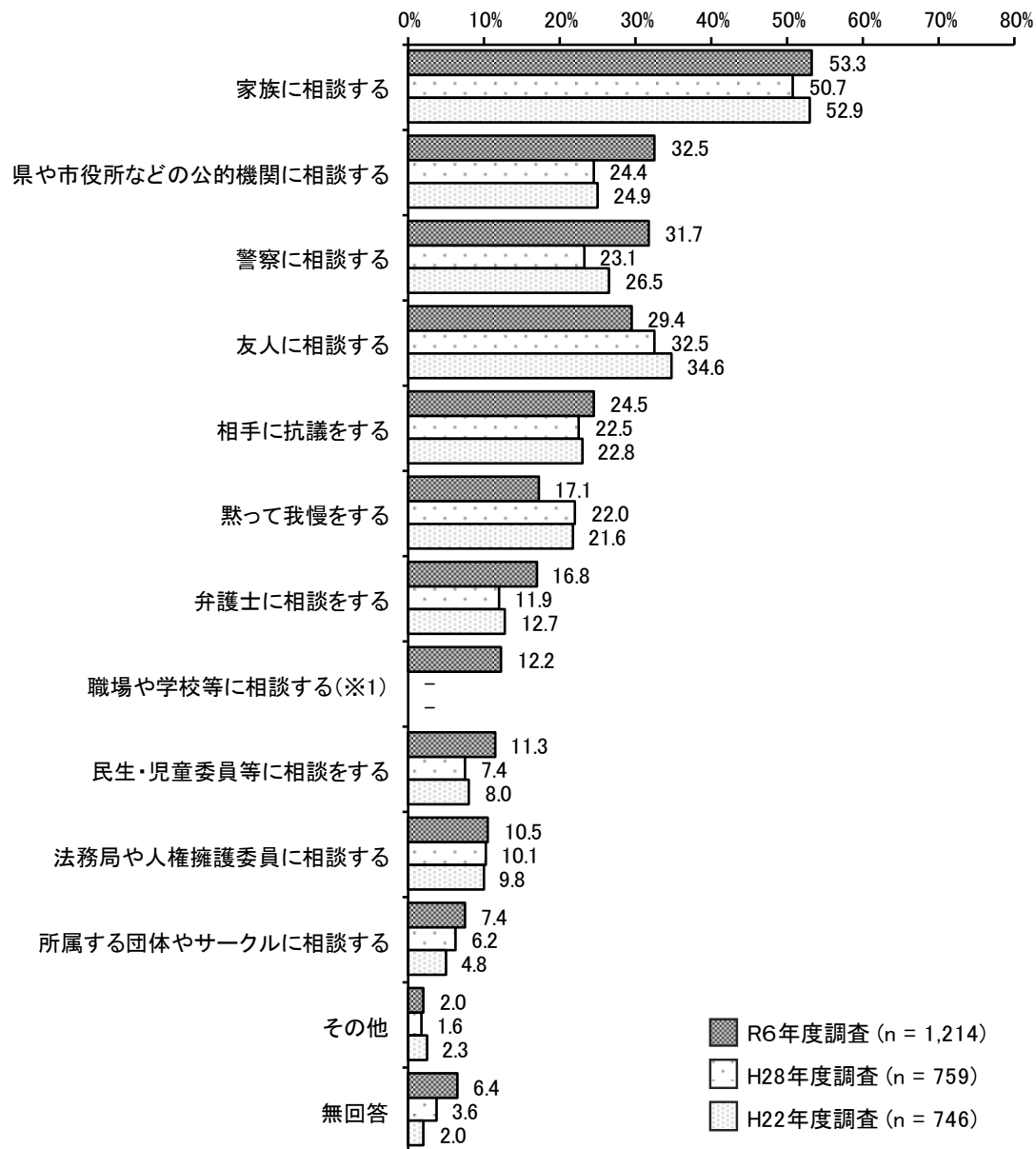


問5 もしも人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか。(いくつでも)

【全体/前回・前々回比較】

「家族に相談する」が53.3%と最も高く、次いで「県や市役所などの公的機関に相談する」が32.5%、「警察に相談する」が31.7%となっています。

前回調査(H28年度)と比較すると、「県や市役所などの公的機関に相談する」が前回(24.4%)より8.1ポイント、「警察に相談する」が前回(23.1%)より8.6ポイント、それぞれ増加しています。



※1：R6年度調査より選択肢を追加したため、前回・前々回調査との正確な比較はできません。

【性別】

性別にみると、男女ともに「家族に相談する」が最も高く、男性が39.4%、女性が64.4%で女性が男性より25.0ポイント高くなっています。「警察に相談する」、「相手に抗議をする」では、男性が女性より11.9ポイント、20.3ポイントそれぞれ高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	家族に相談する	県や市役所などの公的機関に相談する	警察に相談する	友人に相談する	相手に抗議をする	黙って我慢をする	弁護士に相談をする	職場や学校等に相談する	民生・児童委員等に相談をする	法務局や人権擁護委員に相談する	所属する団体やサークルに相談する	その他	無回答
男性	513	39.4	34.7	38.6	22.4	36.1	15.6	22.4	10.3	11.9	15.2	7.2	2.1	6.8
女性	685	64.4	31.2	26.7	34.9	15.8	18.0	12.7	13.7	10.9	6.9	7.4	1.8	6.1
その他	7	28.6	14.3	14.3	28.6	42.9	28.6	14.3	14.3	-	-	14.3	14.3	-

【年代別】

年代別にみると、いずれの年代においても「家族に相談する」が最も高く、そのうち20歳代、30歳代で6割以上となっています。「県や市役所などの公的機関に相談する」では50歳代以上で3割を超えています。

単位：%

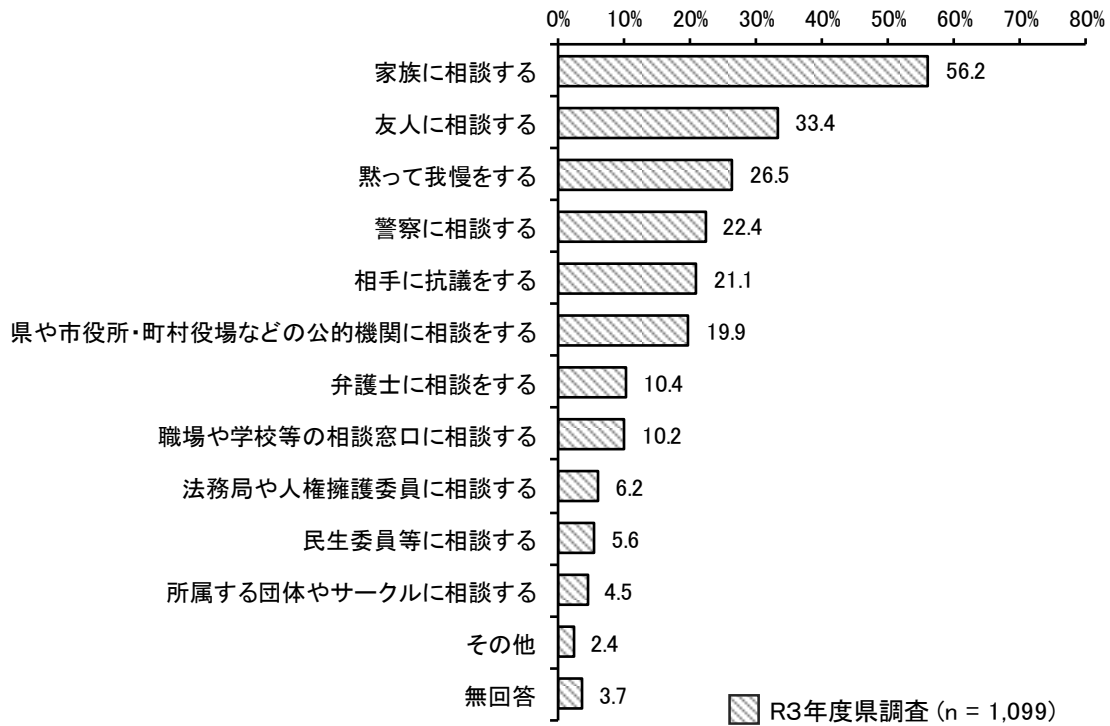
区分	有効回答数(件)	家族に相談する	県や市役所などの公的機関に相談する	警察に相談する	友人に相談する	相手に抗議をする	黙って我慢をする	弁護士に相談をする	職場や学校等に相談する	民生・児童委員等に相談をする	法務局や人権擁護委員に相談する	所属する団体やサークルに相談する	その他	無回答
10歳代	9	55.6	-	33.3	55.6	11.1	22.2	-	-	-	-	-	-	11.1
20歳代	65	60.0	20.0	30.8	29.2	32.3	24.6	15.4	20.0	3.1	10.8	7.7	1.5	-
30歳代	93	64.5	23.7	36.6	32.3	21.5	24.7	16.1	21.5	4.3	5.4	7.5	3.2	4.3
40歳代	142	59.2	23.9	23.9	31.0	22.5	19.7	19.0	21.8	2.1	5.6	4.9	2.1	4.9
50歳代	186	48.4	31.2	30.6	30.1	28.5	16.7	21.0	16.7	7.5	9.1	9.7	3.8	7.0
60歳代	264	51.1	35.2	34.8	28.8	28.4	13.3	17.4	12.1	10.2	9.8	10.2	1.1	8.7
70歳以上	445	51.9	39.1	32.1	28.3	21.1	15.5	14.8	4.7	19.6	13.9	5.6	1.6	6.3

【県・国調査との比較】

県・国調査と比較すると、市・県では「家族に相談する」、国では「身近な人に相談する」が最も高く、次いで、市では「県や市役所などの公的機関に相談する」、県では「友人に相談する」、国では「相手に抗議する」が高くなっています。

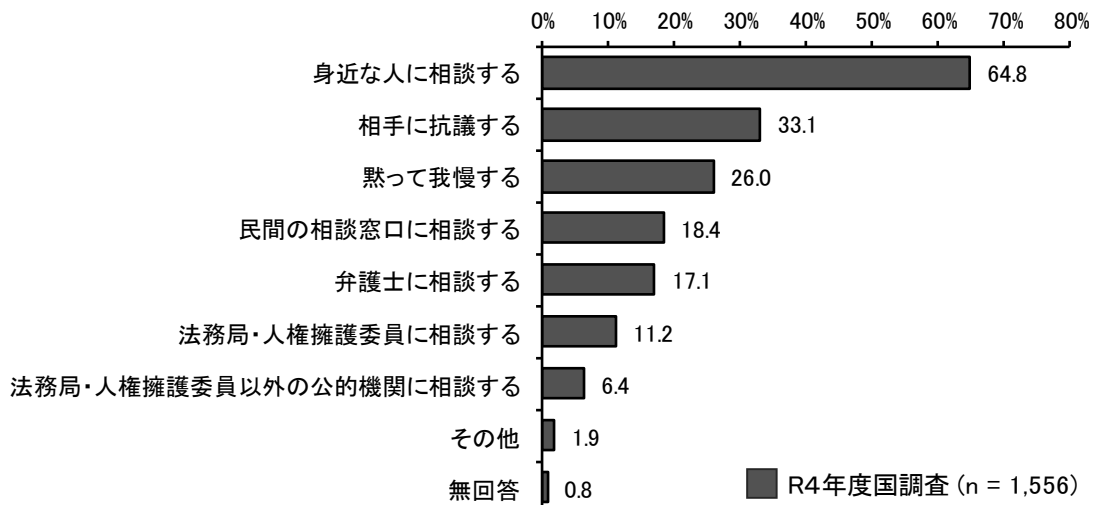
参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. もしも人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか。（いくつでも）



参考：国調査（内閣府「人権擁護に関する世論調査」）

問. あなたは、人権を侵害された場合にどのように対応すると思いますか。（いくつでも）

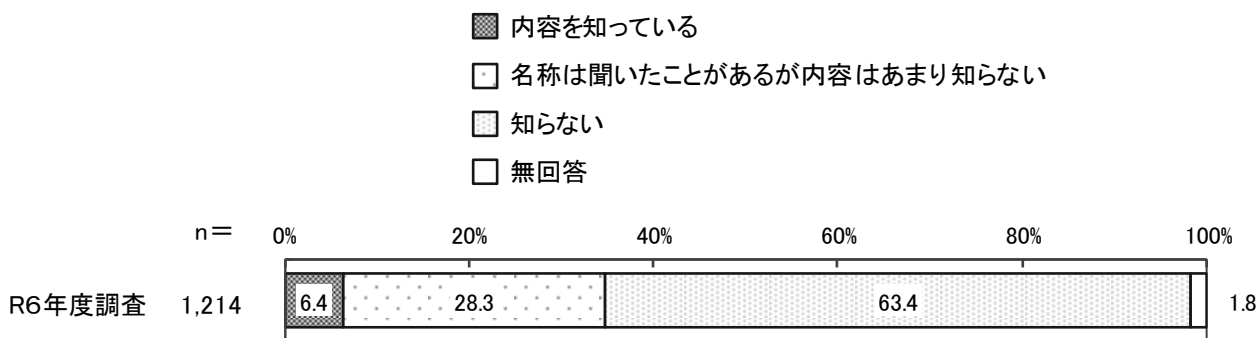


2 女性の人権について

問6 あなたは、「みんなが輝くまち関市男女共同参画推進条例」を知っていますか。
(1つだけ)

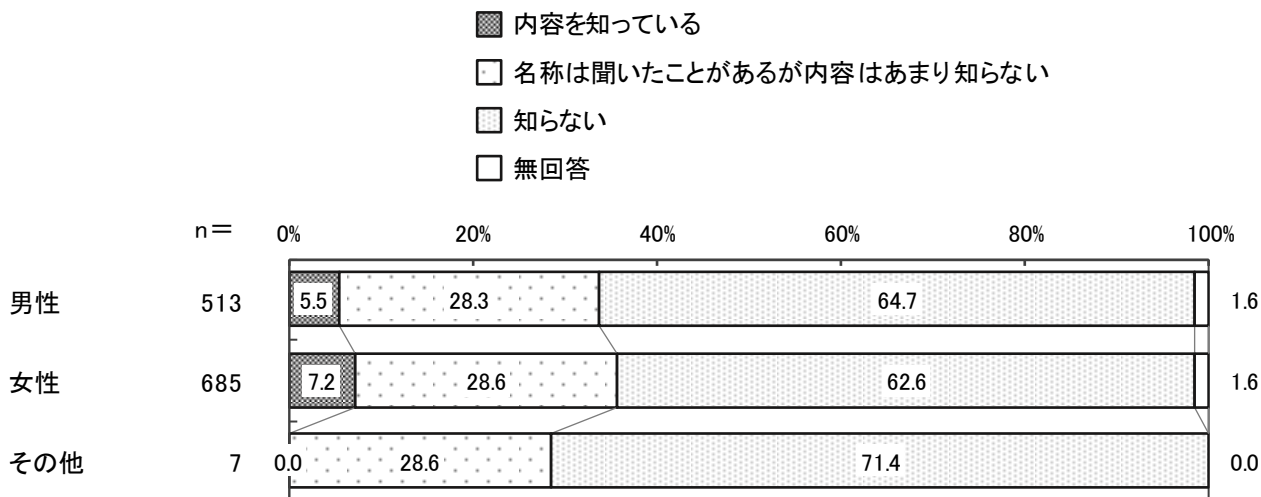
【全体】

「知らない」が63.4%と最も高く、次いで「名称は聞いたことがあるが内容はあまり知らない」が28.3%、「内容を知っている」が6.4%となっています。



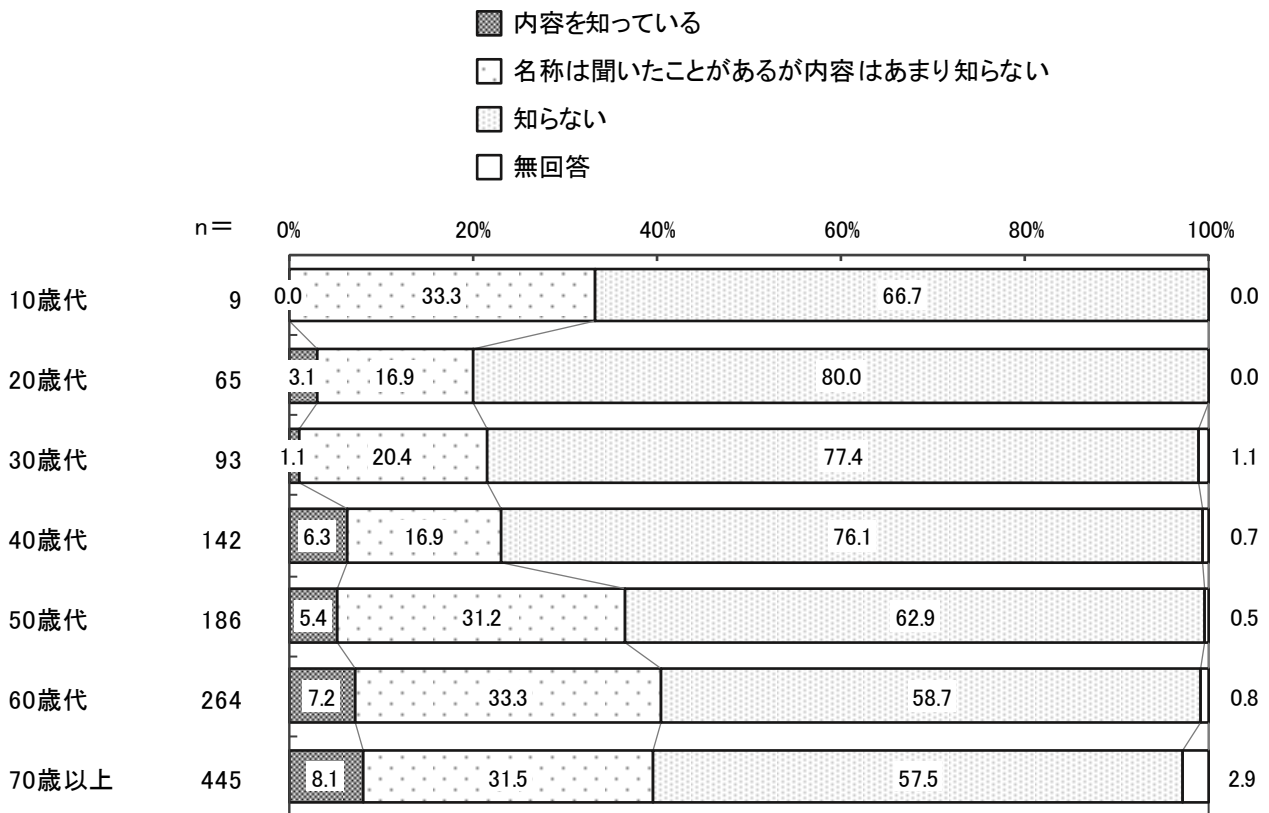
【性別】

性別にみると、男女ともに「知らない」が最も高く、約6割となっています。



【年代別】

年代別にみると、いずれの年代においても「知らない」が最も高くなっており、若い年代ほど高くなる傾向がみられ、20歳代では8割となっています。

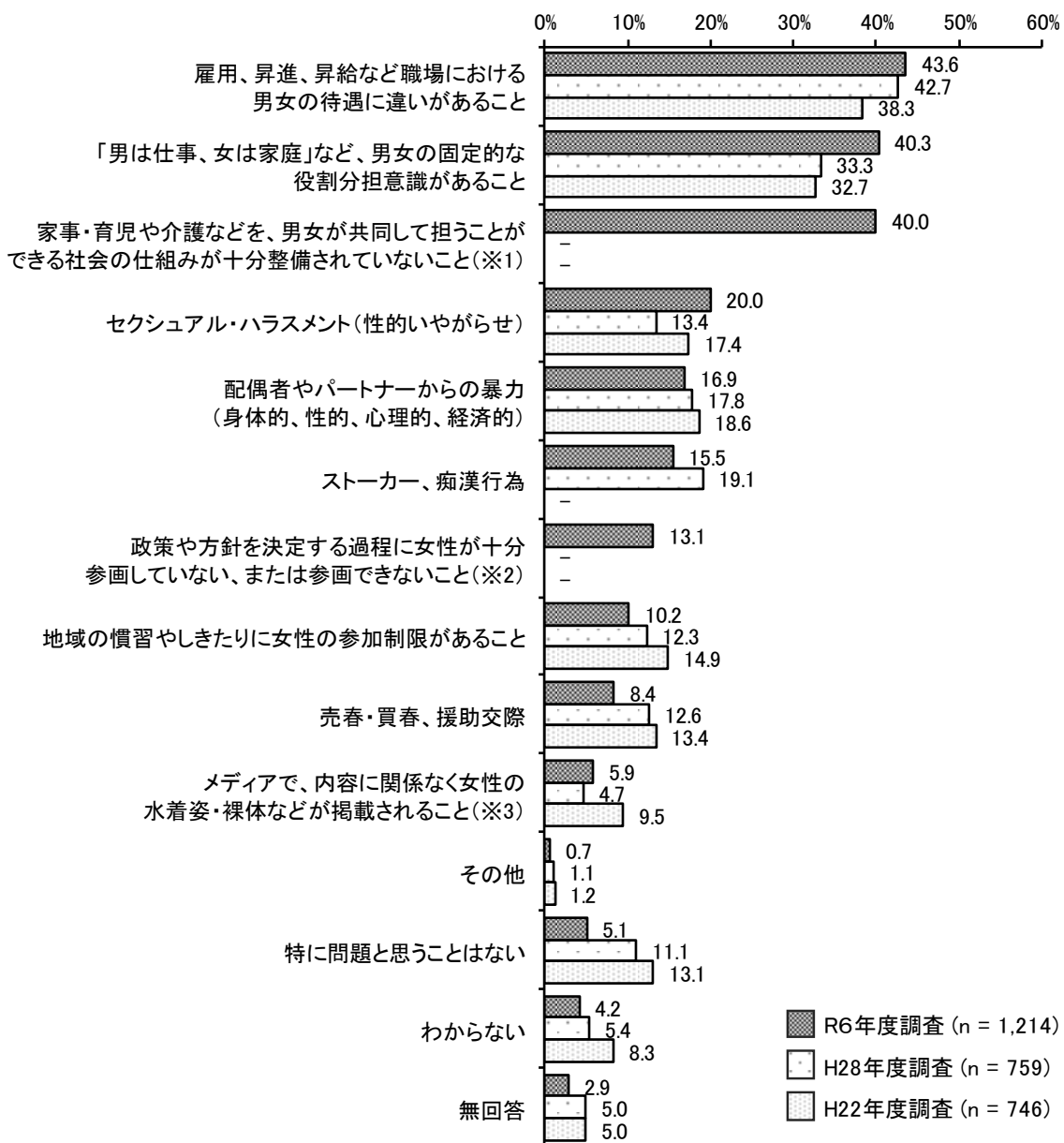


問7 次にあげるもののうち、女性の人権について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

【全体/前回・前々回比較】

「雇用、昇進、昇給など職場における男女の待遇に違いがあること」が43.6%と最も高く、次いで「男は仕事、女は家庭」など、男女の固定的な役割分担意識があること」が40.3%、「家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」が40.0%となっています。

前回調査（H28年度）と比較すると、「男は仕事、女は家庭」など、男女の固定的な役割分担意識があること」が前回（33.3%）より7.0ポイント増加しています。また、「特に問題と思うことはない」が前回（11.1%）より6.0ポイント減少しています。



※1、※2：R6年度調査より選択肢を追加したため、前回・前々回調査との正確な比較はできません。

※3：H28年度調査では「メディアによる女性のヌード写真の掲載」でした。

【性別】

性別にみると、男性では「雇用、昇進、昇給など職場における男女の待遇に違いがあること」が最も高くなっています。女性では「家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」が最も高く、男性より18.6ポイント高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	雇用、昇進、昇給など職場における男女の待遇に違いがあること	「男は仕事、女は家庭」など、男女の固定的な役割分担意識があること	家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと	セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)	配偶者やパートナーからの暴力(身体的、性的、心理的、経済的)	ストーカー、痴漢行為	政策や方針を決定する過程に女性が十分参画していない、または参画できないこと
男性	513	41.7	36.6	29.6	26.7	15.0	17.3	13.3
女性	685	45.5	43.1	48.2	15.3	18.1	13.9	12.7
その他	7	42.9	28.6	28.6	14.3	42.9	42.9	28.6

区分	有効回答数(件)	地域の慣習やしきたりに女性の参加制限があること	売春・買春、援助交際	メディアで、内容に関係なく女性の水着姿・裸体などが掲載されること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	513	10.9	12.9	5.8	0.8	6.4	2.9	2.9
女性	685	9.8	5.0	6.1	0.7	3.9	5.3	2.5
その他	7	14.3	14.3	-	-	-	-	-

【年代別】

年代別にみると、20歳代、40歳代では「男は仕事、女は家庭」など、男女の固定的な役割分担意識があること、30歳代では「家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」、50歳代以上では「雇用、昇進、昇給など職場における男女の待遇に違いがあること」が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	雇用、昇進、昇給など職場における男女の待遇に違いがあること	「男は仕事、女は家庭」など、男女の固定的な役割分担意識があること	家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと	セクシュアルハラスメント(性的いやがらせ)	配偶者やパートナーからの暴力(身体的、性的、心理的、経済的)	ストーカー、痴漢行為	政策や方針を決定する過程に女性が十分参画していない、または参画できないこと
10歳代	9	11.1	33.3	33.3	44.4	11.1	11.1	-
20歳代	65	50.8	55.4	43.1	21.5	13.8	18.5	1.5
30歳代	93	39.8	36.6	41.9	26.9	23.7	25.8	4.3
40歳代	142	37.3	49.3	46.5	24.6	15.5	18.3	15.5
50歳代	186	49.5	47.3	40.9	25.8	18.8	16.1	9.7
60歳代	264	51.5	39.4	38.3	25.8	20.8	15.5	16.7
70歳以上	445	39.6	33.7	38.2	11.0	13.5	11.9	15.1

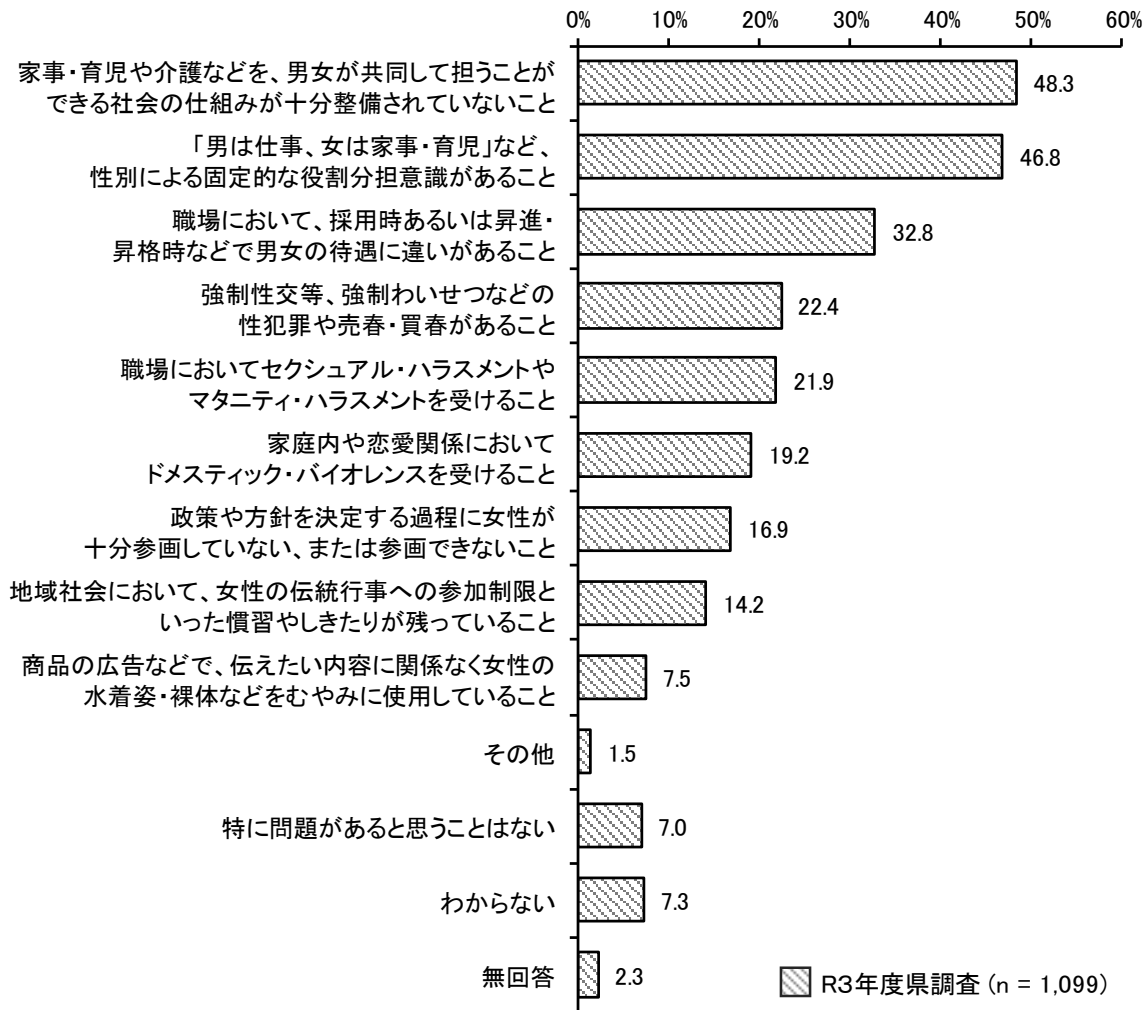
区分	有効回答数(件)	地域の慣習やしきたりに女性の参加制限があること	売春・買春、援助交際	メディアで、内容に関係なく女性の水着姿・裸体などが掲載されること	その他	特に問題と思っていない	わからない	無回答
10歳代	9	-	11.1	11.1	-	-	-	-
20歳代	65	12.3	4.6	7.7	-	6.2	3.1	-
30歳代	93	11.8	10.8	2.2	3.2	1.1	4.3	1.1
40歳代	142	9.9	7.7	3.5	0.7	1.4	2.1	1.4
50歳代	186	10.2	6.5	5.9	1.6	3.2	1.1	1.6
60歳代	264	11.4	8.0	6.4	0.4	3.4	2.7	0.8
70歳以上	445	9.4	9.7	7.0	0.2	8.8	7.4	5.2

【県・国調査との比較】

県・国調査と比較すると、市では「雇用、昇進、昇給など職場における男女の待遇に違いがあること」が最も高く、県では「家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」（市3位）、国では「「家事は女性」など男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」（市では同旨の項目が2位）が最も高くなっています。

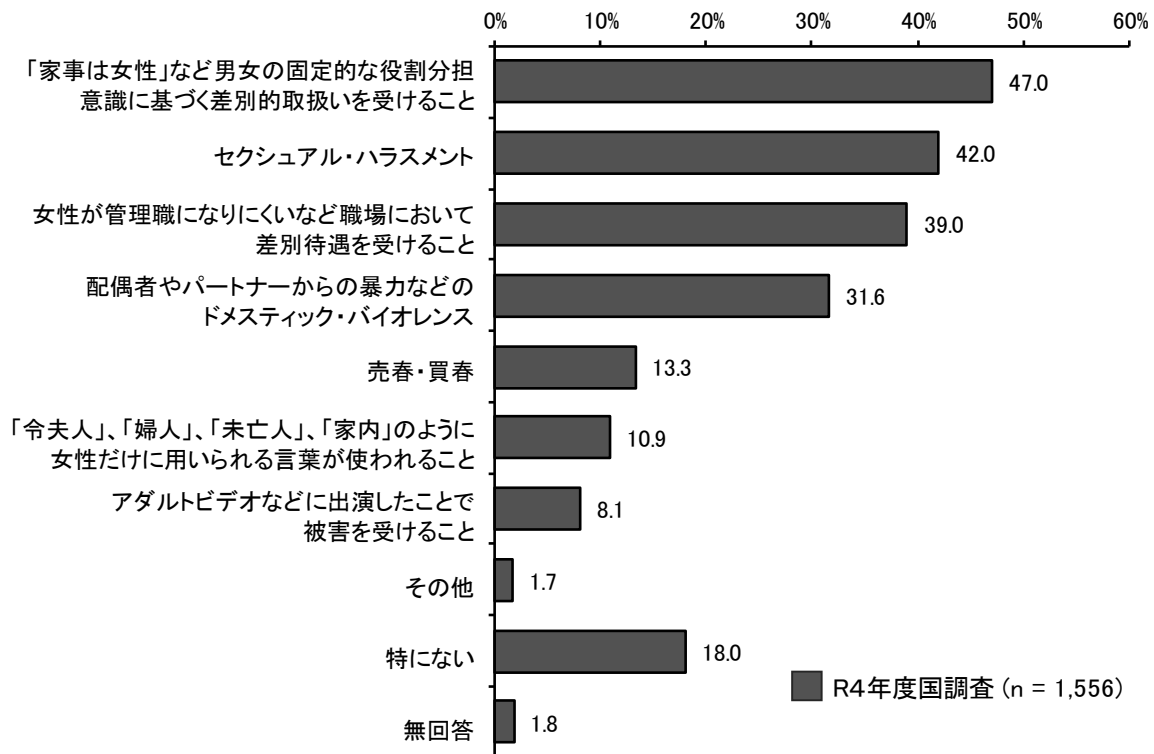
参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 女性の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。（3つまで）



参考：国調査（内閣府「人権擁護に関する世論調査」）

問. あなたが、女性に関し、体験したことや、身の回りで見聞きしたことで、人権問題だと思ったことはどのようなことですか。（いくつでも）

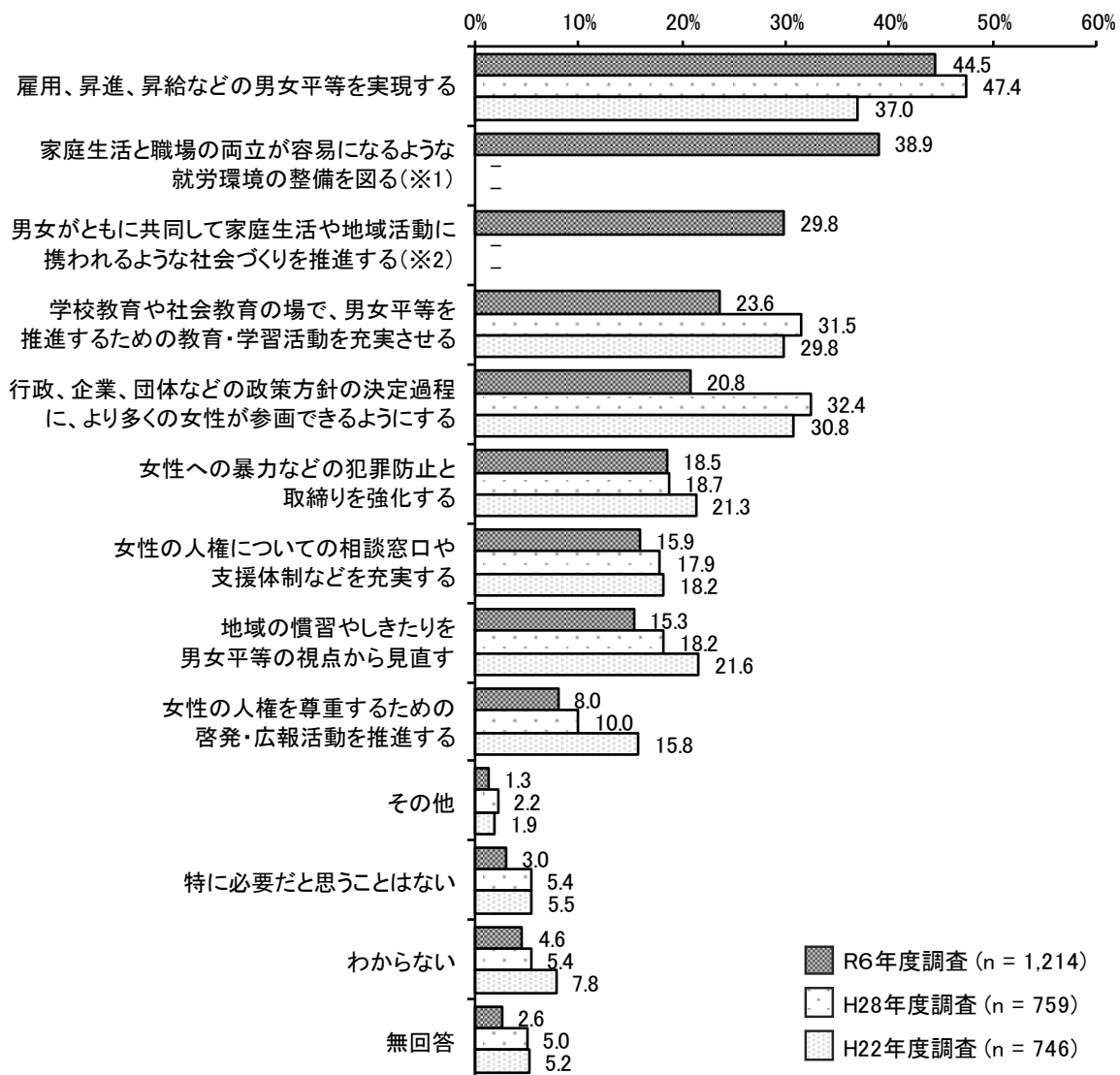


問8 あなたは、女性の人権を尊重するために必要なことは、どのようなことだと思いますか。(3つまで)

【全体/前回・前々回比較】

「雇用、昇進、昇給などの男女平等を実現する」が44.5%と最も高く、次いで「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が38.9%、「男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」が29.8%となっています。

前回調査(H28年度)と比較すると、前回同様、「雇用、昇進、昇給などの男女平等を実現する」が最も高くなっています。



※1、※2：R6年度調査より選択肢を追加したため、前回・前々回調査との正確な比較はできません。

【性別】

性別にみると、男女ともに「雇用、昇進、昇給などの男女平等を実現する」が最も高くなっています。「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」、「男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」では、女性が男性より 9.8 ポイント、10.1 ポイントそれぞれ高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	雇用、昇進、昇給などの男女平等を実現する	家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る	家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する	男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する	学校教育や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる	行政、企業、団体などの政策方針の決定過程に、より多くの女性が参画できるようにする	女性への暴力などの犯罪防止と取締りを強化する	女性の人権についての相談窓口や支援体制などを充実する
男性	513	44.6	33.3	24.2	21.1	22.4	19.9	14.2	
女性	685	44.7	43.1	34.3	25.7	19.6	17.7	17.4	
その他	7	42.9	71.4	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	

区分	有効回答数(件)	地域の慣習やしきたりを男女平等の視点から見直す	女性の人権を尊重するための啓発・広報活動を推進する	その他	特に必要だと思わない	わからない	無回答
男性	513	17.9	7.6	1.6	5.1	4.3	2.5
女性	685	13.4	8.5	1.0	1.3	4.8	2.5
その他	7	14.3	-	14.3	-	-	-

【年代別】

年代別にみると、30歳代、40歳代では「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」、50歳代では「雇用、昇進、昇給などの男女平等を実現する」が5割以上と他の年代に比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	雇用、昇進、昇給などの男女平等を実現する	家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る	男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する	男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する	学校教育や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる	行政、企業、団体などの政策方針の決定過程に、より多くの女性が参画できるようにする	女性への暴力などの犯罪防止と取締りを強化する	女性の人権についての相談窓口や支援体制などを充実する
10歳代	9	33.3	22.2	11.1	11.1	-	22.2	-	
20歳代	65	46.2	46.2	38.5	21.5	24.6	21.5	10.8	
30歳代	93	33.3	55.9	28.0	26.9	9.7	25.8	14.0	
40歳代	142	39.4	50.0	29.6	25.4	16.2	15.5	14.8	
50歳代	186	56.5	37.1	32.3	21.5	15.6	19.4	15.1	
60歳代	264	43.6	39.0	29.2	24.6	23.9	21.2	22.3	
70歳以上	445	44.3	32.4	29.2	23.1	24.5	15.7	14.6	

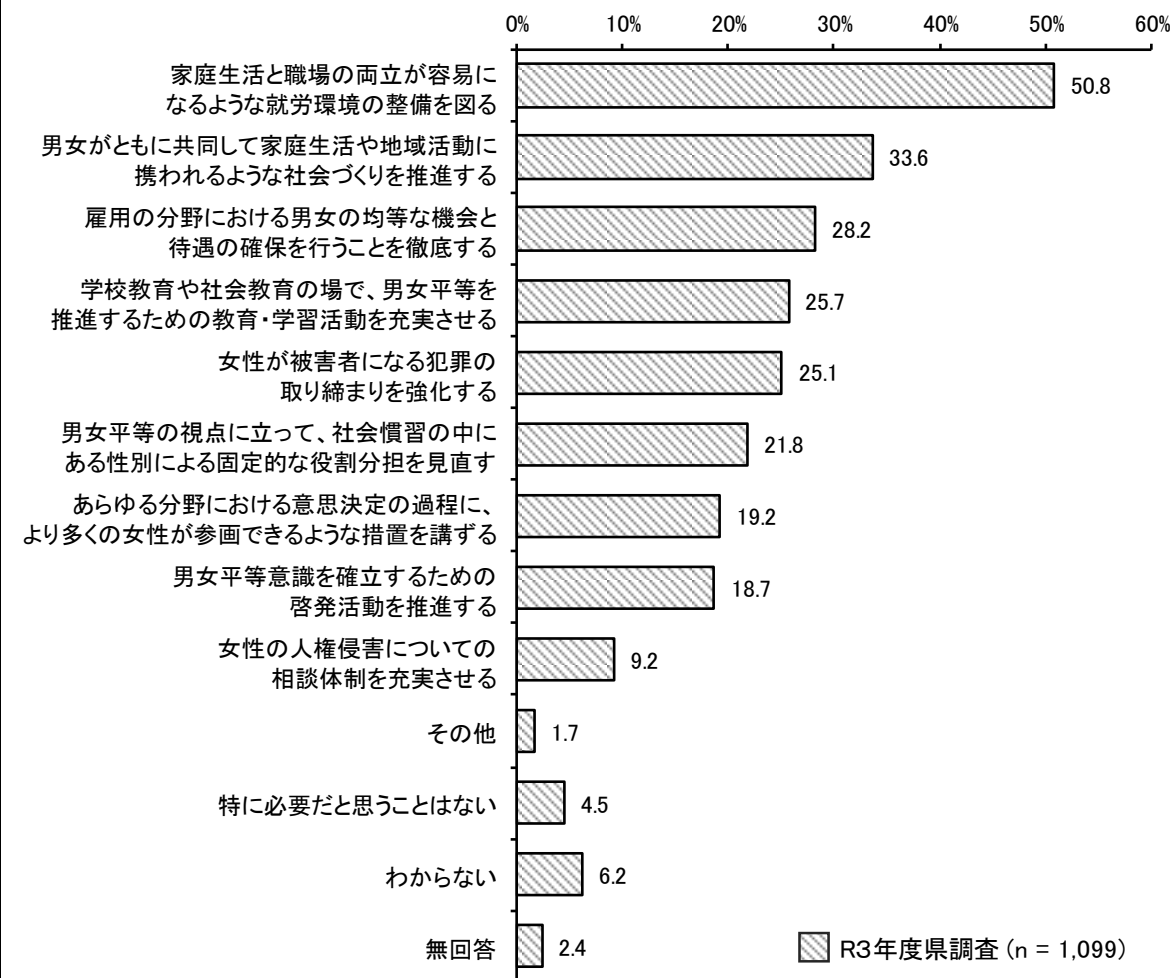
区分	有効回答数(件)	地域の慣習やしきたりを男女平等の視点から見直す	女性の人権を尊重するための啓発・広報活動を推進する	その他	特に必要だと思っていない	わからない	無回答
10歳代	9	-	11.1	-	-	33.3	-
20歳代	65	7.7	7.7	-	4.6	4.6	-
30歳代	93	12.9	4.3	4.3	4.3	3.2	1.1
40歳代	142	14.1	5.6	0.7	2.1	2.8	1.4
50歳代	186	20.4	5.4	2.7	1.6	3.2	1.6
60歳代	264	18.6	9.5	1.5	2.3	3.4	0.8
70歳以上	445	13.7	9.9	0.4	3.8	6.1	4.7

【県調査との比較】

県調査と比較すると、市では「雇用、昇進、昇給などの男女平等を実現する」が最も高く、県では「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」(市2位)が最も高くなっています。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 女性の人権を尊重していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで）

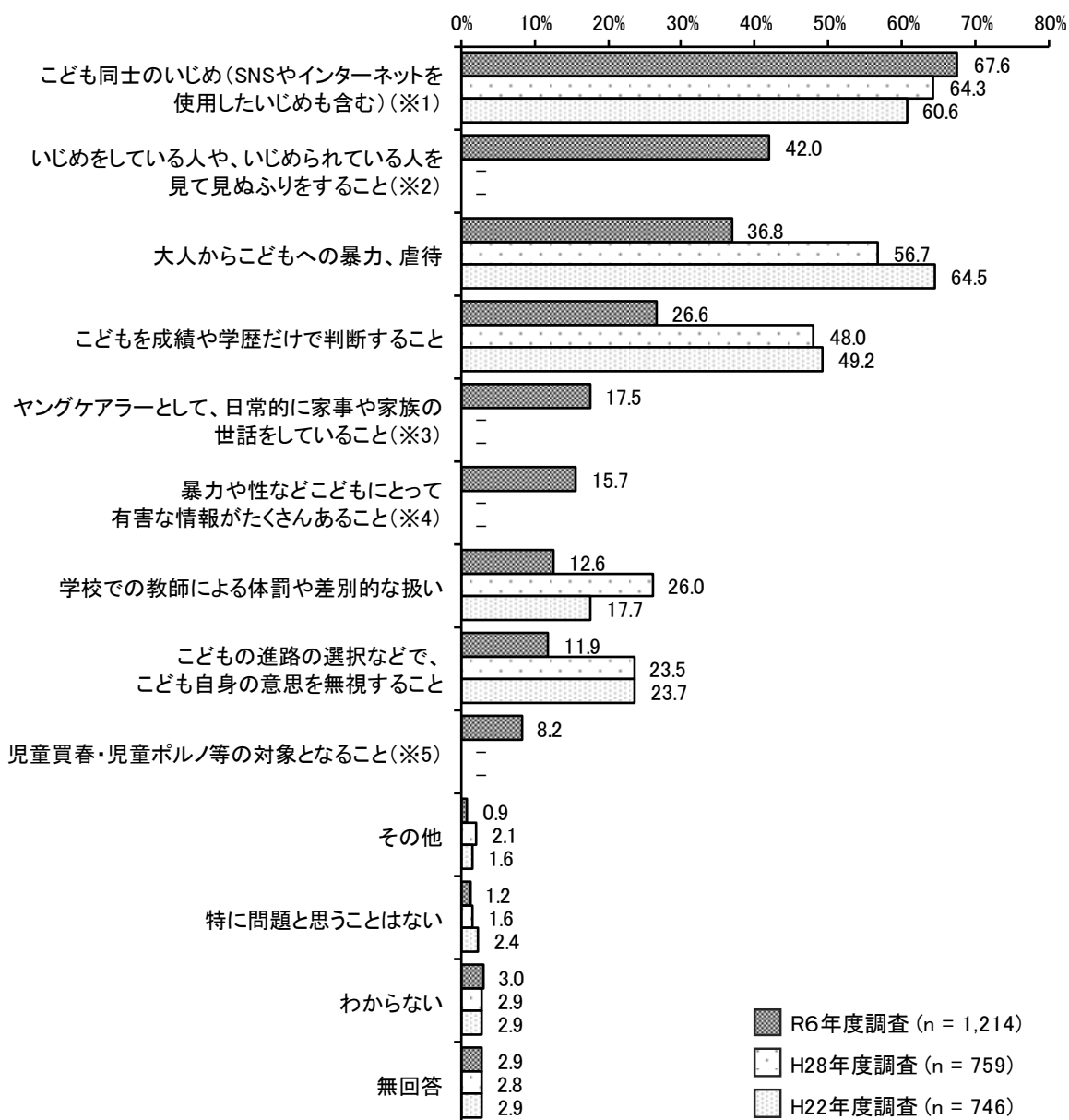


3 こどもの人権について

問9 次にあげるもののうち、こどもの人権について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

【全体】

「こども同士のいじめ（SNSやインターネットを使用したいじめも含む）」が67.6%と最も高く、次いで「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」が42.0%、「大人からこどもへの暴力、虐待」が36.8%となっています。



※本設問は、選択肢の内容を大きく変更したため、前回・前々回比較の調査結果は参考として掲載しています。(※1は、R6年度調査より()内の記載を追加、※2~※5は、R6年度調査より追加した選択肢です。)

【性別】

性別にみると、男女ともに「子ども同士のいじめ（SNSやインターネットを使用したいじめも含む）」が最も高く、次いで「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	子ども同士のいじめ (SNSやインターネットを 使用したいじめも含む)	子ども同士のいじめ 見ぬふりをする事	いじめをしている人や、い じめられている人を見て 見ぬふりをする事	大人から子どもへの 暴力、虐待	子どもを成績や学歴だけ で判断する事	日常的に家事や家族の 世話をしている事	ヤングケアラーとして、 日常的に家事や家族の 世話をしている事	暴力や性など子どもにとつ て有害な情報がたくさん ある事	学校での教師による体罰 や差別的な扱い
男性	513	67.3	42.9	37.2	26.5	14.6	14.2	12.7		
女性	685	68.3	41.9	36.9	26.7	19.9	17.2	12.4		
その他	7	85.7	28.6	14.3	14.3	14.3	-	28.6		

区分	有効回答数(件)	子どもの進路の選択など で、「子ども自身の意思を 無視する事	児童買春・児童ポルノ等 の対象となる事	その他	特に問題と思う事とはな い	わからない	無回答
男性	513	14.2	7.2	0.8	1.6	2.5	2.7
女性	685	9.9	8.8	0.7	0.7	3.5	2.6
その他	7	14.3	28.6	28.6	-	-	-

【年代別】

年代別にみると、いずれの年代においても「子ども同士のいじめ（SNSやインターネットを使用したいじめも含む）」が最も高く、30～60歳代では7割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	子ども同士のいじめ (SNSやインターネットを 使用したいじめも含む)	いじめをしている人や、い じめられている人を見て 見ぬふりをする「こと」	大人から子どもへの 暴力、虐待	子どもを成績や学歴だけ で判断する「こと」	ヤングケアラーとして、 日常的に家事や家族の 世話をしている「こと」	暴力や性など「子どもにとっ て有害な情報がたくさん ある「こと」	学校での教師による体罰 や差別的な扱い
10歳代	9	66.7	55.6	22.2	11.1	11.1	11.1	-
20歳代	65	64.6	49.2	33.8	27.7	24.6	9.2	16.9
30歳代	93	77.4	36.6	48.4	11.8	26.9	7.5	9.7
40歳代	142	78.2	38.7	38.0	23.9	15.5	11.3	14.1
50歳代	186	74.2	50.5	39.8	28.5	14.5	13.4	9.1
60歳代	264	78.0	45.8	41.7	27.3	20.8	17.8	11.0
70歳以上	445	54.6	37.5	31.0	29.4	14.8	19.8	14.8

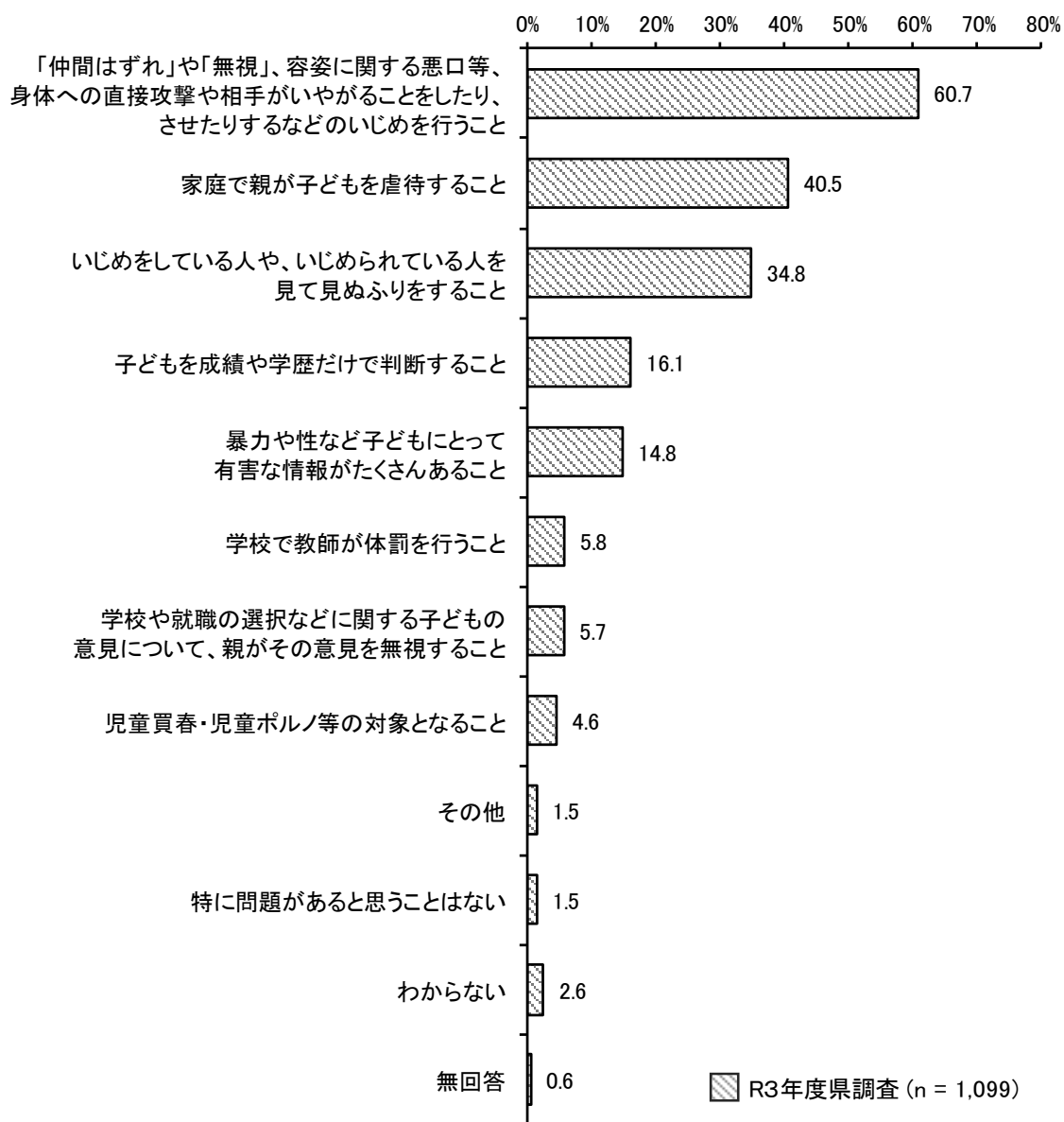
区分	有効回答数(件)	子どもの進路の選択など で、「子ども自身の意思を 無視する「こと」	児童買春・児童ポルノ等 の対象となる「こと」	その他	特に問題と思う「こと」はな い	わからない	無回答
10歳代	9	11.1	-	-	-	-	-
20歳代	65	24.6	3.1	-	1.5	1.5	-
30歳代	93	16.1	10.8	3.2	1.1	1.1	2.2
40歳代	142	15.5	9.2	1.4	-	0.7	1.4
50歳代	186	15.1	8.6	1.1	-	0.5	1.1
60歳代	264	7.2	9.1	-	0.4	1.9	0.8
70歳以上	445	9.2	7.6	0.9	2.2	6.3	5.4

【県・国調査との比較】

県・国調査と比較すると、市・県・国のいずれも「こどものいじめ」に関する項目が最も高くなっています。次いで、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」に関する項目や「虐待」に関する項目が高くなっています。

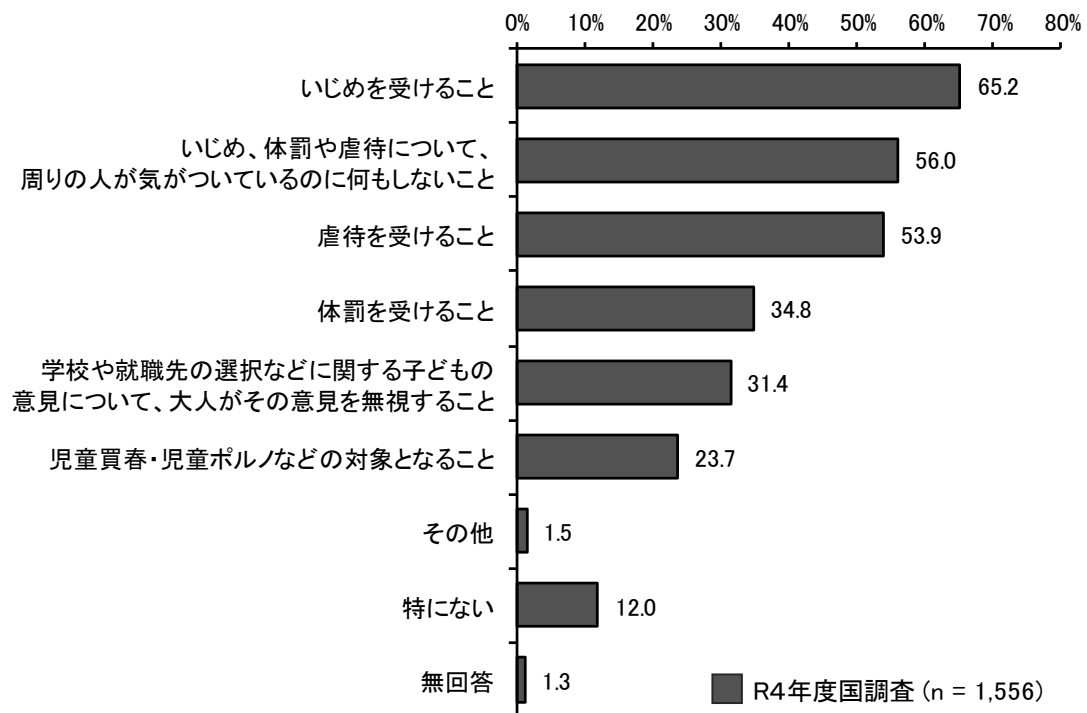
参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 子どもの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。（2つまで）



参考：国調査（内閣府「人権擁護に関する世論調査」）

問. あなたが、子どもに関し、体験したことや、身の回りで見聞きしたことで、人権問題だと思ったことはどのようなことですか。（いくつでも）

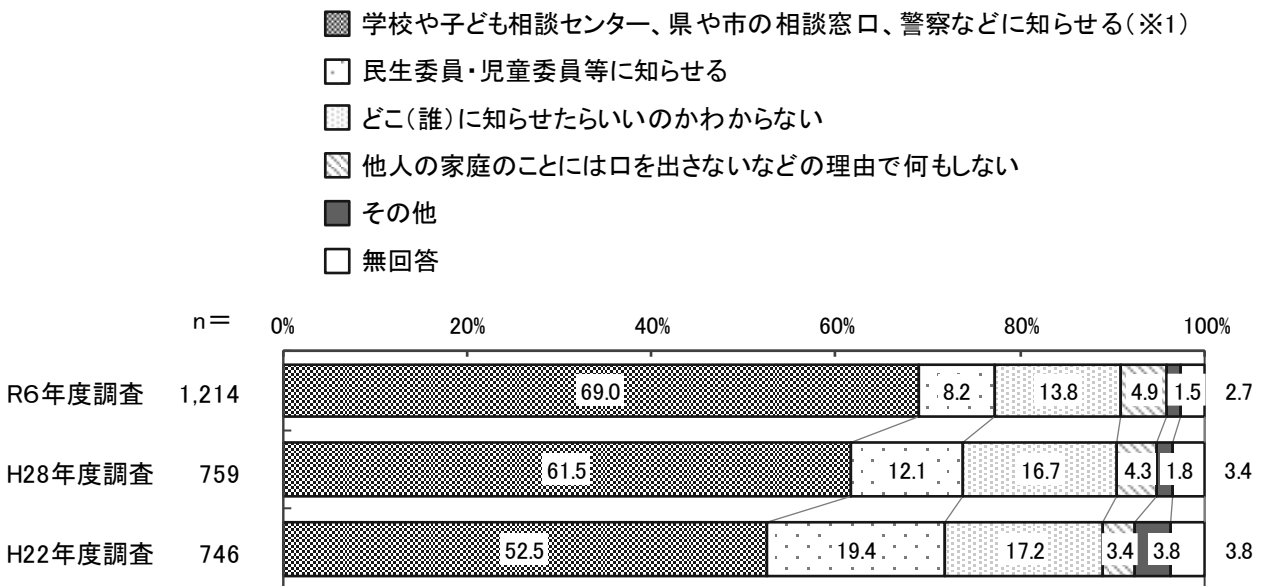


問10 あなたは、児童虐待を発見したらどうされますか。(1つだけ)

【全体/前回・前々回比較】

「学校や子ども相談センター、県や市の相談窓口、警察などに知らせる」が69.0%と最も高く、次いで「どこ(誰)に知らせたらいいのかわからない」が13.8%、「民生委員・児童委員等に知らせる」が8.2%となっています。

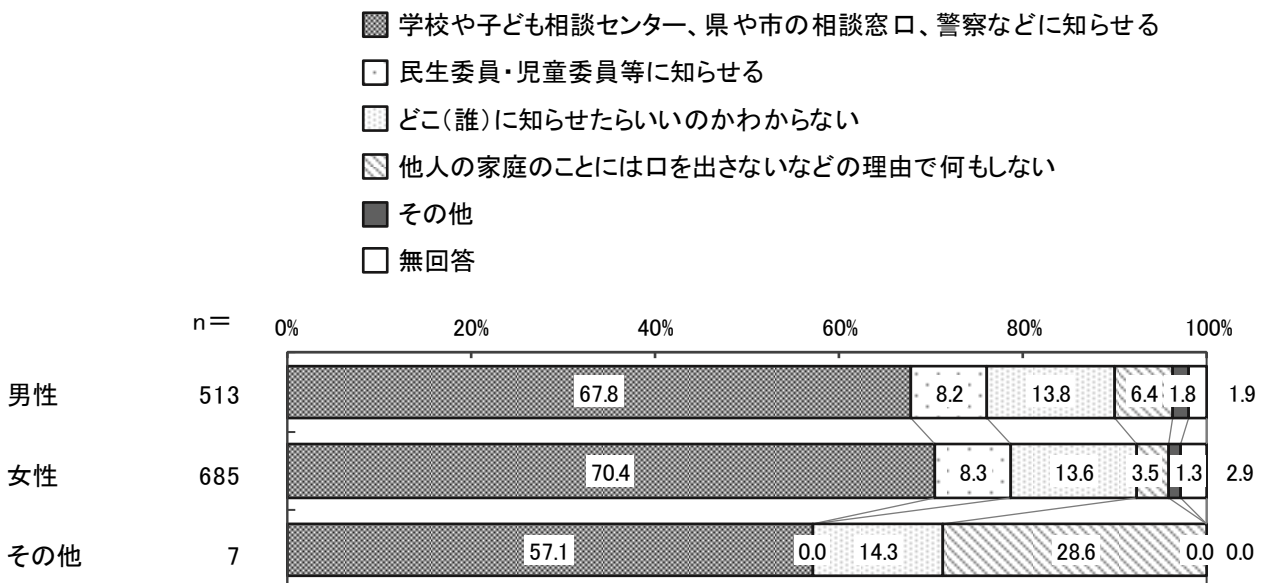
前回調査(H28年度)と比較すると、同旨の「学校や子ども相談センター、県や市の相談窓口、警察などに知らせる」が前回(61.5%)より7.5ポイント増加しています。



※1: H28年度調査では「子ども相談センターや市の担当窓口、警察などに知らせる」でした。

【性別】

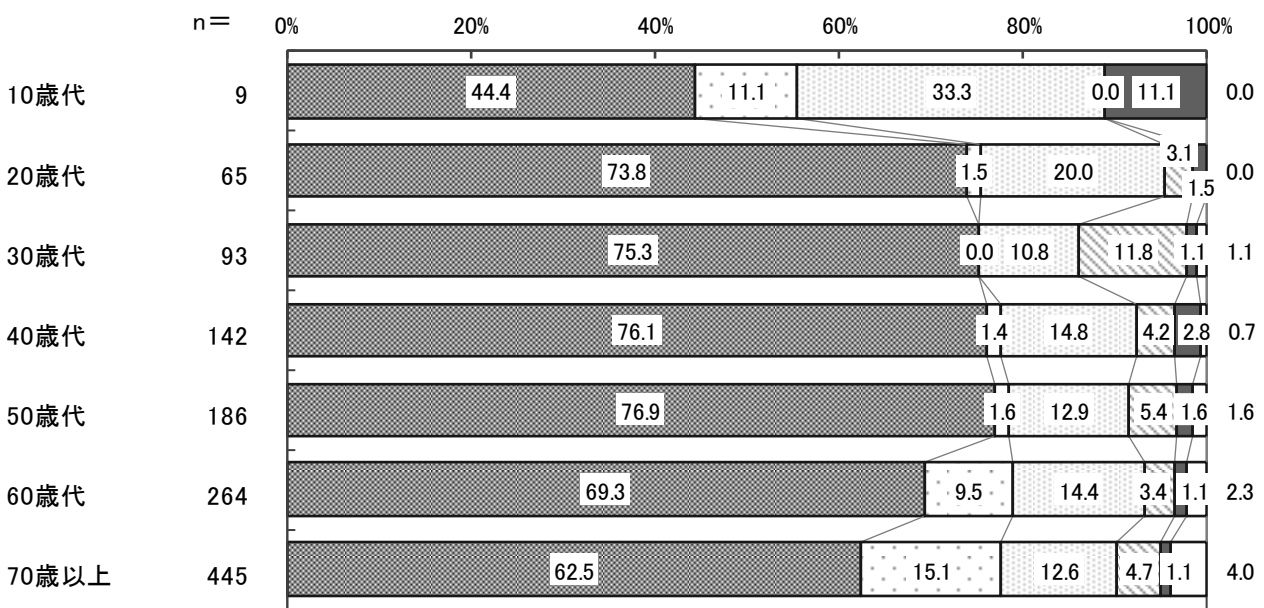
性別にみると、男女ともに「学校や子ども相談センター、県や市の相談窓口、警察などに知らせる」が最も高く、約7割となっています。



【年代別】

年代別にみると、いずれの年代においても「学校や子ども相談センター、県や市の相談窓口、警察などに知らせる」が最も高く、20～50歳代では7割を超えています。

- 学校や子ども相談センター、県や市の相談窓口、警察などに知らせる
- 民生委員・児童委員等に知らせる
- ▨ どこ(誰)に知らせたらいいのかわからない
- ▩ 他人の家庭のことには口を出さないなどの理由で何もしない
- その他
- 無回答



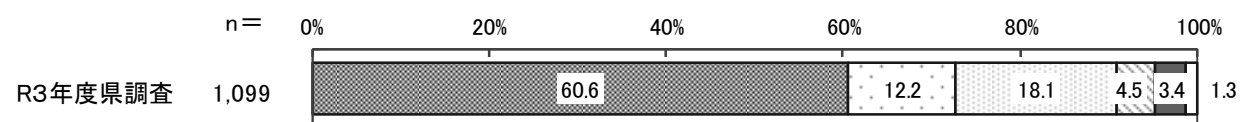
【県調査との比較】

県調査と比較すると、「学校や子ども相談センター、県や市の相談窓口、警察などに知らせる」は、市(69.0%)が県(60.6%)より8.4ポイント高くなっています。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. あなたが児童虐待を発見したらどうされますか。(1つだけ)

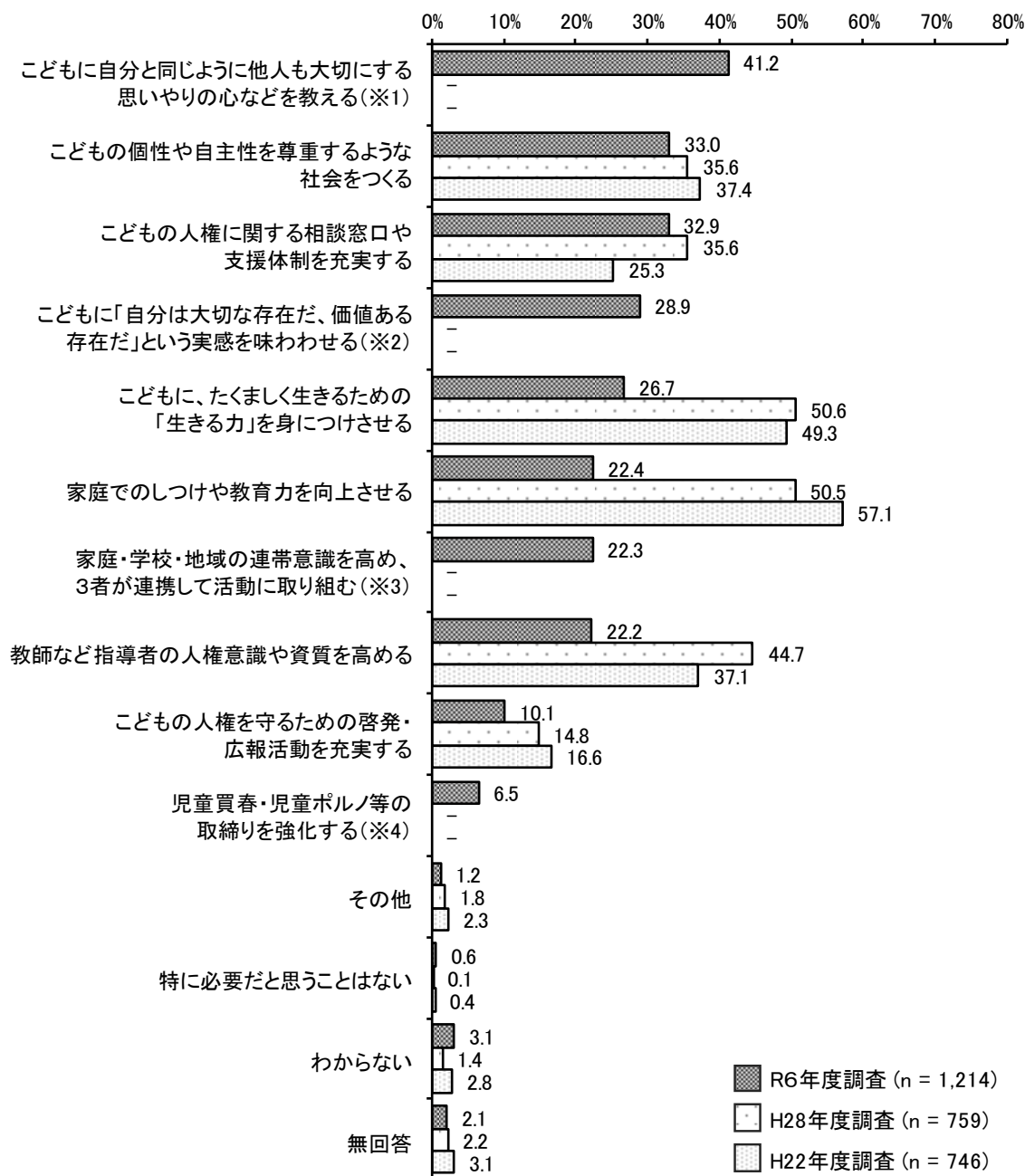
- 学校や子ども相談センター、県や市町村の相談窓口などに知らせる
- 民生委員・児童委員に知らせる
- ▨ どこ(誰)に知らせたらいいのかわからない
- ▩ 他人の家庭のことには口を出さないなどの理由で何もしない
- その他
- 無回答



問11 こどもの人権を尊重するために必要なことは、どのようなことだと思いますか。
(3つまで)

【全体】

「こどもに自分と同じように他人も大切にする思いやりの心などを教える」が41.2%と最も高く、次いで「こどもの個性や自主性を尊重するような社会をつくる」が33.0%、「こどもの人権に関する相談窓口や支援体制を充実する」が32.9%となっています。



※本設問は、選択肢の内容を大きく変更したため、前回・前々回比較の調査結果は参考として掲載しています。(※1～※4は、R6年度調査より追加した選択肢です。)

【性別】

性別にみると、男女ともに「こどもに自分と同じように他人も大切に思いやりの心などを教える」が最も高くなっています。「こどもに「自分は大切な存在だ、価値ある存在だ」という実感を味わわせる」では、女性が男性より 19.4 ポイント高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	こどもに自分と同じように他人も大切に思いやりの心などを教える	こどもの個性や自主性を尊重するよつな社会をつくる	こどもの人権に関する相談窓口や支援体制を充実する	こどもに「自分は大切な存在だ、価値ある存在だ」という実感を味わわせる	こどもに、たくましく生きるための「生きる力」を身につけさせる	家庭でのしつけや教育力を向上させる	家庭・学校・地域の連帯意識を高め、3者が連携して活動に取り組む
男性	513	37.0	34.9	34.5	18.1	23.2	30.4	20.3
女性	685	45.0	31.8	31.7	37.5	29.2	15.9	24.4
その他	7	-	28.6	42.9	14.3	42.9	57.1	-

区分	有効回答数(件)	教師など指導者の人権意識や資質を高める	こどもの人権を守るための啓発・広報活動を充実する	児童買春・児童ポルノ等の取締りを強化する	その他	特に必要だと思わない	わからない	無回答
男性	513	22.4	13.3	6.4	1.8	0.6	3.3	2.1
女性	685	22.2	7.9	6.4	0.7	0.4	2.9	1.9
その他	7	28.6	-	28.6	14.3	-	-	-

【年代別】

年代別にみると、20歳代では「こどもの人権に関する相談窓口や支援体制を充実する」、30歳代では「こどもの個性や自主性を尊重するような社会をつくる」「こどもに、たくましく生きるための「生きる力」を身につけさせる」、40歳代では「こどもの個性や自主性を尊重するような社会をつくる」「こどもに「自分は大切な存在だ、価値ある存在だ」という実感を味わわせる」、50歳代では「こどもに「自分は大切な存在だ、価値ある存在だ」という実感を味わわせる」、60歳代以上では「こどもに自分と同じように他人も大切にする思いやりの心などを教える」が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	こどもに自分と同じように他人も大切にしたいの心などを教える	こどもの個性や自主性を尊重するような社会をつくる	こどもの人権に関する相談窓口や支援体制を充実する	こどもに「自分は大切な存在だ、価値ある存在だ」という実感を味わわせる	こどもに、たくましく生きるための「生きる力」を身につけさせる	家庭でのしつけや教育力を向上させる	家庭・学校・地域の連帯意識を高め、3者が連携して活動に取り組む
10歳代	9	11.1	33.3	-	11.1	22.2	-	11.1
20歳代	65	32.3	41.5	44.6	21.5	23.1	18.5	26.2
30歳代	93	35.5	39.8	28.0	29.0	39.8	21.5	21.5
40歳代	142	35.2	40.8	32.4	40.8	25.4	19.0	24.6
50歳代	186	38.2	29.0	33.9	39.2	30.1	21.0	20.4
60歳代	264	41.3	30.7	37.1	27.3	26.1	24.6	25.0
70歳以上	445	47.9	31.0	30.1	23.8	23.8	23.8	21.1

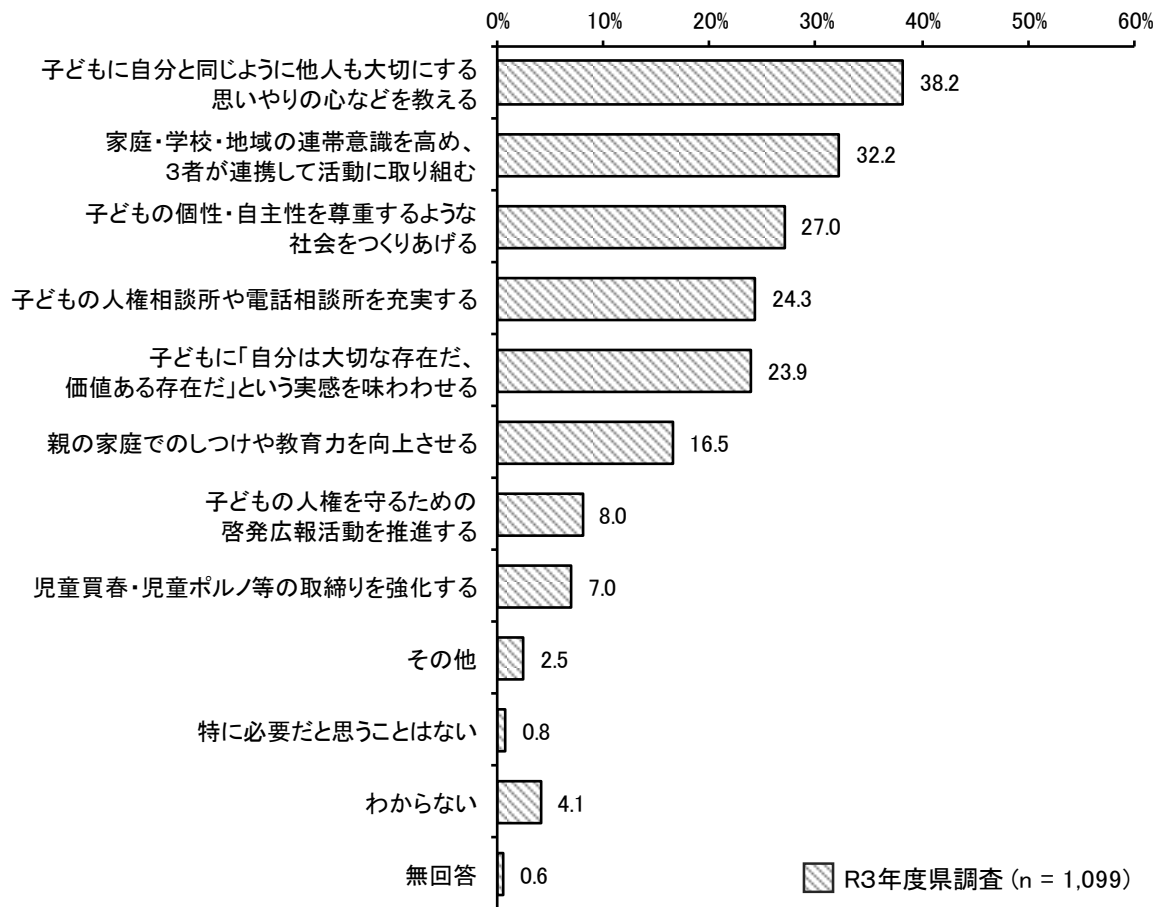
区分	有効回答数(件)	教師など指導者の人権意識や資質を高める	こどもの人権を守るための啓発・広報活動を充実する	児童買春・児童ポルノ等の取締りを強化する	その他	ない	特に必要だと思っことは	わからない	無回答
10歳代	9	11.1	-	11.1	-	-	33.3	-	
20歳代	65	24.6	9.2	7.7	-	1.5	3.1	-	
30歳代	93	20.4	10.8	8.6	2.2	-	1.1	1.1	
40歳代	142	21.8	4.2	6.3	3.5	-	0.7	1.4	
50歳代	186	18.8	10.8	5.9	3.2	0.5	1.6	1.1	
60歳代	264	26.9	15.5	4.5	0.4	0.4	2.3	0.8	
70歳以上	445	21.6	8.8	7.4	0.2	0.9	4.7	3.6	

【県調査との比較】

県調査と比較すると、市・県ともに「子どもに自分と同じように他人も大切にする思いやりの心などを教える」が最も高くなっています。次いで、市では「子どもの個性や自主性を尊重するような社会をつくる」、県では「家庭・学校・地域の連帯意識を高め、3者が連携して活動に取り組む」（市7位）が高くなっています。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 子どもの人権を尊重するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（2つまで）



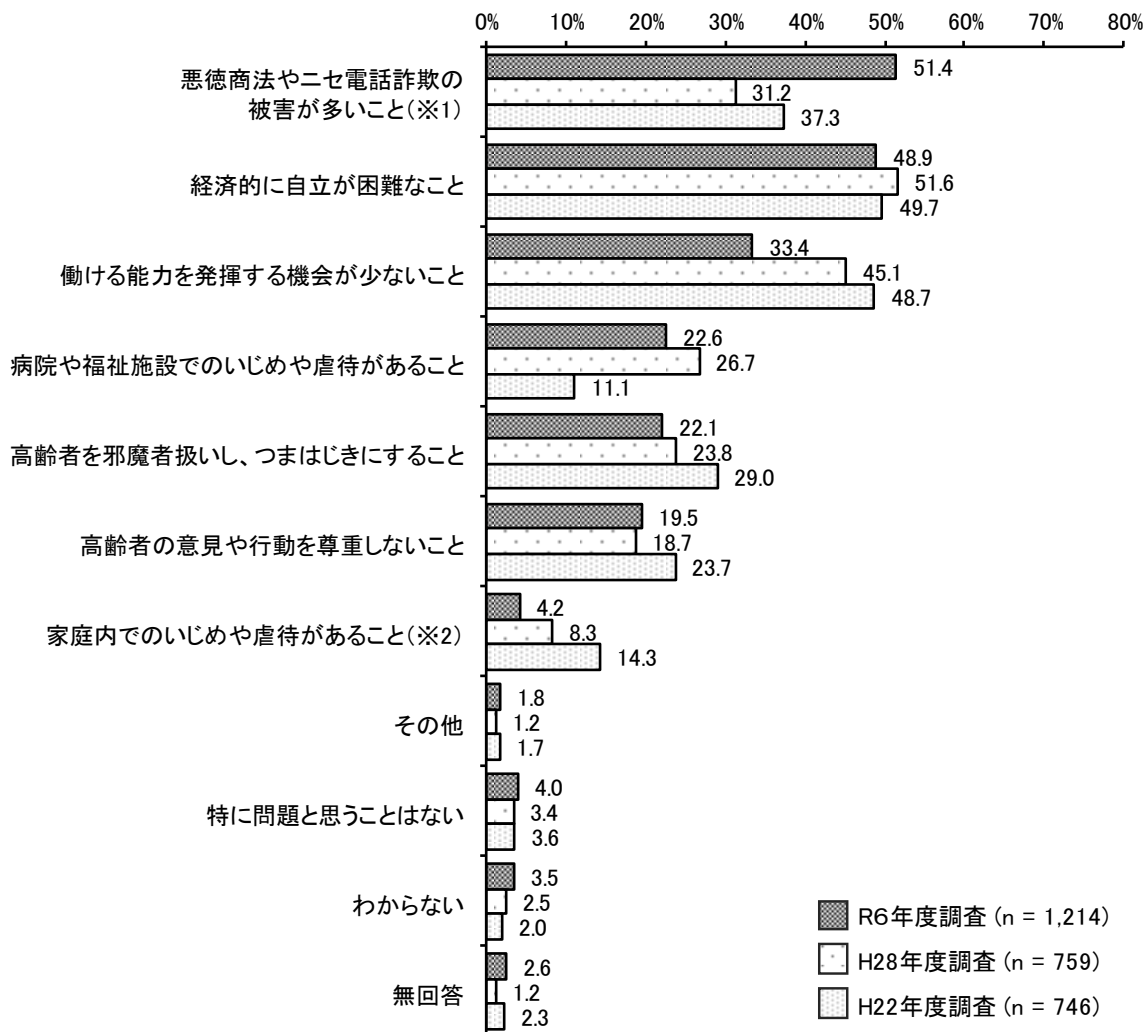
4 高齢者の人権について

問12 次にあげるもののうち、高齢者の人権について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

【全体/前回・前々回比較】

「悪徳商法やニセ電話詐欺の被害が多いこと」が51.4%と最も高く、次いで「経済的に自立が困難なこと」が48.9%、「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」が33.4%となっています。

前回調査（H28年度）と比較すると、同旨の「悪徳商法やニセ電話詐欺の被害が多いこと」が前回（31.2%）より20.2ポイント増加しています。一方、「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」が前回（45.1%）より11.7ポイント減少しています。



※1：H28年度調査では「悪徳商法の被害が多いこと」でした。

※2：H28年度調査では「家庭での高齢者に対する虐待が増えていること」でした。

【性別】

性別にみると、男女ともに「悪徳商法やニセ電話詐欺の被害が多いこと」が最も高く、5割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	悪徳商法やニセ電話詐欺の被害が多いこと	経済的に自立が困難なこと	働ける能力を発揮する機会が少ないこと	病院や福祉施設でのいじめや虐待があること	高齢者を邪魔者扱い、つまはしきにすること	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	家庭内でのいじめや虐待があること	その他	特に問題と思うことではない	わからない	無回答
男性	513	50.7	47.0	32.7	21.6	23.8	19.1	3.5	1.9	5.1	2.7	1.9
女性	685	52.1	50.8	33.6	23.2	21.0	20.0	4.8	1.6	3.4	3.9	2.9
その他	7	42.9	28.6	42.9	42.9	14.3	14.3	-	14.3	-	-	-

【年代別】

年代別にみると、50歳代を除くいずれの年代においても「悪徳商法やニセ電話詐欺の被害が多いこと」が最も高くなっています。50歳代では「経済的に自立が困難なこと」が最も高くなっています。70歳以上では「高齢者の意見や行動を尊重しないこと」が25.6%と他の年代に比べて高くなっています。

単位：％

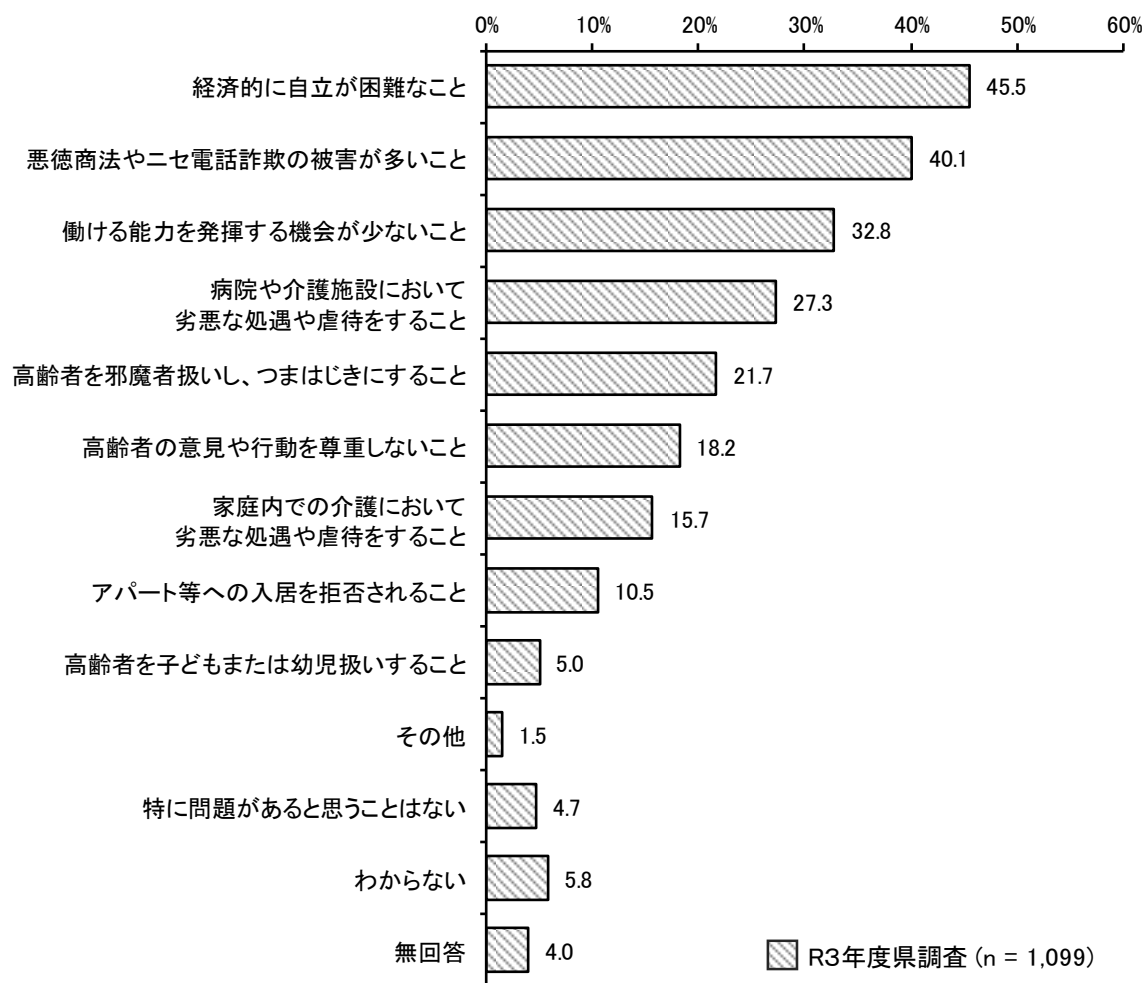
区分	有効回答数(件)	悪徳商法やニセ電話詐欺の被害が多いこと	経済的に自立が困難なこと	働ける能力を発揮する機会が少ないこと	病院や福祉施設でのいじめや虐待があること	高齢者を邪魔者扱い、つまはしきにすること	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	家庭内でのいじめや虐待があること	その他	特に問題と思うことではない	わからない	無回答
10歳代	9	22.2	11.1	33.3	11.1	22.2	11.1	11.1	-	-	11.1	-
20歳代	65	53.8	40.0	35.4	30.8	24.6	12.3	9.2	3.1	4.6	3.1	-
30歳代	93	45.2	44.1	25.8	25.8	24.7	12.9	6.5	4.3	6.5	5.4	2.2
40歳代	142	52.1	50.0	36.6	25.4	21.1	11.3	4.2	1.4	3.5	2.8	0.7
50歳代	186	50.0	56.5	43.0	23.1	19.9	17.7	3.2	2.7	4.3	3.2	1.1
60歳代	264	56.1	47.0	34.5	23.9	23.5	19.7	4.2	1.1	3.8	3.8	2.7
70歳以上	445	51.0	50.1	29.0	19.3	21.8	25.6	3.4	1.3	3.6	2.9	4.0

【県・国調査との比較】

県・国調査と比較すると、市・県ともに「悪徳商法やニセ電話詐欺の被害が多いこと」、「経済的に自立が困難なこと」が上位2項目となっています。国では「悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと」が最も高く、次いで「病院での看護や介護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること」が高くなっています。

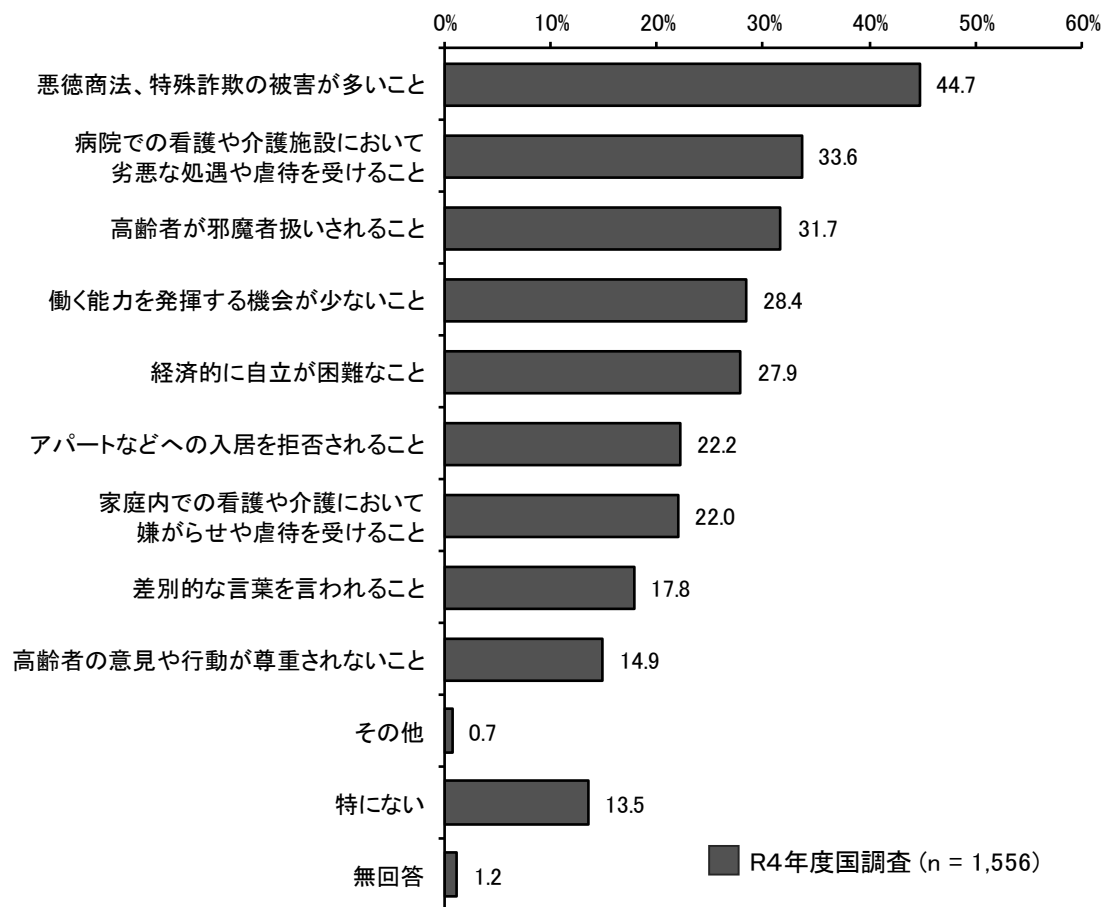
参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 高齢者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。（3つまで）



参考：国調査（内閣府「人権擁護に関する世論調査」）

問. あなたが、高齢者に関し、体験したことや、身の回りで見聞きしたことで、人権問題だと思ったことはどのようなことですか。（いくつでも）

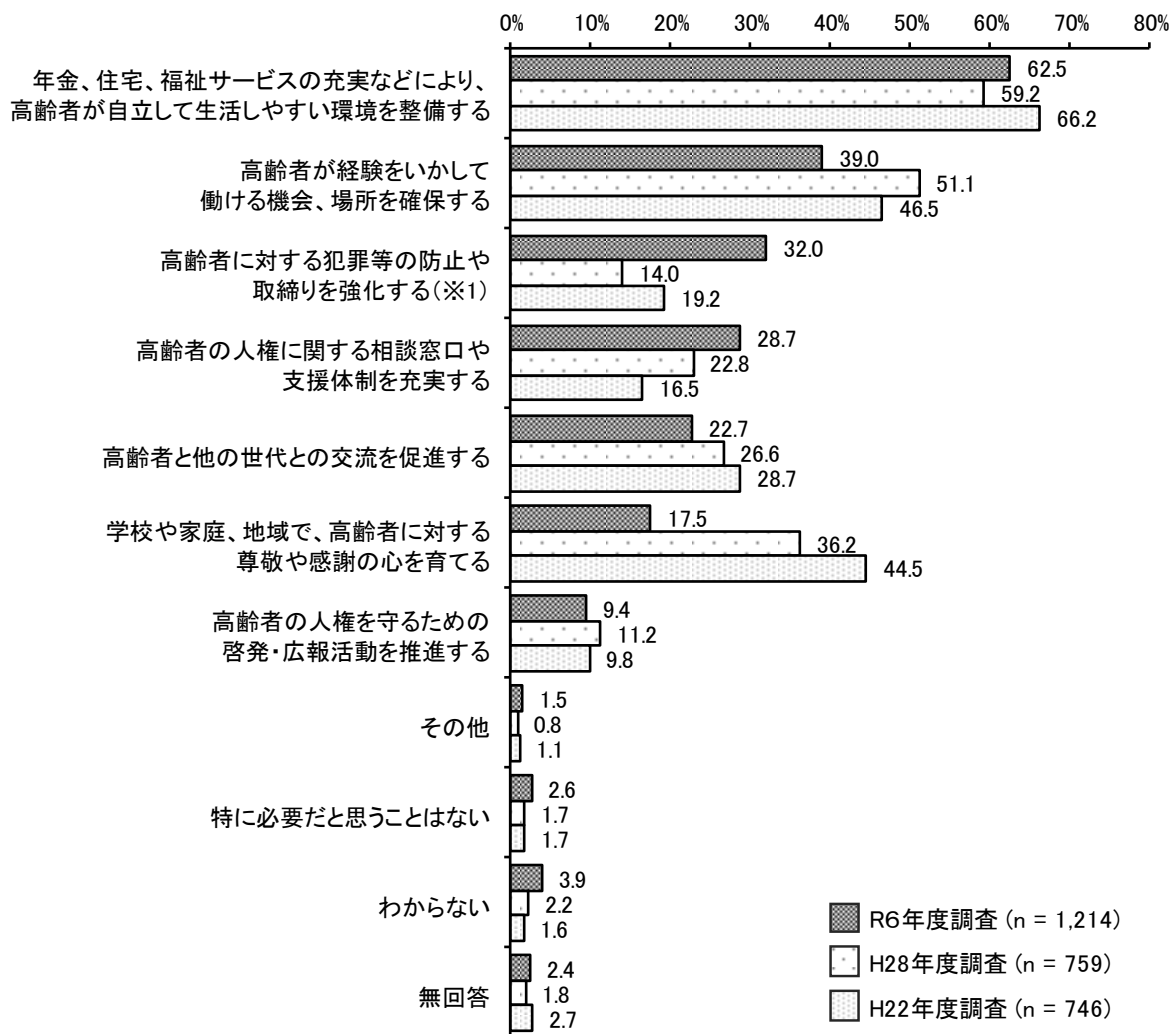


問13 高齢者の人権を尊重するために必要なことは、どのようなことだと思いますか。
(3つまで)

【全体/前回・前々回比較】

「年金、住宅、福祉サービスの充実などにより、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」が62.5%と最も高く、次いで「高齢者が経験をいかして働ける機会、場所を確保する」が39.0%、「高齢者に対する犯罪等の防止や取締りを強化する」が32.0%となっています。

前回調査（H28年度）と比較すると、同旨の「高齢者に対する犯罪等の防止や取締りを強化する」が前回（14.0%）より18.0ポイント増加しています。一方、「学校や家庭、地域で、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てる」が前回（36.2%）より18.7ポイント、「高齢者が経験をいかして働ける機会、場所を確保する」が前回（51.1%）より12.1ポイント、それぞれ減少しています。



※1：H28年度調査では「高齢者に対する犯罪の取締りを強化し、高齢者の人権を擁護する」でした。

【性別】

性別にみると、男女ともに「年金、住宅、福祉サービスの充実などにより、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」が最も高く、5割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	年金、住宅、福祉サービスの充実などにより、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する	高齢者が経験をいかして働ける機会、場所を確保する	高齢者に対する犯罪等の防止や取締りを強化する	高齢者の人権に関する相談窓口や支援体制を充実する	高齢者との世代との交流を促進する	学校や家庭、地域で、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てる	高齢者の人権を守るための啓発・広報活動を推進する	その他	特に必要だと思つてはない	わからない	無回答
男性	513	56.9	40.0	34.3	31.2	22.0	17.3	9.0	2.5	3.3	3.5	1.4
女性	685	66.7	38.2	30.9	26.7	23.1	17.7	9.6	0.6	2.0	4.2	2.9
その他	7	71.4	57.1	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	-	-	-

【年代別】

年代別にみると、いずれの年代においても「年金、住宅、福祉サービスの充実などにより、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」が最も高く、50歳代以上では6割を超えています。

単位：%

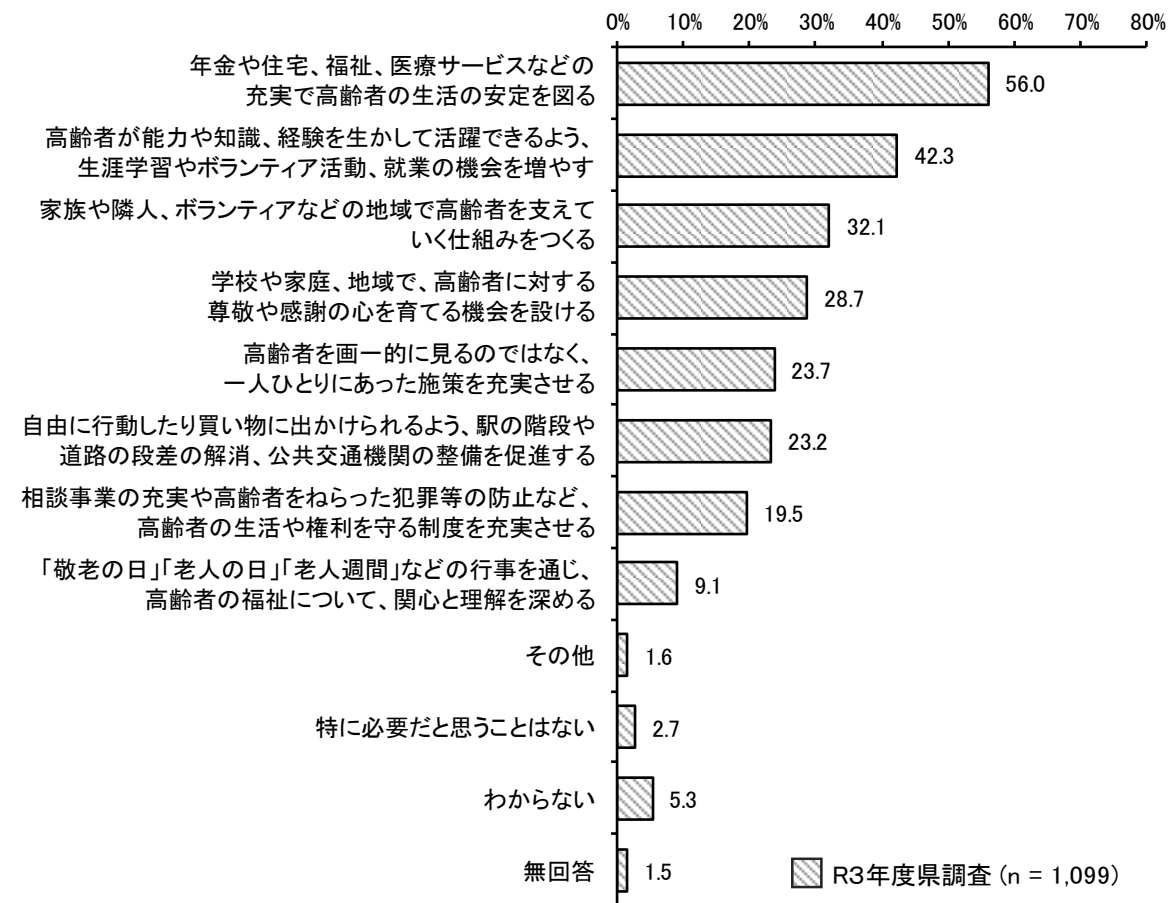
区分	有効回答数(件)	年金、住宅、福祉サービスの充実などにより、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する	高齢者が経験をいかして働ける機会、場所を確保する	高齢者に対する犯罪等の防止や取締りを強化する	高齢者の人権に関する相談窓口や支援体制を充実する	高齢者との世代との交流を促進する	学校や家庭、地域で、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てる	高齢者の人権を守るための啓発・広報活動を推進する	その他	特に必要だと思つてはない	わからない	無回答
10歳代	9	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1	-	-	-	-	11.1	-
20歳代	65	47.7	32.3	33.8	26.2	15.4	15.4	23.1	1.5	4.6	4.6	-
30歳代	93	50.5	37.6	35.5	24.7	23.7	10.8	8.6	4.3	3.2	4.3	2.2
40歳代	142	54.9	50.0	32.4	19.0	34.5	12.7	4.2	2.1	2.1	3.5	0.7
50歳代	186	60.8	47.3	31.7	33.9	21.5	11.3	7.5	2.2	3.8	3.2	1.1
60歳代	264	67.8	41.3	32.6	28.4	21.6	21.6	11.0	0.4	1.9	3.8	2.3
70歳以上	445	68.1	32.6	31.5	31.0	20.9	21.1	9.2	1.1	2.2	4.0	3.6

【県調査との比較】

県調査と比較すると、市では「年金、住宅、福祉サービスの充実などにより、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」、県では「年金や住宅、福祉、医療サービスなどの充実で高齢者の生活の安定を図る」と、市・県ともにサービスの充実による高齢者の生活環境の整備に関する項目が最も高くなっています。次いで、市では「高齢者が経験をいかして働ける機会、場所を確保する」、県では「高齢者が能力や知識、経験を生かして活躍できるよう、生涯学習やボランティア活動、就業の機会を増やす」と、市・県ともに高齢者の就業機会に関する項目が高くなっています。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 高齢者の人権を尊重するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで）



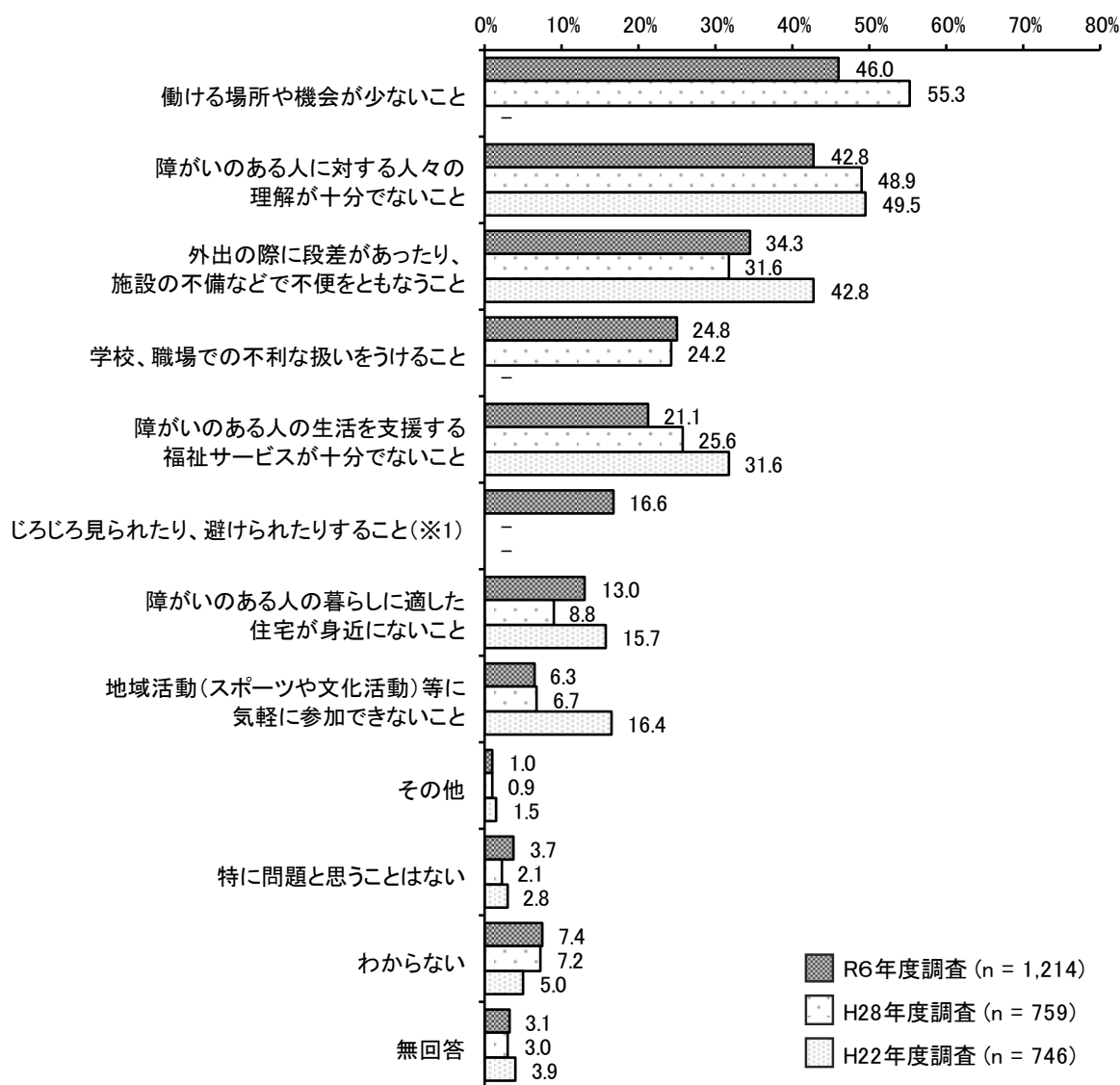
5 障がいのある人の人権について

問14 次にあげるもののうち、障がいのある人の人権について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

【全体/前回・前々回比較】

「働ける場所や機会が少ないこと」が46.0%と最も高く、次いで「障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと」が42.8%、「外出の際に段差があったり、施設の不備などで不便をとまなうこと」が34.3%となっています。

前回調査(H28年度)と比較すると、前回同様、「働ける場所や機会が少ないこと」が最も高く、次いで「障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと」が高くなっています。



※1：R6年度調査より選択肢を追加したため、前回・前々回調査との正確な比較はできません。

【性別】

性別にみると、男女ともに「働ける場所や機会が少ないこと」が最も高く、次いで「障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと」が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	働ける場所や機会が少ないこと	障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと	外出の際に段差があったり、施設の不備などで不便をとまなうこと	学校、職場での不利な扱いをうけること	障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと	じろしろ見られたり、避けられたりする	障がいのある人の暮らしに適した住宅が身近にないこと	地域活動(スポーツや文化活動)等に気軽に参加できないこと	その他	特に問題と想い()とほない	わからない	無回答
男性	513	48.3	41.5	34.5	25.0	19.3	16.2	12.3	6.6	1.6	4.3	7.0	1.8
女性	685	44.5	43.9	34.9	24.5	22.5	16.6	13.6	6.1	0.6	3.4	7.6	3.9
その他	7	28.6	42.9	-	57.1	28.6	42.9	-	-	-	-	14.3	-

【年代別】

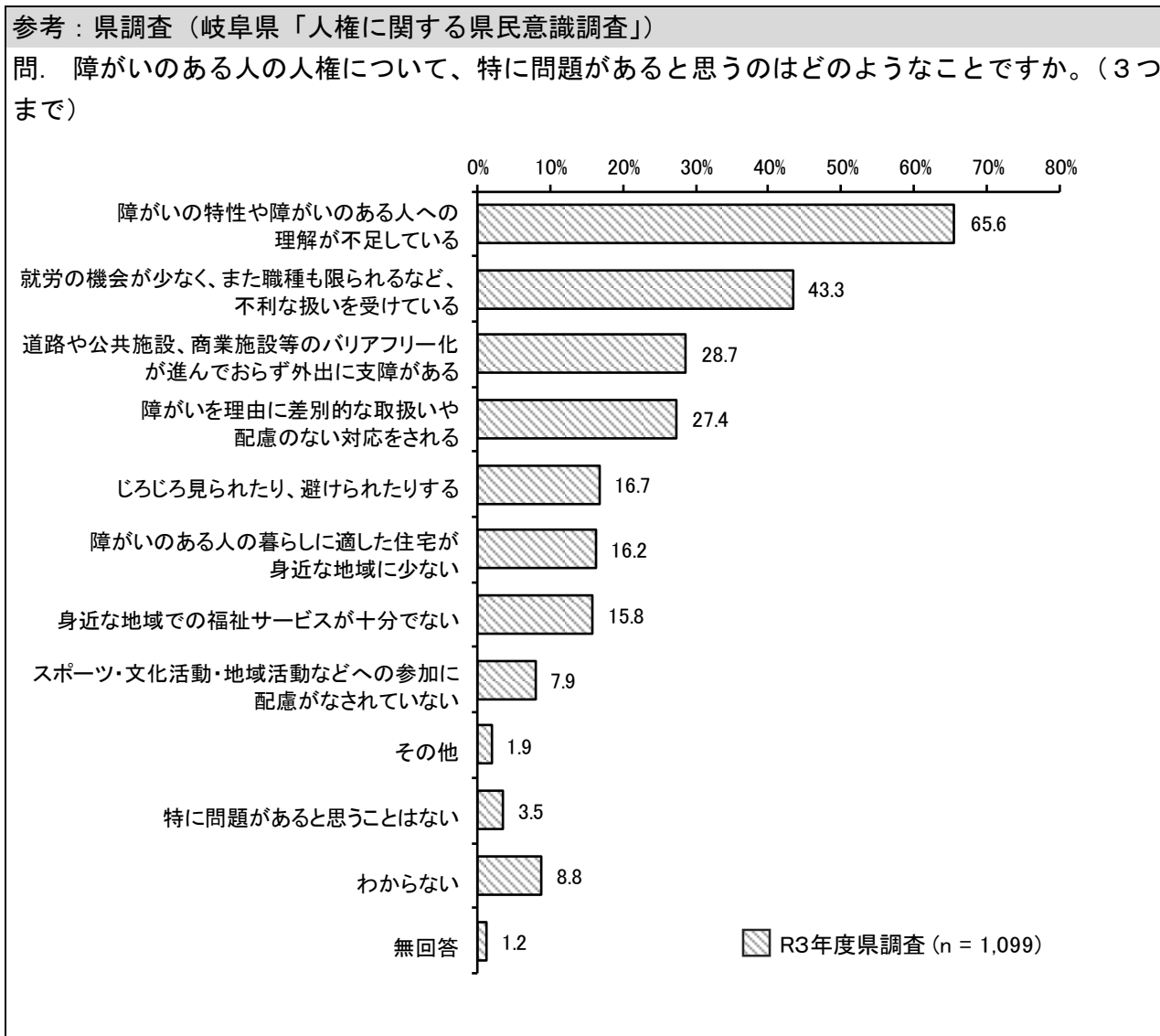
年代別にみると、30歳代を除くいずれの年代においても「働ける場所や機会が少ないこと」が最も高くなっています。(60歳代では「障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと」も同率。)30歳代では「障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと」が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	働ける場所や機会が少ないこと	障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと	外出の際に段差があったり、施設の不備などで不便をとまなうこと	学校、職場での不利な扱いをうけること	障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと	じろしろ見られたり、避けられたりする	障がいのある人の暮らしに適した住宅が身近にないこと	地域活動(スポーツや文化活動)等に気軽に参加できないこと	その他	特に問題と想い()とほない	わからない	無回答
10歳代	9	22.2	22.2	22.2	55.6	11.1	11.1	11.1	11.1	-	-	22.2	-
20歳代	65	53.8	33.8	29.2	40.0	18.5	27.7	12.3	7.7	-	6.2	4.6	-
30歳代	93	41.9	46.2	28.0	33.3	19.4	18.3	8.6	3.2	2.2	3.2	5.4	3.2
40歳代	142	54.9	47.2	27.5	33.1	21.1	20.4	7.7	2.8	0.7	1.4	5.6	-
50歳代	186	50.5	44.6	37.1	29.6	23.1	19.9	16.1	1.6	0.5	1.6	4.8	1.1
60歳代	264	49.2	49.2	37.9	17.4	23.1	14.0	13.6	6.1	0.8	3.8	8.0	2.3
70歳以上	445	40.0	38.2	36.0	20.0	20.4	13.7	13.9	9.9	1.3	5.2	9.2	5.6

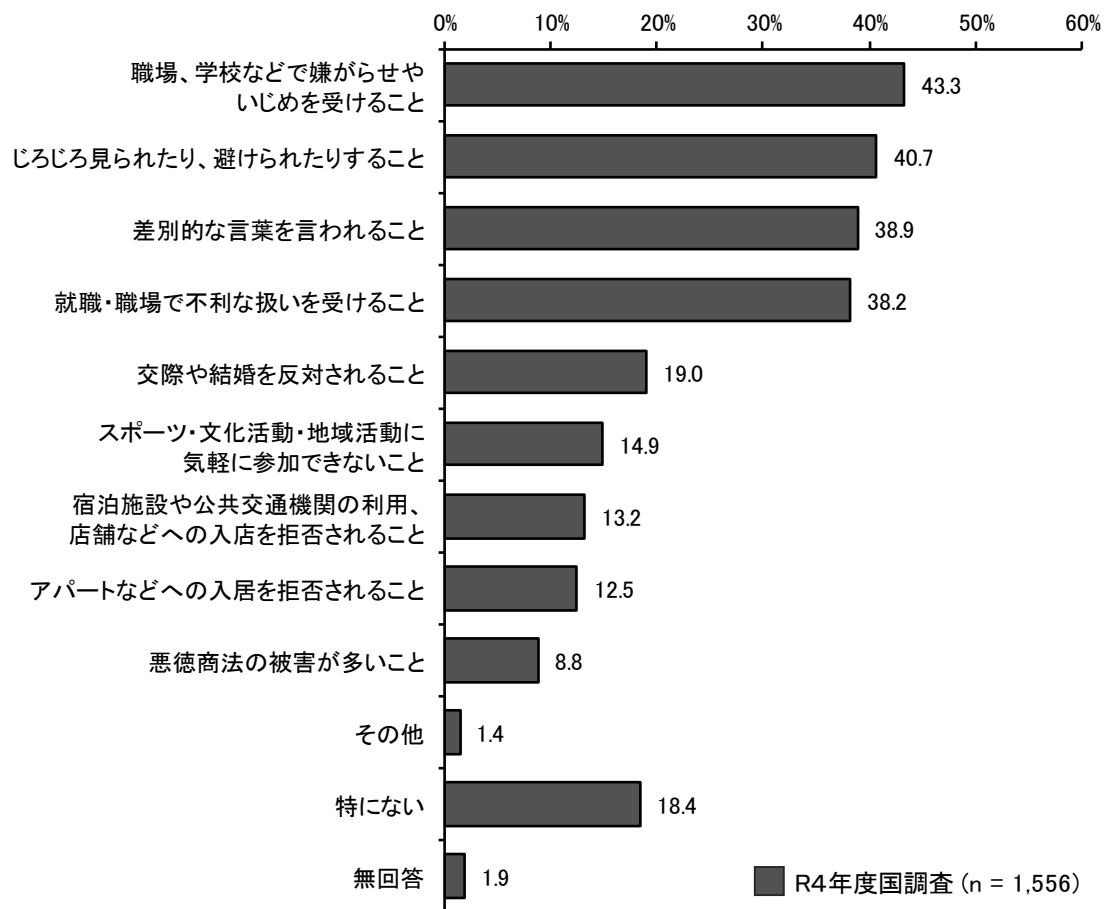
【県・国調査との比較】

県・国調査と比較すると、市では「働ける場所や機会が少ないこと」が最も高く、県では「障がいの特性や障がいのある人への理解が不足している」（市では同旨の項目が2位）、国では「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」（市では同旨の項目が4位）が最も高くなっています。



参考：国調査（内閣府「人権擁護に関する世論調査」）

問. あなたが、障害者に関し、体験したことや、身の回りで見聞きしたことで、人権問題だと思ったことはどのようなことですか。（いくつでも）

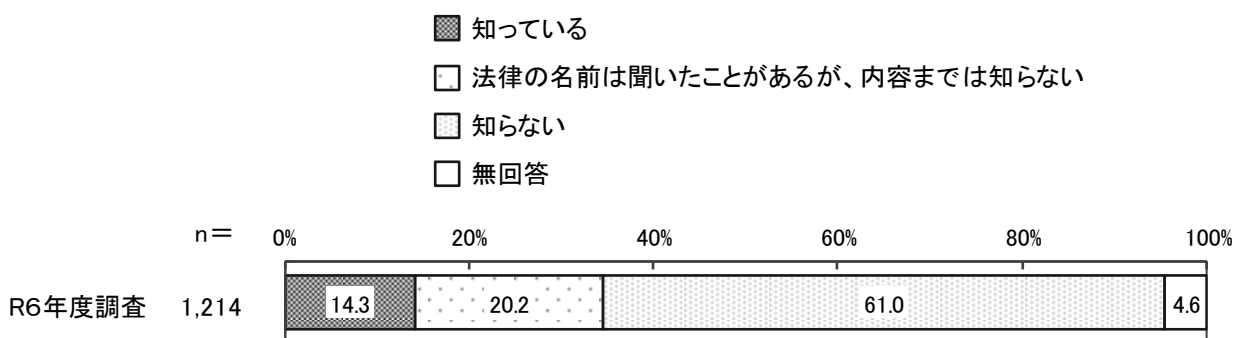


6 部落差別（同和問題）について

問15 あなたは、「部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）」を知っていますか。（1つだけ）

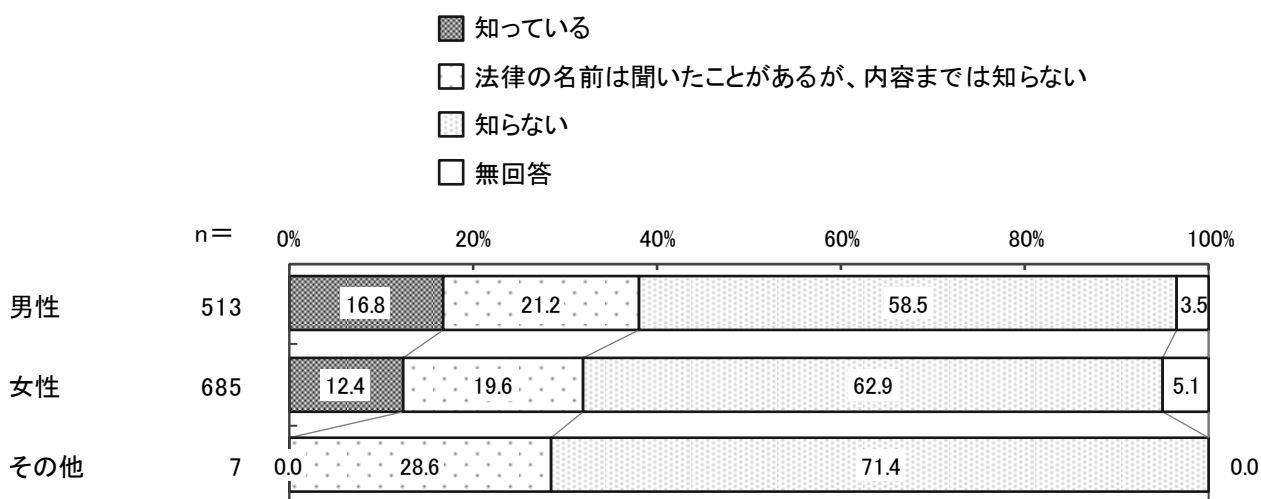
【全体】

「知らない」が61.0%と最も高く、次いで「法律の名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」が20.2%、「知っている」が14.3%となっています。



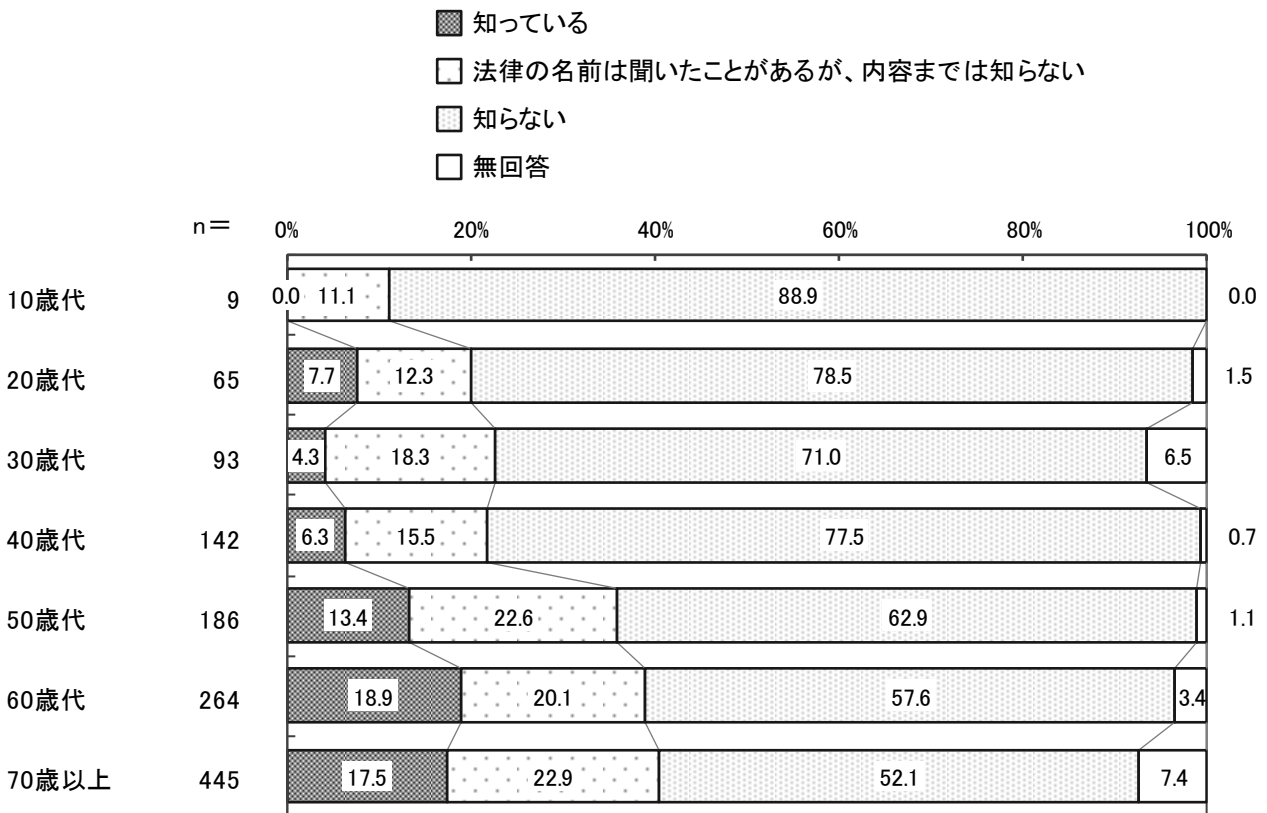
【性別】

性別にみると、男女ともに「知らない」が最も高く、約6割となっています。「知っている」では男性が16.8%、女性が12.4%と男性が女性より4.4ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、「知っている」が60歳代以上で他の年代に比べて高くなっています。

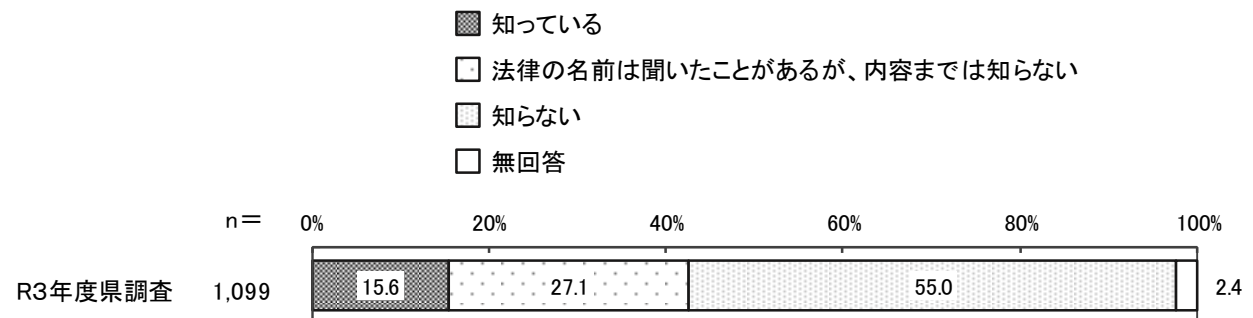


【県調査との比較】

県調査と比較すると、「知らない」は、市（61.0%）が県（55.0%）より6.0ポイント高くなっています。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

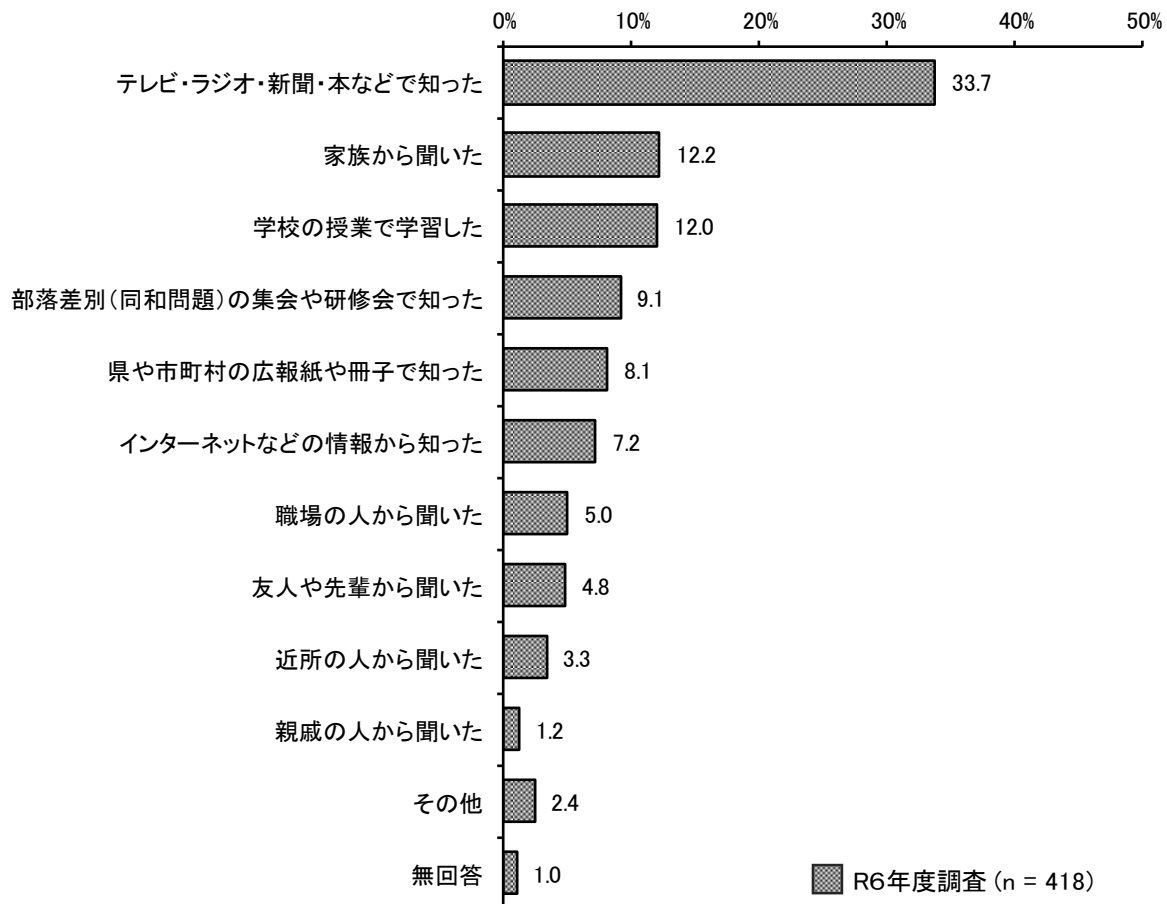
問. あなたは、「部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）」を知っていますか。（1つだけ）



問16 問15で「知っている」、「法律の名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」と回答された方にお聞きします。
この法律について、はじめて知ったきっかけ（場所や機会）は何ですか。（1つだけ）

【全体】

「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が33.7%と最も高く、次いで「家族から聞いた」が12.2%、「学校の授業で学習した」が12.0%となっています。



【性別】

性別にみると、男女ともに「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	家族から聞いた	学校の授業で学習した	部落差別(同和問題)の集会や研修会で知った	県や市町村の広報紙や冊子で知った	インターネットなどの情報から知った	職場の人から聞いた	友人や先輩から聞いた	近所の人から聞いた	親戚の人から聞いた	その他	無回答
男性	195	32.3	8.7	8.7	11.3	9.2	7.2	8.2	5.6	4.1	0.5	3.1	1.0
女性	219	35.2	15.5	15.1	7.3	7.3	5.9	2.3	4.1	2.7	1.8	1.8	0.9
その他	2	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-

【年代別】

年代別にみると、20歳代では「学校の授業で学習した」が最も高く、5割を超えています。また、30歳代では「インターネットなどの情報から知った」、40歳代以上では「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が最も高くなっています。

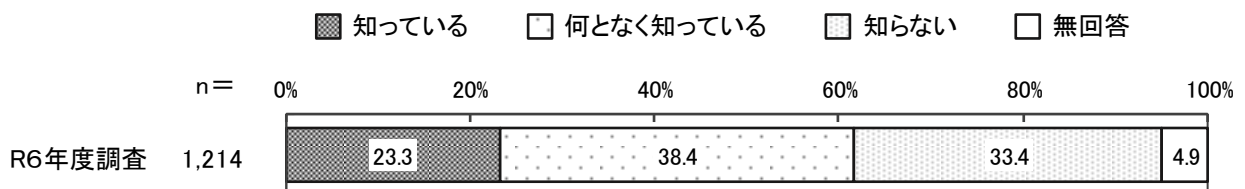
単位：％

区分	有効回答数(件)	テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	家族から聞いた	学校の授業で学習した	部落差別(同和問題)の集会や研修会で知った	県や市町村の広報紙や冊子で知った	インターネットなどの情報から知った	職場の人から聞いた	友人や先輩から聞いた	近所の人から聞いた	親戚の人から聞いた	その他	無回答
10歳代	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	13	15.4	7.7	53.8	-	-	23.1	-	-	-	-	-	-
30歳代	21	14.3	14.3	14.3	4.8	-	28.6	9.5	4.8	4.8	-	4.8	-
40歳代	31	25.8	16.1	16.1	3.2	-	12.9	9.7	3.2	3.2	3.2	6.5	-
50歳代	67	34.3	6.0	11.9	10.4	9.0	11.9	9.0	3.0	1.5	-	3.0	-
60歳代	103	32.0	11.7	14.6	12.6	7.8	2.9	5.8	4.9	5.8	1.0	1.0	-
70歳以上	180	39.4	14.4	6.1	8.9	11.1	2.8	2.2	6.1	2.8	1.7	2.2	2.2

問17 部落差別（同和問題）といわれているものがどういう内容のものか知っていますか。
（1つだけ）

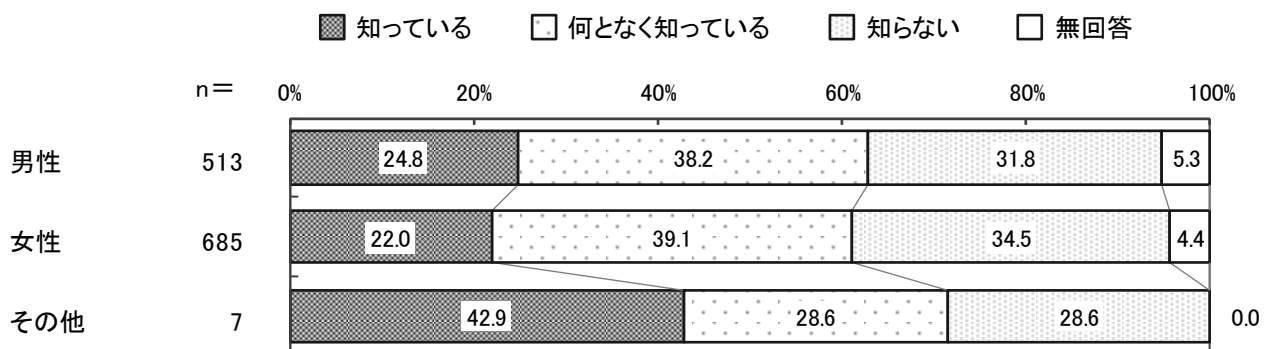
【全体】

「何となく知っている」が38.4%と最も高く、次いで「知らない」が33.4%、「知っている」が23.3%となっています。また、「知っている」と「何となく知っている」を合わせた“知っている”は61.7%となっています。



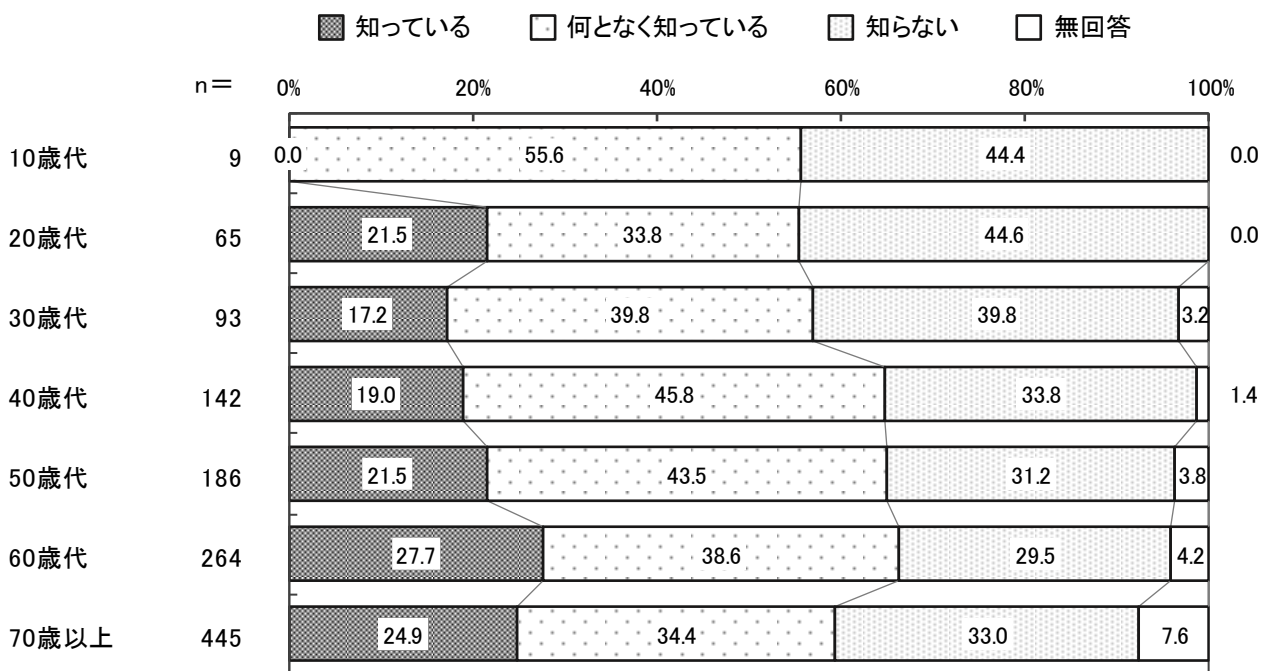
【性別】

性別にみると、男女ともに「何となく知っている」が最も高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、20歳代では「知らない」が最も高くなっています。“知っている”は、40～60歳代で6割を超えています。

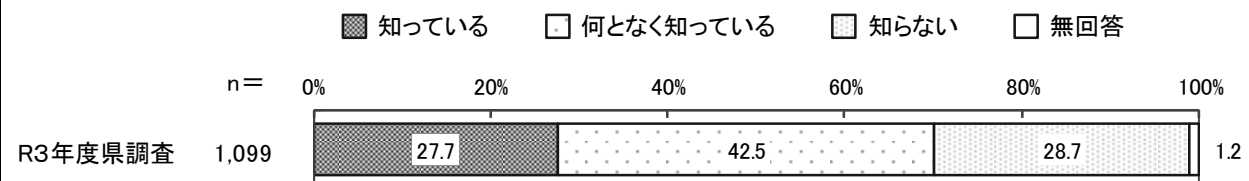


【県調査との比較】

県調査と比較すると、“知っている”は、市（61.7%）が県（70.2%）より8.5ポイント低くなっています。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

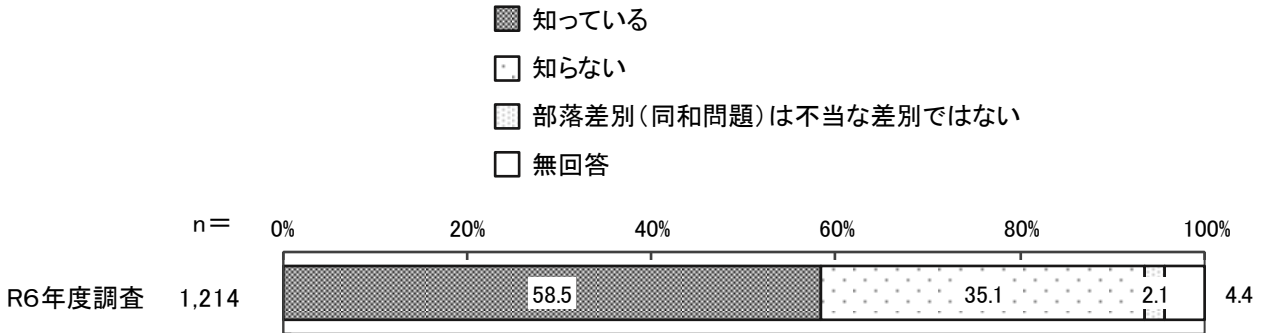
問. 部落差別又は同和問題といわれているものがどういう内容のものか知っていますか。（1つだけ）



問18 部落差別（同和問題）が不当な差別であるのを知っていますか。（1つだけ）

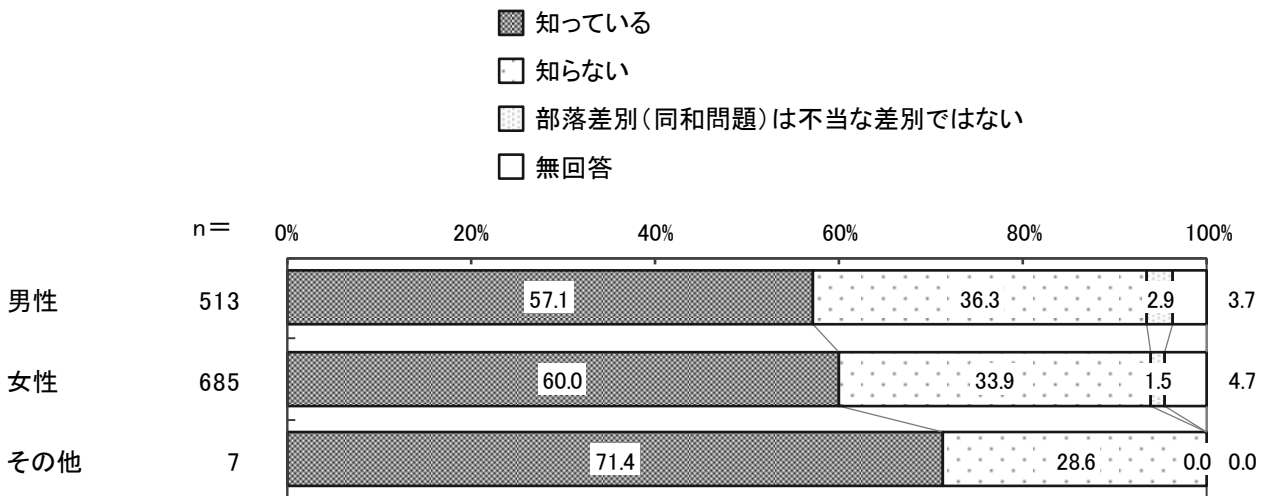
【全体】

「知っている」が58.5%と最も高く、次いで「知らない」が35.1%、「部落差別（同和問題）は不当な差別ではない」が2.1%となっています。



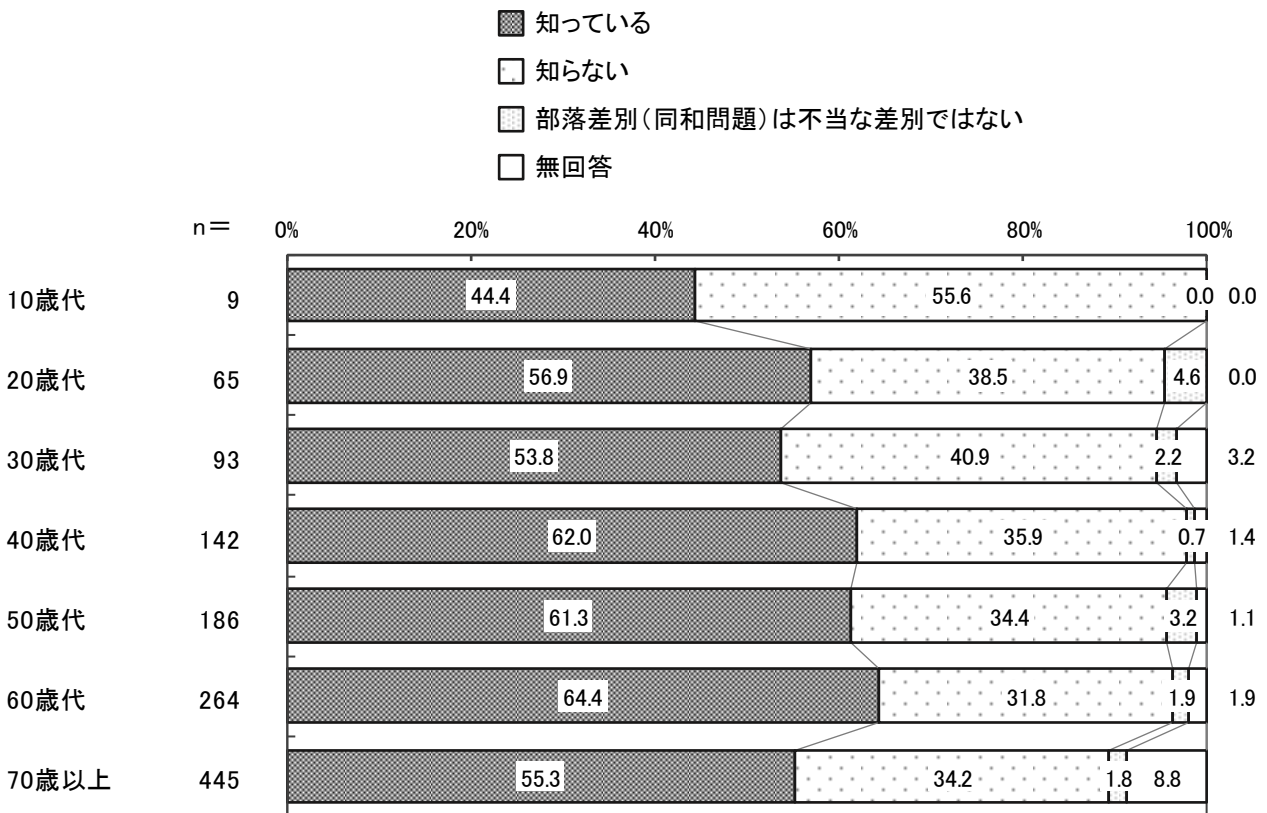
【性別】

性別にみると、男女ともに「知っている」が最も高く、約6割となっています。



【年代別】

年代別にみると、いずれの年代においても「知っている」が最も高く、40～60歳代で6割を超えています。

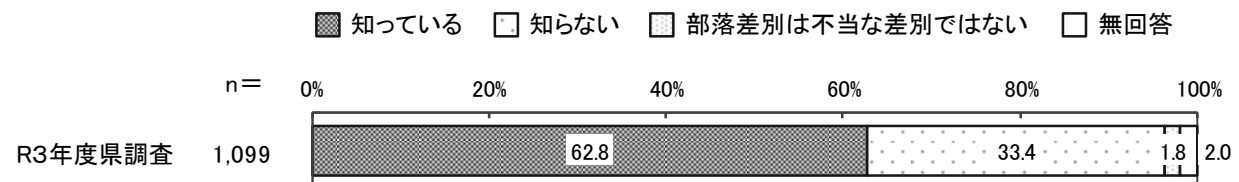


【県調査との比較】

県調査と比較すると、傾向に大きな違いはありません。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 部落差別が不当な差別であるのを知っていますか。（1つだけ）

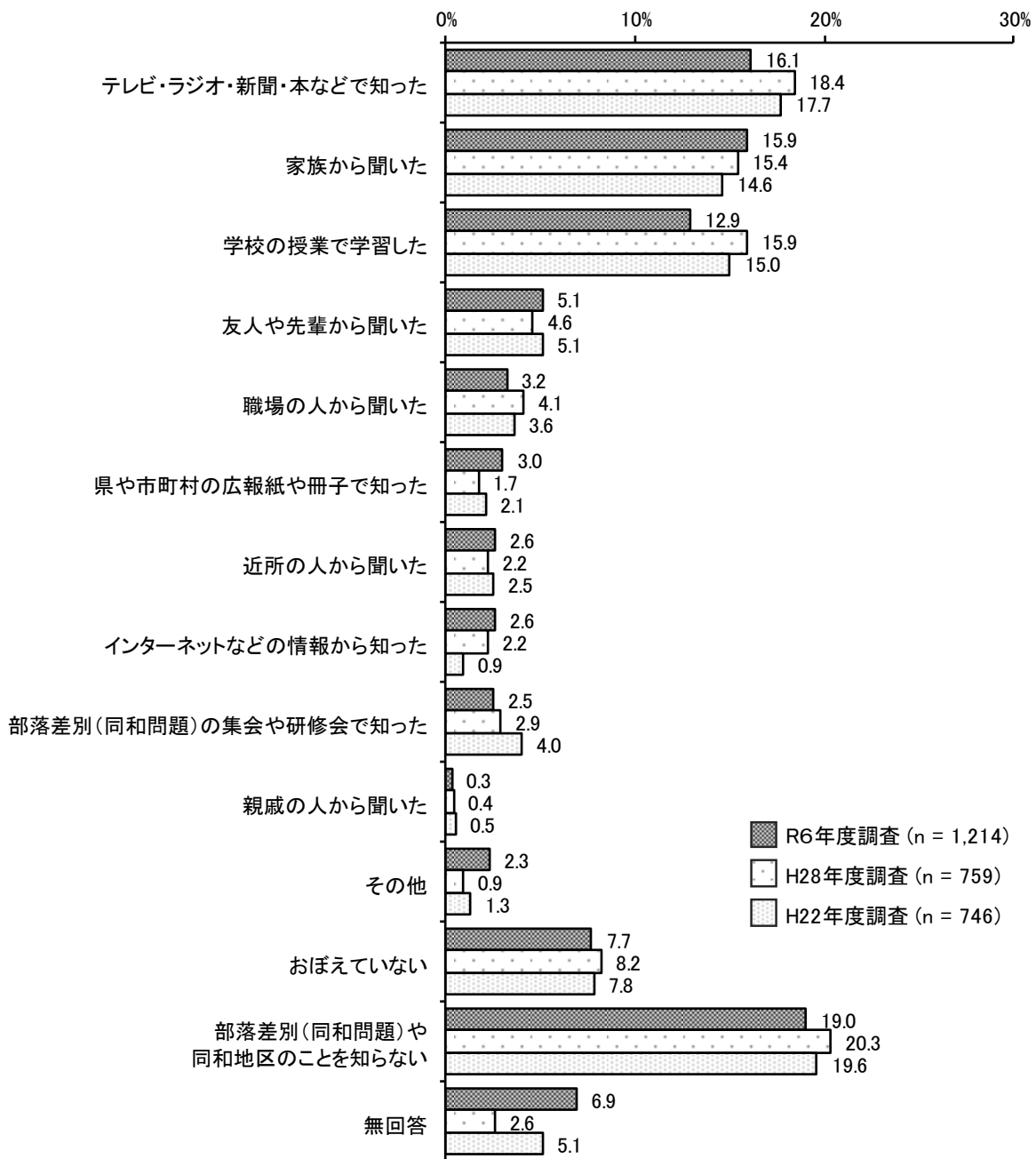


問19 あなたが部落差別（同和問題）や同和地区について、はじめて知ったきっかけは何ですか。（1つだけ）

【全体/前回・前々回比較】

「部落差別（同和問題）や同和地区のことを知らない」が19.0%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が16.1%、「家族から聞いた」が15.9%となっています。

前回調査（H28年度）と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、男性では「部落差別（同和問題）や同和地区のことを知らない」、女性では「家族から聞いた」が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	家族から聞いた	学校の授業で学習した	友人や先輩から聞いた	職場の人から聞いた	県や市町村の広報紙や冊子で知った	近所の人から聞いた	インターネットなどの情報から知った	集会や研修会で知った	部落差別(同和問題)の集会や研修会で知った	親戚の人から聞いた	その他	おぼえていない	部落差別(同和問題)や同和地区のことを知らない	無回答
男性	513	17.3	11.1	11.5	7.2	5.5	3.7	2.7	2.9	2.5	0.2	2.5	8.4	18.7	5.7	
女性	685	15.3	19.6	13.7	3.6	1.6	2.5	2.3	2.5	2.5	0.4	2.2	7.2	19.1	7.4	
その他	7	14.3	14.3	28.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28.6	14.3	

【年代別】

年代別にみると、20～30歳代では「部落差別（同和問題）や同和地区のことを知らない」（20～30歳代は「学校の授業で学習した」が2位）、40～50歳代では「学校の授業で学習した」（50歳代は「部落差別（同和問題）や同和地区のことを知らない」も同率）、60歳代では「家族から聞いた」、70歳以上では「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が最も高くなっています。

単位：％

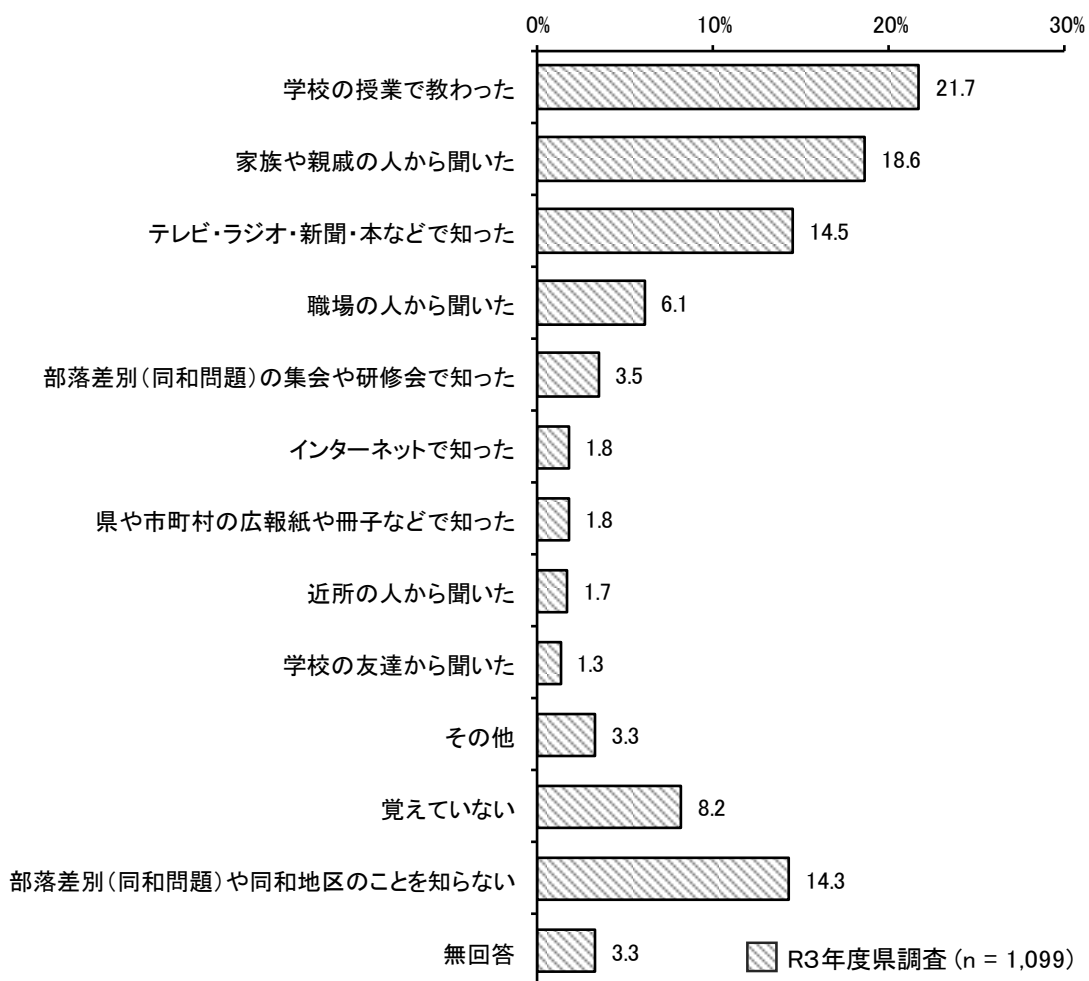
区分	有効回答数(件)	テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	家族から聞いた	学校の授業で学習した	友人や先輩から聞いた	職場の人から聞いた	県や市町村の広報紙や冊子で知った	近所の人から聞いた	インターネットなどの情報から知った	集会や研修会で知った	部落差別(同和問題)の集会や研修会で知った	親戚の人から聞いた	その他	おぼえていない	部落差別(同和問題)や同和地区のことを知らない	無回答
10歳代	9	-	-	44.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.2	33.3	-
20歳代	65	9.2	10.8	26.2	-	-	1.5	-	7.7	-	-	-	-	9.2	33.8	1.5
30歳代	93	8.6	10.8	16.1	3.2	5.4	2.2	3.2	7.5	-	-	1.1	4.3	29.0	8.6	
40歳代	142	9.9	15.5	25.4	3.5	4.2	1.4	1.4	5.6	1.4	-	0.7	4.2	23.9	2.8	
50歳代	186	14.5	12.9	20.4	4.8	3.8	2.2	0.5	2.7	2.7	0.5	1.6	8.1	20.4	4.8	
60歳代	264	14.0	22.3	11.7	5.7	3.8	3.4	1.9	1.1	4.2	0.4	3.0	8.0	16.7	3.8	
70歳以上	445	22.9	15.7	3.1	6.7	2.5	4.0	4.3	0.9	2.7	0.4	3.4	8.5	13.7	11.0	

【県・国調査との比較】

県・国調査と比較すると、市では「部落差別（同和問題）や同和地区のことを知らない」が県・国より高い傾向がみられます。また、きっかけの内容については、「覚えていない」「知らない」を除き、市・県・国ともに上位3項目が「学校の授業」、「家族」、「テレビ・ラジオ」となっています。

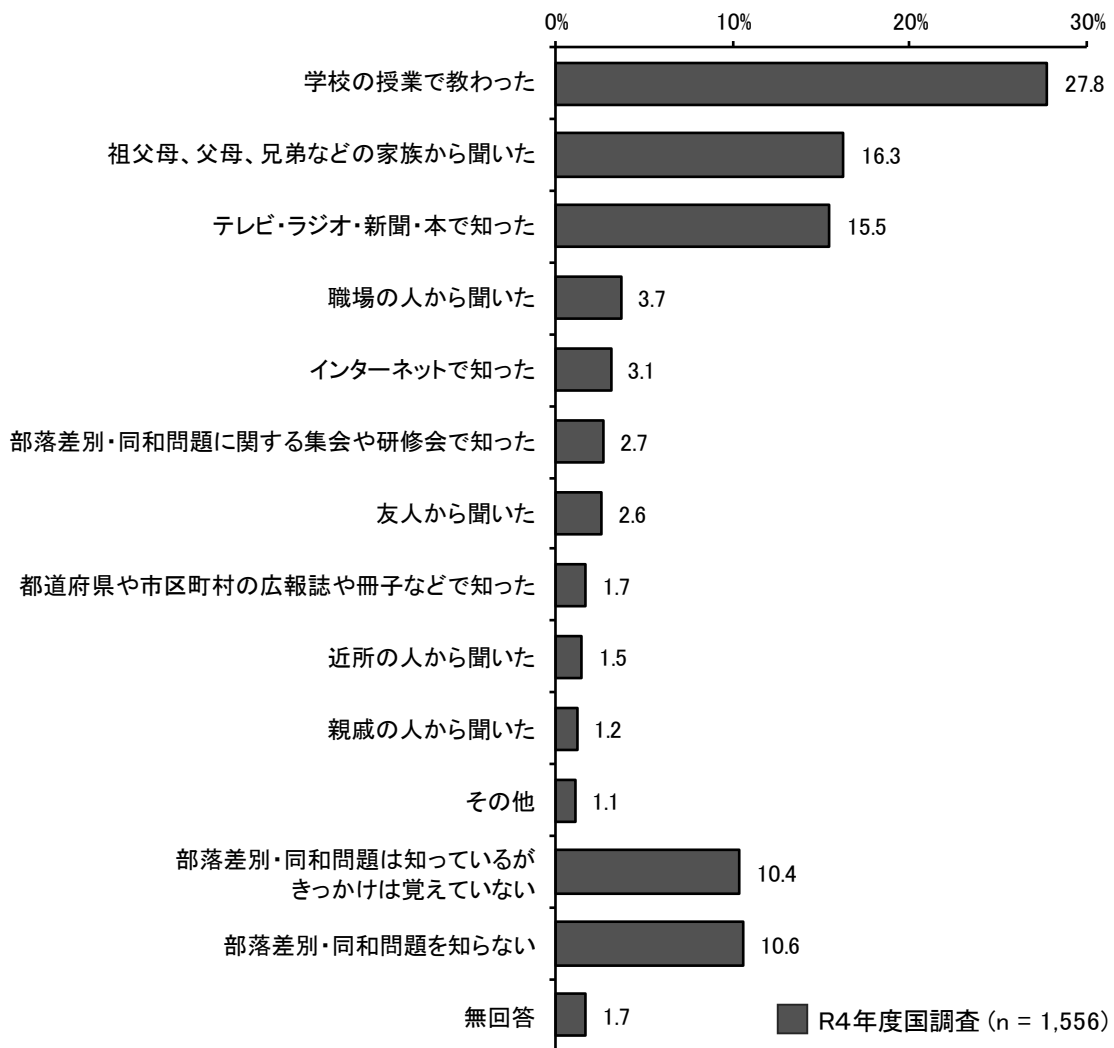
参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. あなたが部落差別（同和問題）や同和地区について、はじめて知ったきっかけは何ですか。（1つだけ）



参考：国調査（内閣府「人権擁護に関する世論調査」）

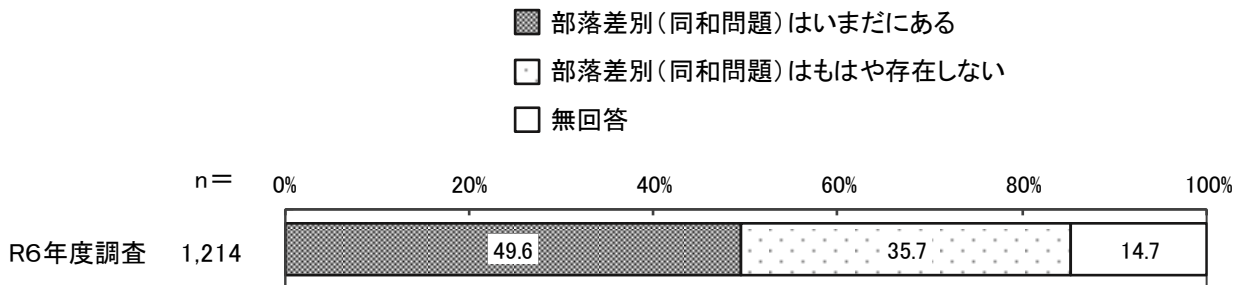
問. あなたが、部落差別・同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。（1つだけ）



問20 現在でも部落差別（同和問題）があると思いますか。（1つだけ）

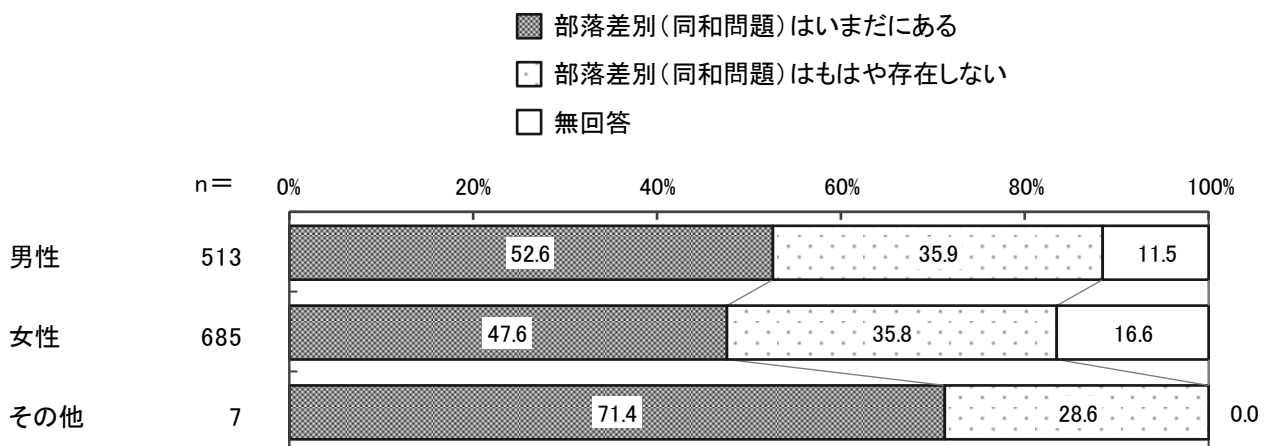
【全体】

「部落差別（同和問題）はいまだにある」が49.6%、「部落差別（同和問題）はもはや存在しない」が35.7%となっています。



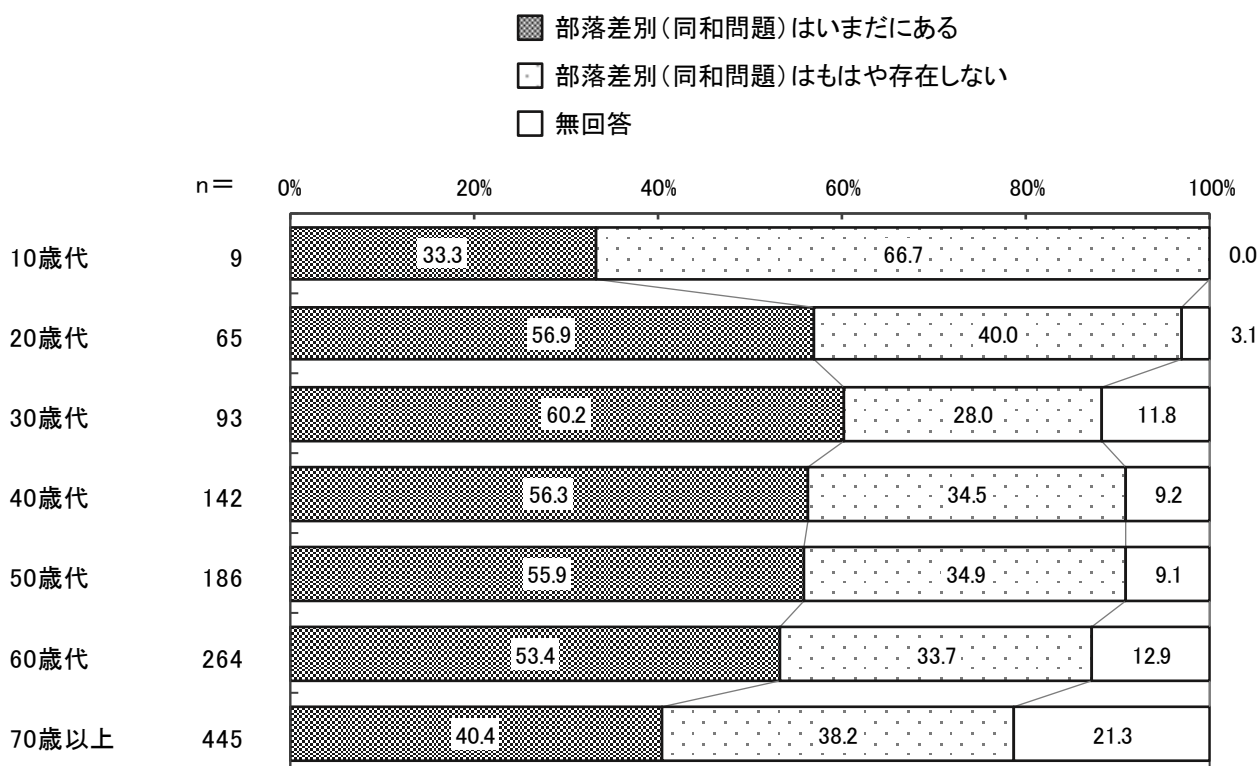
【性別】

性別にみると、「部落差別（同和問題）はいまだにある」は、男性が52.6%、女性が47.6%と男性が女性より5.0ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、いずれの年代においても「部落差別（同和問題）はいまだにある」が最も高く、20～60歳代で5割を超えています。

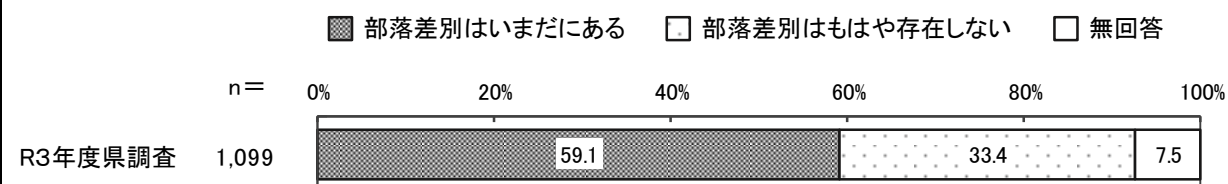


【県調査との比較】

県調査と比較すると、「部落差別はいまだにある」は、市（49.6%）が県（59.1%）より9.5ポイント低くなっています。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

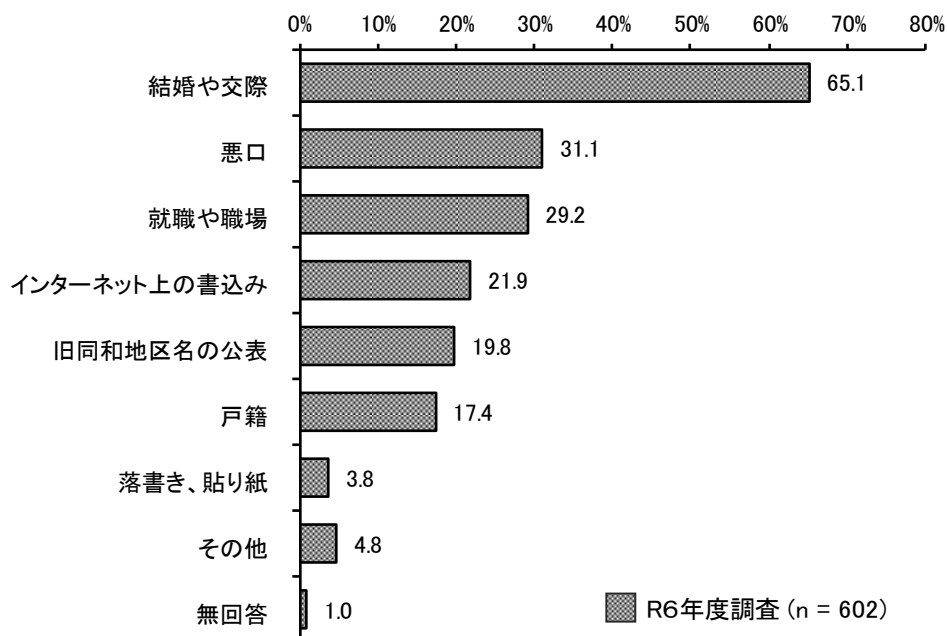
問. 現在でも部落差別があると思いますか。（1つだけ）



問21 問20で「部落差別（同和問題）はいまだにある」と回答された方にお聞きします。
 どのような場面、事例で部落差別（同和問題）はあると思いますか。（いくつでも）

【全体】

「結婚や交際」が65.1%と最も高く、次いで「悪口」が31.1%、「就職や職場」が29.2%となっています。



【性別】

性別にみると、男女ともに「結婚や交際」が最も高く、男性が59.3%、女性が70.2%と女性が男性より10.9ポイント高くなっています。「インターネット上の書込み」では、男性が女性より7.2ポイント高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	結婚や交際	悪口	就職や職場	インターネット上の書込み	旧同和地区名の公表	戸籍	落書き、貼り紙	その他	無回答
男性	270	59.3	30.7	31.5	25.9	21.1	18.9	4.4	4.8	1.9
女性	326	70.2	31.0	27.3	18.7	19.0	16.6	3.1	4.3	0.3
その他	5	40.0	60.0	40.0	20.0	-	-	20.0	40.0	-

【年代別】

年代別にみると、いずれの年代においても「結婚や交際」が最も高く、40歳代以上で6割を超えています。

単位：％

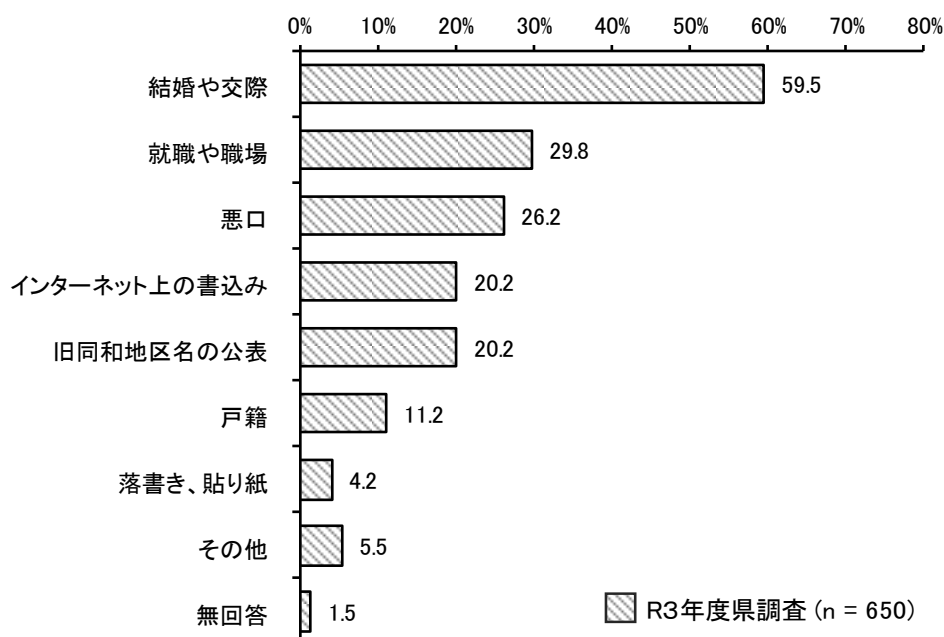
区分	有効回答数(件)	結婚や交際	悪口	就職や職場	インターネット上の書込み	旧同和地区名の公表	戸籍	落書き、貼り紙	その他	無回答
10歳代	3	33.3	-	66.7	-	-	33.3	-	-	-
20歳代	37	51.4	35.1	40.5	48.6	13.5	27.0	5.4	-	-
30歳代	56	55.4	35.7	26.8	35.7	14.3	17.9	3.6	10.7	-
40歳代	80	66.3	31.3	30.0	33.8	16.3	16.3	5.0	2.5	-
50歳代	104	64.4	32.7	29.8	19.2	15.4	14.4	5.8	9.6	1.0
60歳代	141	69.5	28.4	34.8	20.6	26.2	19.1	5.7	2.8	1.4
70歳以上	180	67.8	30.6	22.2	10.0	22.2	16.1	0.6	3.9	1.7

【県調査との比較】

県調査と比較すると、市・県ともに「結婚や交際」が最も高くなっています。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問.「部落差別はいまだにある」を選択された方にお聞きします。どのような場面、事例で部落差別はありますか。（いくつでも）



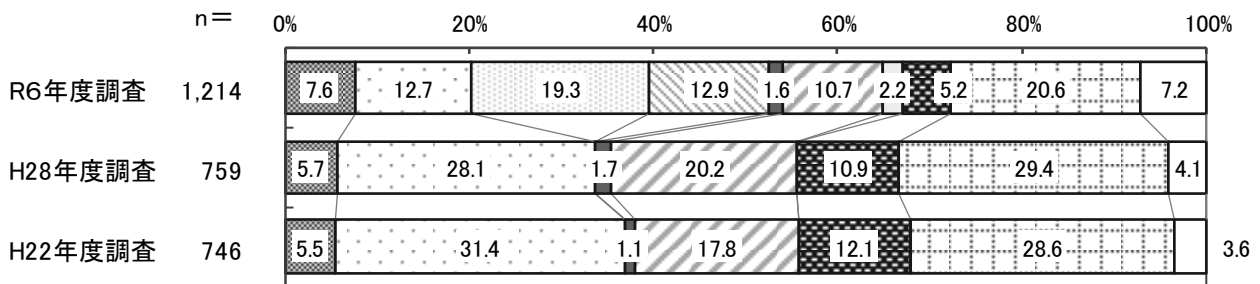
問22 部落差別（同和問題）に対するあなたの考え方として、一番近いものはどれですか。（1つだけ）

【全体/前回・前々回比較】

「わからない」が20.6%と最も高く、次いで「国や自治体の取組みに、できる範囲で協力したい」が19.3%、「部落差別（同和問題）の現状について、もっと知りたい」が12.9%となっています。

前回調査（H28年度）と比較すると、前回同様、「わからない」が最も高くなっています。

- 難しい問題なので、できるだけ避けていきたい
- 人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい
- ▨ 国や自治体の取組みに、できる範囲で協力したい(※1)
- ▩ 部落差別(同和問題)の現状について、もっと知りたい(※2)
- 同和地区の人々の問題であり、自分には関係ない
- ▨ あまりさわがずそっとしておけばよい
- その他(※3)
- 特に関心はない
- ▨ わからない
- 無回答

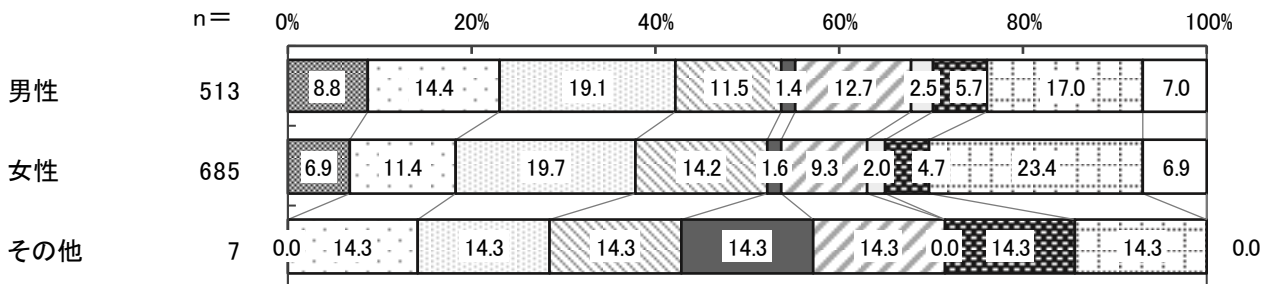


※1～※3：R6年度調査より選択肢を追加したため、前回・前々回調査との正確な比較はできません。

【性別】

性別にみると、男性では「国や自治体の取組みに、できる範囲で協力したい」、女性では「わからない」が最も高くなっています。

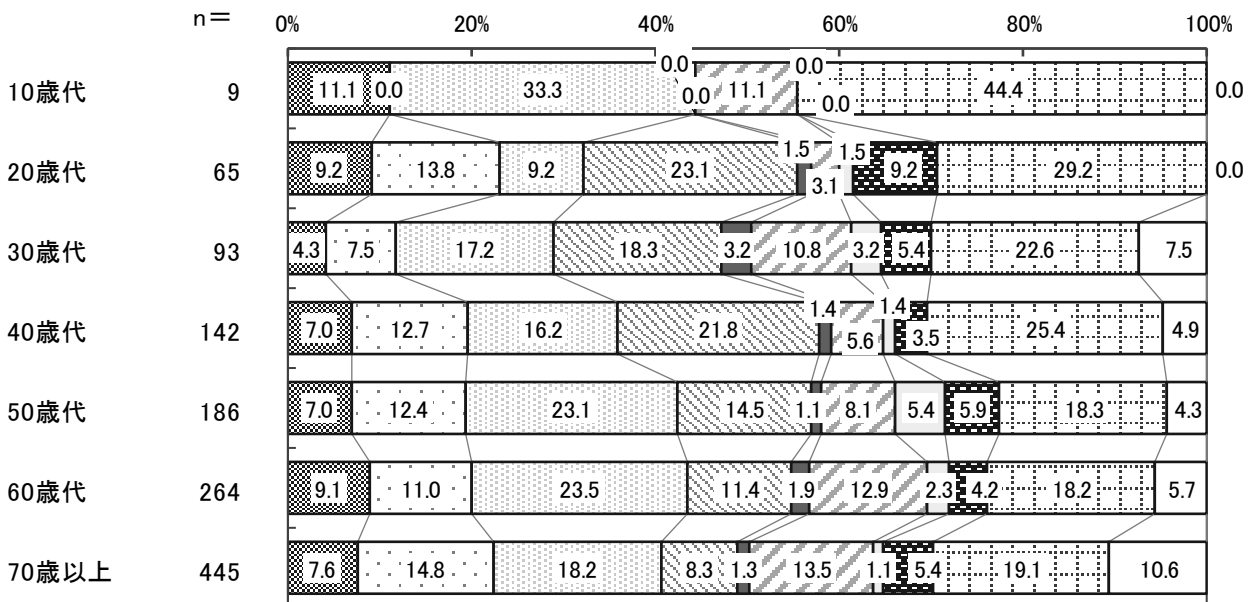
- 難しい問題なので、できるだけ避けていきたい
- 人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい
- 国や自治体の取組みに、できる範囲で協力したい
- ▨ 部落差別(同和問題)の現状について、もっと知りたい
- 同和地区の人々の問題であり、自分には関係ない
- ▨ あまりさわがずそっとしておけばよい
- その他
- ▨ 特に興味はない
- わからない
- 無回答



【年代別】

年代別にみると、20～40 歳代、70 歳以上では「わからない」、50～60 歳代では「国や自治体の取組みに、できる範囲で協力したい」が最も高くなっています。

- 難しい問題なので、できるだけ避けていきたい
- 人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい
- 国や自治体の取組みに、できる範囲で協力したい
- ▨ 部落差別(同和問題)の現状について、もっと知りたい
- 同和地区の人々の問題であり、自分には関係ない
- ▨ あまりさわがずそっとしておけばよい
- その他
- ▨ 特に関心はない
- ▨ わからない
- 無回答



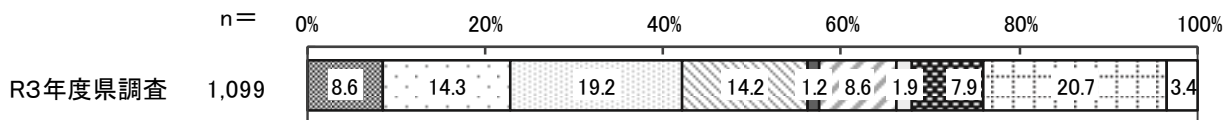
【県調査との比較】

県調査と比較すると、市・県ともに「わからない」を除くと、「国や自治体の取組みに、できる範囲で協力したい」が最も高くなっています。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 部落差別（同和問題）について、あなたはどのように考えますか。（考え方にいちばん近いもの1つだけ）

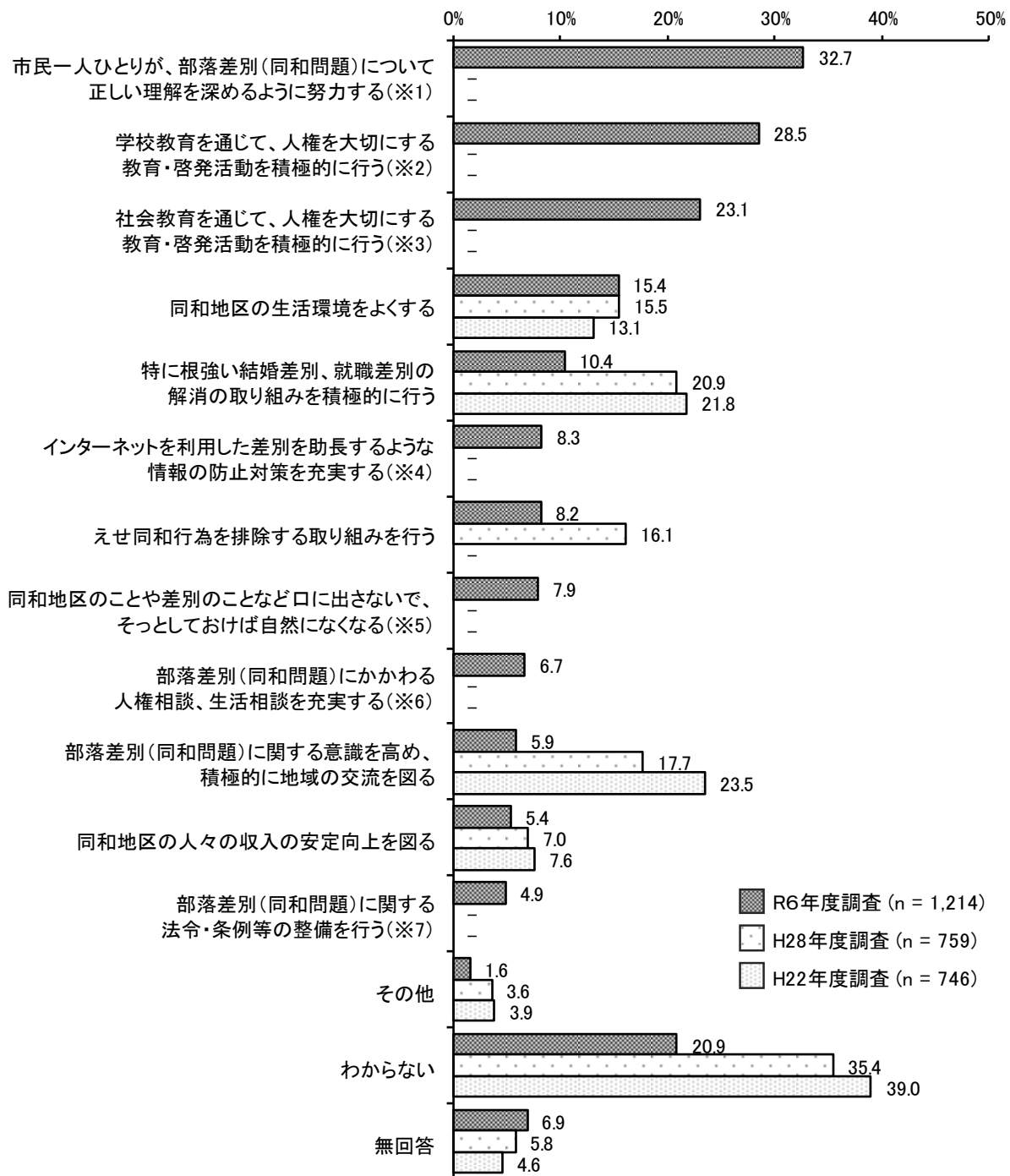
- とても難しい問題なので、できるだけ避けていきたい
- 人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい
- 国や自治体の取組みに、できる範囲で協力したい
- 部落差別の現状について、もっと知りたい
- 同和地区の人々の問題であり、自分には関係ない
- あまりさわがずそっとしておけばよい
- その他
- 特に関心はない
- わからない
- 無回答



問23 あなたは、今後の部落差別（同和問題）についてどのような取り組みが重要だと思いますか。（3つまで）

【全体】

「市民一人ひとりが、部落差別（同和問題）について正しい理解を深めるように努力する」が32.7%と最も高く、次いで「学校教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う」が28.5%、「社会教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う」が23.1%となっています。



※本設問は、選択肢の内容を大きく変更したため、前回・前々回比較の調査結果は参考として掲載しています。(※1～※7は、R6年度調査より追加した選択肢です。)

【性別】

性別にみると、男性では「学校教育を通じて、人権を大切にす教育・啓発活動を積極的に行う」が最も高くなっています。女性では「市民一人ひとりが、部落差別（同和問題）について正しい理解を深めるように努力する」が最も高く、男性より7.1ポイント高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	市民一人ひとりが、部落差別（同和問題）について正しい理解を深めるように努力する	学校教育を通じて、人権を大切にす教育・啓発活動を積極的に行う	社会教育を通じて、人権を大切にす教育・啓発活動を積極的に行う	同和地区の生活環境をよくする	特に根強い結婚差別、就職差別の解消の取り組みを積極的に行う	インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	えせ同和行為を排除する取り組みを行う	同和地区のこども差別のこどもど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる
男性	513	28.8	30.2	24.6	17.5	9.7	6.4	12.7	9.0
女性	685	35.9	27.6	22.5	14.0	11.1	9.6	5.0	7.3
その他	7	28.6	14.3	14.3	-	-	14.3	14.3	-

区分	有効回答数(件)	部落差別（同和問題）にかかわる人権相談、生活相談を充実する	部落差別（同和問題）に関する意識を高め、積極的に地域の交流を図る	同和地区の人々の収入の安定向上を図る	部落差別（同和問題）に関する法令・条例等の整備を行う	その他	わからない	無回答
男性	513	6.2	6.0	5.1	4.5	2.3	20.1	6.0
女性	685	7.2	5.8	5.4	5.1	1.0	21.5	7.2
その他	7	-	-	-	14.3	14.3	28.6	-

【年代別】

年代別にみると、20歳代では「同和地区の生活環境をよくする」、30歳代では「学校教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う」、40歳代以上では「市民一人ひとりが、部落差別（同和問題）について正しい理解を深めるように努力する」が最も高くなっています

単位：%

区分	有効回答数(件)	市民一人ひとりが、部落差別(同和問題)について正しい理解を深めるように努力する	学校教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う	社会教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う	同和地区の生活環境をよくする	特に根強い結婚差別、就職差別の解消の取り組みを積極的に行う	インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	えせ同和行為を排除する取り組みを行う	同和地区の「ごち差別の」ごなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる
10歳代	9	-	22.2	-	22.2	-	22.2	11.1	-
20歳代	65	21.5	18.5	24.6	30.8	6.2	13.8	4.6	7.7
30歳代	93	30.1	33.3	17.2	12.9	10.8	12.9	6.5	7.5
40歳代	142	34.5	24.6	20.4	14.1	7.0	7.7	8.5	3.5
50歳代	186	30.1	28.0	21.0	17.2	17.7	5.4	11.8	5.4
60歳代	264	37.9	31.4	27.3	12.9	10.2	10.6	10.6	8.3
70歳以上	445	33.3	29.2	24.5	14.6	9.4	6.3	6.3	10.6

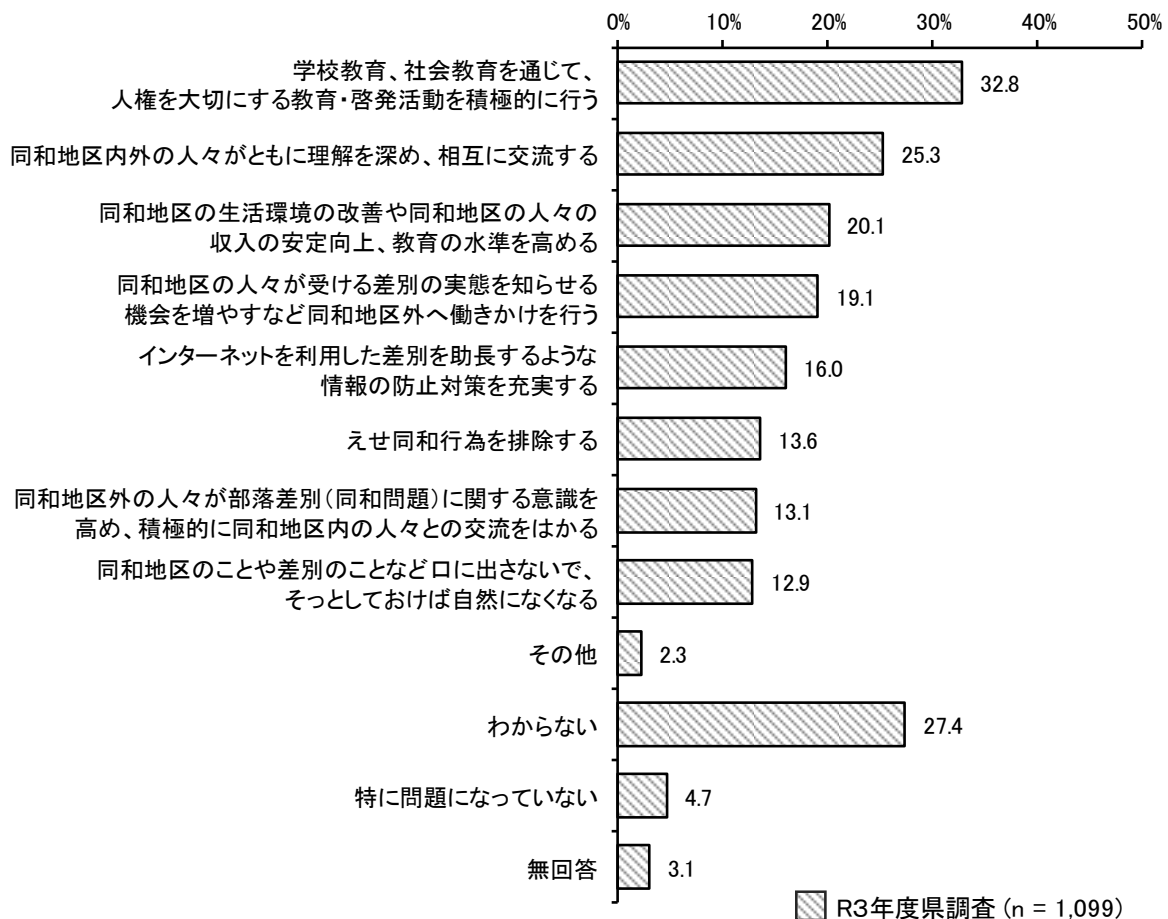
区分	有効回答数(件)	部落差別(同和問題)にかかわる人権相談、生活相談を充実する	部落差別(同和問題)に関する意識を高め、積極的に地域の交流を図る	同和地区の人々の収入の安定向上を図る	部落差別(同和問題)に関する法令・条例等の整備を行う	その他	わからない	無回答
10歳代	9	-	-	-	-	-	44.4	-
20歳代	65	6.2	7.7	10.8	3.1	-	23.1	-
30歳代	93	3.2	3.2	4.3	2.2	3.2	24.7	6.5
40歳代	142	3.5	4.9	6.3	6.3	1.4	25.4	4.2
50歳代	186	7.5	8.1	6.5	5.9	3.2	22.0	2.7
60歳代	264	5.7	8.0	5.3	6.1	0.8	18.9	4.5
70歳以上	445	9.0	4.5	3.8	4.3	1.6	18.4	11.7

【県調査との比較】

県調査と比較すると、市では「市民一人ひとりが、部落差別（同和問題）について正しい理解を深めるように努力する」が最も高く、県では「学校教育、社会教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う」が最も高くなっています。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 部落差別（同和問題）を解消するためには、どうしたらよいとお考えですか。（重要だと思うもの3つまで）



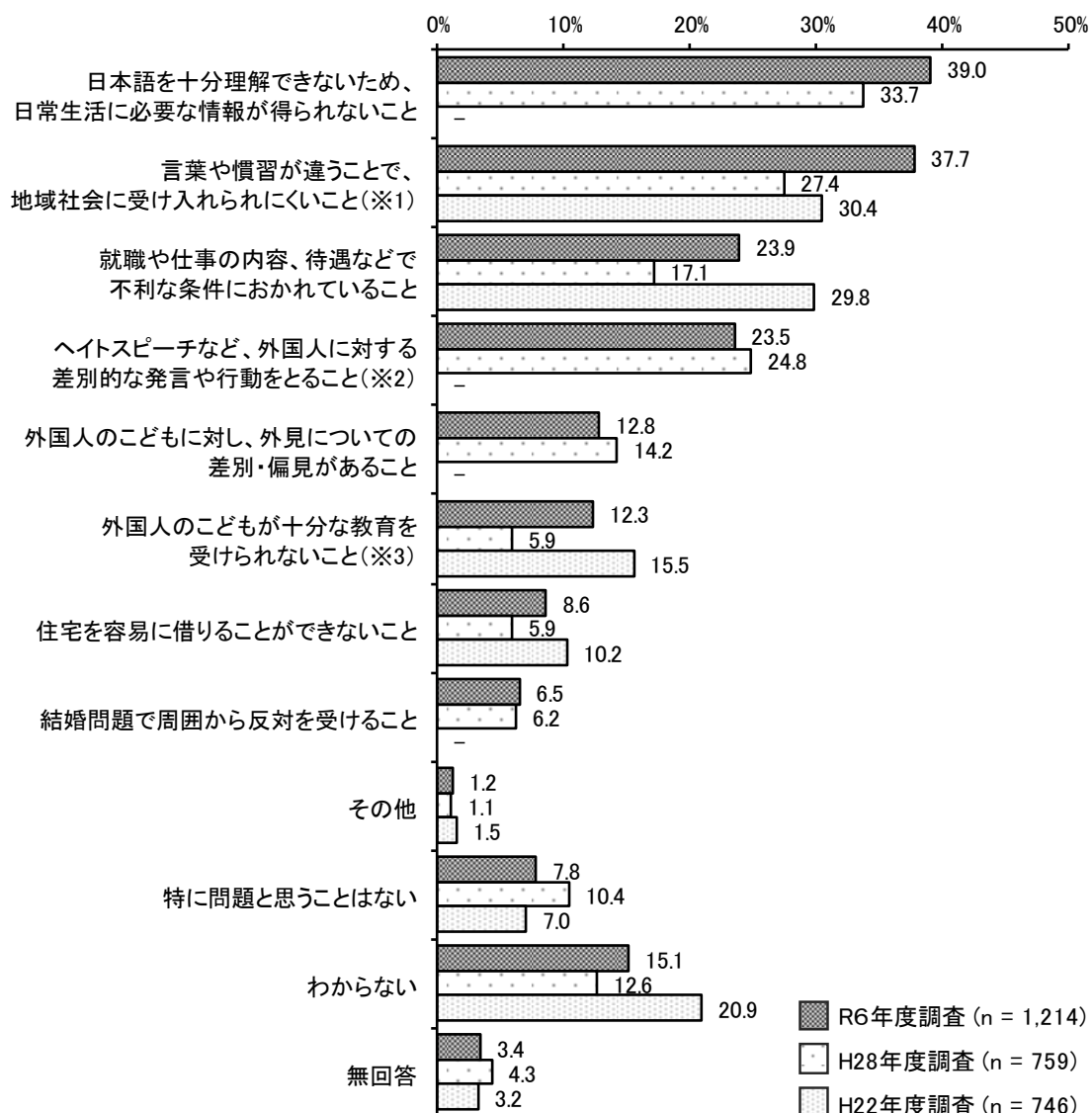
7 外国人の人権について

問24 次にあげるもののうち、外国人の人権問題について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

【全体/前回・前々回比較】

「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報が得られないこと」が39.0%と最も高く、次いで「言葉や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと」が37.7%、「就職や仕事の内容、待遇などで不利な条件におかれていること」が23.9%となっています。

前回調査（H28年度）と比較すると、同旨の「言葉や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと」が前回（27.4%）より10.3ポイント、「就職や仕事の内容、待遇などで不利な条件におかれていること」が前回（17.1%）より6.8ポイント、それぞれ増加しています。



※1：H28年度以前の調査では「宗教や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと」でした。

※2：H28年度調査では「外国人に対する差別的な発言や行動をとること」でした。

※3：H28年度以前の調査では「外国人の子どもに対し、自国の生活習慣に沿った教育ができないこと」でした。

【性別】

性別にみると、男性では「言葉や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと」が最も高く、女性より 5.0 ポイント高くなっています。女性では「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報が得られないこと」が最も高く、男性より 5.9 ポイント高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報が得られないこと	言葉や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと	就職や仕事の内容、待遇などで不利な条件におかれていること	差別的な発言や行動をとること	ヘイトスピーチなど、外国人に対する差別的な発言や行動をとること	外国人の子どもに対し、外見についての差別・偏見があること	外国人の子どもが十分な教育を受けられないこと	住宅を容易に借りることができないこと	結婚問題で周囲から反対を受けること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	513	35.9	40.9	24.2	24.8	13.5	12.5	8.2	7.2	1.9	10.5	11.7	3.1	
女性	685	41.8	35.9	24.1	22.8	12.1	12.4	9.1	6.0	0.6	5.4	17.5	3.4	
その他	7	28.6	28.6	14.3	28.6	28.6	-	14.3	14.3	14.3	28.6	-	-	

【年代別】

年代別にみると、20 歳代、50 歳代を除くいずれの年代においても「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報が得られないこと」が最も高く、20 歳代では「ヘイトスピーチなど、外国人に対する差別的な発言や行動をとること」、50 歳代では「言葉や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと」が最も高くなっています。

単位：%

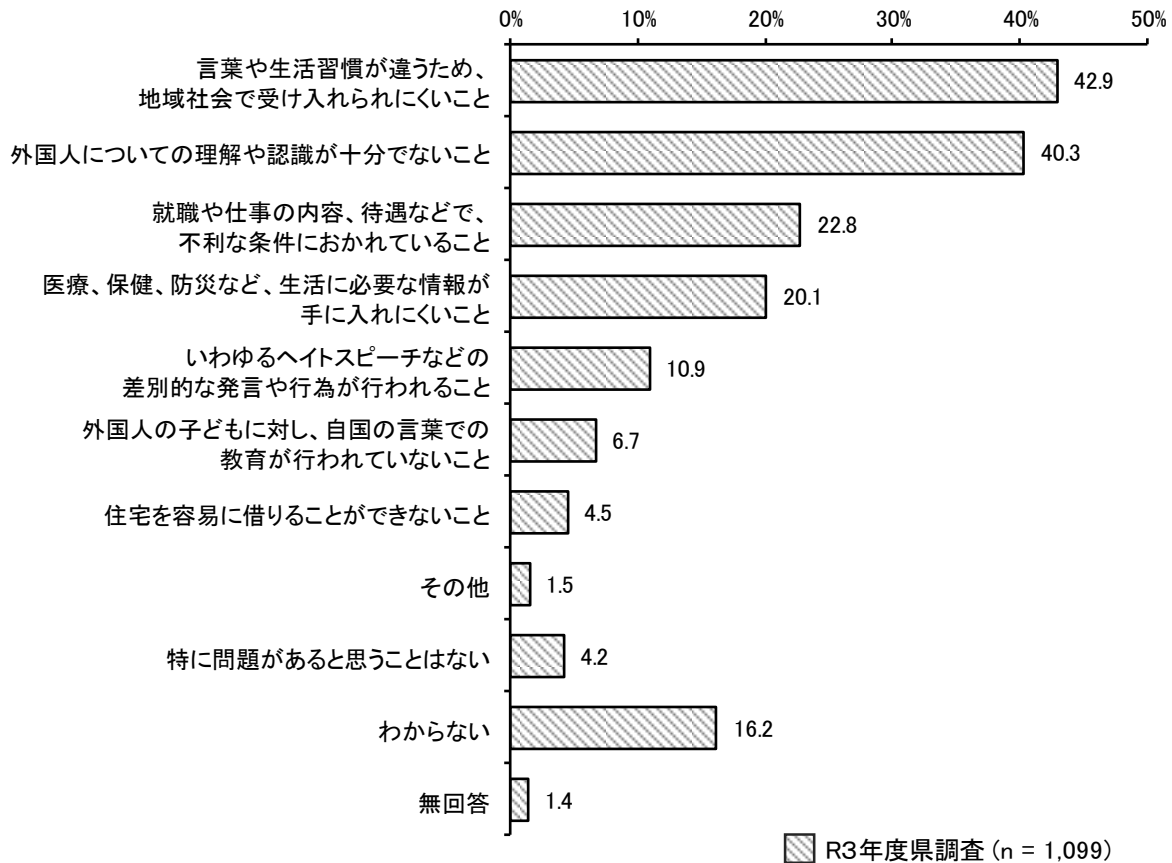
区分	有効回答数(件)	日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報が得られないこと	言葉や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと	就職や仕事の内容、待遇などで不利な条件におかれていること	差別的な発言や行動をとること	ヘイトスピーチなど、外国人に対する差別的な発言や行動をとること	外国人の子どもに対し、外見についての差別・偏見があること	外国人の子どもが十分な教育を受けられないこと	住宅を容易に借りることができないこと	結婚問題で周囲から反対を受けること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
10歳代	9	22.2	22.2	22.2	22.2	-	11.1	11.1	-	-	-	11.1	22.2	-
20歳代	65	32.3	32.3	32.3	33.8	26.2	10.8	10.8	4.6	-	-	9.2	9.2	-
30歳代	93	37.6	33.3	26.9	26.9	21.5	16.1	8.6	9.7	2.2	-	9.7	7.5	-
40歳代	142	40.1	37.3	14.1	29.6	13.4	11.3	7.7	7.7	1.4	-	7.0	12.7	0.7
50歳代	186	40.3	41.9	26.3	26.3	12.9	10.8	12.4	6.5	1.6	-	10.8	9.1	1.1
60歳代	264	42.8	42.4	27.7	23.1	12.1	14.4	8.3	4.2	0.8	-	6.4	15.5	1.1
70歳以上	445	38.0	36.2	22.5	18.9	9.4	11.7	7.4	7.2	1.3	-	7.0	20.0	7.2

【県・国調査との比較】

県・国調査と比較すると、市では「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報が得られないこと」が最も高く、県では「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」(市2位)が最も高くなっています。国では「特にない」が最も高くなっており、「特にない」を除いた上位項目は「風習や習慣などの違いが受け入れられないこと」となっています。

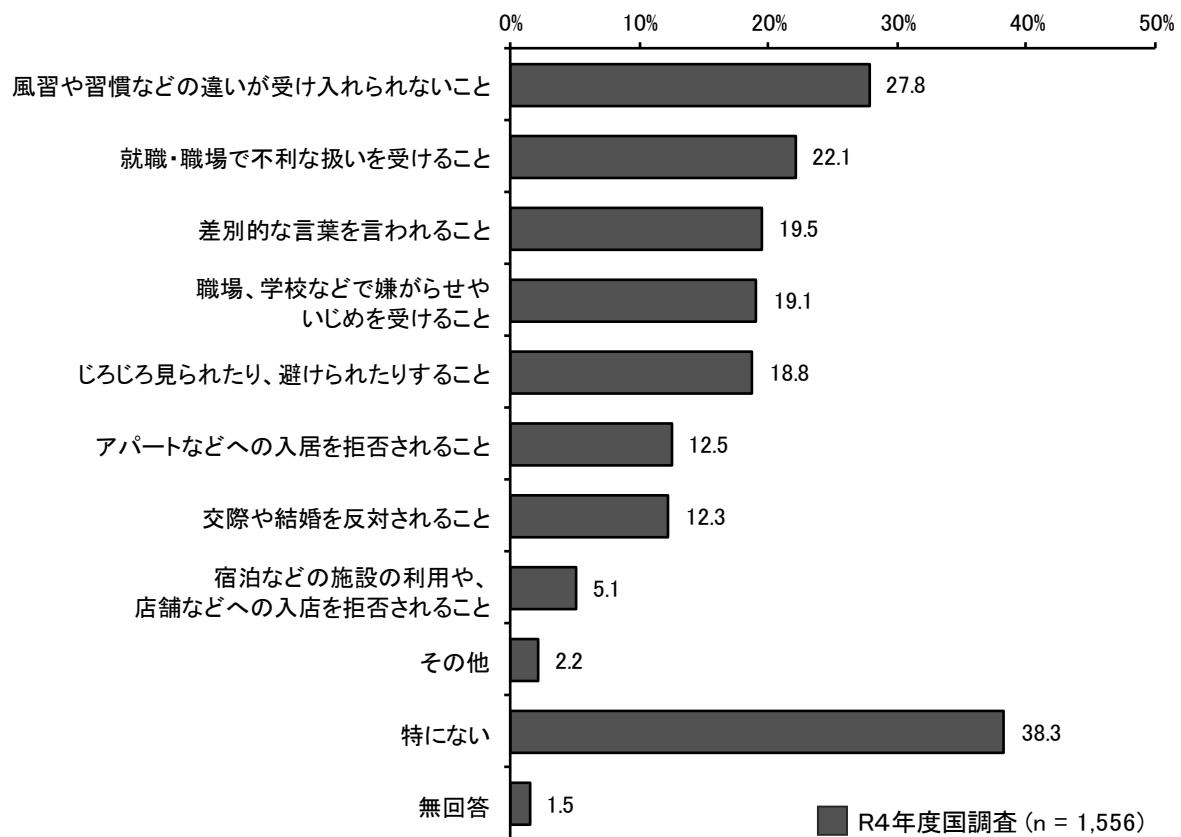
参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 外国人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。（2つまで）



参考：国調査（内閣府「人権擁護に関する世論調査」）

問. あなたが、日本に居住している外国人に関し、体験したことや、身の回りで見聞きしたことで、人権問題だと思ったことはどのようなことですか。（いくつでも）

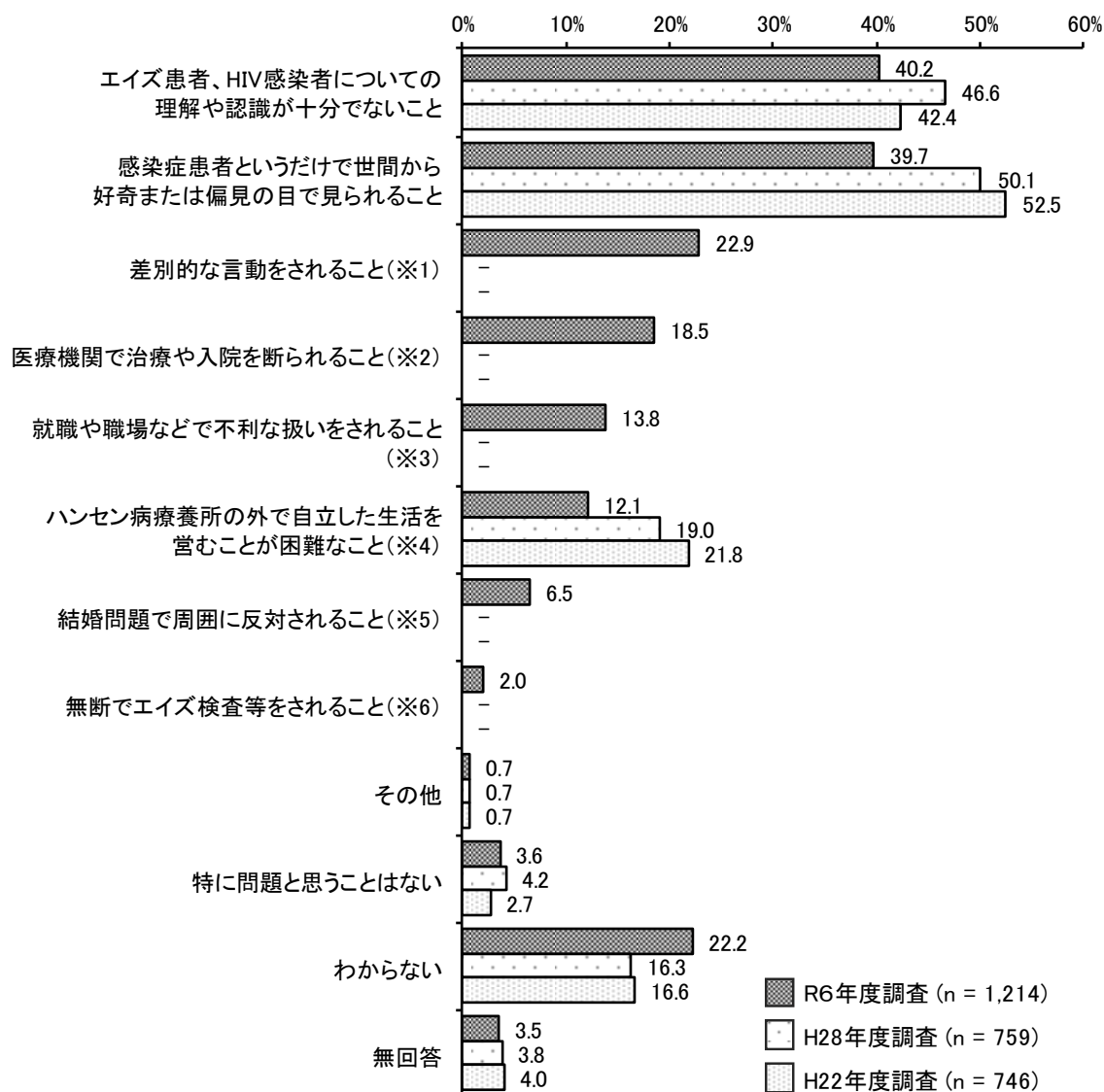


8 感染症患者等の人権について（HIV、ハンセン病等）

問25 次にあげるもののうち、感染症患者等の人権について特に問題があると思われることは何ですか。（3つまで）

【全体】

「エイズ患者、HIV感染者についての理解や認識が十分でないこと」が40.2%と最も高く、次いで「感染症患者というだけで世間から好奇または偏見の目で見られること」が39.7%、「差別的な言動をされること」が22.9%となっています。



※本設問は、選択肢の内容を大きく変更したため、前回・前々回比較の調査結果は参考として掲載しています。（※1～※3、※5～※6：R6年度調査より追加した選択肢、※4：H28年度調査では「ハンセン症元患者（回復者）の社会復帰が困難であること」でした。）

【性別】

性別にみると、男性では「感染症患者というだけで世間から好奇または偏見の目で見られること」、女性では「エイズ患者、H I V感染者についての理解や認識が十分でないこと」が最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	エイズ患者、H I V感染者についての理解や認識が十分でないこと	感染症患者というだけで世間から好奇または偏見の目で見られること	差別的な言動をされること	医療機関で治療や入院を断られること	就職や職場などで不利な扱いをされること	ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと	結婚問題で周囲に反対されること	無断でエイズ検査等をされること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	513	39.0	39.8	23.4	17.5	11.7	14.6	6.0	2.1	0.8	5.1	20.7	3.5
女性	685	41.9	40.1	22.6	19.1	15.3	10.2	6.7	1.8	0.7	2.6	22.9	3.2
その他	7	14.3	28.6	42.9	28.6	42.9	28.6	14.3	-	-	-	28.6	-

【年代別】

年代別にみると、50～60歳代を除くいずれの年代においても「エイズ患者、H I V感染者についての理解や認識が十分でないこと」が最も高く、50～60歳代では「感染症患者というだけで世間から好奇または偏見の目で見られること」が最も高くなっています。

単位：%

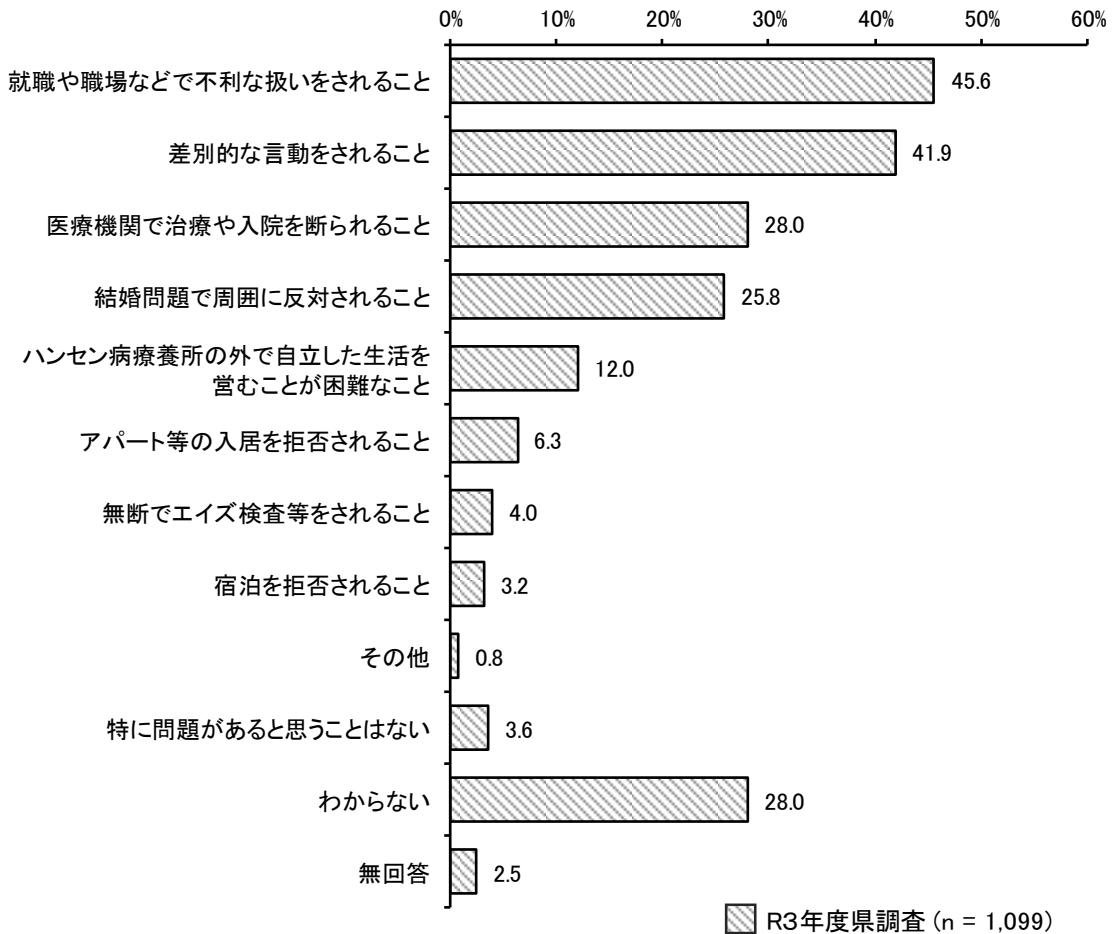
区分	有効回答数(件)	エイズ患者、H I V感染者についての理解や認識が十分でないこと	感染症患者というだけで世間から好奇または偏見の目で見られること	差別的な言動をされること	医療機関で治療や入院を断られること	就職や職場などで不利な扱いをされること	ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと	結婚問題で周囲に反対されること	無断でエイズ検査等をされること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
10歳代	9	33.3	33.3	-	11.1	-	-	-	22.2	-	-	55.6	-
20歳代	65	44.6	41.5	32.3	16.9	18.5	12.3	3.1	-	-	1.5	21.5	-
30歳代	93	43.0	39.8	30.1	21.5	17.2	6.5	9.7	-	-	4.3	18.3	1.1
40歳代	142	42.3	38.0	26.8	17.6	14.8	7.7	9.2	1.4	1.4	3.5	21.1	0.7
50歳代	186	43.0	45.2	24.7	22.0	15.1	9.7	7.5	1.6	1.6	3.2	17.7	1.1
60歳代	264	42.8	44.7	25.8	21.6	12.1	16.3	5.7	2.3	0.4	3.4	18.6	1.1
70歳以上	445	36.4	35.5	17.3	15.3	13.3	13.7	5.6	2.2	0.7	4.3	26.5	7.2

【県・国調査との比較】

県・国調査と比較すると、市では「エイズ患者、H I V感染者についての理解や認識が十分でないこと」が最も高く、県では「就職や職場などで不利な扱いをされること」（市5位）が最も高くなっています。国では「特にない」が最も高くなっており、「特にない」を除いた上位項目は「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと」（市6位・県5位）となっています。

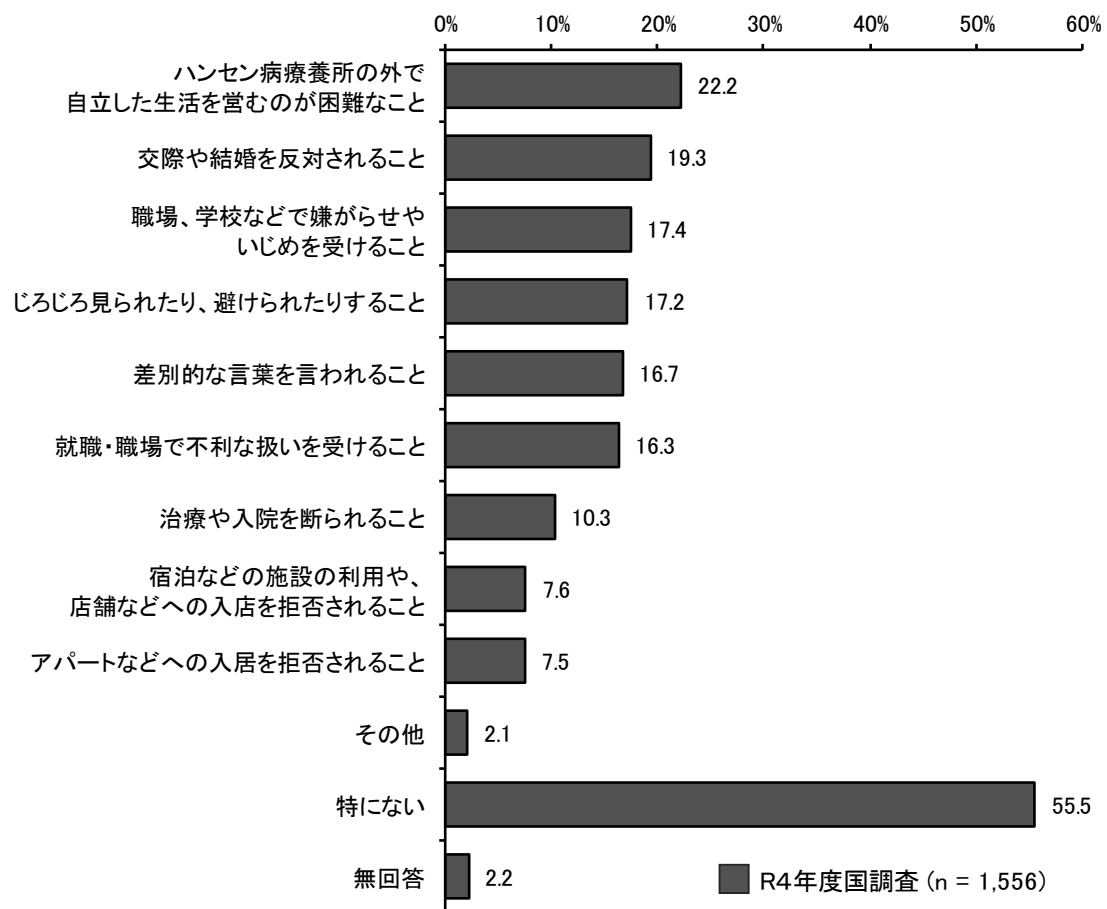
参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 感染症患者等の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。（3つまで）



参考：国調査（内閣府「人権擁護に関する世論調査」）

問. あなたが、ハンセン病患者・元患者やその家族に関し、体験したことや、身の回りで見聞きしたことで、人権問題だと思ったことはどのようなことですか。（いくつでも）



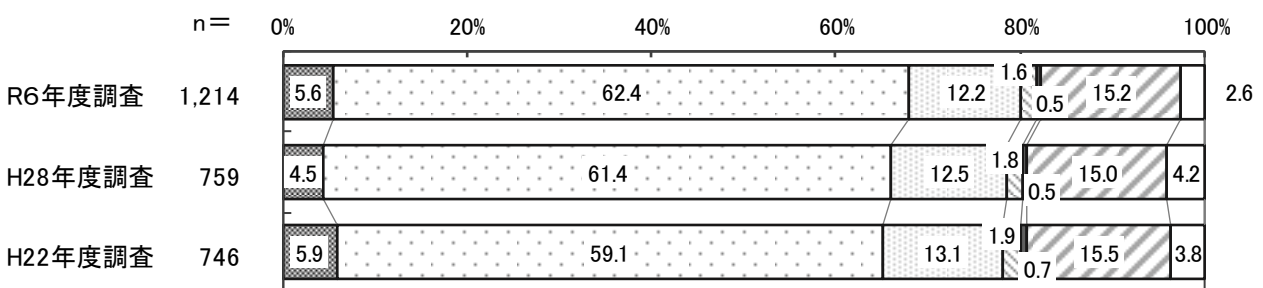
問26 あなたの職場や地域に感染症患者等がいる場合、あなたはどのような態度で接すると思いますか。(1つだけ)

【全体/前回・前々回比較】

「今までどおり、普通に接すると思う」が62.4%と最も高く、次いで「わからない」が15.2%、「なるべく関わりたくないと思う」が12.2%となっています。

前回調査（H28年度）と比較すると、大きな変化はみられません。

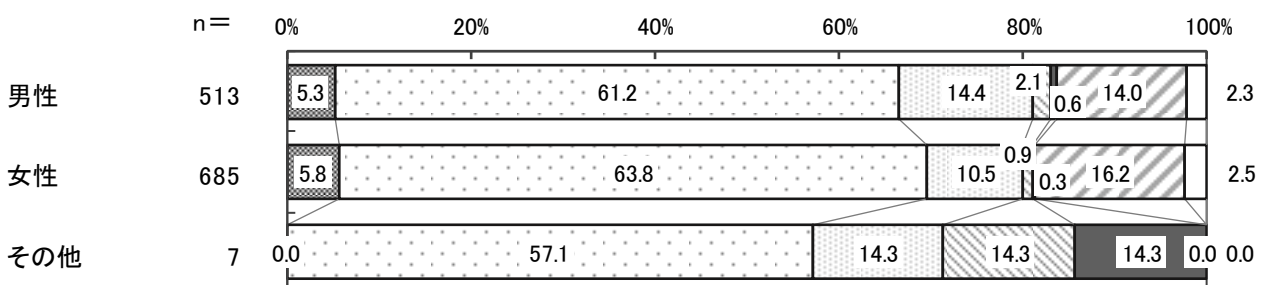
- その人のために何か支援しようと思う
- 今までどおり、普通に接すると思う
- なるべく関わりたくないと思う
- ▨ 絶対関わりたくないと思う
- その他
- ▨ わからない
- 無回答



【性別】

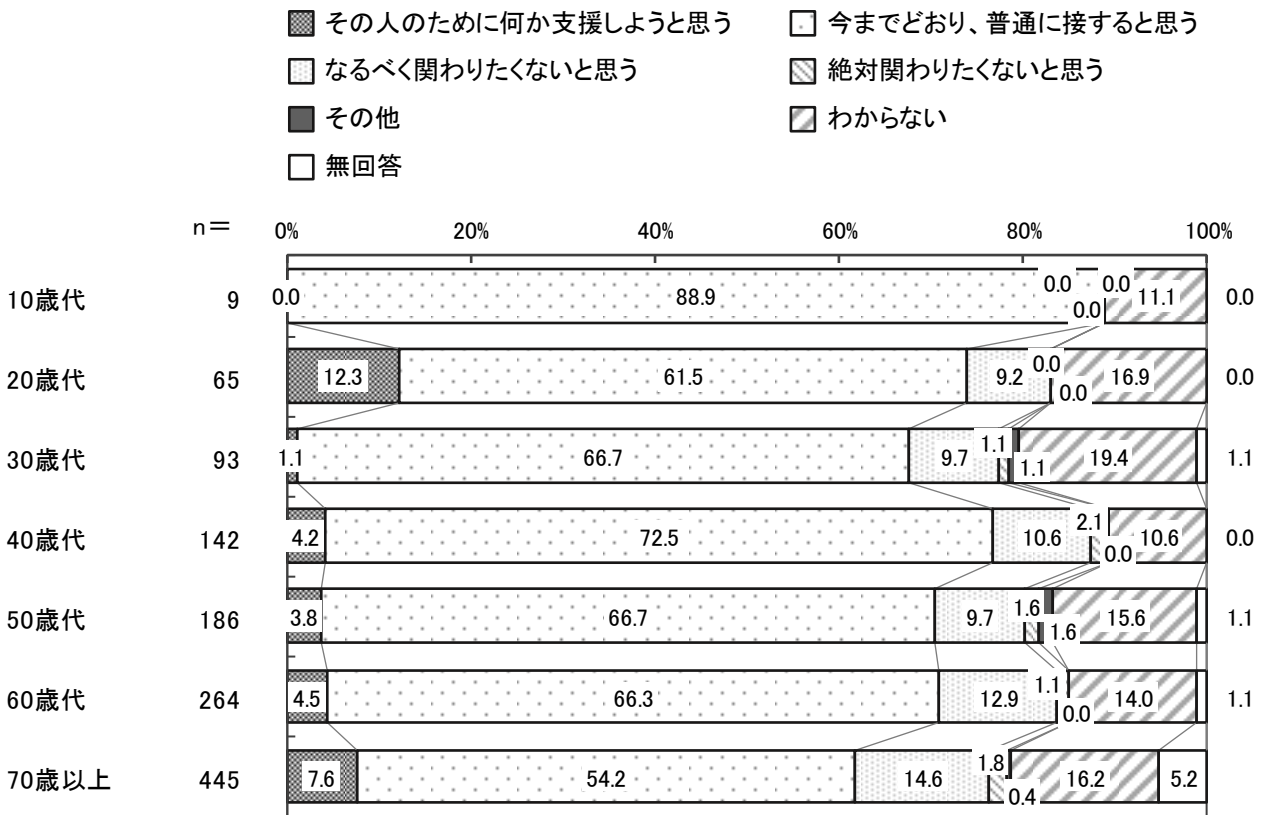
性別にみると、男女ともに「今までどおり、普通に接すると思う」が最も高く、6割を超えています。

- その人のために何か支援しようと思う
- 今までどおり、普通に接すると思う
- なるべく関わりたくないと思う
- ▨ 絶対関わりたくないと思う
- その他
- ▨ わからない
- 無回答



【年代別】

年代別にみると、いずれの年代においても「今までどおり、普通に接すると思う」が最も高く、40歳代では7割を超えています。

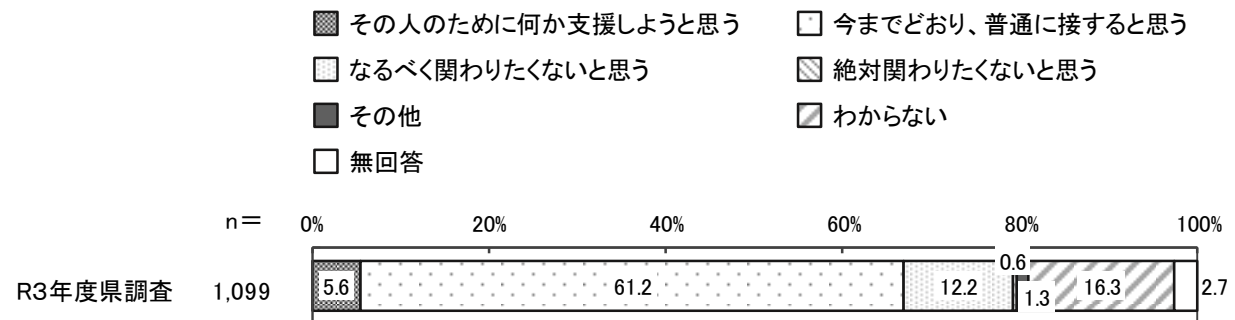


【県調査との比較】

県調査と比較すると、傾向に大きな違いはみられません。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. あなたの職場や地域に感染症患者等がいる場合、あなたはどのような態度で接すると思いますか。（1つだけ）



9 アイヌの人々の人権について

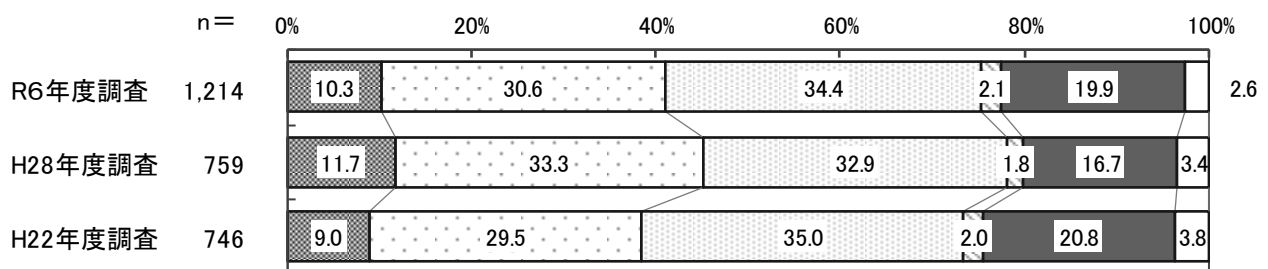
問27 「アイヌの人々の文化を保護し、人権を尊重する法律」について、あなたはどうか考えますか。(1つだけ)

【全体/前回・前々回比較】

「アイヌの人々と身近に接したことがなく、あまり考えたことがない」が34.4%と最も高く、次いで「アイヌの人々の伝統や文化を大切に保存していく必要がある」が30.6%、「わからない」が19.9%となっています。

前回調査（H28年度）と比較すると、大きな変化はみられません。

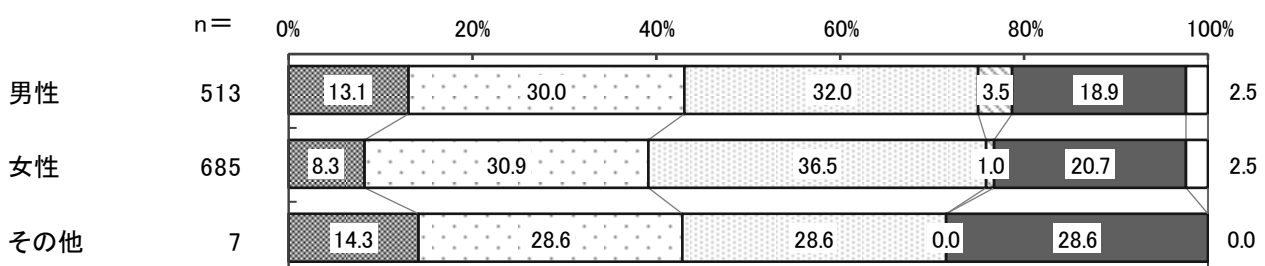
- 「日本は単一民族だ」という考えは、アイヌの人々の存在を無視した見方であり、アイヌの人々の人権を守ることが必要である
- アイヌの人々の伝統や文化を大切に保存していく必要がある
- アイヌの人々と身近に接したことがなく、あまり考えたことがない
- 法律まで定めてアイヌの人々を支援するのは、理解できない
- わからない
- 無回答



【性別】

性別にみると、男女ともに「アイヌの人々と身近に接したことがなく、あまり考えたことがない」が最も高くなっています。

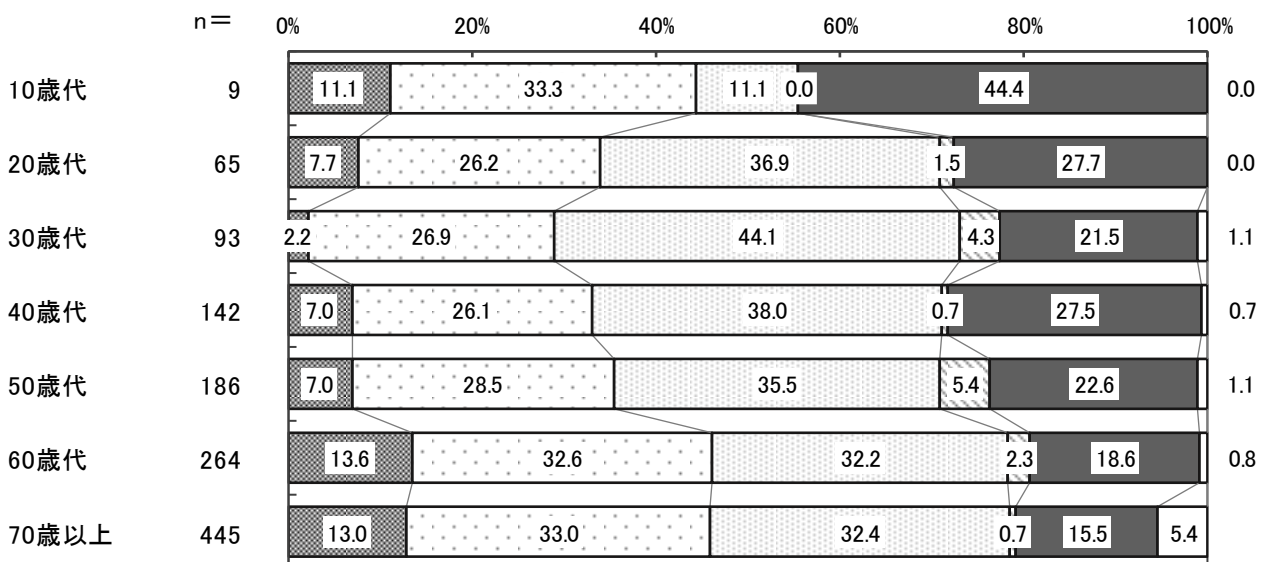
- 「日本は単一民族だ」という考えは、アイヌの人々の存在を無視した見方であり、アイヌの人々の人権を守ることが必要である
- アイヌの人々の伝統や文化を大切に保存していく必要がある
- アイヌの人々と身近に接したことがなく、あまり考えたことがない
- 法律まで定めてアイヌの人々を支援するのは、理解できない
- わからない
- 無回答



【年代別】

年代別にみると、50歳代以下では「アイヌの人々と身近に接したことがなく、あまり考えたことがない」が最も高く、60歳代以上では「アイヌの人々の伝統や文化を大切に保存していく必要がある」が最も高くなっています。

- 「日本は単一民族だ」という考えは、アイヌの人々の存在を無視した見方であり、アイヌの人々の人権を守ることが必要である
- アイヌの人々の伝統や文化を大切に保存していく必要がある
- ▨ アイヌの人々と身近に接したことがなく、あまり考えたことがない
- ▩ 法律まで定めてアイヌの人々を支援するのは、理解できない
- わからない
- 無回答



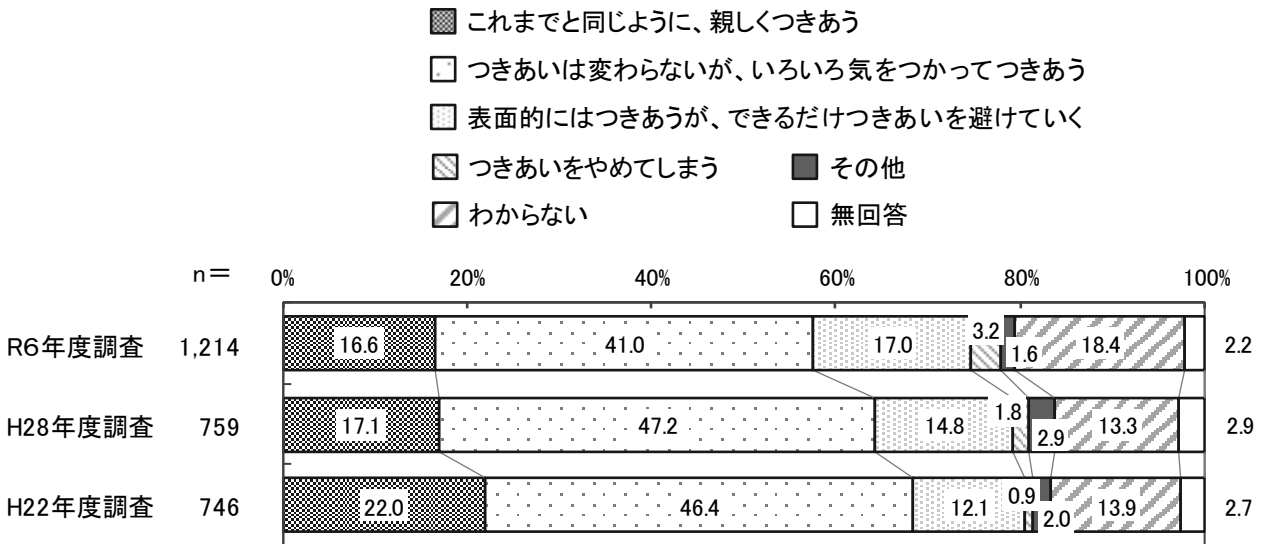
10 刑を終えて出所した人の人権について

問28 日頃から親しくつきあってきた人が、刑を終えて出所した人であるとわかったとき、あなたはどうしますか。(1つだけ)

【全体/前回・前々回比較】

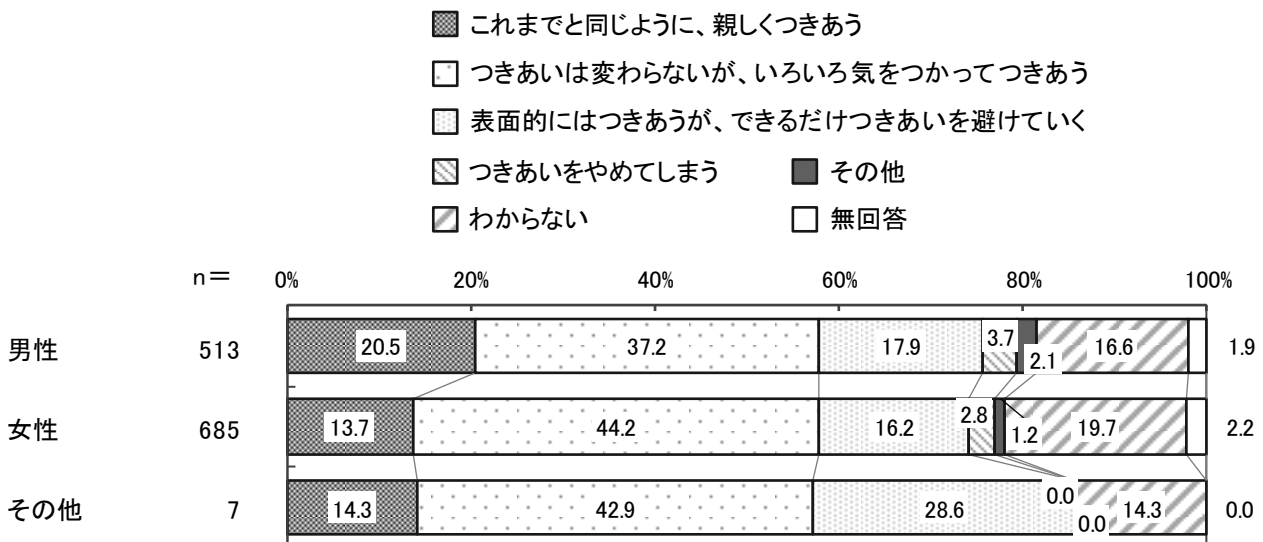
「つきあいは変わらないが、いろいろ気をつけてつきあう」が41.0%と最も高く、次いで「わからない」が18.4%、「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいを避けていく」が17.0%となっています。また、「これまでと同じように、親しくつきあう」と「つきあいは変わらないが、いろいろ気をつけてつきあう」を合わせた“つきあい方が変わらない”は57.6%、「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいを避けていく」と「つきあいをやめてしまう」を合わせた“つきあい方が変わる”は20.2%となっています。

前回調査（H28年度）と比較すると、“つきあい方が変わらない”が前回（64.3%）より6.7ポイント減少しています。



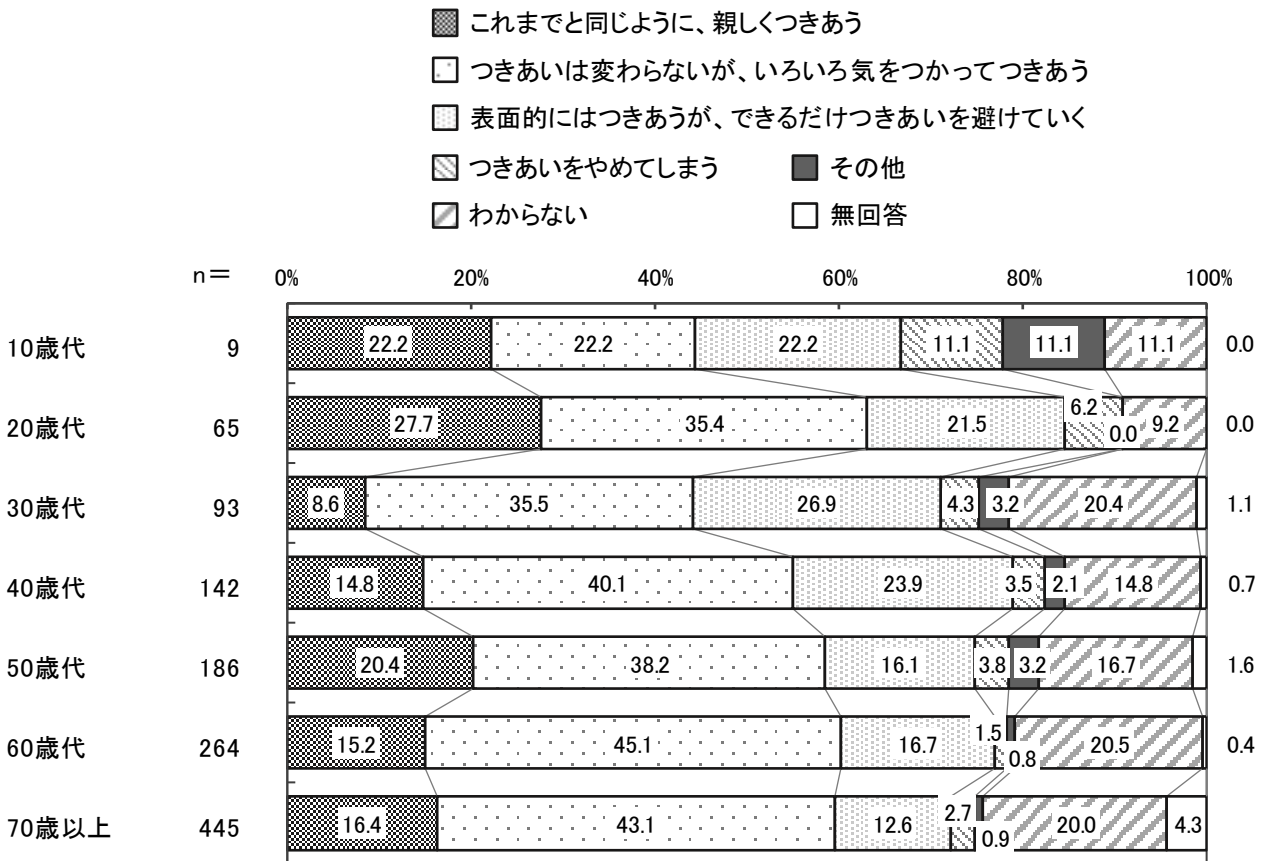
【性別】

性別にみると、男女ともに「つきあいは変わらないが、いろいろ気をつけてつきあう」が最も高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、いずれの年代においても「つきあいは変わらないが、いろいろ気をつけてつきあう」が最も高くなっています。“つきあい方が変わる”では、30歳代で31.2%と他の年代に比べて高くなっています。

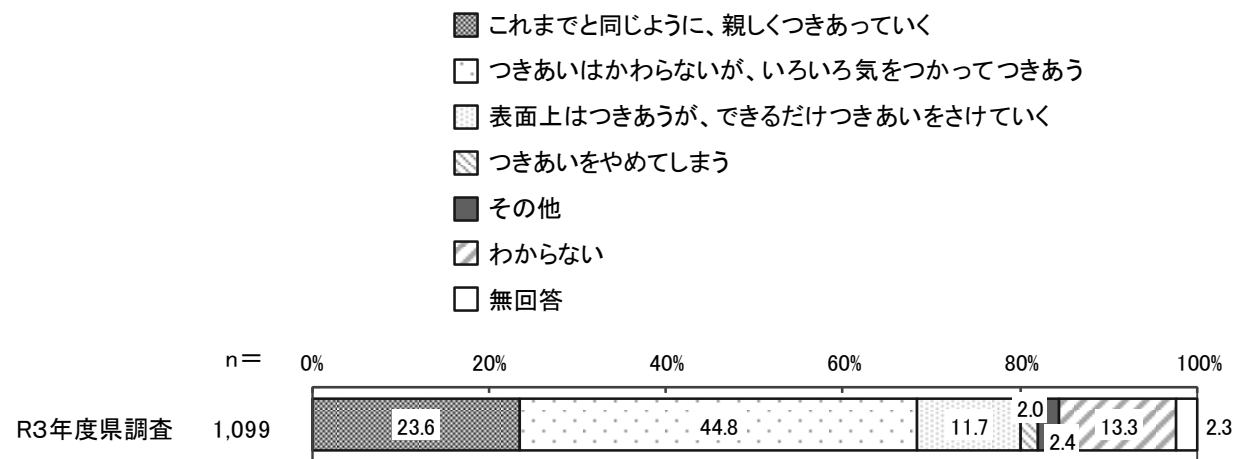


【県調査との比較】

県調査と比較すると、“つきあい方が変わらない”は、市（57.6%）が県（68.4%）より10.8ポイント低くなっています。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 日頃から親しくつきあっている職場の人や、近所の人が刑を終えて出所した人であるとわかったとき、あなたはどうしますか。（気持ちにいちばん近いものを1つだけ）

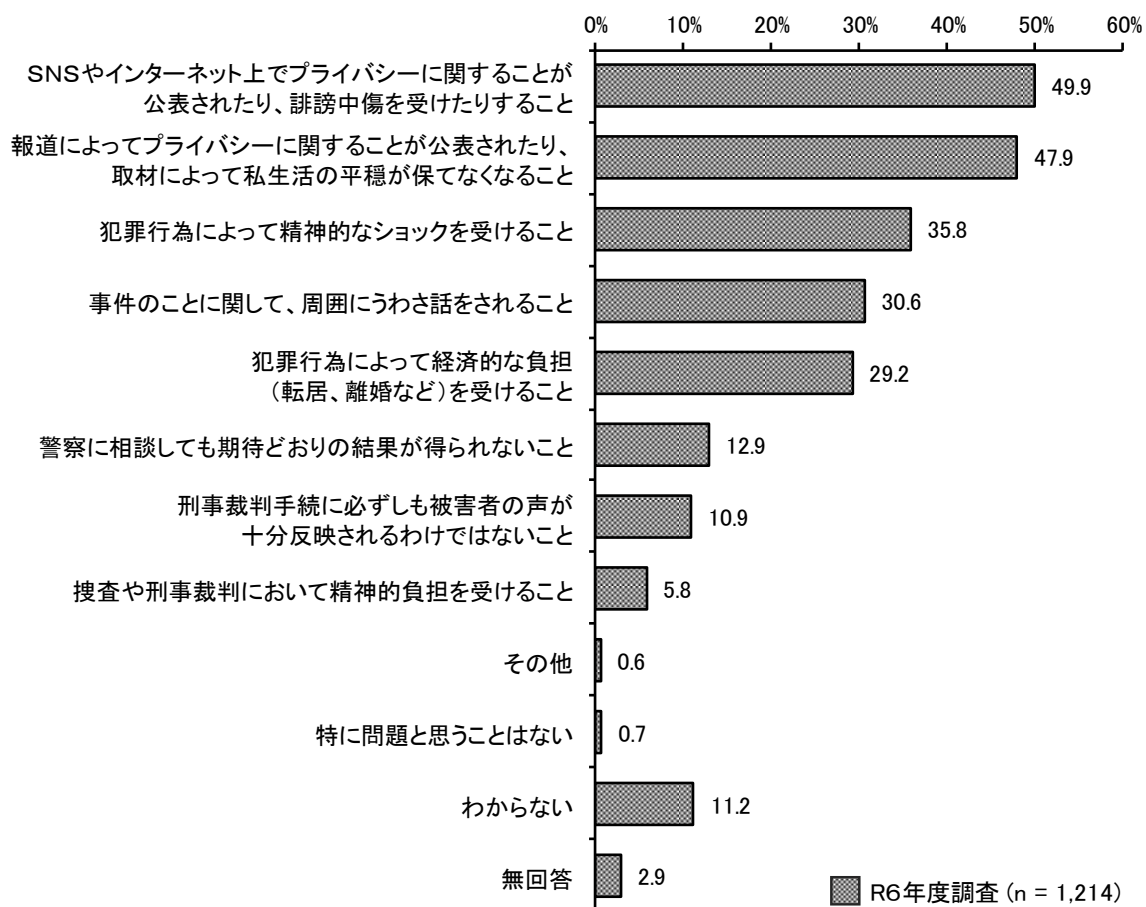


11 犯罪被害者とその家族の人権について

問29 次にあげるもののうち、犯罪被害者とその家族の人権問題について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

【全体】

「SNSやインターネット上でプライバシーに関することが公表されたり、誹謗中傷を受けたりすること」が49.9%と最も高く、次いで「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」が47.9%、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」が35.8%となっています。



【性別】

性別にみると、男女ともに「SNSやインターネット上でプライバシーに関することが公表されたり、誹謗中傷を受けたりすること」が最も高く、女性が男性より 5.4 ポイント高くなっています。「犯罪行為によって経済的な負担（転居、離婚など）を受けること」では、男性が女性より 7.7 ポイント高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	SNSやインターネット上でプライバシーに関することが公表されたり、誹謗中傷を受けたりすること	報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穩が保てなくなることに	犯罪行為によって精神的なショックを受けること	事件のことに關して、周囲にうわさをされること	犯罪行為によって経済的な負担（転居、離婚など）を受けること	警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと	刑事裁判手続に必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
男性	513	47.2	46.0	39.4	29.8	33.7	12.9	12.7	5.5
女性	685	52.6	50.2	33.4	32.0	26.0	12.7	9.3	6.1
その他	7	57.1	28.6	14.3	-	14.3	14.3	42.9	-

区分	有効回答数(件)	その他	特に問題と思わないことではない	わからない	無回答
男性	513	1.2	1.2	9.6	2.3
女性	685	-	0.3	12.0	3.1
その他	7	14.3	-	28.6	-

【年代別】

年代別にみると、50歳代以下では「SNSやインターネット上でプライバシーに関することが公表されたり、誹謗中傷を受けたりすること」が最も高く、30～40歳代では6割を超えています。60歳代以上では「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」が最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	SNSやインターネット上でプライバシーに関することが公表されたり、誹謗中傷を受けたりすること	報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること	犯罪行為によって精神的なショックを受けること	事件のことに關して、周囲にうわさをされること	犯罪行為によって経済的な負担(転居、離婚など)を受けること	警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと	刑事裁判手続に必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
10歳代	9	44.4	22.2	22.2	11.1	11.1	22.2	-	-
20歳代	65	55.4	49.2	44.6	30.8	20.0	20.0	7.7	10.8
30歳代	93	68.8	47.3	41.9	35.5	19.4	14.0	11.8	1.1
40歳代	142	62.0	47.9	45.8	33.8	31.0	8.5	7.0	4.2
50歳代	186	56.5	49.5	42.5	33.9	37.6	14.0	13.4	4.3
60歳代	264	53.8	56.1	31.8	29.5	29.9	14.4	11.7	11.4
70歳以上	445	37.3	44.0	30.1	28.8	28.5	11.0	11.2	4.0

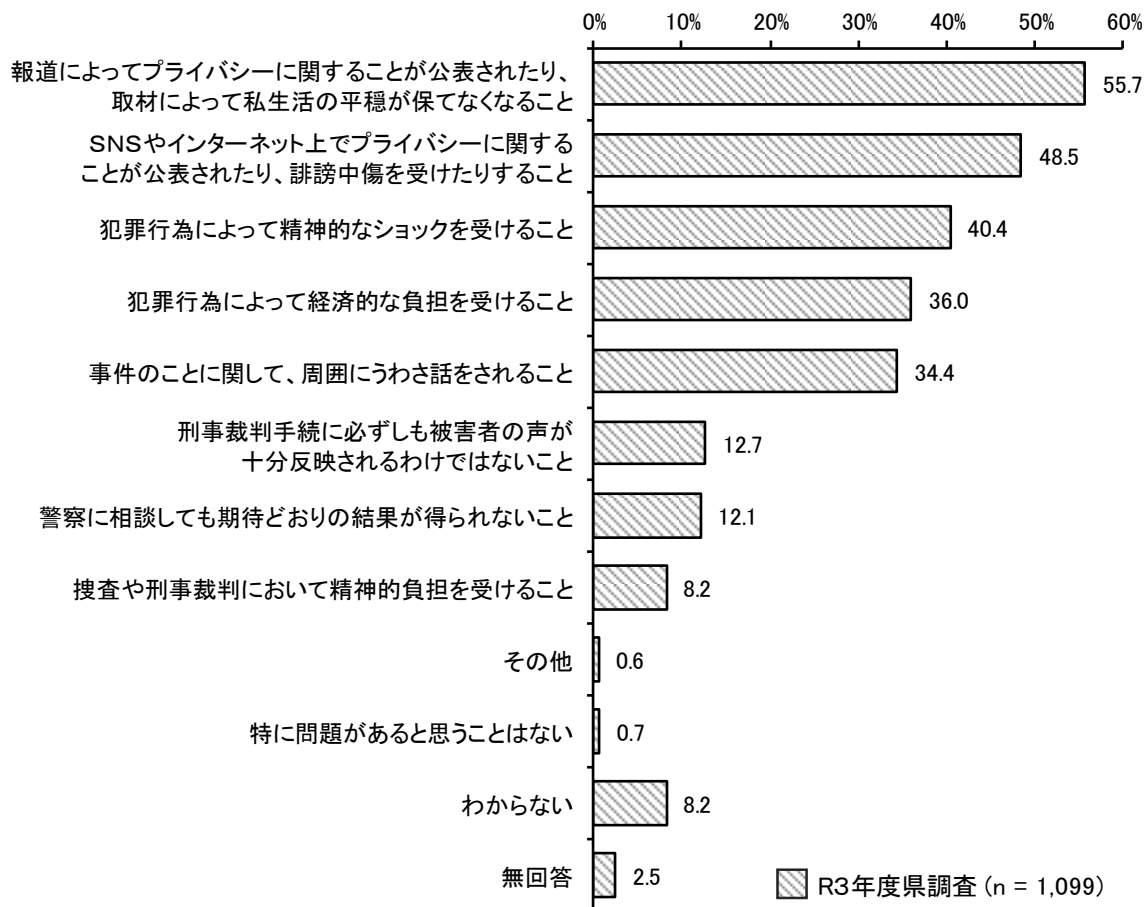
区分	有効回答数(件)	その他	特に問題とと思うことはない	わからない	無回答
10歳代	9	-	-	44.4	-
20歳代	65	-	1.5	7.7	-
30歳代	93	3.2	-	6.5	2.2
40歳代	142	-	-	7.0	0.7
50歳代	186	1.1	1.1	7.0	-
60歳代	264	-	0.4	9.5	-
70歳以上	445	0.4	0.7	16.0	6.7

【県調査との比較】

県調査と比較すると、市・県ともに「SNSやインターネット上でプライバシーに関することが公表されたり、誹謗中傷を受けたりすること」、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」が上位2項目となっています。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 犯罪被害者とその家族の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。（3つまで）

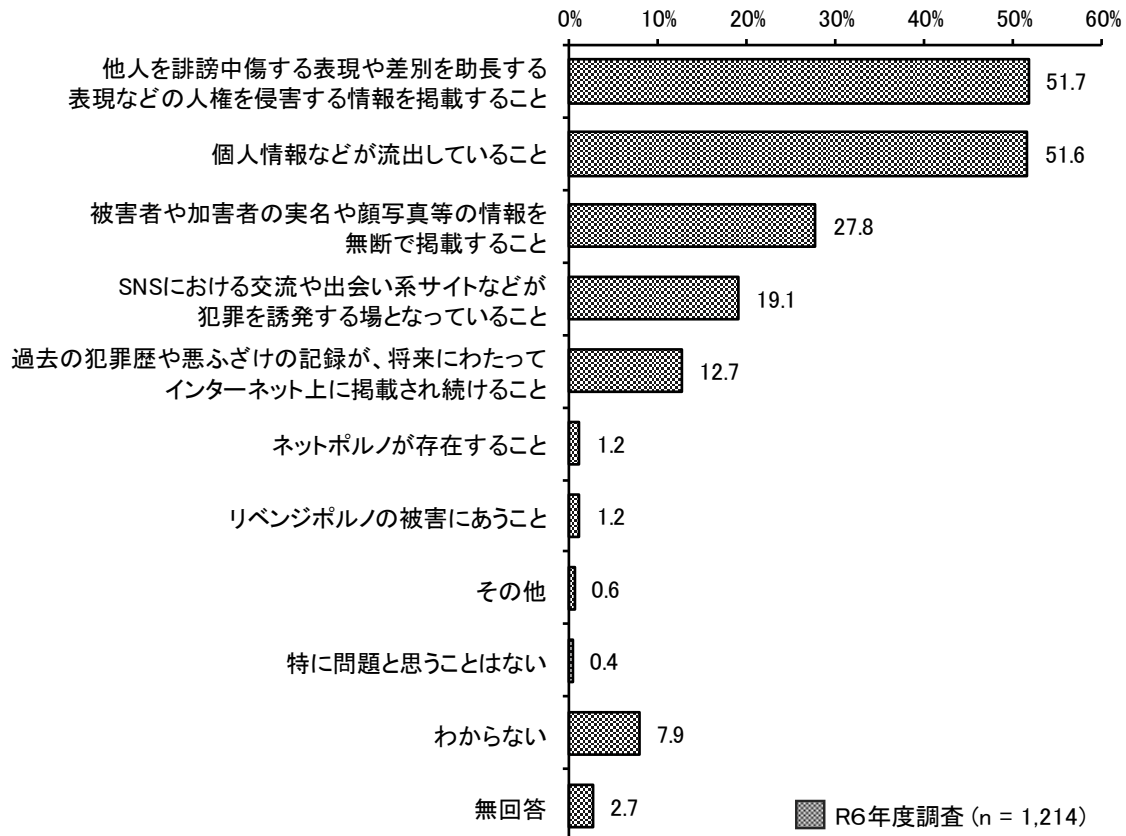


12 インターネット等による人権について

問30 次にあげるもののうち、インターネットによる人権侵害について特に問題があると思われることは何ですか。(2つまで)

【全体】

「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などの人権を侵害する情報を掲載すること」が51.7%と最も高く、次いで「個人情報などが流出していること」が51.6%、「被害者や加害者の実名や顔写真等の情報を無断で掲載すること」が27.8%となっています。



【性別】

性別にみると、男性では「個人情報などが流出していること」が最も高く、女性より7.5ポイント高くなっています。女性では「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などの人権を侵害する情報を掲載すること」が最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などの人権を侵害する情報を掲載すること	個人情報などが流出していること	被害者や加害者の実名や顔写真等の情報を無断で掲載すること	SNSにおける交流や出会い系サイトなどが犯罪を誘発する場となっていること	過去の犯罪歴や悪ふざけの記録が将来にわたってインターネット上に掲載され続けること	ネットポルノが存在すること	リベンジポルノの被害にあうこと	その他	特に問題と思うことではない	わからない	無回答
男性	513	52.8	56.1	24.8	19.3	12.5	1.4	1.2	1.0	0.8	5.3	2.5
女性	685	51.4	48.6	30.2	19.1	13.1	1.0	1.2	0.1	0.1	9.6	2.6
その他	7	42.9	57.1	57.1	-	-	-	-	14.3	-	-	-

【年代別】

年代別にみると、40歳代で「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などの人権を侵害する情報を掲載すること」、「個人情報などが流出していること」が他の年代に比べて高く、6割を超えています。

単位：%

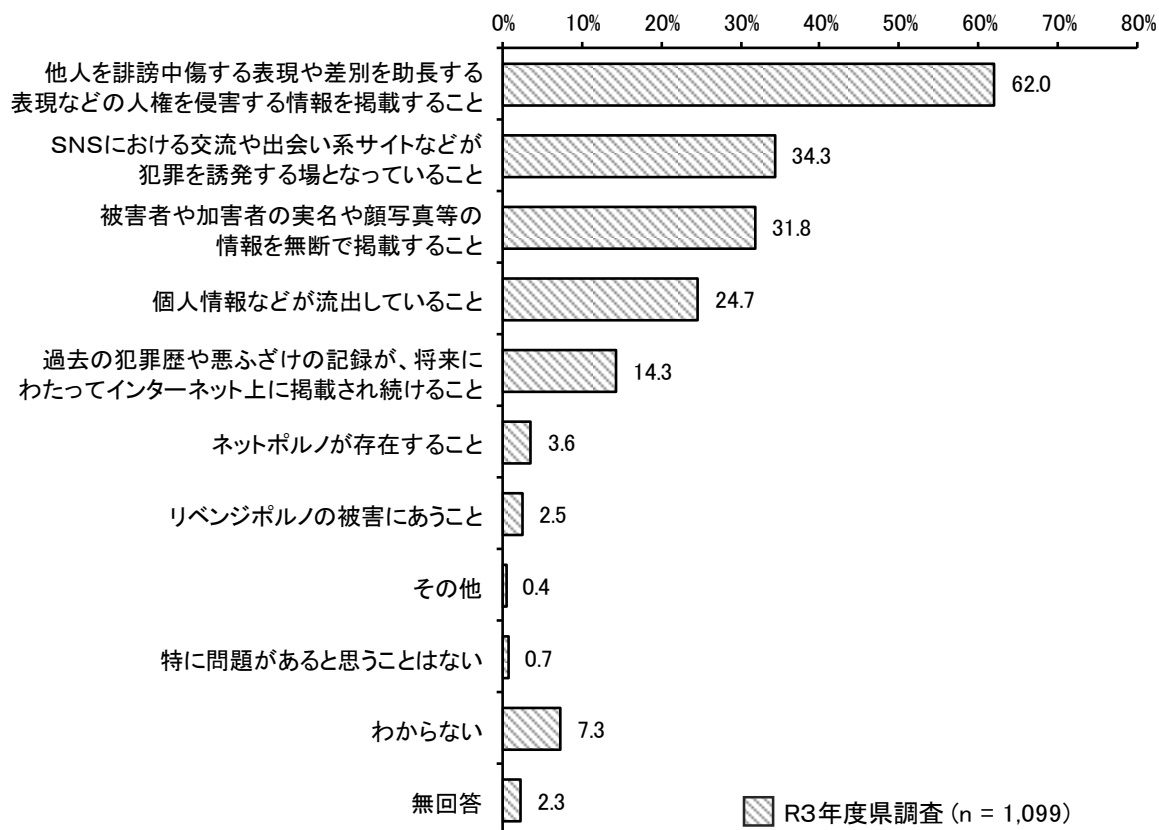
区分	有効回答数(件)	他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などの人権を侵害する情報を掲載すること	個人情報などが流出していること	被害者や加害者の実名や顔写真等の情報を無断で掲載すること	SNSにおける交流や出会い系サイトなどが犯罪を誘発する場となっていること	過去の犯罪歴や悪ふざけの記録が将来にわたってインターネット上に掲載され続けること	ネットポルノが存在すること	リベンジポルノの被害にあうこと	その他	特に問題と思うことではない	わからない	無回答
10歳代	9	44.4	66.7	22.2	-	11.1	-	-	-	-	11.1	-
20歳代	65	50.8	50.8	41.5	13.8	9.2	4.6	6.2	1.5	-	4.6	-
30歳代	93	52.7	53.8	36.6	20.4	8.6	1.1	4.3	1.1	-	5.4	1.1
40歳代	142	61.3	62.7	24.6	15.5	12.0	2.1	0.7	-	1.4	2.8	0.7
50歳代	186	59.7	59.7	29.6	18.3	15.1	0.5	1.1	1.1	0.5	2.2	0.5
60歳代	264	53.0	57.6	32.2	23.1	11.4	-	1.1	0.8	-	4.5	-
70歳以上	445	45.2	41.1	22.5	19.1	14.4	1.3	-	0.2	0.4	14.6	6.1

【県・国調査との比較】

県・国調査と比較すると、「個人情報などが流出していること」では、市（51.6%）が県（24.7%）より 26.9 ポイント高く、「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などの人権を侵害する情報を掲載すること」では、市（51.7%）が県（62.0%）より 10.3 ポイント低くなっています。

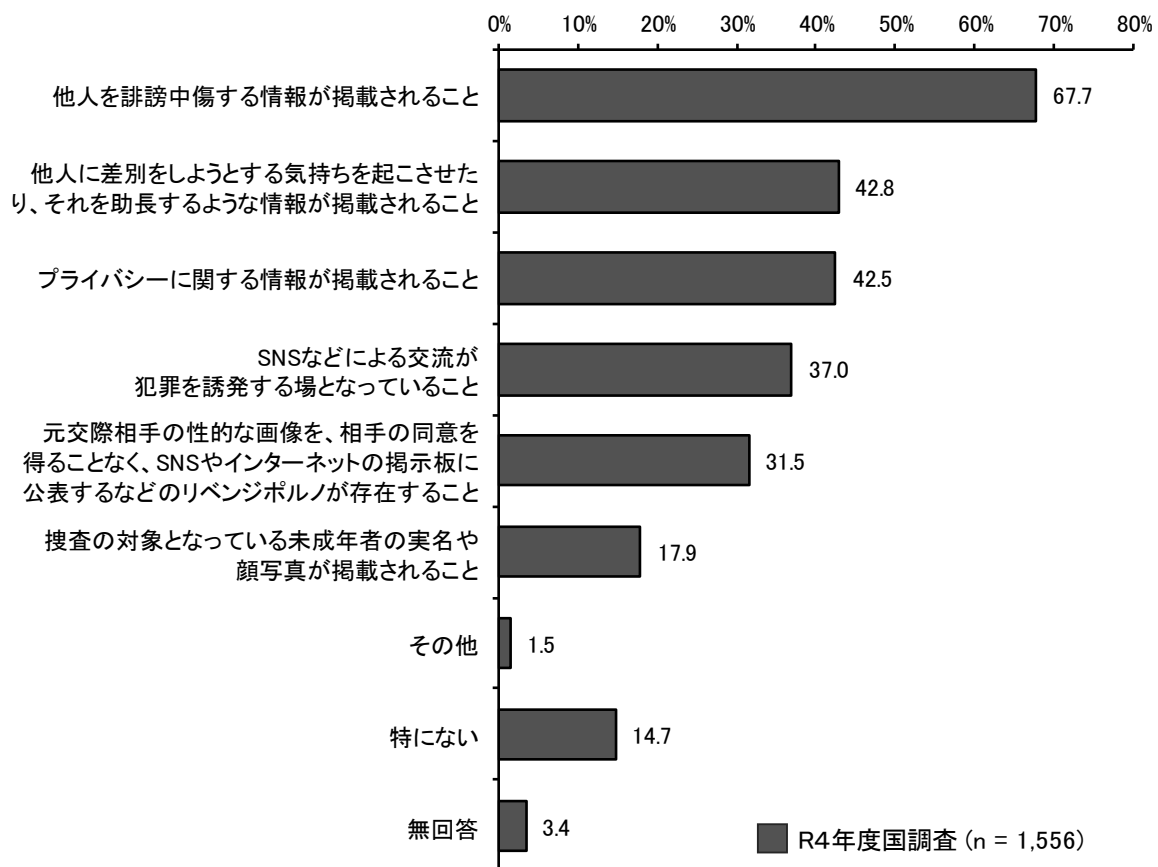
参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. インターネットによる人権侵害について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。（2つまで）



参考：国調査（内閣府「人権擁護に関する世論調査」）

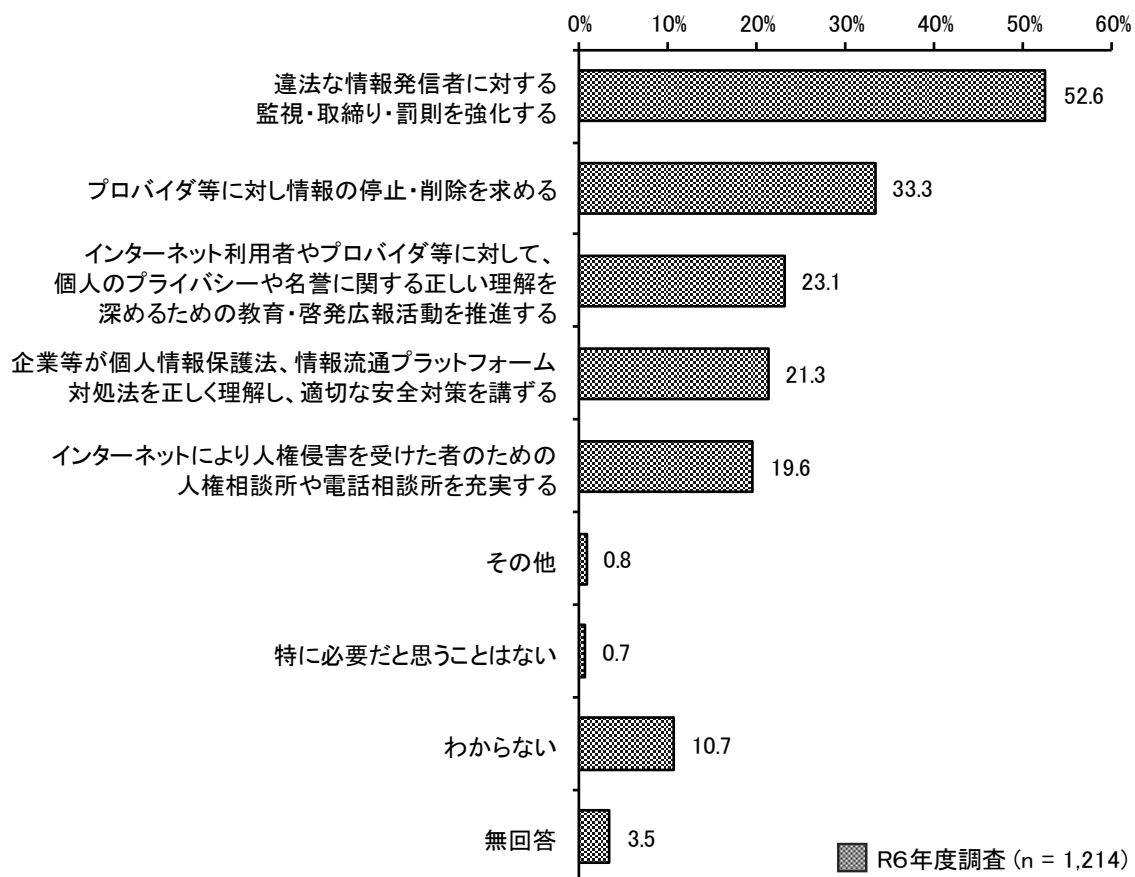
問. あなたが、インターネットに関し、体験したことや、身の回りで見聞きしたことで、人権問題だと思ったことはどのようなことですか。（いくつでも）



問31 インターネットによる人権侵害を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(2つまで)

【全体】

「違法な情報発信者に対する監視・取締り・罰則を強化する」が52.6%と最も高く、次いで「プロバイダ等に対し情報の停止・削除を求める」が33.3%、「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が23.1%となっています。



【性別】

性別にみると、男女ともに「違法な情報発信者に対する監視・取締り・罰則を強化する」が最も高く、5割を超えています。「プロバイダ等に対し情報の停止・削除を求める」では、男性が女性より10.0ポイント高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	違法な情報発信者に対する監視・取締り・罰則を強化する	プロバイダ等に対し情報の停止・削除を求める	インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する	企業等が個人情報保護法、情報流通プラットフォーム対処法を正しく理解し、適切な安全対策を講ずる	インターネットにより人権侵害を受けた者のための人権相談所や電話相談所を充実する	その他	特に必要だと思つことはない	わからない	無回答
男性	513	55.0	39.2	21.8	19.5	17.7	1.4	1.2	8.6	2.9
女性	685	51.2	29.2	24.4	22.5	21.5	0.3	0.4	11.8	3.6
その他	7	57.1	28.6	14.3	42.9	-	14.3	-	14.3	-

【年代別】

年代別にみると、いずれの年代においても「違法な情報発信者に対する監視・取締り・罰則を強化する」が最も高くなっています。

単位：％

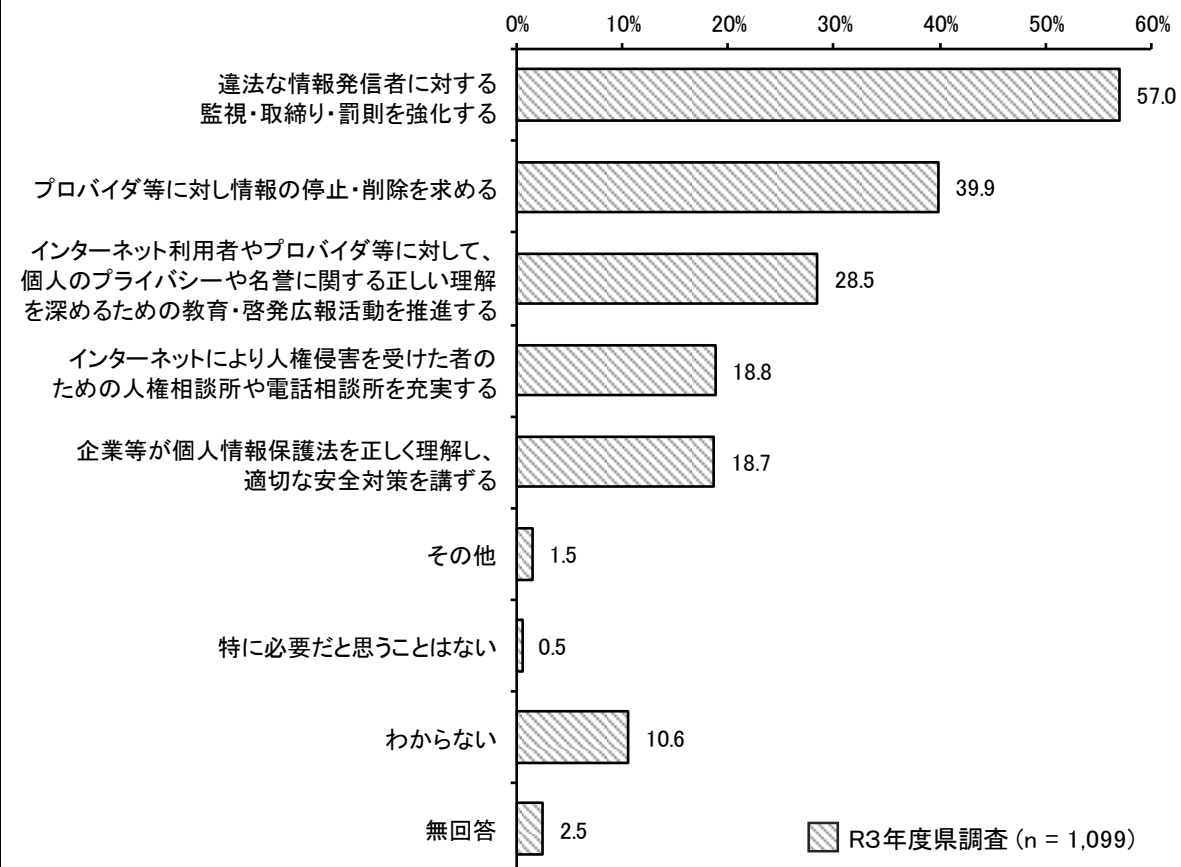
区分	有効回答数(件)	違法な情報発信者に対する監視・取締り・罰則を強化する	プロバイダ等に対し情報の停止・削除を求める	インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する	企業等が個人情報保護法、情報流通プラットフォーム対処法を正しく理解し、適切な安全対策を講ずる	インターネットにより人権侵害を受けた者のための人権相談所や電話相談所を充実する	その他	特に必要だと思つことはない	わからない	無回答
10歳代	9	22.2	33.3	22.2	11.1	22.2	-	-	22.2	-
20歳代	65	49.2	27.7	27.7	32.3	24.6	1.5	1.5	6.2	-
30歳代	93	60.2	34.4	28.0	21.5	14.0	3.2	1.1	5.4	1.1
40歳代	142	54.2	40.1	22.5	23.2	14.8	0.7	1.4	6.3	0.7
50歳代	186	62.4	38.7	24.7	22.0	18.3	0.5	0.5	7.0	0.5
60歳代	264	54.5	42.0	26.5	21.6	21.6	-	-	7.2	0.4
70歳以上	445	47.0	24.7	19.3	18.9	21.3	0.9	0.9	16.9	7.9

【県・国調査との比較】

県・国調査と比較すると、市・県ともに「違法な情報発信者に対する監視・取締り・罰則を強化する」が最も高くなっています。国では「プロバイダなどに対して、人権を侵害する違法な情報の削除を義務付ける法的規制をすること」が最も高くなっています。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

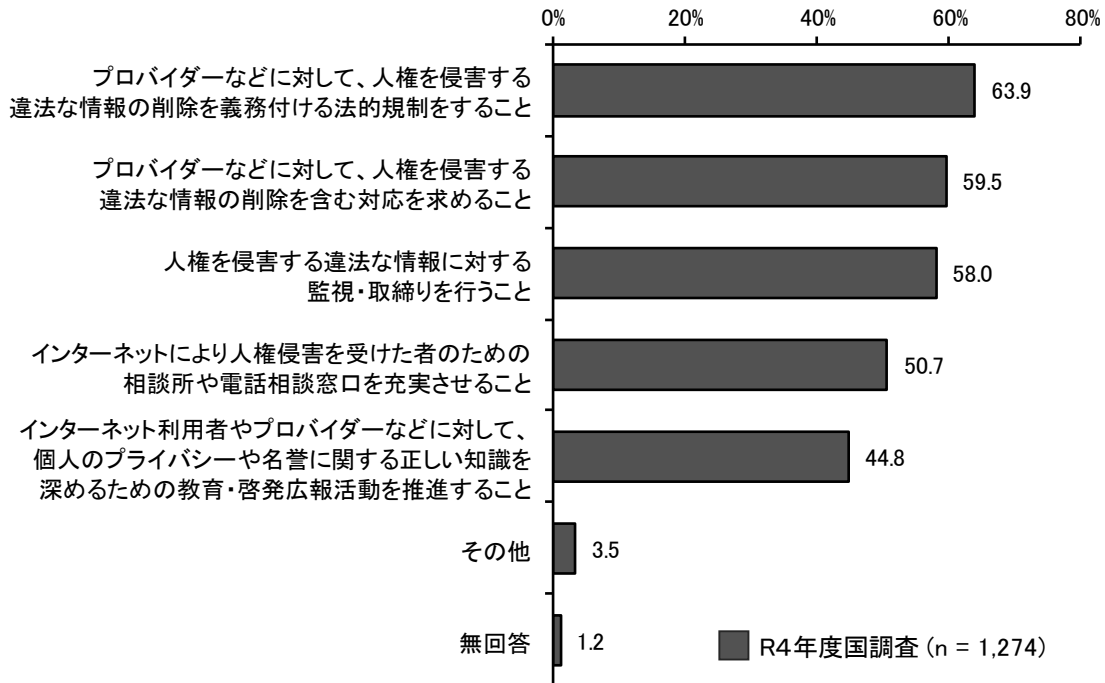
問. インターネットによる人権侵害を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。（2つまで）



参考：国調査（内閣府「人権擁護に関する世論調査」）

問. インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害の解決に向けて、国は、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。（いくつでも）

※インターネット上での人権問題だと思ったことを挙げた方のみ

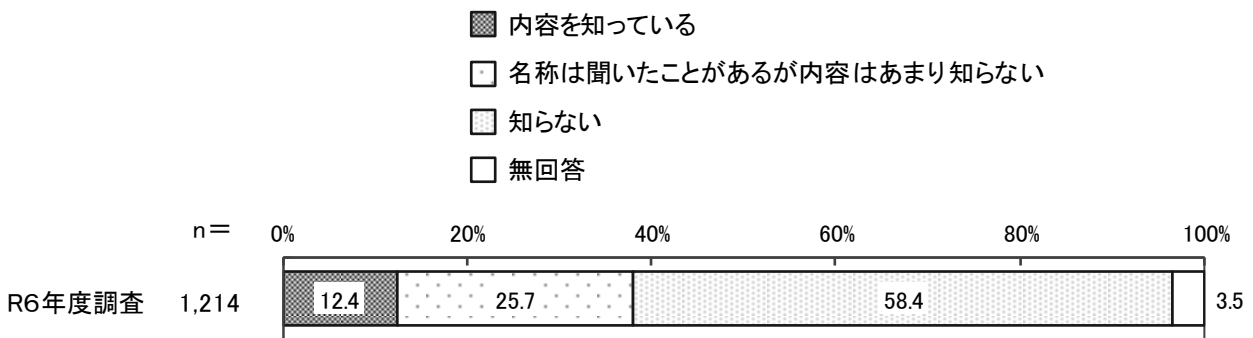


13 性的マイノリティの人権について

問32 あなたは、関市が「LGBTフレンドリー宣言」をしていることを知っていますか。
(1つだけ)

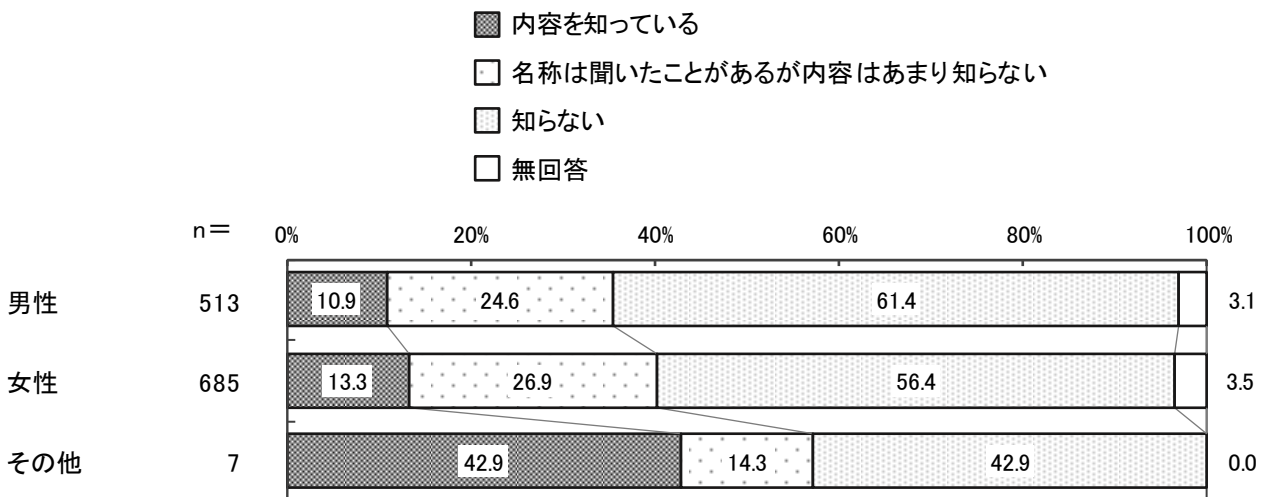
【全体】

「知らない」が58.4%と最も高く、次いで「名称は聞いたことがあるが内容はあまり知らない」が25.7%、「内容を知っている」が12.4%となっています。



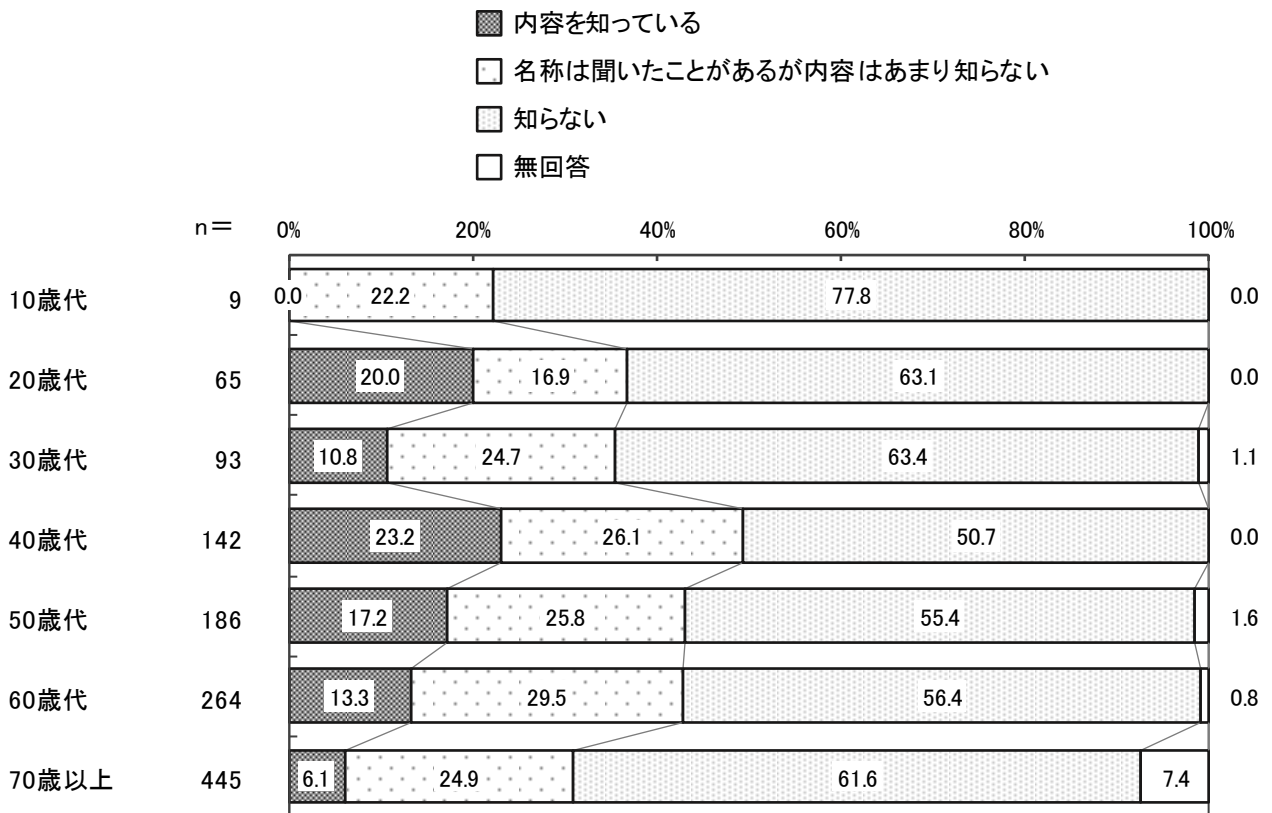
【性別】

性別にみると、男女ともに「知らない」が最も高く、男性が61.4%、女性が56.4%と男性が女性より5.0ポイント高くなっています。



【年代別】

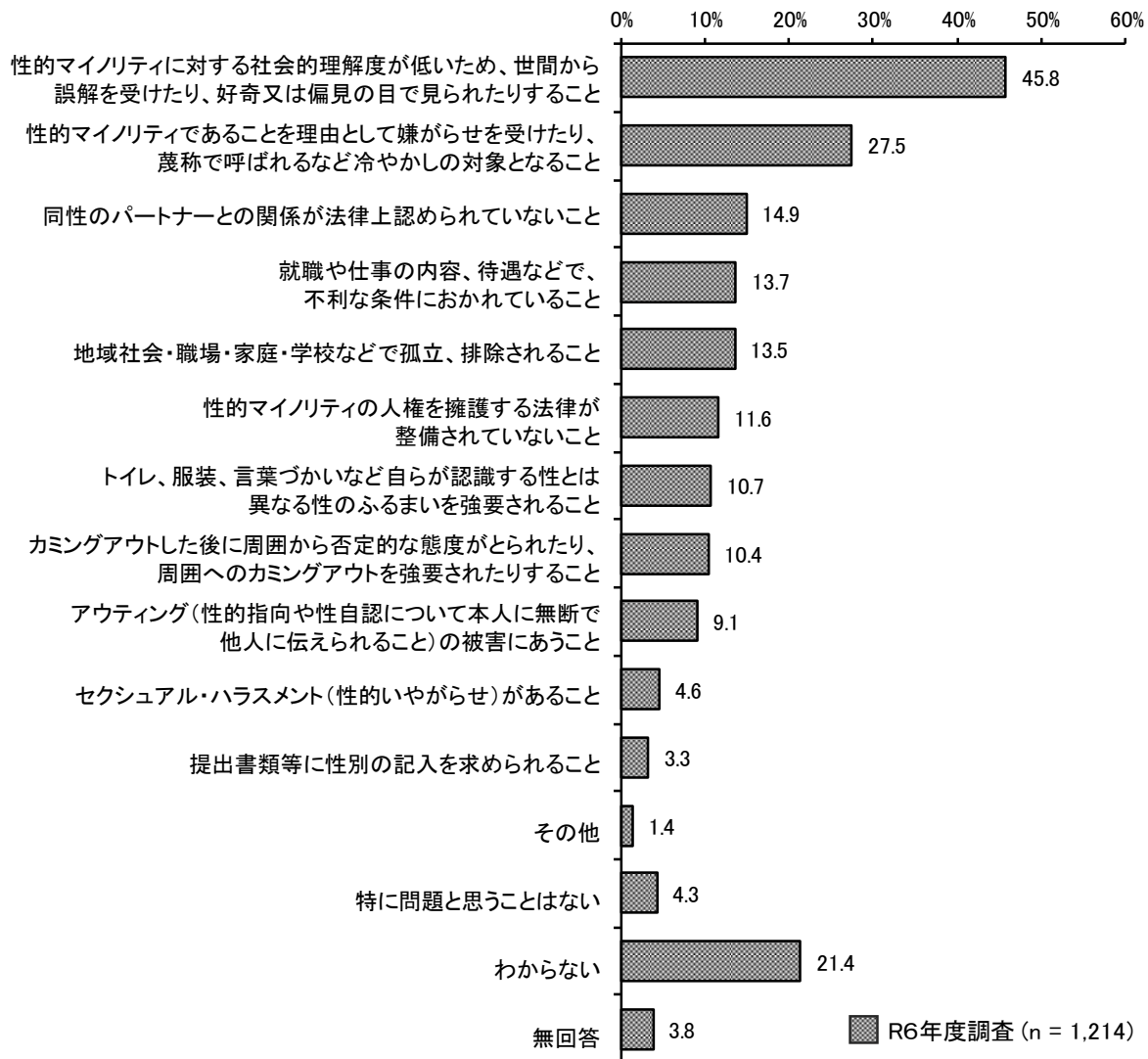
年代別にみると、20歳代、40歳代で「内容を知っている」が他の年代に比べて高くなっています。



問33 次にあげるもののうち、性的マイノリティの人権問題について特に問題があると思われることは何ですか。（3つまで）

【全体】

「性的マイノリティに対する社会的理解度が低いため、世間から誤解を受けたり、好奇又は偏見の目で見られたりすること」が45.8%と最も高く、次いで「性的マイノリティであることを理由として嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」が27.5%、「同性のパートナーとの関係が法律上認められていないこと」が14.9%となっています。



【性別】

性別にみると、男女ともに「性的マイノリティに対する社会的理解度が低いため、世間から誤解を受けたり、好奇又は偏見の目で見られたりすること」が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	性的マイノリティに対する社会的理解度が低いため、世間から誤解を受けたり、好奇又は偏見の目で見られたりすること	性的マイノリティであることを理由として嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること	同性のパートナーとの関係が法律上認められていないこと	就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること	地域社会・職場・家庭・学校などで孤立、排除されること	性的マイノリティの人権を擁護する法律が整備されていないこと	トイレ、服装、言葉づかいなど自らが認識する性とは異なる性のかるまいを強要されること	カミングアウトした後周囲から否定的な態度がとられたり、周囲へのカミングアウトを強要されたりすること
男性	513	43.5	28.3	10.7	15.0	15.8	11.1	10.3	7.4
女性	685	48.2	27.0	17.8	12.8	11.8	12.3	11.2	12.6
その他	7	42.9	42.9	57.1	-	28.6	-	-	28.6

区分	有効回答数(件)	アウトティング(性的指向や性自認について本人に無断で他人に伝えられること)の被害にあうこと	セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)があること	提出書類等に性別の記入を求められること	その他	特に問題と思わないこと	わからない	無回答
男性	513	7.2	5.7	2.1	1.4	7.8	21.4	3.5
女性	685	10.7	3.5	4.2	1.5	1.8	21.0	3.8
その他	7	-	28.6	-	-	-	-	-

【年代別】

年代別にみると、いずれの年代においても「性的マイノリティに対する社会的理解度が低いため、世間から誤解を受けたり、好奇又は偏見の目で見られたりすること」が最も高く、20歳代、40歳代では5割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	性的マイノリティに対する社会的理解度が低い ため、世間から誤解を受けたり、好奇又は偏見の目で見られたりすること	性的マイノリティであること を理由として嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること	同性のパートナーとの関係が法律上認められていないこと	就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること	地域社会・職場・家庭・学校などで孤立、排除されること	性的マイノリティの人権を擁護する法律が整備されていないこと	トイレ、服装、言葉づかいなど自ら認識する性とは異なる性のふるまいを強要されること	カミングアウトした後、周囲から否定的な態度がとられたり、周囲へのカミングアウトを強要されたりすること
10歳代	9	-	44.4	33.3	-	11.1	-	-	11.1
20歳代	65	55.4	38.5	26.2	10.8	12.3	12.3	16.9	16.9
30歳代	93	47.3	35.5	22.6	10.8	9.7	11.8	9.7	12.9
40歳代	142	51.4	28.9	15.5	12.7	17.6	8.5	13.4	12.7
50歳代	186	48.9	29.6	16.7	22.0	15.6	9.7	10.2	13.4
60歳代	264	48.9	31.8	12.9	14.0	15.9	13.3	14.4	14.4
70歳以上	445	40.9	20.4	11.7	11.7	11.2	12.8	7.6	4.7

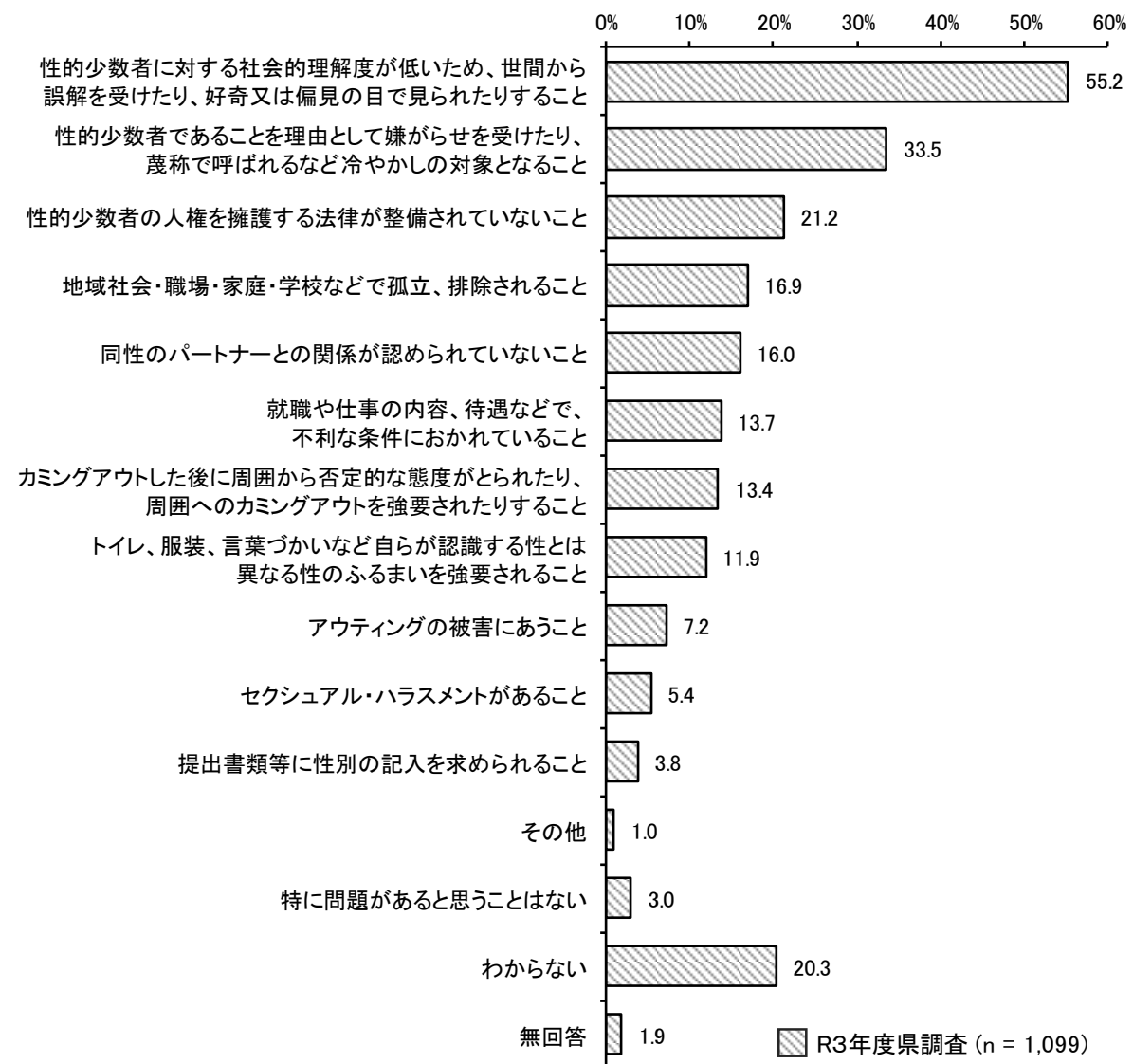
区分	有効回答数(件)	アウトイング(性的指向や性自認について本人に無断で他人に伝えられること)の被害にあつたこと	セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)があること	提出書類等に性別の記入を求められること	その他	特に問題と思つたことはない	わからない	無回答
10歳代	9	-	11.1	-	-	11.1	33.3	-
20歳代	65	15.4	1.5	4.6	-	4.6	10.8	-
30歳代	93	7.5	4.3	3.2	2.2	4.3	17.2	1.1
40歳代	142	7.7	0.7	2.8	2.1	6.3	14.8	2.1
50歳代	186	12.4	5.4	3.8	2.2	3.2	16.7	0.5
60歳代	264	11.7	2.7	3.4	1.5	5.3	17.0	0.8
70歳以上	445	6.3	7.0	3.1	0.9	3.1	29.7	8.3

【県調査との比較】

県調査と比較すると、市・県ともに「性的マイノリティ（性的少数者）に対する社会的理解度が低いため、世間から誤解を受けたり、好奇又は偏見の目で見られたりすること」が最も高く、次いで「性的マイノリティ（性的少数者）であることを理由として嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」が高くなっています。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

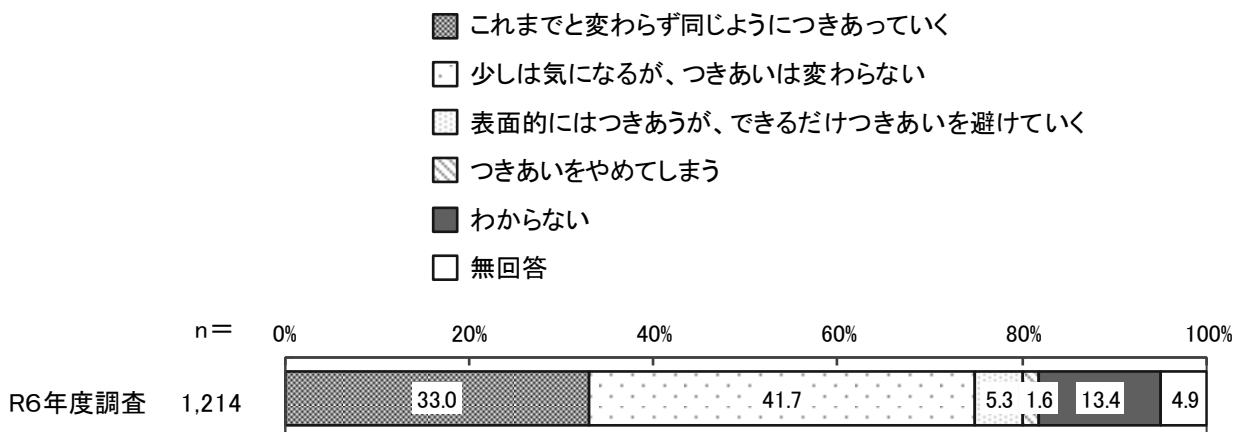
問. 性的少数者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。（3つまで）



問34 日頃から親しくつきあっている人が、性的マイノリティであることがわかったとき、あなたはどうしますか。(1つだけ)

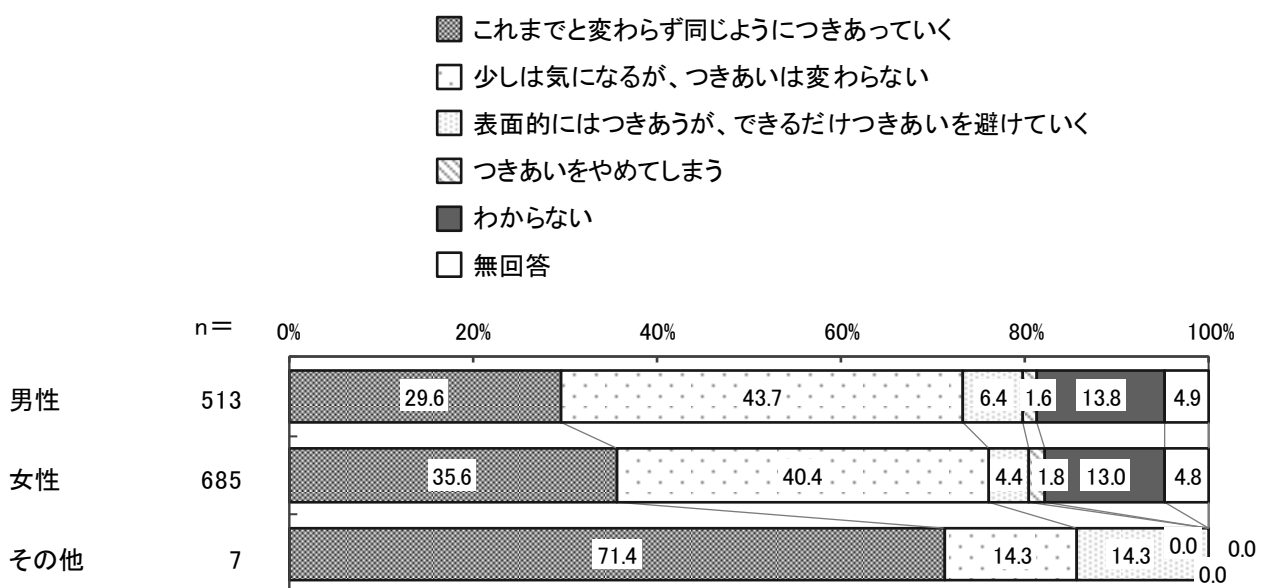
【全体】

「少しは気になるが、つきあいは変わらない」が41.7%と最も高く、次いで「これまでと変わらず同じようにつきあっていく」が33.0%、「わからない」が13.4%となっています。また、「これまでと変わらず同じようにつきあっていく」と「少しは気になるが、つきあいは変わらない」を合わせた“つきあい方が変わらない”は74.7%、「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいを避けていく」と「つきあいをやめてしまう」を合わせた“つきあい方が変わる”は6.9%となっています。



【性別】

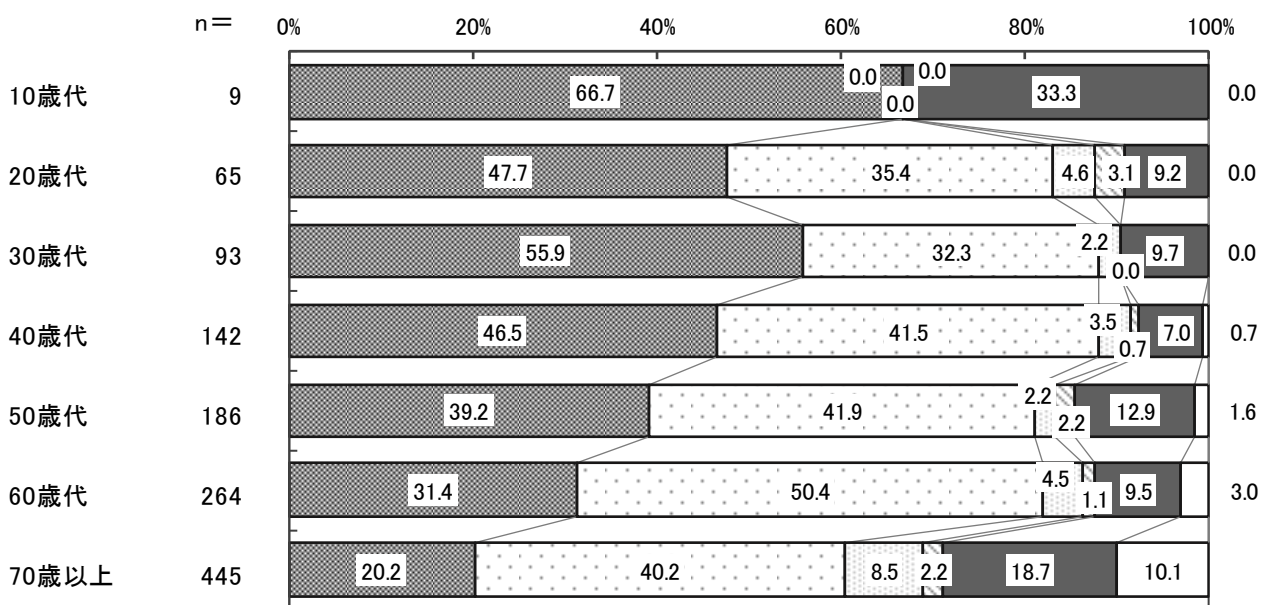
性別にみると、男女ともに「少しは気になるが、つきあいは変わらない」が最も高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、「これまでと変わらず同じようにつきあっていく」では、若い年代ほど高くなる傾向がみられ、40歳代以下で4割以上となっています。

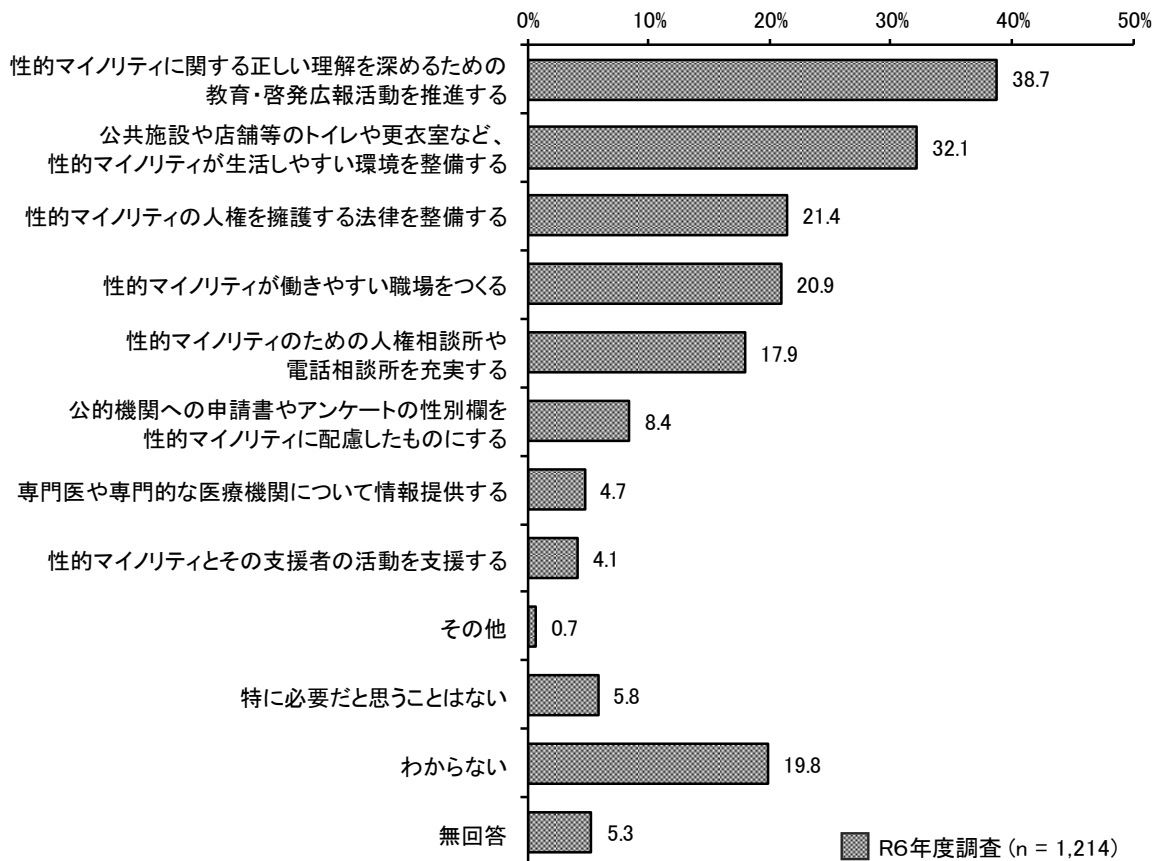
- これまでと変わらず同じようにつきあっていく
- 少しは気になるが、つきあいは変わらない
- 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいを避けていく
- つきあいをやめてしまう
- わからない
- 無回答



問35 性的マイノリティへの人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(3つまで)

【全体】

「性的マイノリティに関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が38.7%と最も高く、次いで「公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、性的マイノリティが生活しやすい環境を整備する」が32.1%、「性的マイノリティの人権を擁護する法律を整備する」が21.4%となっています。



【性別】

性別にみると、「性的マイノリティに関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」、「公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、性的マイノリティが生活しやすい環境を整備する」では、女性が男性より7.0ポイント、7.8ポイントそれぞれ高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	性的マイノリティに関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する	公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、性的マイノリティが生活しやすい環境を整備する	性的マイノリティの人権を擁護する法律を整備する	性的マイノリティが働きやすい職場をつくる	性的マイノリティのための人権相談所や電話相談所を充実する	性的マイノリティのための人権相談所	公的機関への申請書やアンケートの性別欄を性的マイノリティに配慮したものにする	情報提供する	専門医や専門的な医療機関について	性的マイノリティとその支援者の活動を支援する	その他	特に必要だと思つことばない	わからない	無回答
男性	513	34.9	27.7	22.0	19.1	17.0	7.0	5.1	4.7	0.6	9.6	20.7	4.7		
女性	685	41.9	35.5	21.3	22.5	19.0	9.3	4.4	3.8	0.7	3.1	18.7	5.5		
その他	7	42.9	28.6	14.3	28.6	-	14.3	14.3	-	14.3	-	28.6	-		

【年代別】

年代別にみると、30歳代を除くいずれの年代においても「性的マイノリティに関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が最も高く、30歳代では「公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、性的マイノリティが生活しやすい環境を整備する」が最も高くなっています。「性的マイノリティの人権を擁護する法律を整備する」では、20歳代が35.4%と他の年代に比べて高くなっています。

単位：％

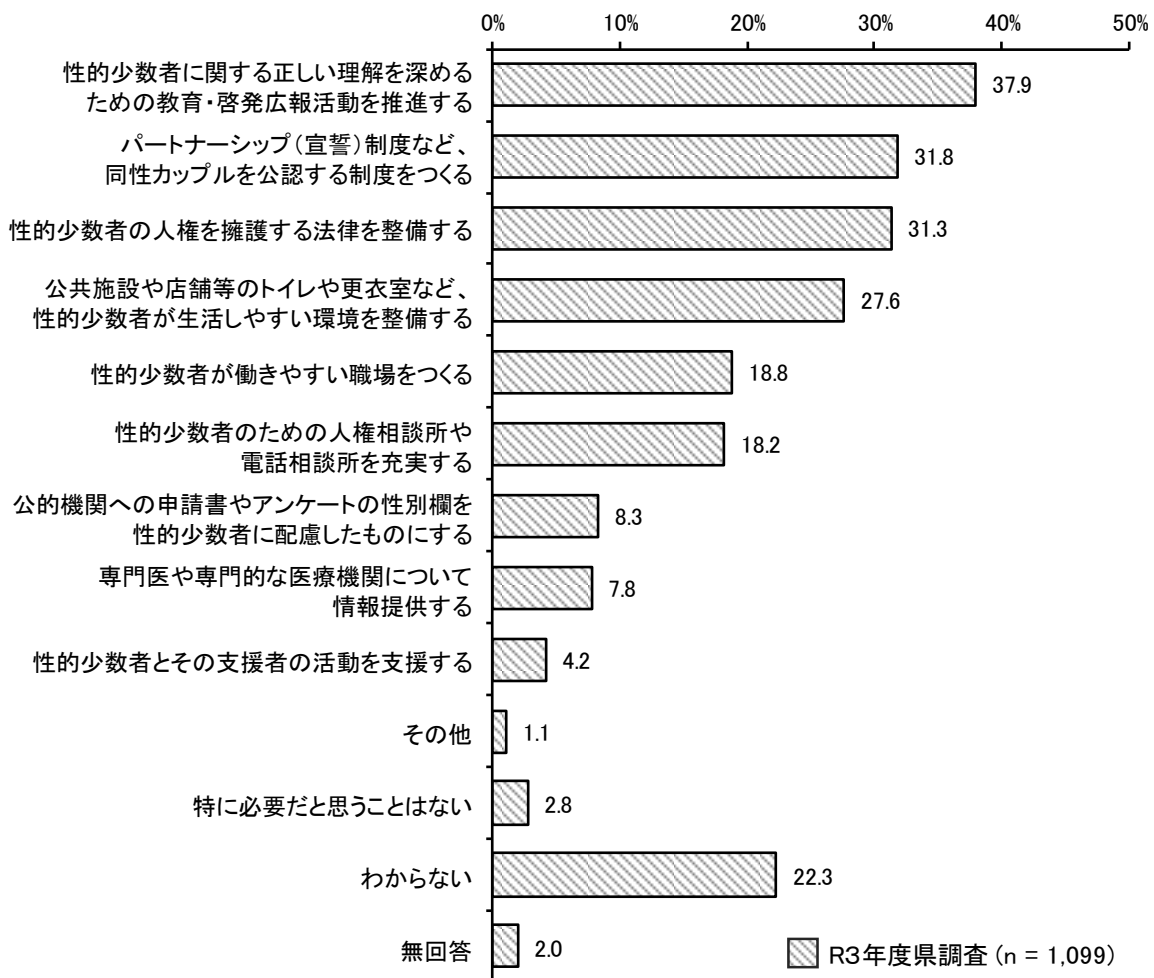
区分	有効回答数(件)	性的マイノリティに関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する	公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、性的マイノリティが生活しやすい環境を整備する	性的マイノリティの人権を擁護する法律を整備する	性的マイノリティが働きやすい職場をつくる	性的マイノリティのための人権相談所や電話相談所を充実する	性的マイノリティのための人権相談所	公的機関への申請書やアンケートの性別欄を性的マイノリティに配慮したものにする	情報提供する	専門医や専門的な医療機関について	性的マイノリティとその支援者の活動を支援する	その他	特に必要だと思つことばない	わからない	無回答
10歳代	9	22.2	-	11.1	22.2	-	-	-	-	11.1	-	-	44.4	-	
20歳代	65	44.6	30.8	35.4	21.5	21.5	7.7	7.7	4.6	1.5	10.8	6.2	-		
30歳代	93	36.6	38.7	20.4	21.5	11.8	9.7	5.4	3.2	2.2	11.8	17.2	-		
40歳代	142	43.7	34.5	26.1	28.9	16.9	5.6	0.7	7.0	-	9.9	10.6	1.4		
50歳代	186	44.6	34.9	19.4	23.1	15.6	11.3	3.8	5.4	1.1	4.8	21.0	1.6		
60歳代	264	42.0	37.5	25.4	23.5	20.5	11.4	4.5	2.7	1.1	4.5	15.2	3.0		
70歳以上	445	33.3	26.5	17.3	16.2	19.1	6.3	6.1	3.6	0.2	3.8	26.5	10.8		

【県調査との比較】

県調査と比較すると、市・県ともに「性的マイノリティ（性的少数者）に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が最も高くなっています。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 性的少数者への人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。
（3つまで）

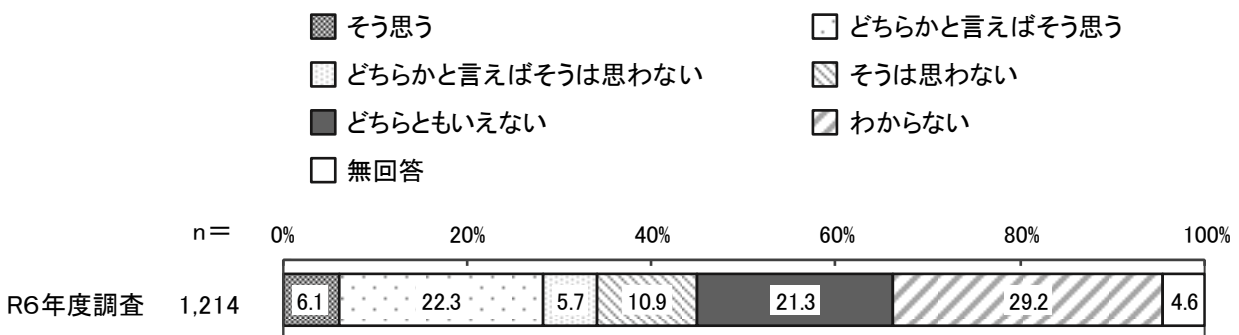


14 人権意識などについて

問36 市民一人ひとりの人権意識は5年前に比べて高くなっていると思いますか。
(1つだけ)

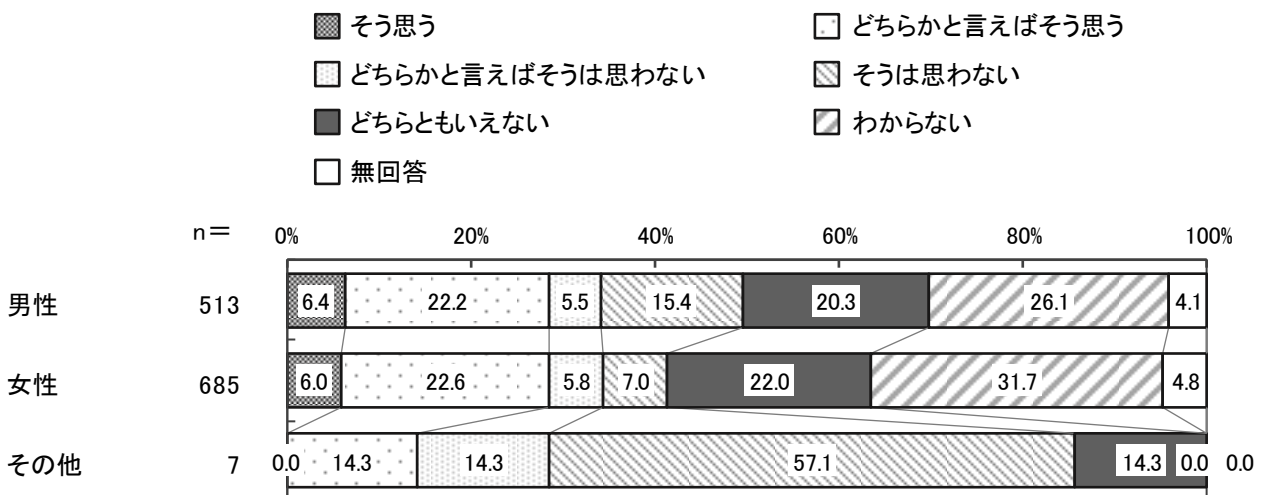
【全体】

「わからない」が29.2%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が22.3%、「どちらともいえない」が21.3%となっています。また、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた“高くなっていると思う”は28.4%、「どちらかと言えばそうは思わない」と「そうは思わない」を合わせた“高くなっていると思わない”は16.6%となっています。



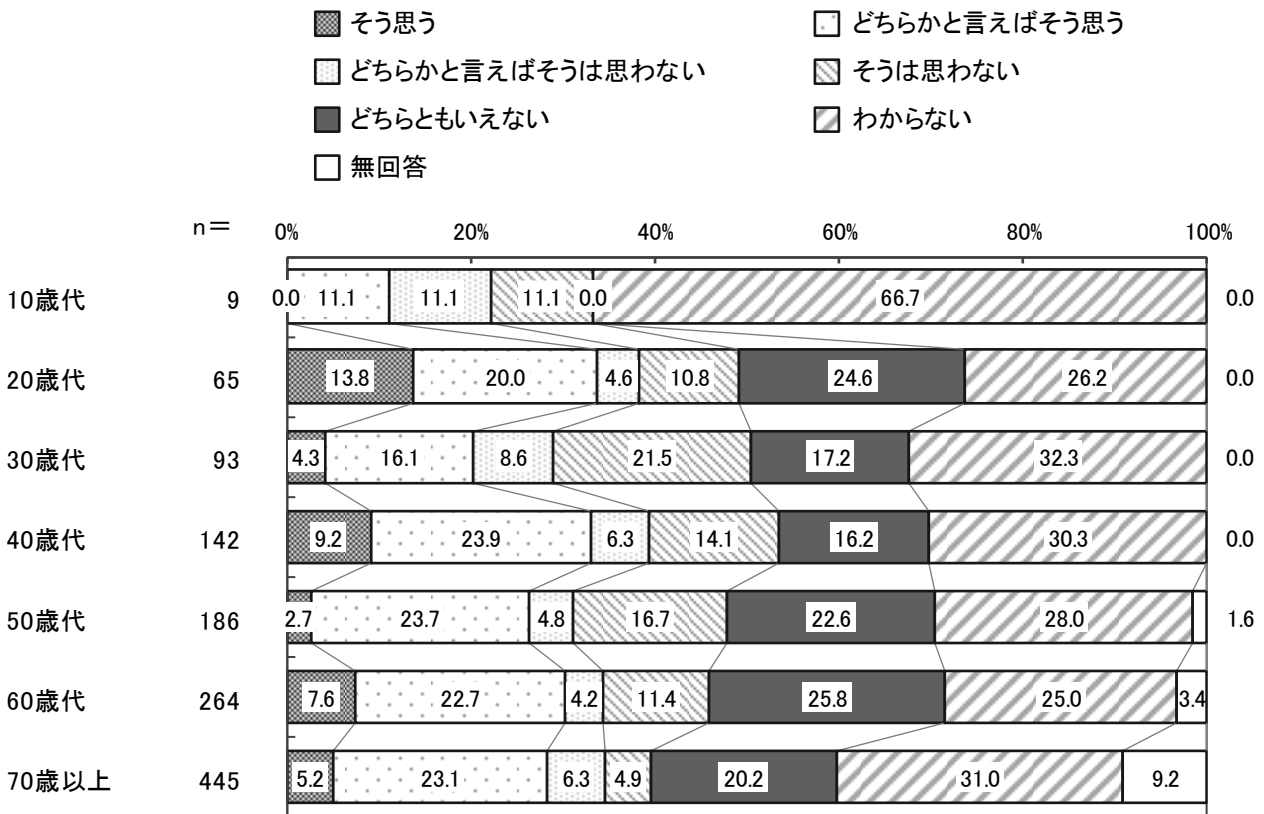
【性別】

性別にみると、男女ともに「わからない」が最も高くなっています。「どちらかと言えばそうは思わない」と「そうは思わない」を合わせた“高くなっていると思わない”は、男性が20.9%、女性が12.8%と男性が女性より8.1ポイント高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた“高くなっていると思う”は、20歳代、40歳代で他の年代に比べて高くなっています。「どちらかと言えばそうは思わない」と「そうは思わない」を合わせた“高くなっていると思わない”は、30歳代で他の年代に比べて高くなっています。

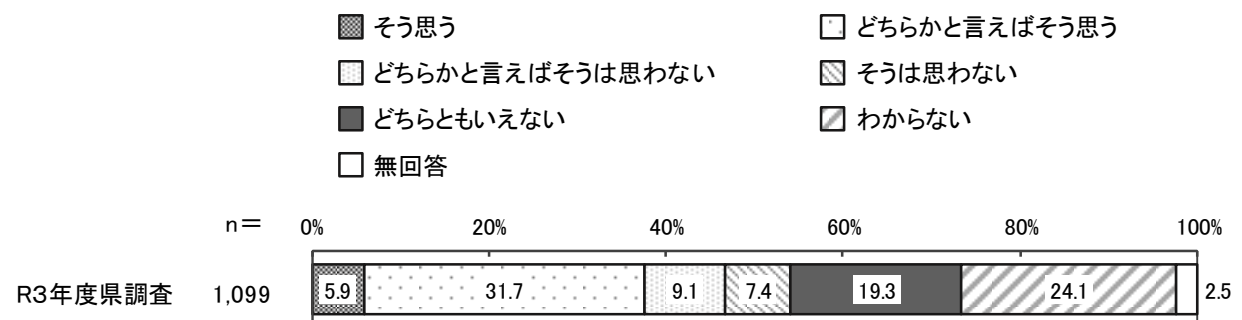


【県調査との比較】

県調査と比較すると、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた“高くなっていると思う”は、市（28.4%）が県（37.6%）より9.2ポイント低くなっています。

参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 県民一人ひとりの人権意識は5年前に比べて高くなっていると思いますか。（1つだけ）



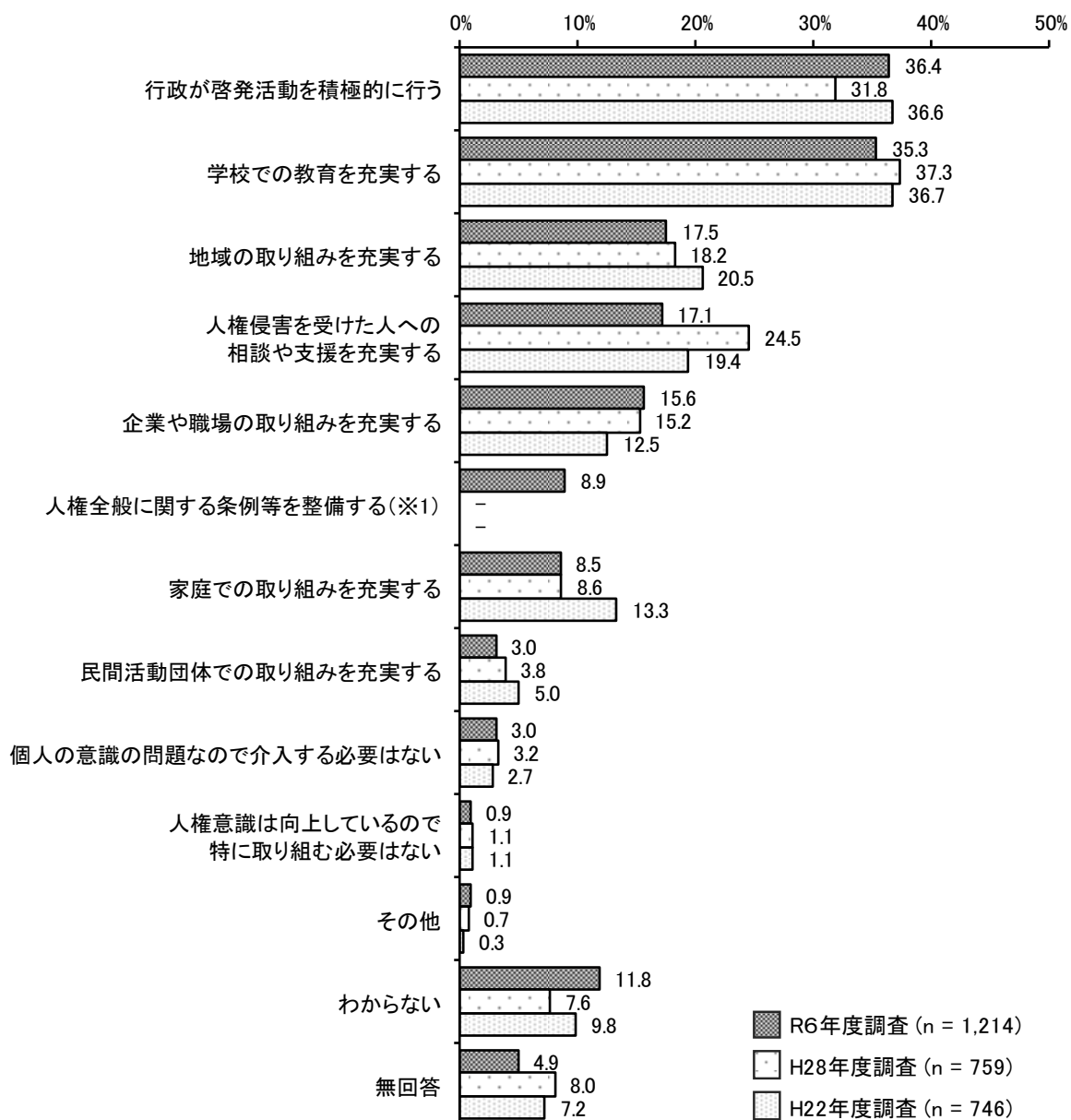
15 今後の人権教育啓発について

問37 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めるために、今後どのような取り組みを行えばよいと思いますか。(2つまで)

【全体/前回・前々回比較】

「行政が啓発活動を積極的に行う」が36.4%と最も高く、次いで「学校での教育を充実する」が35.3%、「地域の取り組みを充実する」が17.5%となっています。

前回調査（H28年度）と比較すると、前回同様、「行政が啓発活動を積極的に行う」、「学校での教育を充実する」が高くなっています。



※1：R6年度調査より選択肢を追加したため、前回・前々回調査との正確な比較はできません。

【性別】

性別にみると、男性では「学校での教育を充実する」、女性では「行政が啓発活動を積極的に行う」が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	行政が啓発活動を積極的に行う	学校での教育を充実する	地域の取り組みを充実する	人権侵害を受けた人への相談や支援を充実する	企業や職場の取り組みを充実する	人権全般に関する条例等を整備する	家庭での取り組みを充実する
男性	513	35.9	38.8	16.8	15.6	17.2	8.2	9.0
女性	685	37.4	32.7	18.1	18.4	14.7	9.5	8.0
その他	7	14.3	42.9	-	28.6	-	14.3	28.6

区分	有効回答数(件)	民間活動団体での取り組みを充実する	個人の意識の問題なので介入する必要はない	人権意識は向上しているので特に取り組む必要はない	その他	わからない	無回答
男性	513	2.3	4.1	0.8	1.0	10.9	3.9
女性	685	3.6	1.9	1.0	0.6	12.0	5.4
その他	7	-	14.3	-	28.6	14.3	-

【年代別】

年代別にみると、30～40歳代を除くいずれの年代においても「行政が啓発活動を積極的に行う」が最も高くなっています。(50歳代では「学校での教育を充実する」も同率。) 30～40歳代では「学校での教育を充実する」が最も高く、5割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	行政が啓発活動を積極的に行う	学校での教育を充実する	地域の取り組みを充実する	人権侵害を受けた人への相談や支援を充実する	企業や職場の取り組みを充実する	人権全般に関する条例等を整備する	家庭での取り組みを充実する
10歳代	9	-	44.4	11.1	22.2	33.3	-	-
20歳代	65	41.5	32.3	21.5	10.8	29.2	15.4	18.5
30歳代	93	22.6	50.5	11.8	12.9	15.1	8.6	10.8
40歳代	142	35.9	52.8	16.9	13.4	17.6	8.5	10.6
50歳代	186	37.6	37.6	18.3	19.9	21.0	11.3	8.6
60歳代	264	43.6	34.8	16.7	20.1	17.0	11.4	6.8
70歳以上	445	35.1	26.1	18.4	17.5	9.9	6.1	7.2

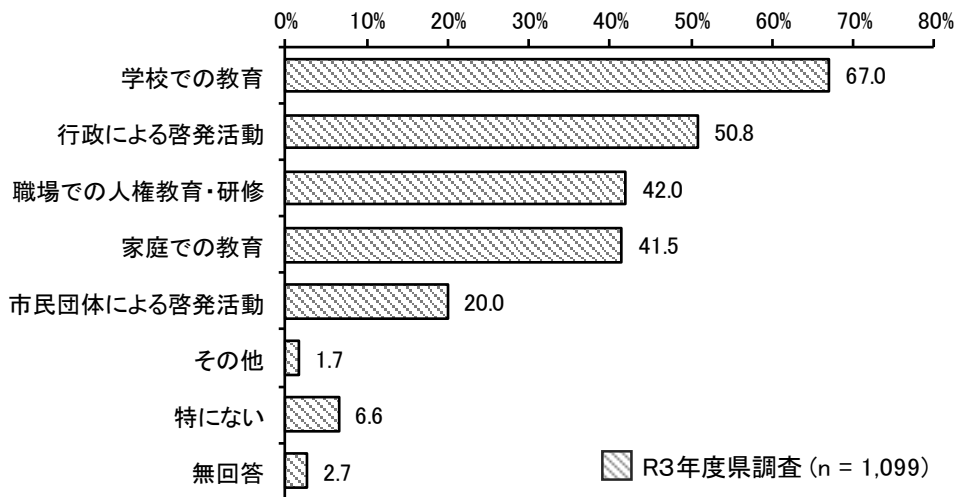
区分	有効回答数(件)	民間活動団体での取り組みを充実する	個人の意識の問題なので介入する必要はない	人権意識は向上しているので特に取り組む必要はない	その他	わからない	無回答
10歳代	9	-	-	-	-	11.1	-
20歳代	65	3.1	-	-	-	4.6	-
30歳代	93	6.5	6.5	1.1	5.4	9.7	1.1
40歳代	142	3.5	2.1	-	0.7	7.0	1.4
50歳代	186	2.2	1.1	-	1.1	10.8	1.6
60歳代	264	1.9	2.7	0.8	0.8	10.2	3.0
70歳以上	445	3.4	3.8	1.8	0.2	15.5	9.7

【県・国調査との比較】

県・国調査と比較すると、県では「学校での教育」、国では「学校内外の人権教育を充実する」と、学校教育に関する項目が最も高くなっています。市では「行政が啓発活動を積極的に行う」が36.4%、「学校での教育を充実する」が35.3%と行政と学校の取り組みが二大項目となっています。

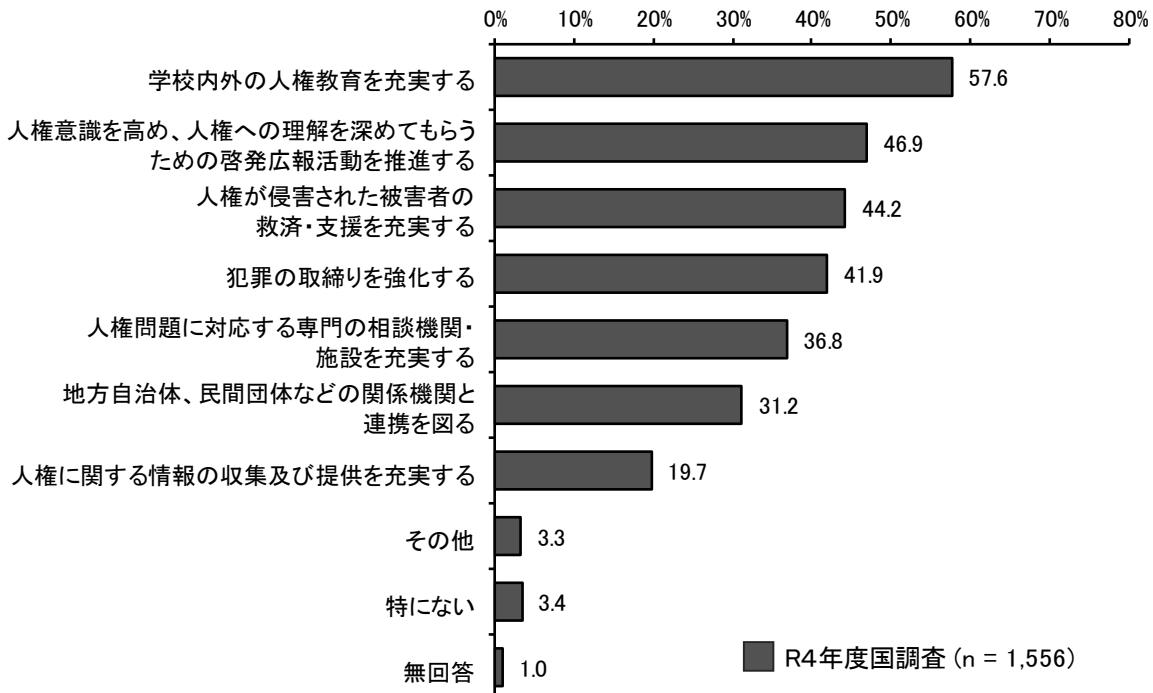
参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 人権意識を高める方法としては、どのようなものが有効と考えられますか。（いくつでも）



参考：国調査（内閣府「人権擁護に関する世論調査」）

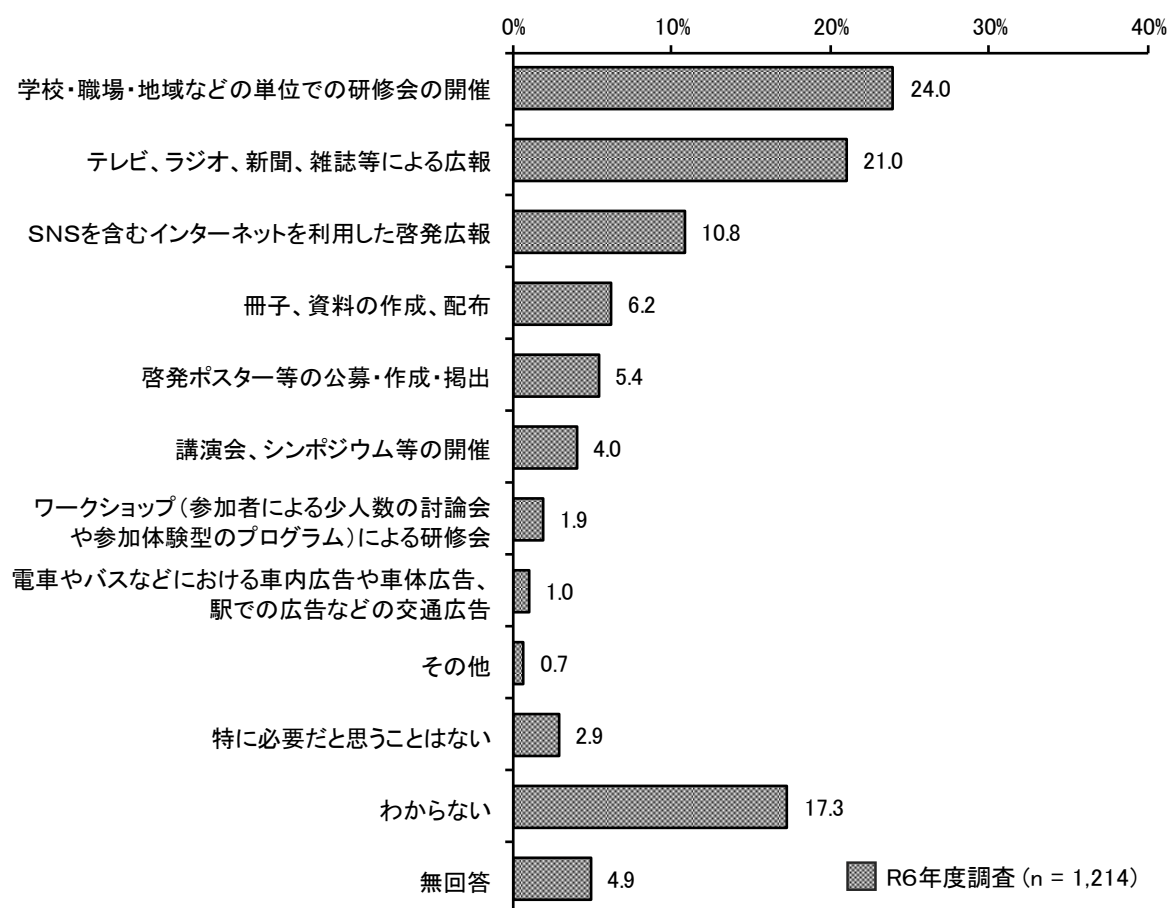
問. あなたは、人権問題の解決に向けて、国は、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。（いくつでも）



問38 人権問題についての理解を深めるための人権教育・人権啓発方法について、特にどのような啓発・広報活動が効果的だと思いますか。(1つだけ)

【全体】

「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」が24.0%と最も高く、次いで「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」が21.0%、「SNSを含むインターネットを利用した啓発広報」が10.8%となっています。



【性別】

性別にみると、男女ともに「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	学校・職場・地域などの単位での研修会の開催	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報	SNSを含むインターネットを利用した啓発広報	冊子、資料の作成、配布	啓発ポスター等の公募・作成・掲出	講演会、シンポジウム等の開催	ワークショップによる研修会	電車やバスなどにおける車内広告や車体広告、駅での広告などの交通広告	その他	特に必要だと思っていない	わからない	無回答
男性	513	25.1	20.7	11.5	5.1	5.3	5.3	2.3	1.0	1.4	3.7	14.6	4.1
女性	685	23.4	21.6	10.2	7.2	5.5	3.2	1.5	1.0	0.1	2.0	19.0	5.3
その他	7	14.3	-	28.6	-	-	-	14.3	-	14.3	14.3	14.3	-

【年代別】

年代別にみると、30～60歳代では「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」（60歳代では「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」も同率）、20歳代では「SNSを含むインターネットを利用した啓発広報」、70歳以上では「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」が最も高くなっています。

単位：％

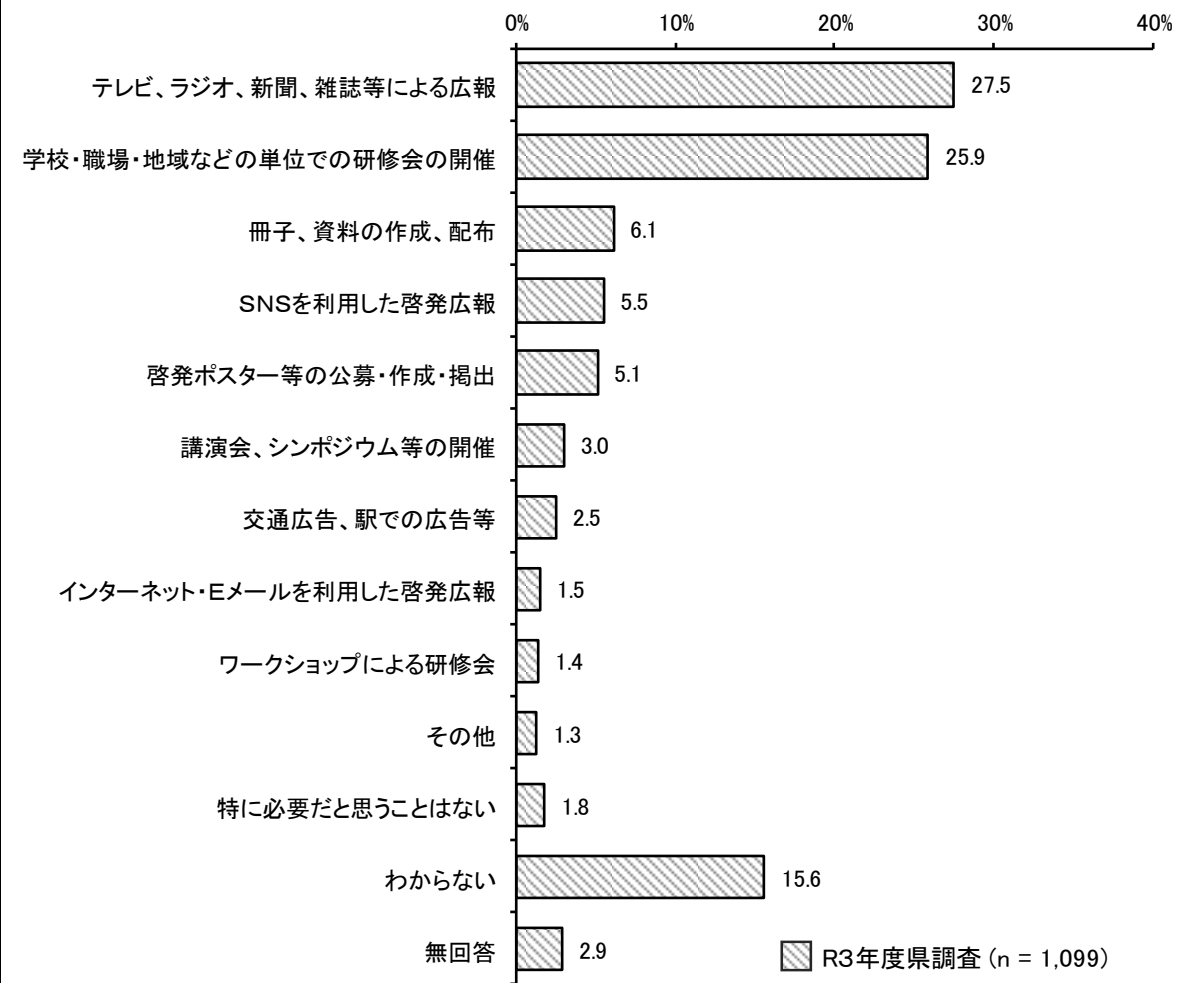
区分	有効回答数(件)	学校・職場・地域などの単位での研修会の開催	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報	SNSを含むインターネットを利用した啓発広報	冊子、資料の作成、配布	啓発ポスター等の公募・作成・掲出	講演会、シンポジウム等の開催	ワークショップによる研修会	電車やバスなどにおける車内広告や車体広告、駅での広告などの交通広告	その他	特に必要だと思っていない	わからない	無回答
10歳代	9	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
20歳代	65	26.2	16.9	27.7	3.1	7.7	1.5	6.2	3.1	-	1.5	6.2	-
30歳代	93	34.4	14.0	24.7	-	3.2	2.2	-	1.1	1.1	5.4	12.9	1.1
40歳代	142	34.5	18.3	16.2	2.8	4.2	2.8	4.2	-	0.7	2.8	12.7	0.7
50歳代	186	27.4	17.2	15.1	5.4	4.8	4.3	3.2	0.5	0.5	1.6	18.3	1.6
60歳代	264	25.8	25.8	9.8	6.4	4.9	3.8	1.5	0.4	1.1	3.0	14.4	3.0
70歳以上	445	15.7	22.5	2.9	9.4	6.5	5.4	0.7	1.6	0.7	2.7	22.0	9.9

【県・国調査との比較】

県・国調査と比較すると、市・県ともに「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」が上位2項目を占めています。また、国では「テレビ・ラジオ」が最も高く、次いで「SNSを含むインターネット」が高くなっています。

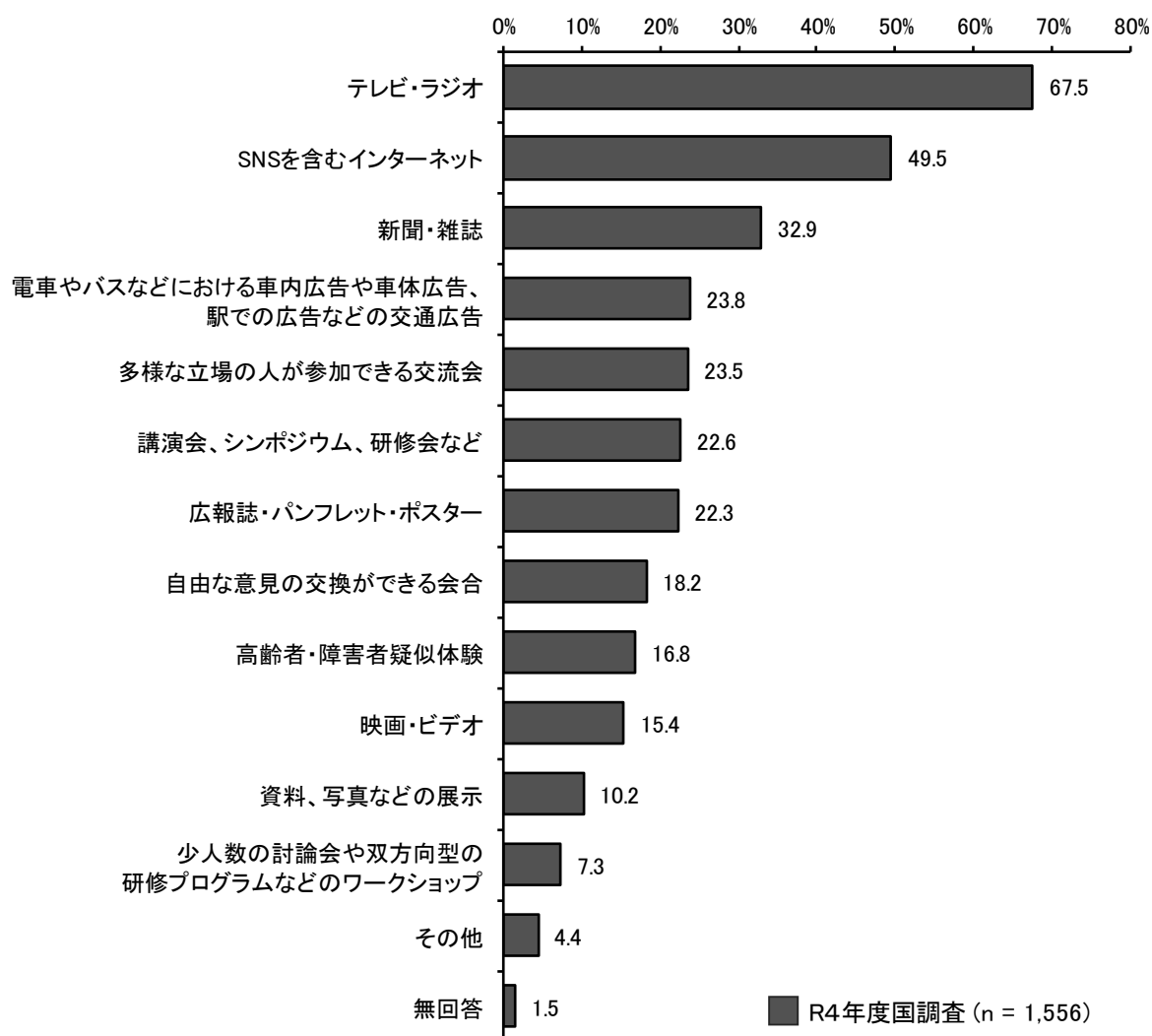
参考：県調査（岐阜県「人権に関する県民意識調査」）

問. 人権侵害に関する県民の皆さんの認識を深めるための人権教育・人権啓発の方法について、特にどのようなことが必要だと思いますか。（1つだけ）



参考：国調査（内閣府「人権擁護に関する世論調査」）

問. あなたは、人権尊重意識が人々の間に広く深く浸透するためには、国がどのような方法で啓発広報活動を行うことが効果的だと思いますか。（いくつでも）



問2 日本の社会にはいろいろな人権問題がありますが、次のうち、あなたが関心を持っている問題は何ですか。

わからない

1人の人権問題

親権を失った側の人権

犯罪の時の加害者の人権ばかり守って、被害者の人権はないみたいな世の中です。

どれも重要な問題だ！

男性に対する人権問題

人権問題をおこさない社会にする。

宗教による差別、偏向報道

書いてある全部関心がある。

貧富による差別

ガン患者の人権問題

私は差別とかかかわったことはありませんので。

宗教

なし

なし

わからない

人権問題のない世の中になってほしい。

学校でのいじめ

経営者からの働いている人への人権侵害

特になし

少数を優先し、多数の意見を切り捨てる人権問題

特になし

問4 問3で「ある」と回答された方にお聞きします。それはどのような人権侵害ですか。

意見の強要、圧力（子どもの親同士のつきあいの中で）

片親

家族の介護施設

部落差別

クレジットカードの不正請求
一方的に言葉の暴力、元職場での上司
宗教
買い物先、スーパーでのレジ待ちの時の人との距離間。販売員の言葉づかい。
職場で、優位に立ちたい、独占したい、いじめにあいたくないというなどの理由から、何も否がないにもかかわらずウソの情報をばらまき、人からの切り離しや評価を下げる行い、見張り、監視を受けたことなど。
カスハラ
身体の病名
子どもの知的障がい
家にどなりこんできた人がいた。
他人が義父（80才過ぎ）の養子に入り、財産問題等でもめた。（精神的な苦痛有）
学校現場にて、子どもたちの意向を無視した指導、強要。例えば、美術の作品に許可なく教員が手を加え、子どもが苦痛を感じたこと。
知的障害と自閉症伴う息子には、関市では仕事の選択肢がなく、家庭で暮らす選択肢しかない。昔の私宅監置に似ています。
問5 もしも人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか。
内容によって関係機関と相談し、しっかりと取り組みます。
わからない
ネットでまず調べる（どのように対処すべきか、方法があるか）。Facebook等で皆に問いかける。その上で、どの方法・考え方がよいか決める。焦って動かない。
距離を取って原因の場所から逃げる。
内容によってどこへ相談するかは変わると思う。
なにを言っても無駄…。質問を文句と言われるので…。
相手の行いが病的であるかどうかを判断、意見を聞くために病院の先生に相談をする。原因はどこにあるのかを見極める。病的であると判断されると、受けているこちら側には、問題はないとわかるため、必要以上に自分を責める気持ちは、おこりにくくなる。
その問題で必要（守られる）な所に相談する。
公的機関の人は信用できない。
特になにもしない
相談できる所を探す。
最終的に裁判所に行くが、すでに養子に入っているためどうにもならなかった。死亡前に預金1,000万以上と借家7軒、アパート（8戸）の、名義が変わっていた。
受けたことがないのでわからない。

起きた事案により、それぞれに対応する。
相談するにあたって、全てにおいてプラスに働いたことはなかった。
メメント・モリ
いつか反撃できるよう証拠を集める。
その時の自治体の状況によります。
独力で相手を突き止め、法的措置を取った。
人権侵害の内容による。
どこに相談をしても聞くだけで、選択肢がないため何も解決しません。
内容によって対応は異なります。
問7 次にあげるもののうち、女性の人権について特に問題があると思われることは何ですか。
女性を優遇しすぎる。男性に対する逆差別はやめてほしい。
女性の虚偽の性的被害の告発。
人権に男女は関係はないので、この問題が男女の差別を表している。
男女平等ではないのか？
独身には「結婚しないの？」結婚したら「子どもは？」1人産んだら「2人目は？」2人産んだら、「3人目は？」3人産んだら、「3人も！？」発言。きょうだいいないとかわいそう。助けてくれないのに無責任発言。
「女性だから」を理由にされる（例）女性にしかなど。
女性自身に問題ある場合もある！
新しい時代になっても女性蔑視の風潮は変わらない。
結婚後の苗字
問8 あなたは、女性の人権を尊重するために必要なことは、どのようなことだと思いますか。
大人になって急に人権と言われてもよくわからないので、子どものうちから男女の人権問題を考える授業が基本的に何度もあるといいと思う。
男性の人権はどうか、男性でも弱い立場の人はいる。
なにを言っても変わらない。意味がない。
自分が一生懸命何事にもかかわって、人が人格を証明すると思う。
幼少期の家庭と学校教育が大切、大人になってからいくら教えても、価値観はなかなか変えづらいから。
人権に男女は関係はないので、この問題が男女の差別を表している。
男社会の意識を変える。

家庭内での男女差の意識が大きいと感じる。
女性が声をあげても意味がないことが多い。男性への教育が必要だと思う。セクハラを受けても、男性は許されるのに、女性はトラウマで外に出れなくなったりする。加害者をしっかり罰則される世の中であってほしい。
女性の人権を！！と言っている時点で男が強いという考え方である、と思うので女性の人権の間がある時点でナンセンス。
男も違うことで尊重されてませんけど。
上記全ての項目について、机上の空論ではなく実践することが大切である。
夫婦別姓
古い価値観を持つ老害の排除。
男尊女卑と言われているが、逆の部分も多くあると思う。女性が優遇されているがそこには触れられないという事案もいくつかある。
女性自身が「女だからできない」と逃げることを許さない。（自治会長の役回りなど）
問9 次にあげるもののうち、こどもの人権について特に問題があると思われることは何ですか。
まわりに子どもがいないので。
情操教育に相応しくないインターネットメディア
子どもが、誰か知らない人へ相談できないこと。
親の子に対しての養育放棄など。
おとなしい子どもは、無視されがち。
依頼心の強い子をつくらない。学習塾にやらない。
いじめを行っている人の心が、いじめをしないと自分を保てない状態なことも考慮していけない世の中。
従属的に家事や家族の世話をした。将来役に立つ。
子どもが学校に行きたくない時に取れる選択肢が少ない。
母親による子どもの連れ去り事案。
子どもに対するきちんとした性教育がなされていないこと。
問10 あなたは、児童虐待を発見したらどうされますか。
その場でとめてあげる。
身体の状態的に何もできません。
直接、阻止する。
家庭
その子の望む行動をとる。

即声かけし、警察への連絡もする。
公的機関の対応の悪さ。（遅い、もみ消し等）
発見することの状況に出会わない。
その場でその大人に話をする！！
判断がつきにくいので、まず周りに相談するかもしれません。
本心では行動すべきだが現実にはしないかも、4に近い。
通報すべきかいつも迷って、やめてしまう。
家族に相談してから決める。
さわらぬ神にはたたりなし。
通報者を守るのであれば1です。
明らかな虐待行為以外は通報に慎重になる。その前後関係や家族の問題など通報がかえって酷い状況を生むのではないかと心配してしまう。周りに相談し、どうするか判断する。
友達や家族に相談
何かしたいができないと思う。
問11 こどもの人権を尊重するために必要なことは、どのようなことだと思いますか。
公平な教育環境
児童相談所の権限の強化
学力を向上させ、バカにされたり、いじめの標的にされないようにする。
無限の可能性があるとつぶくのではなく、自分の実力、環境に合った評価を内省できるよう整える。
子ども自身が簡単に相談できる所を学校以外でつくる。
経済的に不安にさせない。
子どもをとりまく大人の意識レベルを上げないといけない、大人の教育が必要だと思う。
人身売買が世界的な問題となっており、国全体で行方不明者の捜索に力を入れる必要がある。
学校に行きたくない時の選択肢を増やし、自分で考えて選ばせる。
子どもの親に問題があるケースが多いと感じる。そもそも子どもの親に問題があると思うケースがある。子どもというよりその親や周囲の大人がそもそもダメ。
武道など学校以外での精神的な教育の場を充実させる。ただしそれには教える大人が人格者である必要があり、残念ながら適した者は意外に多くないのが現実。
直接の利害関係が生じない（第三者的な大人）がサポートできる体制。

親のしつけ直し。他人の家庭問題だと騒ぐ家庭に限って問題が多いと思う。
私も中学の時にいじめられましたが、私のいた学校はいじめに関しては無法地帯でした。
子どもにも親にも、現代の性教育を実施し、自分の体と心を大切にすることを啓蒙する。
問12 次にあげるもののうち、高齢者の人権について特に問題があると思われることは何ですか。
心が寂しいお年寄りには、身近な人が声かけをして会話をする事で元気になり、相談もできるようになると思うが、現実には家庭多数の中でもひとりきりの人がいる。
強盗
高齢者だからといって弱者扱いを求めるのはおかしいと思う。
車の運転に対しての報道のあり方。
高齢になっても働かなくてはいけない人が多いこと。
アドバンスケアプラン（ACP）が個人ごとに考えられていない。
4の逆。一緒に住んでいませんが、文句を言うてくる。
認知症などでこれまでと変わってしまった高齢者に対して、関わり方にとまどう。介護する側のメンタルヘルス。
友達づくりの場をつくる。
自分自身で人生生計をたてた一生にしたいです。
敬われて当然だと思っている老害が多すぎる。
若者に自分は年をとらないのかと言ってやりたい。
③の加害者の罪をより重くする。
戦時下の小学校生活の体験談をしても誰も聞かない。
公共交通機関の不備
高齢者自体が若い人たちにあらゆる面で譲ることも必要。何でもできると思うな。関市では高齢者たちがでしゃばりすぎている。いつまでも昭和の考えを押し通さないでいただきたい。
高齢者にもおごりがあると思う。高齢者にも高飛車な人がいる。自分は高齢者だから特別と思っているような人もいらっしやる。
認知症などの発症により、周りからの理解があらなくなる心配があることと、それを支える家族の支えも十分とはいわないため、高齢者の人権が守られない可能性が起りそうなこと。
詐欺などに絡み、当の高齢者が、我が子など身を案じる者の意見に耳を傾けようとしなないこと。
本人の意思とは関係なく、グループホームなどの施設に入れられてしまうこと（障がい者も同じ）。
高齢者ひとりでは賃貸住居の契約が簡単にできないこと。
問13 高齢者の人権を尊重するために必要なことは、どのようなことだと思いますか。

巡回
既ね現状で良いと思われる。
高齢者といっても弱者とは限らない。
言いたい放題なので、口をつつしんでほしい。
サークル活動の場
若い世代に年金を残すために額を一律にする。
介護する側の心の負担を少なくするため、受けられるサービスの説明や案内を広げたい（家で介護している方向けに）。施設スタッフによるいじめ等が内々で処理されては改善につながりにくいと思う。こういう事例があってこれはいじめなんだということを介護する側、介護を受ける側、施設に預けてる家族に知ってもらい、この問題に目を向けることが第1歩だと思う。また、ケアスタッフの賃金の低さ、これも問題だと思う。モチベーションに直結すると思うので、ストレスのはけ口で虐待してしまうこともあるんじゃないかと思う。
高齢者の経験を、若者が聞く耳を持たないことが問題。
話は違うかも、福祉の方に聞いても答えが返ってこない。
自分の親を守ろうとする親族のモラル、心に問題がある。
移動手段の確保
高齢者の独居世帯への地域の見守りが必要。
高齢者がもっと謙虚になること。
申請をかけなければ補助金等を受けられない体制。
高齢者っていつからなのか？でもそれは年齢で決まるものでもなく、その人自身の考え次第だと思う。
小学校からの道徳教育を時間をかけて授業をする。
ある程度自立して行動ができなくなった場合、安楽死を適用してほしい。植物状態、認知症は現代ではどうしようもないが、そのために働ける人間が犠牲になるのはおかしい。
自宅で看取りができる社会体制づくり（訪問看護、ヘルパー強化）。社協のヘルパー事業撤退は信じられません。
問14 次あげるもののうち、障がいのある人の人権について特に問題があると思われることは何ですか。
身近に障がい者がいませので具体的なことが掴みにくいです。
障がい者とそうでない人に、同じ職場で同じ仕事を求めること。
身体、知的、精神がひとくりにまとめられていること。
ふりがなをつける。
希望があれば、障がいの程度の差に関係なく採用する。
障がい者は千差万別。税金をかじる人もいる。

関市人権市民意識調査
調査結果報告書（自由記述欄）

令和7年3月

知的障がいの子の知り合いがいますが、その子の親がグレーゾーンの人でなかなか支援が思うようにいかなかった経験があります。
精神障がいに対応がなされない。
障がいのある人は身体的以外にもあります。その支援については？
障がい者本人の自主性を尊重する。それを受け入れる環境づくり。
災害のときの避難場所に、車いすでは避難できる受け入れが不可能の状況で、やむなく関市、美濃加茂のホテルへ避難した。
学校教育で健常者と障がい者が区別（差別）されていること。障がい者や高齢者に交わって考える機会や経験がないので、社会にでてからも健常者は障がい者のことを理解できない。
問16 問15で「知っている」、「法律の名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」と回答された方にお聞きします。この法律について、はじめて知ったきっかけ（場所や機会）は何ですか。
会社の社員採用などで何回も講習を受けた。
誰から聞いたかわからない。
部落差別、自動車免許とか無料だとれると聞いて優遇された生活をされていると聞いています。
会社で同和人権問題の研修がある。
職場の仕事関係から聞いた事も。
学生時代の他県の友人から。
同和問題の当事者の方と、お話をした。
下駄の歯入レ洋傘の修理に巡回して来られた。地場産業の隆盛により転業。
職業上知っていた
覚えてない
問19 あなたが部落差別（同和问题）や同和地区について、はじめて知ったきっかけは何ですか。
知らない
アンケートで知った。
成長していく間に自然に知るようになりました。
仕事で（同和问题）を担当した。
今回のこの調査
このアンケート
このアンケートではじめて知った。
意識調査
橋のない川を読んだこと。

関市人権市民意識調査
調査結果報告書（自由記述欄）

令和7年3月

学校の社会科の授業で、先生がそのような事が世の中にはあると伝えてくれた。結婚や就職に不利になりやすいなど行ってはいけないことだが、世の中の偏見が人を苦しめると。知らない情報が聞けてためになった。
この調査で知りました。
引越し先が昔、部落といわれた地区の近所だった。
会社の研修
この調査で知った。
ない
いつとはなく知っていった
同級生が同和地区
小中学校で部落出身の友人がいた。
昔から知っています。
当市の地域は、鎌倉時代に春日神社に随行して来たと話を聞いた。
学生時代、同和地区を現実で見て知りました。60年前です。
職業上
このアンケートで知った。
子どもの頃から知っていた。
問21 問20で「部落差別（同和問題）はいまだにある」と回答された方にお聞きします。どのような場面、事例で部落差別（同和問題）はあると思いますか。
普通の生活では部落差別などはいけないと思うが、自分の子ども達には結婚や交際などなるべく遠ざけたいと思う。
あそこは部落の地域だから、付き合う時は気を付けた方がよいと言われたことがあった。
あると思うけど、何がという具体的なことはわかりません。
実際にはわからない
このような問があることで、日本のどこかにまだ存在するのだと認識する。
同和同和と騒ぎすぎなのもある。
私の家の前の奥様が話していたが、嫌になって話すのをやめました。ただの悪口。
正直、よくわからない。ただ、部落？出身の人が周囲の人をいじめたり、人を陥れる行為を行って困ったことがある。困っている。部落出身の人に対する差別という問題もあるだろうが、出身の人が問題を起こしていることもある。
引越して来た加入者に対して町内の自治役員に加えず参画させないこと。
問20で1か2しか選択がなく、わからなく1に○をしたため、問21は8のその他になりました。
意識の問題として「あの人は〇〇地区の人」とか。

悪口ではないのだろうが「昔は〇〇の地区はそういう地区だったらしいよ」という噂話のようなものを聞いた事がある。
いつでも、どこでも判明した時点から始まる。
うわさ
ない
町内に入れない
宗教の差別
地域活動において昔の人と今の人と話が合わない。
わからない
差別とは異なるかもしれないが、学校の先生たちの態度がやさしすぎる。（同和地区出身者）
このように取り上げること。
生活環境、お墓が建てられない等
あの地域は、あれだよ。という話を聞くことがある。
選択肢にあるような露骨なものはないが、そうした意識を感じることはある。
あることは知らなかったけど、簡単にはなくならないと思うからまだあると思う。
世間一般では感じることはないが、被差別者が既得権益を維持したい思いから差別を主張するため、いつまでも差別が残っているように感じます。
私のまわりではあまり聞きません。
問22 部落差別（同和問題）に対するあなたの考え方として、一番近いものはどれですか。
自分の生活には入りこんでほしくない。
同和問題を知ること、逆に偏見が芽生えることはないかと考えさせられる点もあつたり、積極的に考えるべきとも考えたり考えがまとまらない。
難しい事柄で、身近にあれば、友達に相談しその後、判断する。
問題になっているということをよく知らない。
今はきちんと取り組む必要があるが、そのうちに問題しない方が良くないかも？
現在、差別は少数。
若い世代の人は知らないと思うので、だんだんなくなっていくのではないかと思う。
差別だと、大きな声でさわぐことで得をしているのでは。
この問題に答えよと取り上げることがおかしい。知らないこれからの子どもたちに刺激している。
永久的不可逆な補償を行い、速やかに終結させるべき。

関市人権市民意識調査
調査結果報告書（自由記述欄）

令和7年3月

差別はいけないと教わったが、実際にかかわった出身者の行為があまりにもひどい犯罪的なので、困惑した気持ちしかない。
差別する人に間違いを伝える。
自治会を新と旧で分ける。
何をしても人の思いなので変わらないと思います。
未だにあるなら恥ずかしい。
今でもそんな差別あるのかという気持ち。もし同和地区の人だとわかっても、「あ、そうなんですか？」という程度。今回のアンケートでの質問で取りあげられているということは、まだ問題があるということなので残念に思いました。
部落が守ってきたものもあると思うので、悪いことばかりではないと思う。
以前社員採用で、私は採用を希望したが上司から拒否された。
他の人たちと同様、平等に扱えば良いと思う。
逆に特別扱いしているところもある。
あつてはいけないことなのだから、補助金などで助けることがまた差別と思う。
人々への教育の必要性
昔のような差別はなく結婚も自由になっている。差別意識はなくなった
問題が変質し、利権化しているのでは。
昔差別をされていたということに関しては、可哀想だと思う。しかし現代では部落出身者で当事者でもないのに、部落出身ということで自分を優遇しろ、という人がいるのも事実のため、正直ろくな人たちではないと感じる。また現代でも差別があるのはその事実を伝えているからだと思う。知らなければなんとも思わないし、特に意識することもないが、過去教わったことによってこの人は部落の人なんだと無意識のうちに意識をしてしまい、いじめや差別を行う人が出てくるのだと思う。
ヒエラルキーとして、最下層を残しておきたい上層の心理が変わらない限り、差別は残り続ける。
差別されてる言う人たちが騒ぎすぎて、再認識させてるのも問題。実際その地域の方と触れあうと問題のある人が多々いて、正直交流したいと思わないが、それが差別だとまた騒ぐ。普通の人同士でも合わなければ交流しないが、彼らは自分たちが(自分に都合よく)交流したい(できない)と差別だと騒いでるだけだと思ってる。あくまで個人の経験だけですが。
問23 あなたは、今後の部落差別（同和問題）についてどのような取り組みが重要だと思いますか。
80代～90代の人がいなくなれば、この差別はなくなると思います。
問15～23を使用する問題ではない。
ない
特権をあたえず、平等に扱うこと。
未だにこのようなことがあるなんて知りませんでした。自分の意見を持って接したいと思います。
出身かどうかよりも、結局は、人格、行いで人は人を判断すると思うので、かかわりたくない。

関市人権市民意識調査
調査結果報告書（自由記述欄）

令和7年3月

今、このアンケートをされることにびっくりしました。昔のことだと思っていましたから。
市がこんなに難しい問題を出してくるのかな？と思いました。
同和を悪く言う人には罰をつける。
家庭内教育が大切
差別される側の人間性
口に出さない
上と同じ
大型薬局ができて、もはや境界はない。
なし
もうないと思っている
特に問題にする必要なし
関市に、そのような地区があるのかどうか知らないので、対策のしようがない。
取り組む必要はない。時間が解決する。
市外からの移住者なので、同和地区の話は聞いたことがない。昔のことはわからないのが本音。
問24 次あげるもののうち、外国人の人権問題について特に問題があると思われることは何ですか。
日本人が大事、外人は、その後。
日本人を一番に考えて。外国人より
市町村にもよるが、外国人に生活保護を与えることはやめてほしい。生活保護は日本人だけにしてほしい。
有色人種差別。特に黒人の差別は消えない。
日本の習慣がわからないと言って、勝手な振る舞いをしている外国人も多数見た。昨今の外国人扱いも地域によってはおかしい（行政）。
習慣のちがいががあるので互いに理解する機会をつくる。
問題ありすぎる
外国人に対して生活保護を出していること。
“郷に入っては郷に従え”の徹底
雇った企業が雇っただけで、生活の仕方など地域に丸投げなこと。
外国人は交通マナー（自転車）が良い挨拶をする。日本人は無表情。
現在はあまり見かけなくなりましたが、畑の野菜果物等を勝手に取っていく姿を何度も目撃しました。
むしろ権利が強すぎる。

教養を深める。
1.ヘイトスピーチ法では日本人にとって不利な法律となっている。2.日本の固有の文化を守るためには、経済合理性のみの移民政策をとるべきではない。
問25 次にあげるもののうち、感染症患者等の人権について特に問題があると思われることは何ですか。
感染症に対する知識がないことが一番の原因と考える。
差別されても仕方ないと思う。
年だからなおらないといわれること。
エイズは自分の行為で感染したので差別されても仕方ない。
人権について問題があるような場にあつたことがない。HIVの人に対しては、自分も周囲も普通に接していた。
戦前はハンセン病の人を町中で多数見た。感染経路など家庭の医学書に記術が少ない。破傷風患虫など詳細。
病院で勤務しているが、差別したこと、しているところをみたことがない。
中・高での教育が必要
旧優生保護法問題
問26 あなたの職場や地域に感染症患者等がいる場合、あなたはどのような態度で接すると思いますか。
病気の事を学び、できる限りふつうに接したい。
2の回答なのだが内心少しは割り切れない気持ちがあるかも。
この場合、職場とか地域ではなく、即対応できる病院等に隔離するということでは？
普通に接するように努力する。
感染症が、AIDSやハンセン病「等」では回答できない。例えばインフルエンザ罹患者であれば、関わりたくないと思う。
うつらないなら普通に接する。
問28 日頃から親しくつきあっていた人が、刑を終えて出所した人であるとわかったとき、あなたはどうしますか。
刑の内容により、つきあいが異なる
重大な犯罪（殺人、放火、強姦など）であれば一生つきあわない。罪を犯したことの影響を思い知らせる。重大な犯罪を犯した者は、更生しなくてよい。死刑確定者は全員、処刑すべき。被害者の心情を考えていない現状に憤りを覚える。公開処刑が理想。被害者に処刑させることもよし！
刑務所で俳句指導をしておりますが、特に受刑者であることを意識せず行動しております。（篤志面接委員として）
そうした経験がないため、その時にならないとわからないが、その方との付き合いの度合いなどにもよりますが、変わらず同じように努めるとは思う。

事実を踏まえたうえで、その人物がどういう人なのかを今一度考え、今まで感じたように親しくできる人格であれば今まで通りつきあう。
刑の内容、事情によってつきあいが異なる。
出所した人の罪による。
犯罪の内容による。
基本的に人つきあいが好きではない。
②だけど、犯罪の内容にもよる。
その人が犯した罪による。
刑の内容によってつきあえない場合あり。
内容、理由等を考慮して、今後を考える。
そのことについて聞いてから考える。
これまでと同じようにつきあう努力をする。
何をしたかによる。
刑の種類によるかもしれない。
自らの告白なら受け入れるであろうが、他人による暴露なら「何故黙っていた」と一考せざるを得ない。
犯罪の内容次第
問29 次にあげるもののうち、犯罪被害者とその家族の人権問題について特に問題があると思われることは何ですか。
内容により負担の重・軽が変わると思う。
被害者のみ本名顔写真がTVで放映される場合がある。
ホテルに行ったのなら、本人がいくら未成年でも加害者（お互い様（同意）と認めること）であると思わなければならない。
日本は被害者側の負担が大きすぎる。
報道等で被害者の写真は載せるが、加害者乗ってるだけやけどな。写真は載せない不平等。
犯罪者の権利があつく守られ被害者の権利が守られていないこと。
問30 次にあげるもののうち、インターネットによる人権侵害について特に問題があると思われることは何ですか。
見なければいいと思う。
本人がスマホ等を使用する（持つ）時点で、1～7までのことがある有無を親が教えることではないでしょうか？私は子どもに伝えました。責任が持てないのであれば持たせなければ良い。
スマホもパソコンも持ってはいない。年齢制限をする。
発信者への罰が弱すぎる。

なんでもかんでも晒す時代になってきてる。
SNSなどにおいて、赤の他人を突然罵る人間が少なくないこと。これがネット人権侵害の礎になっていると思われる。
間違った情報や不確かなことを確かめもせず、自分は正しいことをしていると思いこみ、安易にSNS上に発信している人が多いこと。
問31 インターネットによる人権侵害を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。
プロバイダーに厳しく（紙上に書けないくらい）。
インターネットを利用しないので。
PC、携帯を持たない。
インターネットにアクセスするときはマイナンバー（個人名）が表示されるようにする。
罰則強化
人権侵害ワードは入力できないようにする。
どんな対策をとったとしても完全になくすことは難しい。
簡単には無理
義務教育におけるネットリテラシー教育の拡充。
訴訟に関する弁護士報酬を、勝訴した場合のみにする。着手金などがあるおかげで、泣き寝入りしている人もいると思われる。
問33 次にあげるもののうち、性的マイノリティの人権問題について特に問題があると思われることは何ですか。
同性は気が楽だと思いが子孫のことはどうなるのだろう。
マイノリティよりマジョリティ人権が大事。
近くにいたら気持ちが悪く思う人が大半だと思うので、騒いだりアピールせず、本人同士で楽しんでいればいいと思う。
同性同士の結婚なんて考えられない。性的マイノリティは否定的。
身近に該当者がいないので。
LGBTの意識により、性別が分からないと主張する子が増えた。
LGBTは少数であるということにより、不当に理解や協力を強いられること。
このように並べて、知識として植え付けられること。
全てあてはまる気がする。
中学生の時に被害を受け、今でもゾっとする。考えたくもない。
特定の病院しか通えない。通りづらい。
憲法により、全ての権利が保障されるべき。
同人権問題に対する権利を悪用する人がいること。

LGBTのうち、疾患といえるのは“T”のみ。私は理解できない。小児性愛まで認めろというのか？
昨今の国や自治体の過剰なLGBT政策に違和感がある。女性がトイレや公衆浴場で恐怖を感じる事件が起こっているが、マジョリティの人権は無視されてよいのか？LGBT理解増進法やパートナーシップ制度には反対である。日本社会の伝統的な構造が破壊される恐れをはらんでいる。
日本において、これに関する問題は発生していない。この法律の端緒は米の民主党からの圧力で、政府が何の論議もないまま急に成立させた経緯があり、今後問題が表面化してくる。特に小学校児童への教育は問題である。
他の差別同様、一部の騒ぎすぎて人たちが逆に差別を助長していると思う。騒げば騒ぐほど面倒な人たちという印象を与えるだけで、現状差別を受けていない人にまでかえって差別を受けさせている遠因になっているとさえ思う。配慮は必要だと思う。
問35 性的マイノリティへの人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。
アメリカは大統領が変わった。
すべて理解して受け入れることは難しいが、できる限り普通に生活できるよう変わらない対応を心がけることが必要。特別扱いはする必要はないと思う。受け入れることができない人もいるということは仕方のないこと。お互いが歩み寄る必要性を感じます。
助長する対策には私は否定的、アナクロニストでしょうか？
人を傷つけないようにすればいいが、今の日本では無理だと思います。
本人の意志の強さ等が一番解決すると思うので、自分自身でまわりに理解してもらおうようにすることが一番良いと思う。
まずは男と女でなく同じ人類だという認識を持つ。
憲法により全ての権利が保障されるべき。法が規制することではないと思うから。
LGBTのうち病気といえるのは“T”のみ。あとはただの性的指向であり、「小児性愛」まで認めろといいかねない。私は理解できない派。
義務教育におけるジェンダー教育の拡充。
問37 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めるために、今後どのような取組みを行えばよいと思いますか。
気になる人が声をもっと上げていく。
子どもの人権は大事。
人権という考え方が偏っている。現役世代の男性はどうでも良いと思っているのはおかしい。
人権というあいまいな言葉ではなく、個人が尊重される最低限度を議論しなければいけない。
文句を言う人に「やめて」と言ってもやめないの一生なおらない。
すべてにおいて当然のこととして取り組んでいけばよい。
子どもの時からの学校教育と家庭での教育と環境。
差別的な発言や言動をしてくる人がいたら相手にしない。完全にシャットアウト。
1～8まで必要だと思う。

人権問題が利権化し、正当な公金の使われ方がされているか疑問である。
SNSを利用して、手軽に情報を入手できる時代。ストレスなく自分の欲する情報にたどり着ける便利さは、自身の思考、判断を置き去りにする。究極なところでは、人や動物の生死を通して命の大切さを学ぶ教育や、SNSから離れて思いやりや生身の人との交流を確かめられる機会の保障が増えると良い。一定レベル以上の取り組みを関市で認定活動に登録するとか。
問38 人権問題についての理解を深めるための人権教育・人権啓発方法について、特にどのような啓発・広報活動が効果的だと思いますか。
全部行うべき
ムダ
こんなことは行政が考えること。自分の手に体に汗を。
加害者がやめない（大人）なら子どもも無理。なおらない。
私は今回のアンケートが来るまで、人権のことは普段全く考えないのですがアンケートに答えをだすのに、ものすごく時間を使って考えました。なので、こういったアンケートをすることが啓発方法につながると考えます。
③⑤⑥ひとつにしぼれない
家庭での啓発、親の教養向上が必要。
差別を受けた人をどう救うかが一番の問題であって、啓発そのものはかえって差別を助長しかねない。また研修会等に参加する人はそもそもその問題に関心がある人たちが何度もいくだけで、その人たちの自己満足をあげているだけだと思う。

問39 これまでの設問に関することも含めて、人権問題に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

(1) 人権全般

今の生活の中で、人権問題を意識して暮らしていないので、これからは人権に関係なく困っていることや人がいたら、少しでも一緒に考えていこうと思う。

人権問題は大変難しいことだと思います。やはり教育をしっかり受けて、正しいと思われることを知ることが、一番大切だと思います。

今までは人権問題に関することはなかったのですが、自分では関心が薄かったように思います。

人権問題は大変時間のかかる問題だと思います。いろんな機会をとらえて、理解を深める必要があると思います。

人権問題などで相談を受けた施設、役所などの機関は、他人事と思わず真剣に相談を受け入れてもらうことが大切だと思います。そこで解決できなければ、他の機関への連携も必要だと思います。

特に考えずに過ごしているが、少しの意識で誰かが幸せになるなら行動したい。

平等と公平の違いを理解することが、考えの中に必要だと思います。

人権問題も含めて、ゴミはゴミ箱に捨てる、電気、水道は節約する、など基本的なことを、幼稚園、小学校、中学校までにももっと教育していく必要があるのかなと思います。

思いやりの心を持てる人がたくさんいる助け合い。お互い様の考えがある人が増えたら、どの問題も少しずつでも良くなると思います。なると良いと思います。

日本は保守的で、政治家自体も何も変わらないでいるため、日本は大きな変化ができないと思う。今の日本は犯罪大国になろうとしている。今大人が何とかしなければ、日本はダメになると思う。若年の犯罪が増加しているのも、今の大人がつくった社会の結末だと思う。今日本が考えるべき時期が来ていると思う。

今まで人権と言葉に出していましたが、多くの人権があることを知りました。個人的にはそっとしておくこと、学校等での学習で良いと考えています。

難しい問題ですね。人それぞれの人生において、毎日の生活の中で考えていくことと思います。

関市でこんなに人権問題が問題になっていることは知りませんでした。あまりこのような情報が入ってこなくて毎日を過ごしていました。多くの方々の人権問題に悩まされているのかと思ひっくりです。

人権問題は一時的な運動で解決することではありませので、人々に常に問題を意識させる行為、運動を絶やさず続けることが大切だと思います。

最近のLGBTや弱者に対する人権問題はいきすぎだと思う。本来日本には欧米に比べ、人権問題は少ない。子どもは日本の宝、予算はこちらに。ただ適宜に。そもそも人権調査にお金を使いアンケート実施する程、日本には人権問題は存在しない。若者は同和を知らない。アメリカの政府は共和党になりました。先見の明を。

自分の人権には関心があるが、正直他人の人権まで考える余裕はないのが現実。自分を守るのに、いっぱいいっぱいな世の中だと思う。

一人の人間の尊厳を、一般人及び社会全体が、学校から社会に出ても知らしめて推進していく課題を考えます。

問39 これまでの設問に関することも含めて、人権問題に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

人権問題は、その当事者にならない限り他人事のままでと思う。年長者の固定観念を変えるのもなかなか難しい。感性が柔和な若い世代に期待したい。

人権問題の解決は皆で！

自分が他人と違うようになってしまい不当な差別を受けた時、どのような行動ができるかを考えると、今の社会では不安になります。知らないこと、よく分からないことが原因による偏見、差別があると思いますが、差別等を受けないように社会規範を守り、社会秩序を築いている。そういう人たち（社会的弱者）の理解が必要だと思います。

受け入れる側だけでなく、受け入れてもらう側も色々考えてもらいたいと思います。お互いの問題として考えなければ、前には進まないとは考えます。

他人事と無関心にしない。

私は70代です。子どもの頃、何も知らず親から聞かされる差別的な発言を、「ふ～ん、そ～なの」という感じで、深く考えず受け止めていました。その親の親は明治生まれ、法律等も一般には知れ渡っていない時代を生き抜いた人たち。そんな人たちに育てられた私たちの親も、今はほとんどが空の上に…。子どもの頃、外国人を見れば「アメリカ人!!」、女の人が男の人が着るような服を着ていれば「何で?」…情報が少なかったからです。時代は進みました。学校で親子で一緒に学ぶことが大切かと思えます。

まずは家庭から始まる教育の充実等。

人権は対人関係であり、一方的な考えや方向では無理がある。同和についても、LGBTQについても、当事者が積極的な場合と消極的な場合があり難しい。学校教育に関しても、近頃はクレームが付きやすく家庭内で否定されてしまう。高齢者においては考えを変える事が難しい。外国人については宗教的な問題が大きく、文化、宗教面で合わせる事が問題となる。権利ではあるが、互いの強調、妥協で対応するしかない。

頭では理解していても、自分や家族の問題になった時、適正に対応できるかどうかというのが一番難しいと思います。子どもの頃から、偏見のない心を育てていくのが大切だと思います。

自己肯定感が高いという言葉がよく聞かれますが、自分も他人も命の尊さを知って、お互いに親切にできる自然な関係を持つ社会になることが大切だと思います。

人に優しい世の中になることを願います。人権のためにはプライベートなことにも入り込まないといけない。難しいと思います。皆で考えていけない。人は言葉を持っているので、よく話し合うことができれば良いかなと思います。

あまりにも人権、人権というと、身動きがとれないこともある。

差別はよくないということを、頭では分かっているが、全ての人・場面で様に公平に扱えているかと考えると難しい。人権問題は難しい。このアンケートの結果が、どのように活かされるのかをお知らせください。

昔から難しい問題だと思っています。やっぱり我が子の結婚となると、親はどうしても考えてしまいます。昔のように言わなくなってきたように思っています。（聞き合わせができなくなってきたように思っています。）

皆の人権が守られて、皆平等に幸せになれる世の中を。民間の人たちに任せるのではなくて、個人の気持ちの在り方をしっかりしていけたらと思います。差別のない世の中に早くなりますように。

問39 これまでの設問に関することも含めて、人権問題に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

ハード面では解消されてきていますが、ソフト面ではまだまだバリアがあると思います。個人の内面のことなので、どうすることもできないでしょう。

色々な人権が侵されているが、本人も周りの人、社会もその人を受け入れ差別しなければ、問題が起きないと思う。人は他人より自分を優位に立とうとするからである。そこで他人を卑下しなければいいのである。相手を差別してはならない。相手を尊重し、受け入れる教育をしなければ。

先入観が少ない、幼い時期から正しい人権の知識を身に付け、それが当たり前になり皆が住みよいSEKIになることを願います。

人権宣言はいくらしても何の役にもならないと思う。子どもを中心とする草の根教育を徹底するとか、それぞれの分野での問題点を洗っていくことが必要であり、時間がかかるのは仕方ないが、人権宣言都市などと頭でっかちな格好をつけても、人権問題を本当に理解している人が何人いるのか。宣言するだけの可能性あり？

この社会において、人権が一番の基本であると思います。全世界の人々が人権を重んじ、大切に捉え理解し合えば、恐ろしい戦争もなく平和が広がると思い、常にそれを願っています。

人間が生活していく上で、最低限の取り組みは必要かもしれないが、大々的にアピールする必要はない。税金を使って行うことではないと思っている。困った人がいたら助ける、手を差し伸べる。個人個人が常に意識すれば良いだけのことだと思う。特に、未成年への過度な啓蒙でのミスリードは絶対に避けるべきだと思う。

どの人権問題も行政、警察など公的機関が親身になって悩みを解決してくれない印象がある。そのために事件やトラブルが絶えない気がする。

人権のことは難しい。考えてもわからないことだらけです。

人権問題は個人や団体での問題があり、人権問題に該当しない人も多いです。でも、それはいつ自分に降りかかってくるともわからないことです。身近に該当する方がいたら何か協力できることがあれば、声をかけてなるべく少しでも問題が解決できるようにしていけたらと思います。

誰に対しての差別が良くないのはもちろんだが、差別だと称し、利権を得ようとしている者がいることが、一番の差別につながっていると感じることが多い。外国人の不法滞在者、LGBTQ、同和問題支援者など。

人が生きていけば、他人より少しでも上に立ちたいという気持ちがある限りなくなることだと思う。

一人ひとりが無意識に持っている差別意識について気付くことが大事です。それを気付くために大人も子どもも学ぶ機会があると良いと思います。

社会の環境が変化してきており、今までどおりのやり方では対応できないので法律などを変えなければならないと思う。

欲を言えばあらゆる施設・サービス・個々の経済面の向上などが、人権問題のほとんどを解消できるのではと考えています。今の時代にそれらが足りなさすぎるため、生きづらい世の中になっていると感じます。それは大人になってから身に染みて感じるようになりました。いまや人権問題は個々の意識や啓発・広報で解決できることではなく、マナーやルールどころか法律を変えていかなければ良くなることはありません。しかし政府を見ているとやりたい放題で、国民の望むことが反映されないのが現状で、今の政府には期待を持つことができず、そう感じている国民も少なくありません。昨今では、各地域団体が少しでも市民の声に伝えられるようにと努力されているのをSNSで見受けられます。今回の市民意識調査がどのような変化をもたらすのか、注目していきたいです。

問39 これまでの設問に関することも含めて、人権問題に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

人権侵害された時の救済が、非常に立ち遅れている。慰謝料の請求額が低すぎ、弁護士料の方が高くなる場合が多く、結果として泣き寝入りしてしまう。

若い世代においては未だ100%に満たないが、かなり人権意識の高まりが見られると感じる。現在の40代以上の人々の意識の中で、特に本人の軽い気持ちの発言などが、差別や人権侵害にあたるという意識を強く持つ意識が低下しているのではないかと感じている。

当事者、支援団体、マスコミが騒いでいるだけで、一般の人は質問にあった種々の人権問題に対し、特別視しないで普通に対応し付き合っているとします。

福祉分野にいますが、自分の分野以外のことに関しては、まだまだ無知であることを知った。多様性を尊重する社会に向かっていくのであれば、多様性に気づき、お互いに尊重しあえる土壌が必要だと思う。お互いが出会う接点や、一步踏み込んだ話ができる場面が増えると良い。それは、人権をテーマにした直球ばかりではダメで、何かのついでに人権に触れることのできるような企画があってもいいかと思う。例えば、好きな趣味を通じて、外国人と仲良くなるとか。異なった世代の集まりで何かに挑戦するとか、イベントを企画するとか。

最近差別を受けているという人間が増えた気がする。それをたてに差別したとされる人の人権が侵されている差別はよくないが、現状はおかしな方向に向かっていると思う。差別されたと言っている人が差別したとされる人を差別する。本当に彼ら、彼女らは差別されたのだろうか？差別される苦しみを知ってるのだろうか？甚だ疑問だ。本当に差別されてる人は声もあげられず苦しみ続け、偽者がそれを利用している。そんな部分もあるように思う。

みんな同じ人間だと思っています。差別は極力したくないし、気にしすぎないで、同じ人間として助け合いすれば良いと思う。考えすぎで論点がズレないといいなあ。

（2）女性の人権問題

世の中「言った者勝ち」になっている。主張した人は色々特権を得たりする。会社の中で男性でも昇進できず、収入の少ない人もいれば、女性だって昇進できて収入が多い人もいる。これ以上女ばかり強くしてどうするのか。男に対する逆差別ではないのか。

まだまだ家父長制の考え方が根底にある人の多い岐阜県。育児や家事、介護は女性がするものとの考えもあると思います。子どもが熱が出た時、迎えに行くのは女性という家庭も多い。その場合、女性側の会社だけ負担を負っています。男性の会社でも、夫でも妻でも平等に育児や介護できる環境に近づくことを切に望みます。女性が9割を占める会社の経営者が感じている要望でした。

性的マイノリティに配慮するあまり、逆に女性の人権が奪われていると感じる。女性、子どもが安心して暮らせることがまず第一と思う。女性や子どもばかり自衛をするのではなく、男性への教育が必要だと思う。セクハラやカスハラなどがあつた場合、まず周りの男性が動けると良いと思う。女性はリスクがあるので固まることしかできない。なのに後で警察へ行っても「なぜ抵抗しなかった」と言われる。

育休明け、保育園の送り迎えや子育てで時短勤務にしたら、働く時間が短いのはズルいと言われ、今まで有給は1日4時間、2時間と取れたのに、差を付けるために1日か欠勤と言われました。子どもの体調がいつ悪くなくてもおかしくないのに、お昼まで働いてお迎えの電話があつたら、1日有給か無償で働いてボーナスも減るのはおかしいと思ってしまいます。これは人権問題なのでは？

共働きしているのに、家事や育児で女性の負担が大きい。男女が共同して担うことができる社会になってほしい。40～50代になる女性は、年齢に伴い働き先（職場）の求人が少なくなっている。働きたいのに希望職種が狭くなる。

社会全体が働きやすく、生活しやすければ、個々の問題も解決すると思います。例えば会社でも人間関係が良かったり、有給が取りやすかったりなどすれば、女性の人権も守られるし、相手の人権を守ることができていくと思います。

問39 これまでの設問に関することも含めて、人権問題に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

（3）こどもの人権問題

子どもが学校で先生から圧迫指導を受けた時、校長先生はもちろん、教育委員会にも相談したことがある。その時わかったのが、教育委員会は校長に強く言えないということ、学校内のことは校長に裁量があり、職位も校長の方が上、子どもの人権を守るために第三者として、冷静に厳しく意見してもらえない。学校という閉鎖された空間でもし何かあった時、子どもはどのように守ることができるのだろうと思いました。

子どもは宝、未来。親にどうか殺されない、傷つけられない、助けの声を上げてあげられる社会にしたい、なってほしい！！逃げ道のきっかけをつくってあげたい。

一人一人の人権意識を高めるために、地域での啓発活動を充実させていく必要があると思いました。また、子どもたちを取り巻く環境が激変しているの、まず子どもたちを守っていく必要があると感じました。大人がもっと子どもたちを守っていく意識を高めていくことも、大切だと思いました。

子どもがいるので、子どもがいじめに関わらないか心配である。またSNS等で何をするかわからないので、炎上しないか心配である。自分の勤めている会社は、人権についてよくしてくれている。特にここ5年くらいで意識が上がっている。

身近な問題である「いじめ」という犯罪を、傷害罪、殺人教唆等、刑罰で表現する又は報道することが抑制になると思います。

人権って大人だけでなく、子どものいじめも同じこと。もっといじめる側の罰を強化し、良い大人になっていくことが大事だと思う。いじめられ死んでいくのは、いじめる人の殺人です。もっといじめる人を大人と同じように刑を与えたい！！

学校でのいじめですが、先生の手には負えなかったら警察の方とも相談してほしいです。そのくらいにしないと、今の子どもは聞かないと思います。親の考え方が昔と違い何を考えているのやら…見ていてそう感じます。

昔に比べて教員の資質が下がっている。子どもは先生の言うことを素直に聞くため、教員の資質が人権問題を解決するうえにおいても、社会形成においても重要と考えます。

孫が学校でいじめを受け不登校となり心療内科を受診した。いじめを見て見ぬふりをする人、それをはやし立てる人がいる。孫に原因、様子など聞いてみると、学校などで相談しても受ける人、先生に余裕がなく、真剣に向き合ってくれないことが多いように思う。

子どもたちの色々な良くない小さな悪作を親が黙認し、他人の注意を嫌悪する態度を感じる。街中で子どもに注意することをためらう。

子どもに何がいじめで、なぜいじめてはダメで、遭遇した場合どうしたらいいか、何度でも伝えていきたい。

（4）高齢者の人権問題

どの人権問題も、高齢の方々がなかなか変わらないと思う。仕方がないことではあるが、頭が固く受け入れられないことも多いと思う。そして、こういう人たちが悪口を言っている。ダメだと言っても聞かない。その姿を見ている子どもたちにもよくない。高齢の方が多からか田舎ほど酷いと思う。高齢の方々が暇にならないように、仕事や集まり、楽しいことが増えたら減るのかも？

高齢者用の一人用の市営住宅をつくってほしいです。

高齢者、障がい者介護など、心身に余裕がないと他者の人権を意識することも難しくなることはあると思うので、介護する側へのサポートなども充実させる必要があると思います。

問39 これまでの設問に関することも含めて、人権問題に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

（5）障がいのある人の人権問題

障がい者支援において、特性を理解し人権を尊重した対応ができれば、行動障害は減ることを支援者に知ってもらいたい。

⑥部落差別（同和）設問が問15～23と9問に比べ、⑤障がいのある人⑦外国人⑨アイヌの人⑩⑪などは1問のみ。⑦⑨～⑩⑪は相対的に見ても少ないですが、⑤障がいのある人は多くみえるのに、⑥があれだけの設問があったことに対して、⑤がたった1問しかないことが（他は2問目を尊重するために必要なことまではあるが）すでにアンケートをとる時点で、関市の人権に対する捉え方が⑤を軽くみているという。あまり障がいのある人たちの人権はどうしていいかという課題意識がそもそもないんだということを、設問のところから感じました。※設問は1問しかなくても、次期計画には「人権都市」宣言にふさわしいものを反映させてもらえることを強く望みます。

例えば、障がい者施設で利用者が職員を叩いたり、暴力的な行為をしてもとがめられない。むしろそれを受け止めるだけ…。その逆だと大変なことになる。どんな時も暴力はいけないが、職員の人達の人権は守られていないと思う。

人権問題と一口に言ってもいろいろあるんだと気づかされました。私にとっては知的障がいと自閉症のある息子のことが切実な問題です。息子は単語はしゃべれますが会話はできません。卒業後、仕事はゴムのバリ取りとボルトのネジ締めをしています。工賃5千円です。妻は今年還暦を迎えました。これからも365日食事や世話をし続けなくてはなりません。私たちが動けなくなったら、物が言えない息子は、本人の意思とは関係なく、施設に閉じ込められてしまいます。人権都市宣言をされたのなら、入所施設をチェックして感じたままに指導していただけないでしょうか？そこは健康では暮らせるかもしれませんが、とても文化的な暮らしと言えません。飢えや寒さをしのぐだけで人間の尊厳が保てるのでしょうか？健常者でも閉じ込められれば暴れます。見て見ぬふりをしないでほしいのです。市へお願いがあります。人や街から離れた場所で暮らすのではなく、住み慣れた街の中で健常者・障がい者・高齢者の区別なく暮らせるようなまちづくりを進めていただきたいです。計画相談で十分話は聞いていただけますが、息子に合う選択肢は未だにありません。障がい者は親が見るべきという差別があるからだと感じています。親も施設に丸投げするだけでは解決しません。私たちの生きている間に息子にも仕事や暮らしの選択肢ができることを願っております。

（6）部落差別（同和問題）

同和地区の人の人権と言われるが、世間では同和の人は恐ろしい人が多い。性格的に集団で行動するその人たちに、助成金を出すなど手厚い保護する仕組み。自分は納得できない。

私は他県での生活が長いが、関市は差別がひどい。※特に同和問題

今回の設問にある人権問題について内容を知らないことが多かった。学習が必要だと感じた。けれど同和問題などは、学校でビデオを見た（結婚できないとか）記憶くらいでそれまで同和問題を知らなかったの、知らなかった方がよかったのでは？知らなかったら同和地区の人と普通に接するのにとったり？学習するのに効率的なのは、洗脳ではないけれど子どもの頃から柔らかい頭に植え付けることが大切だと思う。

（7）インターネット等による人権問題

SNSの普及により、受けなくても良い人権傷害を受ける人が増えたと思う。もっとプロバイダー等が情報の停止、削除を行うべきだと思います。

ネットで様々な事が書き込まれてしまい、それを全て信じ込む人が多いため、もっとネットの情報が全てではないということ、他人が書き込んでいるからと言って、自分も一緒に悪口を書き込むと、自分も加害者になる可能性があることを、学生のうちに指導をするべきだと思います。幼い頃から様々な恐れを教えることで、市民だけでなく全ての人の考え方が変わることを願っています。

問39 これまでの設問に関することも含めて、人権問題に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

私は昭和生まれですが、昭和と令和と比べると人権問題の意識はすごく高くなっていると思います。（姑は大正生まれ、昔のままですが。）これからどんどん良くなっていくと思います。ただ昔はなかったネット上の人権問題については、早急に対策が必要だと思います。

最近特にSNSでの誹謗中傷が自殺へとつながることも多く、昔のいじめより見えにくくなっている（個人対個人なので）のが心配です。性加害のことも、正しい教育や心があればと思うのですが、それが異性へのトラウマとなったり、結婚への不安となったりするのでしょうか。正しい教育、知識のもと笑顔で暮らせる子ども、家庭が増えればと思います。少子化に対し、どんな形でも（未婚でも）「子どもが増えれば良い」というのではなく、正しい知識を持った大人が子どもを導いていける、健全な社会を望みます。働く社会を推進するのも悪くないと思いますが、子どもを産むだけで家族の絆が薄くなっているような気がします。それは別居、介護問題、空き家につながっていると思います。長男、長女が必ずしも介護をするわけではないが、相続となると長男、長女が出てくる。社会問題は多々あることを実感します。全てお金で解決するような社会。絆は薄い社会に思えてなりません。

SNS、インターネットによる誹謗中傷などを規制するルールづくりの必要がある。

（8）LGBTQなどの性的マイノリティの人権問題

LGBTの性自認が悪用されて「心は女」と男性が嘘をついて、性的な行動に走る行為をすることが憂慮される。

少子高齢化が進む日本社会が問題であることは、十分ご理解されていると存じますが、何故関市が「LGBTフレンドリー宣言」をしたのかとても残念に思います。関市、岐阜県だけではなく、日本全体、また世界全体の発展と平和を願うのならば、LGBTを認めるのではなく、家庭の在り方を大切にし尊重すべきです。私はLGBTに反対し、「LGBTフレンドリー宣言」の取りやめを懇願します。

性的マイノリティ…最近のTVやドラマでも取り扱っていますので、受け入れられるのではと思います。

LGBTに関して理解を深めていくことは大事だと思うし、差別される事があってはいけないが、トイレや銭湯など女性が安全に使える機会が奪われる事がないよう気を付けてほしい。

LGBTの方は心の病気とも言われているのに、保険適応外なのは結局、国が差別をしているからだと思います。（子宮を取る、乳腺を取るには高額な費用がかかります。）なので岐阜県又は関市で申請すると、補助金で助けてもらえると、もっともっとLGBTの方々は堂々と生活できるのではないのでしょうか？関市のアピールにもなるのでは？人口増加にも繋がるのでは。

集団意識の強い日本人は（そうばかりではないかも）、差別意識も強いのかもかもしれないと思います。表向きは人権と言いながら、自分が同じ立場にないと本当に当事者のことを理解することが難しい。特にLGBTに関することになると、つい自分には無関係と考えがちではないでしょうか。そういった根本が変わらなくては、本当の意味での人権問題はなくならないと思います。

LGBTにお祝い金？のようなものを税金から出すのはやめていただきたい。（認めるだけで良い）子どもばかりに税金がまわされている。もっと全員に平等に援助することを希望する。

関市が早い時期に、パートナーシップ制度を導入したことを遺憾に思う。同性婚の呼び水になる。同性婚が法制化されれば、伝統的日本社会は破壊される。

ワクチンの強制や健康保険証の廃止について。ほぼ強制になるような仕組みづくりをする政策に疑問に思う。個人の意思をまったく無視しているように感じる。トイレの使用に関して肉体的に男性が自称女性としてトイレの使用を求め、使用を許可するような世の中にしないよう願う。人権問題を少数の意見のみ、または本来いる日本人に不利になるような状況にならないように体制を整えてもらえるように考えてほしい。

問39 これまでの設問に関することも含めて、人権問題に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

全ての人が平等に暮らせることを唱えるのは素晴らしいことだが、人権人権と不要に騒ぐ者たちには配慮したくない。また人間は性別がある等、全く同じではないので、過剰な配慮も不要に思う。男子トイレ・女子トイレの行列の差など、まずは目に見えるところの解消をしてほしい。外国人はいることに慣れるには時間が必要と思うので（今まで外国人自体が少なかった）、騒ぎすぎず徐々に受け入れていけば良い。高齢者は多少の間引きをしないと若い世代が持たない。寝たきり・認知症等、人として生活できない人を全て救えるほど皆余裕はない。

(9) 個人情報保護に対する人権問題（情報の漏洩）

個人情報の保護法があまりにも強すぎて個人の自由も少なく、息苦しい社会生活になっているのではないかとそんな気がしてなりません。自由という言葉をはき違えてはいけないけれど、戦後の厳しい生活の方が人間として立派に成長していくのではないかと、そんな気がする今日この頃です。現代はあまりにも自由すぎて、殺人、詐欺等の悪すぎる時代になってきていると思います。

(10) その他の人権問題

私は専業主婦なので、そっちの内容になってしまっていますが、産め産めと言ってくるのにあまり子育てしている人に優しくない人がいたりします。怒ると虐待という。怒らないと、しつけをしていないと言う。見極めは難しいと思うので多くは求めませんが、たまにつらいです。警察署で免許の住所変更をしに窓口に行った際、後から来た人との対応の違いにモヤモヤして、別の課の人に話を聞いてもらったこともありました。自宅保育のお母さんたちも孤独で、ちょっとした対応発言に傷つきやすいくらいのメンタルな人が多いと思います。素晴らしい対応をしてほしいまでは求めませんが、他の人との対応の差はなくしていけたら、救われるのではないのでしょうか。

自分自身特に原因はないのに過去には学校でイジメ、現在は職場で差別があります。子どもも同じような生きづらさを持っており自傷行為を繰り返しています。改善しようとする人たちは実際に被害を受けたことのある人が良いと思いますが、そういった人は表にはなかなか出ていきません。改善は難しいと思います。現実的には諦めるしか方法がない状態だと思います。

男性の人権問題に触れていないのは何故ですか？人権問題を考えていく上で、性別や年齢でわけて考えるだけではなく、全ての個性に照らし合わせて考えていく必要性もあると感じます。

健常者の権利が蔑ろにされているのではないかと感じる。

(11) 人権教育・人権啓発など

どういうことを見聞きした時に、それぞれどこに連絡すればよいか分かっていないので、一覧があると見やすい。通報、連絡しやすいのかも。

今でこそ取り上げられるようになりましたが、昔からある問題ではあります。全ての根源は人としてどうあるか…と思います。そういう意味で人を育てる、道徳という教科は必要だと思うのです。学校教育も家庭での教育も、人の教育、あるべき姿を育てることが大切であると思うのです。

目で見る、耳で聞く。わかりやすく根気にあらゆる方法でPRしていく。

私は戦後の民主主義教育を学んだ者ですが、しかし未だに人権差別があることは否めません。もしそのような発言、行動があった場合、皆で抗議するようにしたらいいのではないかと。人権擁護団体のような所が啓発運動をしたり、学校での教育が重要な役割だと思います。

関市が「人権宣言都市」であることなど全く知りませんでした。もっと広く知られると良いです。知らない人はいっぱいいると思うので。

イベント会場などで、人権に気軽に触れることのできる催しをする。

問39 これまでの設問に関することも含めて、人権問題に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

誰もが平等に人として生きていけるような地域、日本になるように行政から積極的なアクションと、適正な公費使用を市民として望みます。

人権問題のことをあまり知らないのでもっと知りたいと思った。TV、ネット、広告などでもっと取り上げて、皆に知ってもらいたいと思う。

幼少期～未成年までの教育の重要性。（家庭、学校、社会での）自分も周囲も大切に！という気持ちを持てるような…。人権問題は間違った方向に進むと犯罪者になりやすい。回避すべく経済的自立、手に職を持てるように、教育、就業に必要な勉強、資格などで、個人のできることを増やし、自信を付けさせ、社会で活躍することで自分も喜べ、収入などで行政、社会も結果的に潤うのではと思う。人を活かせる社会づくり。オンラインでも受講できる授業を公開するものが豊富にあるといいな。

公的機関への相談が当事者からあった場合は、親切に誠意を持って接して、解決に向けての努力をしてあげてほしい。

子ども、高齢者がよりわかりやすく、「人権問題とは何か」と冊子等を使って理解できるよう、公的な場での配布を積極的に行ったり、子どもがいる家庭にも知ってもらえると、世代に繋げていけるのではないかと思う。

関市が「人権宣言都市」である事を知らなかったため、改めて深く考えましたが、今後人権尊重について広く啓発、広報活動を推進していく必要があると思います。

差別を受けている当事者の辛い気持ちなど、聞いたり本を読んだりして、自分だったらと思うと差別する気持ちはなくなり理解できるようになります。講演などのお話も、当事者のお話を聞きたいし、それぞれの経験を出し合うようなワークショップなども開かれるとよいと思います。

まずは市の職員から改めてほしい。

全て難しく、ポスターなどで頭に残していく。

関市が人権に対して取り組んでいることは知りませんでした。もっとアピールしてもいいと思います。わかりやすいように、子どもから年寄りまで。

日常生活ではあまり認識していない問題が多々あったので、啓発、広報活動の推進を望みます。

公的機関で親に徹底した理解をさせ、親から子どもに理解させて指導していくこと。

全ては日本人としての文化、心の伝承が不可欠であり、家庭での親（大人）の教養向上が必要となる。

このアンケートのおかげで興味が増しました。大変難しい問題ですが、マスコミを始め正しい知識の報道等が求められます。

やはり人権問題は教育の場からだと感じました。先生方は大変ご苦勞をかけますが、道徳授業に時間をかけていただくのが一番理解が深まると考えます。

(12) アンケートについて

意味の分からない言葉が多いです。

86歳と82歳の二人だけの生活のため、満足なお答えできなく申し訳ありません。

問39 これまでの設問に関することも含めて、人権問題に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

設問がいまいち相手任せが多い。積極的に取り組んでみては？

関市人権に関する市民意識調査のアンケートに対して、何か良いことありますか？

自分とは関係ない内容ばかりであった。

この人権問題に対するアンケート自体がナンセンスであり、税のムダ遣いであることを理解してほしい。人間は人種問わず大人になるにつれて、自分の経験してきたこと以上か、以外の理解できない物事は否定してしまう。これが差別の根源であり大昔からある。それを踏まえた上で、「幼少期からの教育が一番大切」の一択である。もう一つ問題として「差別と区別」の線引きをハッキリとさせてからではないと、人権問題の解決には程遠いと思う。

問題になる人権問題が周りになく、真剣に考えることがありません。希望的観測的に回答しました。

バカな私には難しすぎる調査でした。答えになっていなくてすみません。

あらためて人権に関する事を考える機会に、少しはなった。

今まであまり考えてこなかった問題ばかりで、答えるのに戸惑うことが多かった。

私はネットが使えませんので、アンケートを紙にしてくださいありがとうございます。（少し前にきたアンケートはネットのみで困りました）。今時、使えないという方が悪いのかもしれませんが、ネットが使えないと何も意見を言えませんから、不自由に感じていました。不自由ですが、朝から晩までスマホ見てるのが、自由だとは思えません。なのでもう少しネットなし生活を続けられるところまで続けたいと思っていますので、大変な手間もお金もかかるのですが、今回のようにネットを使わない人の人権も少しだけ配慮していただけると大変助かります。ありがとうございます。

3000人とかでなく、関市民全員に聞いた方がよいと思います。人権に悩んでいる人が思いを伝えるチャンスとなるし、このアンケートで自分が知ることもできた関市の取り組みを、市民全員が知るチャンスであると思った。

このアンケート、忙しいので選ばれたくないです。

難しいアンケートでした。今後は送ってほしくないですというのが本音です。

アンケートの結果は、市政にどのように反映されるのでしょうか。

こちらのアンケートは80代後半の一人暮らし（認知症はない、自立）の母のところに送られてきました。市役所からのもので母は大変気にしており、早く答えて出さなくては…と私（娘）のところに不安がって持ってきました。ランダムに送られてくるものなののでしょうか。90近い一人暮らしの高齢者にこのようなものを送っていただいても、かえって迷惑です。60代娘の私が全て代わりにお答えしました。

高齢者にこれだけの設問、専門用語等身近にないことの考え理解できない。まともに答えることはできません。無作為抽出も結構ですけど、もっとまともに答えられる人を今後選んでいただきたいと思います。

偏見を感じる設問がある。例えばQ11の選択肢10など。子どもへの人権問題は、子どもに教えれば解決できるものではない。大人から子どもへの人権侵害は、大人を教育する必要がある。

問39 これまでの設問に関することも含めて、人権問題に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

人権問題は過去のしがらみに囚われすぎているのが原因で、人権問題を周囲に聞くのは間違っていると思います。

複数回答の場合、上位に書いてある項目が優位な結果になりかねないと思う。

(13) その他（感想など）

今回の設問とか人権問題について、今まで具体的に接することがほとんど無く、今後その事態に面した時、どう対応をすれば良いかわからないのが率直な感想です。

ほとんどの問に関して、ニュースで聞いていても実際身近にない事で、あまりわからないことばかりでした。

このアンケートが有意義にも活用できることを祈っています。未来はあまり関心がないようになるのでは…と思います。人権問題について、私は中学校の先生から教えてもらい初めて知ったからです。

関市は合併したことで、地域間交流を促進されるとよい！

88歳の生涯、人権についての問題は何もなかった。インターネットの世の中どうなることやら。

大好きな関市と思う気持ちを大切にしております。「友情と信頼あふれた魅力的な関市」の実現に期待します。個人からできることは協力します。日頃からアンケートにあった内容を、心に留めて生活しようと思います。

関市の消防署員の男性に、会社の防災訓練中、約700人社員の前で上手く火が消せなかったら、「これがいい失敗例だ。これでは家が全焼するのでマネしないように」とバカにされました。後に聞いたら中身が入ってなかったそうです。一生消えません。子どもが瘻れんを5～10分続いたので、消防署に連絡し確認したら、「病院へ行った方が良い」とのことだったので、お願いをしたら家についてすぐに「救急車はタクシーではない。もっと重篤な人を乗せるためにあるんだ」と言われました。40度の熱があつて瘻れんしている子どもをほっておいたら、「ネグレクト」って言われる。住みやすいまちですか？人権なんてないですよ。

人権問題も必要ですが、現在は国民の生活が一番の事だと思われます。全ての物価高を見直すのが第一だと感じています。

皆、一人一人が生きやすい世の中になると良い。

よくわかりません。

自分が思っている以上に、相手に対してとった行動が問題になることが多くあると思う。自分が正しいと思っている人が多い。自身も仕事先で言われたことに恐怖を感じ、パニック障害寸前になったこともあります。今でも人が怖いと感じ、外に出ることが減っています。これは誰に相談しても解決することはなく、自分自身で克服するしかないので、不安ばかりが心に充満している感じです。

私は民生委員ですが、本当にこの役を受けてから、地域の皆様の生活のことを少し考えるようになりました。良い経験をさせてもらっています。

このアンケートが人権問題の多いことを知りました。あまり考えたことがなかったです。色々知ることができました。

関市役所で手続きに行ったら、個人的なことを市役所の人が必要な声で話され、不快で悲しく思いました。このアンケートするのであれば意識を高くしてほしい。

問39 これまでの設問に関することも含めて、人権問題に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

このようなアンケートを配布して下さりありがとうございました。LGBT含め、多様性の時代とよく耳にしますが、そのために他人を傷つけたり、自分自身の価値観や思考が知らず知らず当事者を傷つけたりしていないかと、ふとした時に考えることがあります。今回のアンケートでまた考えさせられました。知識不足や認識の低さ、この二つが少しでも改善されるように、日頃から視野を広げていかねばと思いました。

私は一人暮らしでそれに高齢ですから、わからないことで何をどうなのかははっきりわかりません。とにかく若い子の犯罪が多い。家庭を大切にと思う。

改めて今回の意識調査を見て、少しでも協力できるように努めていきたいと思っております。一口には簡単にはできないとは思いますが。

私は高齢なので、若い人たちに色々助けてもらい生活しています。昔は人権のことは聞いたことはありますが、ここ何年もそんな話題は聞きません。平和に暮らしています。私が思うことは、今話題の若い人たちの事件の方が大変なことのようによ考えます。

後期高齢者の私には答えるのに難しい質問が多かったです。色々な特性の人が皆を認め合って、楽に生活していける世の中になることを願っています。自分も含めまだまだですね。私も色々目くばせ、気くばせして、無理のない程度に生活できるように気を付けて生きていくよう心がけます。

改めて、自分の中にも差別意識があることが発見できました。

老人で自治会活動に不参加で、自治会退会を勧告させられる。生活ゴミの搬出を拒否される。

高齢者としてお願い申し上げます。アンケートとは少し離れたことですみません。今年は特に高齢者の事件が新聞に毎日書かれています。私は板取の北部です。板取は街灯が少なく、10月末に岐阜から夕方5時前のバスで帰ってきました。家に帰る道が街灯が少ない。板取から町に行き、若い人たちが少しでも板取にいて良かったと思われるようお願いいたします。私たちの周りで大事な両親を板取に住ませて、自分たちも時々帰ってきたいけど心配といって施設に行かれる人が多くなりました。板取に住んで良かったと思えるように、明るい関市に心からお願い申し上げます。

差別はしていない。自分自身、差別は感じられない。

私自身、お前の顔を見るのも嫌やと言われ、色々な嫌がらせを受けていますので、アンケートには答えかねます！

いじめは完全にはなくならないと思いますが、受けた側はそのことでつらい思いをするので、話をするにしてもよく考えてから伝えるようにしています。

現在関市のある地域のことで、長良川遊水事業、防災堤と称して、半強制的に先祖代々の貴重な田を提供させようとしています。反対者は少数ですが、意見を無視の状況です。関市役所で調べてくださると良いと思います。

妻であり母親の私は関市が人権都市であることを知らなかったが、この意識調査の抽出に当たりとても感謝しています。この調査は学ぶこと、考えることが多く60代後半で自分らしく生きること気付かせてもらい、大変ありがたいと感じています。（子育てと仕事の両立がマックス大変だった頃は、気が付かず過ぎてきてしまったと思います。）ありがとうございます。

ネット社会になり、最近日本の裏側の社会構造がわかりました。業界団体が行政の方向性に大きな影響を与え過ぎています。企業の献金をやめない限り、日本はどんどんと歪んだ社会になり、犯罪も増え衰退して終了します。

関市人権市民意識調査（中学生）
調査報告書

令和7年3月

関市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	調査結果の表示方法.....	1
6	回答者の属性.....	2
II	調査結果	3
1	人権全般について.....	3
2	女性の人権について.....	10
3	こどもの人権について.....	17
4	高齢者の人権について.....	23
5	障がいのある人の人権について.....	27
6	部落差別（同和問題）について.....	29
7	外国人の人権について.....	34
8	感染症患者等の人権について（H I V、ハンセン病等）.....	36
9	アイヌの人々の人権について.....	38
10	刑を終えて出所した人の人権について.....	40
11	犯罪被害者とその家族の人権について.....	41
12	インターネット等による人権について.....	44
13	性的マイノリティの人権について.....	48
14	今後の人権教育啓発について.....	51

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、本市における中学生の人権意識等を把握し、今後の関市人権教育・啓発に関する基本計画の基礎資料とすることを目的として、実施しました。

2 調査対象

市内の中学校3年生の在籍生徒 279人

3 調査期間

令和6年11月12日から令和6年12月3日

4 調査方法

市内中学校から4校を任意抽出し、二次元コードを配布、WEB調査

5 調査結果の表示方法

- (1) 回答は各質問の回答者数「n」を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- (4) 本報告書中の表、グラフ、本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合があります。
- (5) 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、「無回答」を除き、最も高い割合のものに網かけをしています。なお、回答者数(n)が10未満の場合は順位づけを省略しています。
- (6) 本調査結果と比較するため、以下の調査結果を参考として掲載しています。

●「関市人権市民意識調査」(本文中、「一般調査」と表記しています。)

実施機関：関市 調査対象：関市内在住の18歳以上の市民 3,000人

調査期間：令和6年11月～12月

調査方法：郵送による配布、郵送・WEB回収

回収結果：有効回収数1,214人(有効回収率40.5%)

※複数回答の設問では、一般調査の選択肢から「無回答」の割合を省略しています。

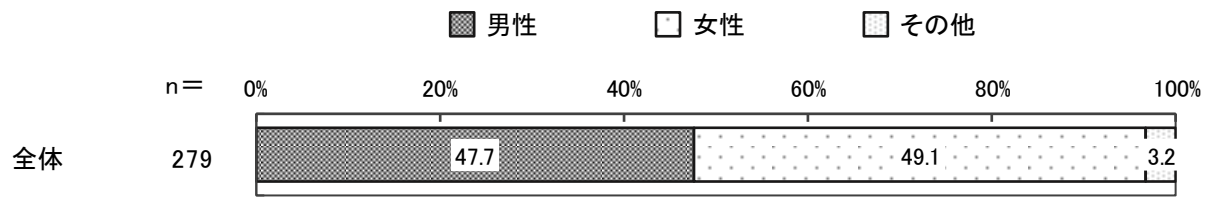
※問4は、中学生の回答者数が少ないため、比較は掲載していません。

※問5は、選択肢が異なる内容が多いため、比較は掲載していません。

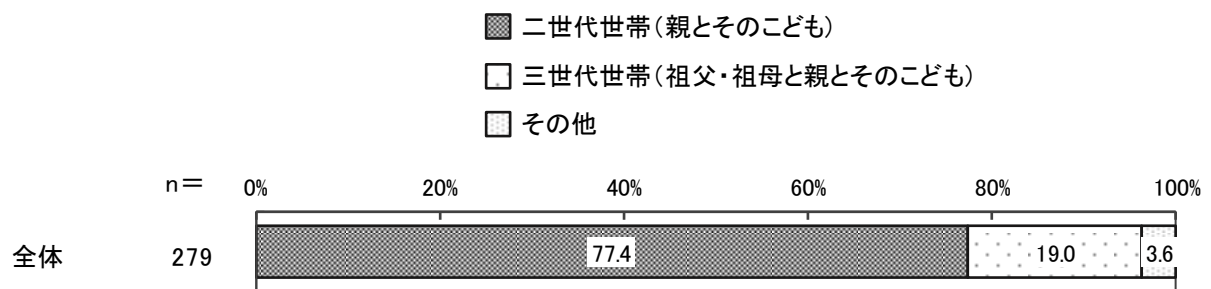
※問21は、設問文の表現が異なるため、比較は掲載していません。

6 回答者の属性

(1) 性別



(2) 家族構成



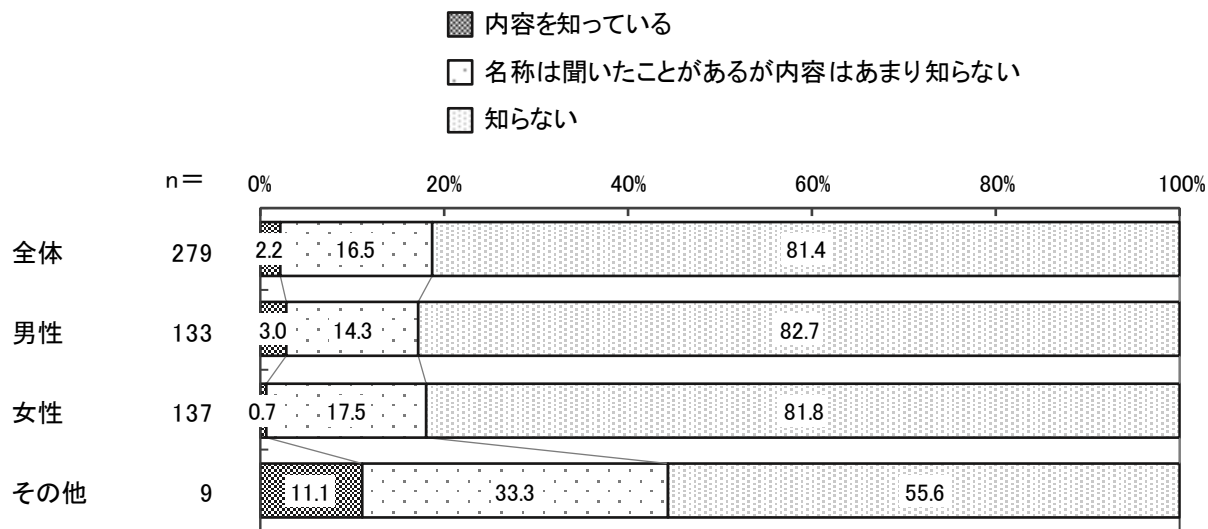
Ⅱ 調査結果

1 人権全般について

問1 あなたは、関市が「人権宣言都市」であることを知っていますか。(1つだけ)

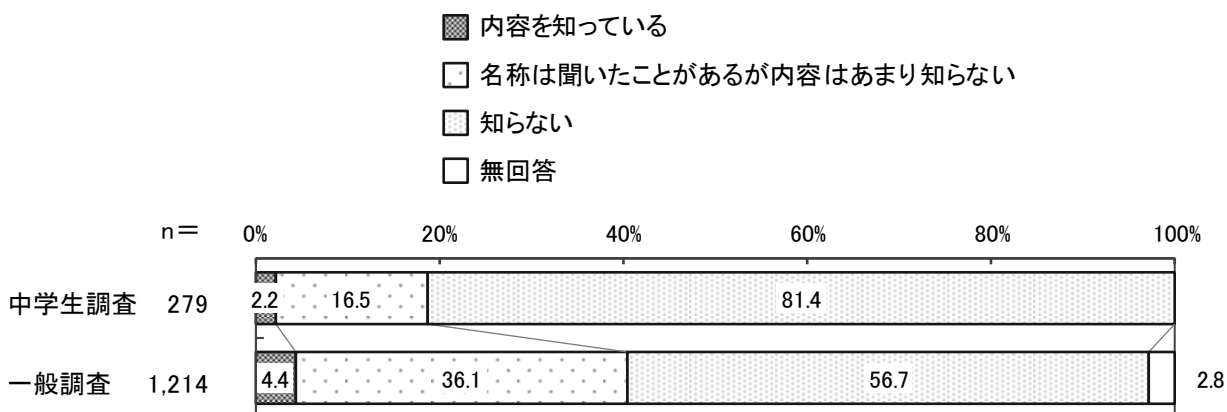
【全体/性別】

「知らない」が81.4%と最も高く、次いで「名称は聞いたことがあるが内容はあまり知らない」が16.5%、「内容を知っている」が2.2%となっています。



【一般調査との比較】

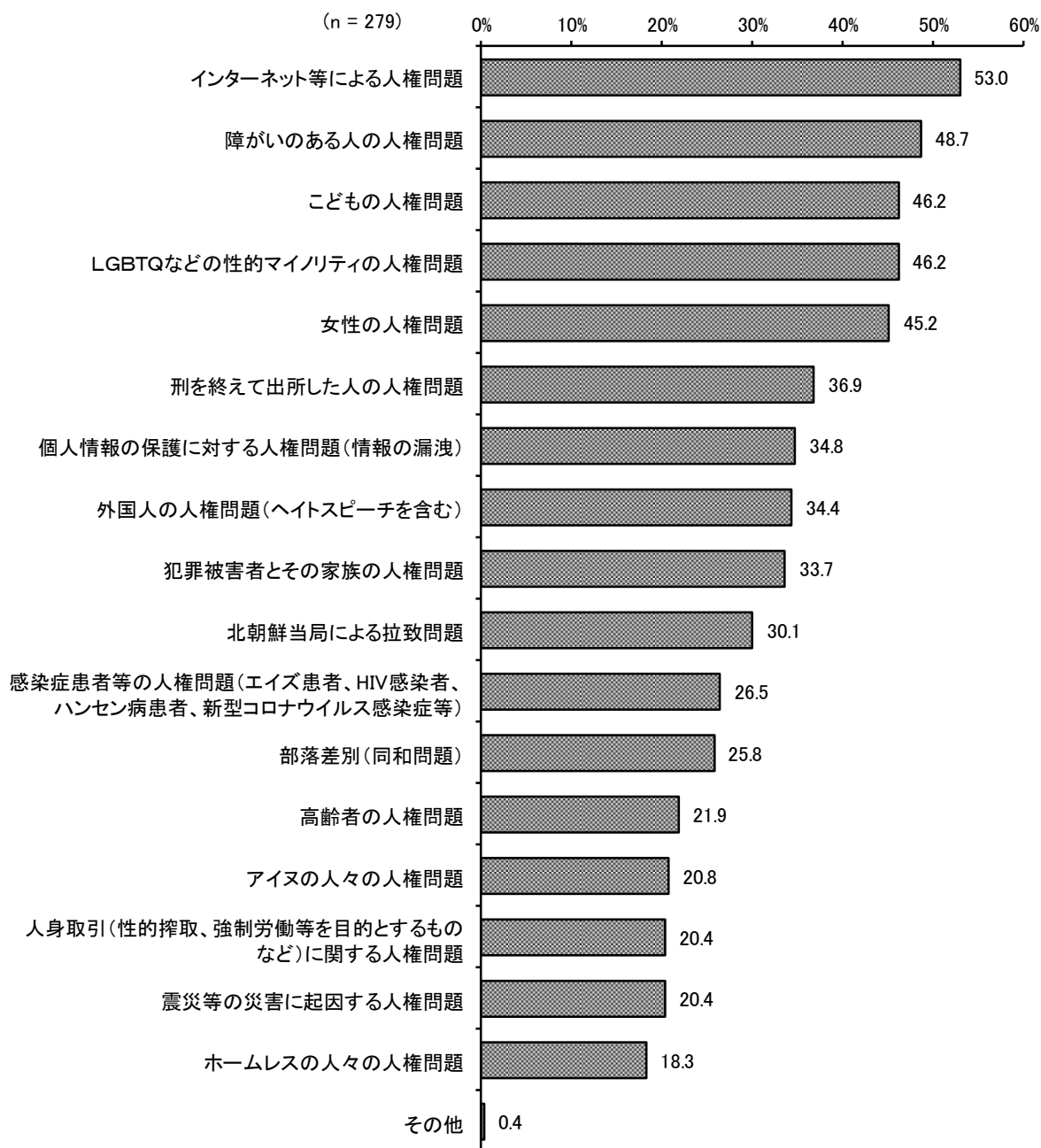
一般調査と比較すると、「知らない」は、中学生（81.4%）が一般（56.7%）より24.7ポイント高くなっています。



問2 日本の社会にはいろいろな人権問題がありますが、次のうち、あなたが関心を持っている問題は何ですか。(いくつでも)

【全体】

「インターネット等による人権問題」が53.0%と最も高く、次いで「障がいのある人の人権問題」が48.7%、「こどもの人権問題」「LGBTQなどの性的マイノリティの人権問題」が46.2%、「女性の人権」が45.2%となっています。



【性別】

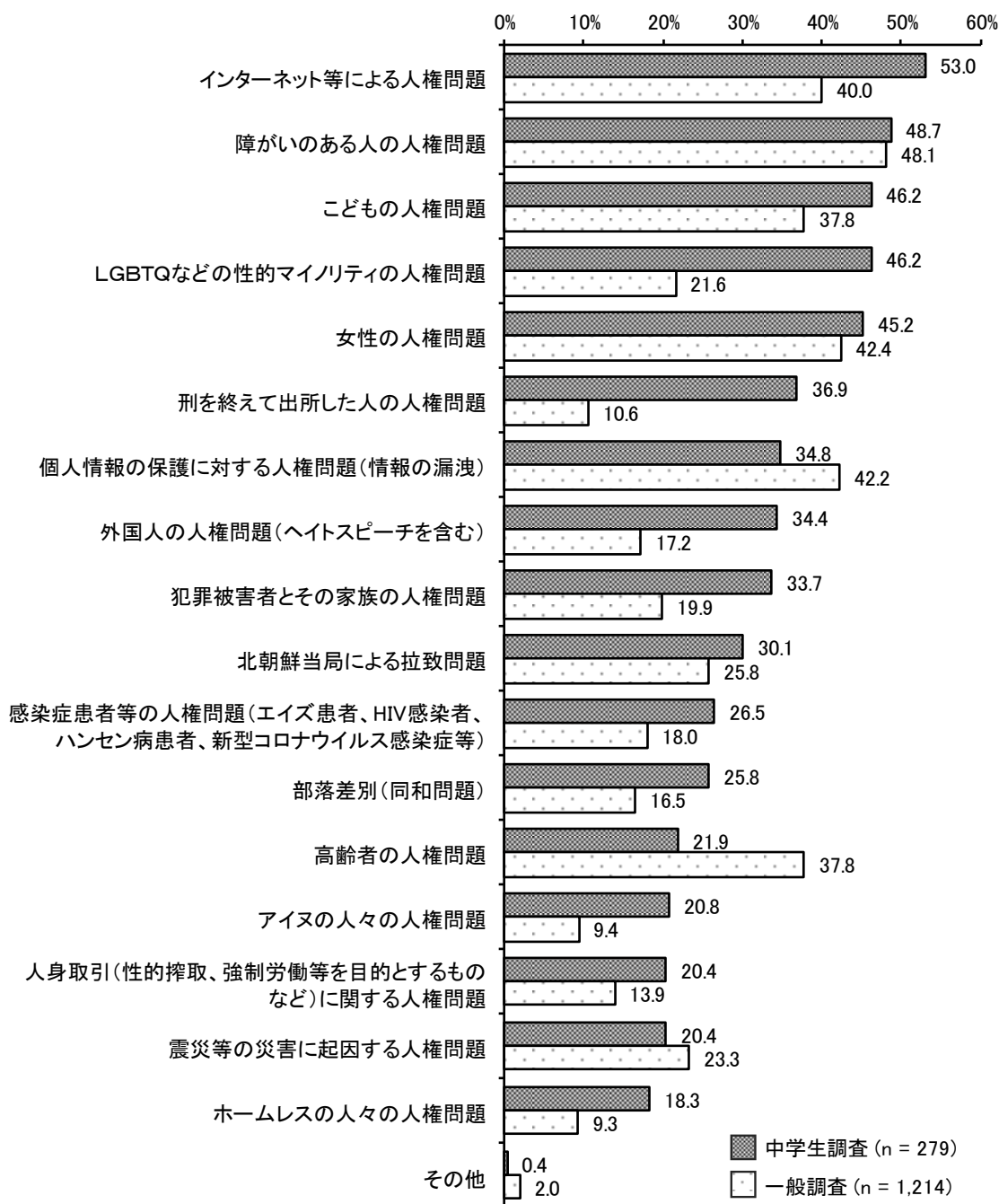
単位：%

区分	有効回答数(件)	インターネット等による人権問題	障がいのある人の人権問題	子どもの人権問題	LGBTQなどの性的マイノリティの人権問題	女性の人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	個人情報の保護に対する人権問題(情報の漏洩)	外国人の人権問題	犯罪被害者とその家族の人権問題	北朝鮮当局による拉致問題
男性	133	54.9	54.1	44.4	33.1	36.1	40.6	35.3	36.1	32.3	42.9
女性	137	51.8	43.8	46.7	56.2	54.7	32.8	35.0	33.6	35.0	16.8
その他	9	44.4	44.4	66.7	88.9	33.3	44.4	22.2	22.2	33.3	44.4

区分	有効回答数(件)	感染症患者等の人権問題	部落差別(同和問題)	高齢者の人権問題	アイヌの人々の人権問題	人身取引に関する人権問題	震災等の災害に起因する人権問題	ホームレスの人々の人権問題	その他
男性	133	30.1	28.6	25.6	24.8	21.8	24.8	21.1	0.8
女性	137	24.1	23.4	19.0	17.5	18.2	16.8	16.1	-
その他	9	11.1	22.2	11.1	11.1	33.3	11.1	11.1	-

【一般調査との比較】

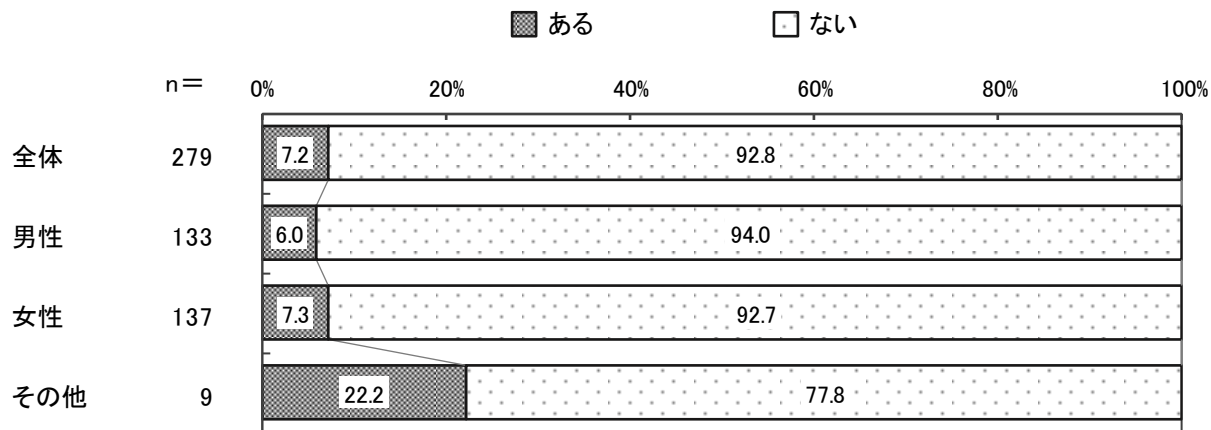
一般調査と比較すると、中学生の上位3項目は、「インターネット等による人権問題」、「障がいのある人の人権問題」、「こどもの人権問題」「LGBTQなどの性的マイノリティの人権問題」となっていますが、一般の上位3項目は、「障がいのある人の人権問題」、「女性の人権問題」、「個人情報の保護に対する人権問題（情報の漏洩）」となっています。また、「刑を終えて出所した人の人権問題」は、中学生（36.9%）が一般（10.6%）より26.3ポイント、「LGBTQなどの性的マイノリティの人権問題」は、中学生（46.2%）が一般（21.6%）より24.6ポイント高くなっています。一方、「高齢者の人権問題」は、中学生（21.9%）が一般（37.8%）より15.9ポイント低くなっています。



問3 あなたは、これまでに自分や自分の家族の人権が侵害されたと感じたことがありますか。(1つだけ)

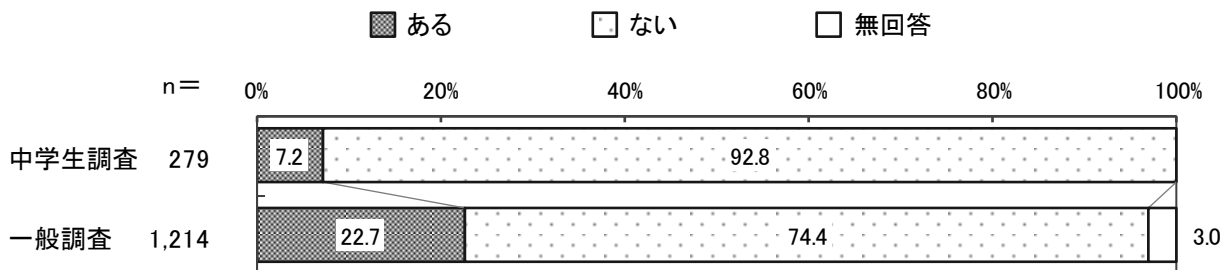
【全体/性別】

「ある」が7.2%、「ない」が92.8%となっています。



【一般調査との比較】

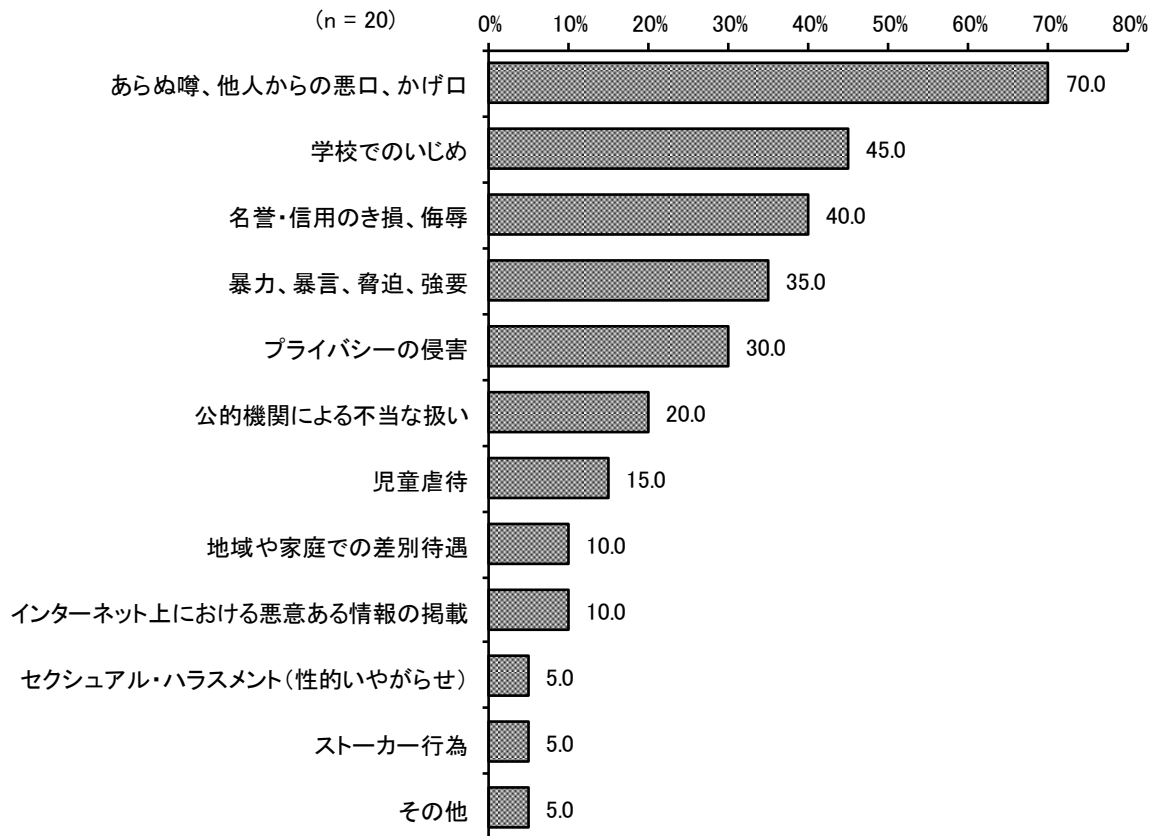
一般調査と比較すると、「ない」は、中学生 (92.8%) が一般 (74.4%) より 18.4 ポイント高くなっています。



問4 問3で「ある」と回答された方にお聞きします。それはどのような人権侵害ですか。
(いくつでも)

【全体】

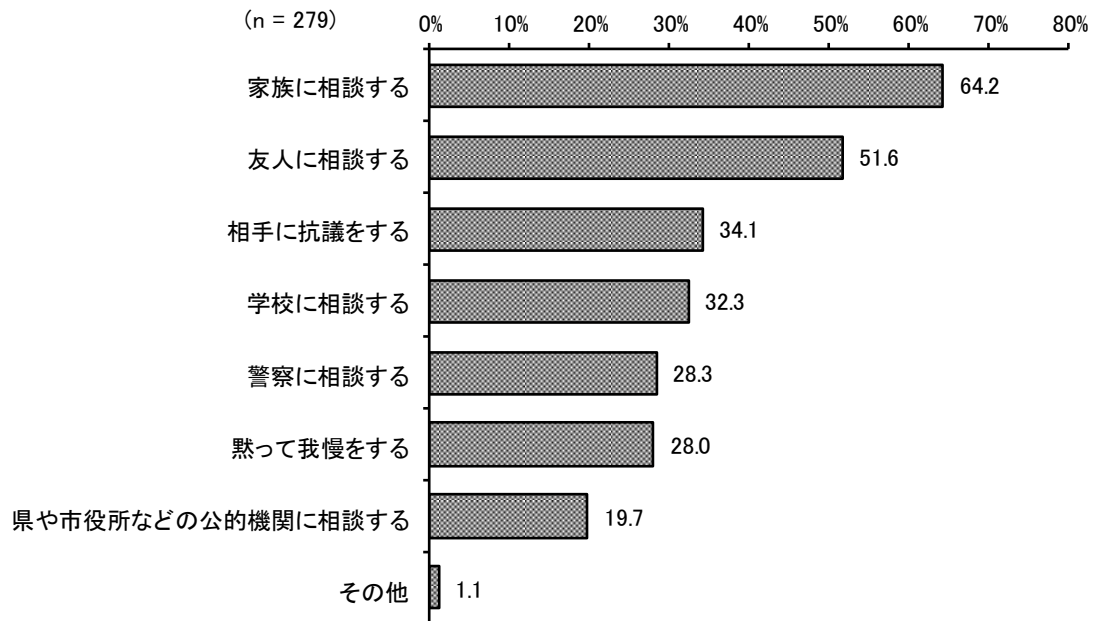
「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が70.0%と最も高く、次いで「学校でのいじめ」が45.0%、「名誉・信用のき損、侮辱」が40.0%となっています。



問5 もしも人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか。(いくつでも)

【全体】

「家族に相談する」が64.2%と最も高く、次いで「友人に相談する」が51.6%、「相手に抗議をする」が34.1%となっています。



【性別】

単位：%

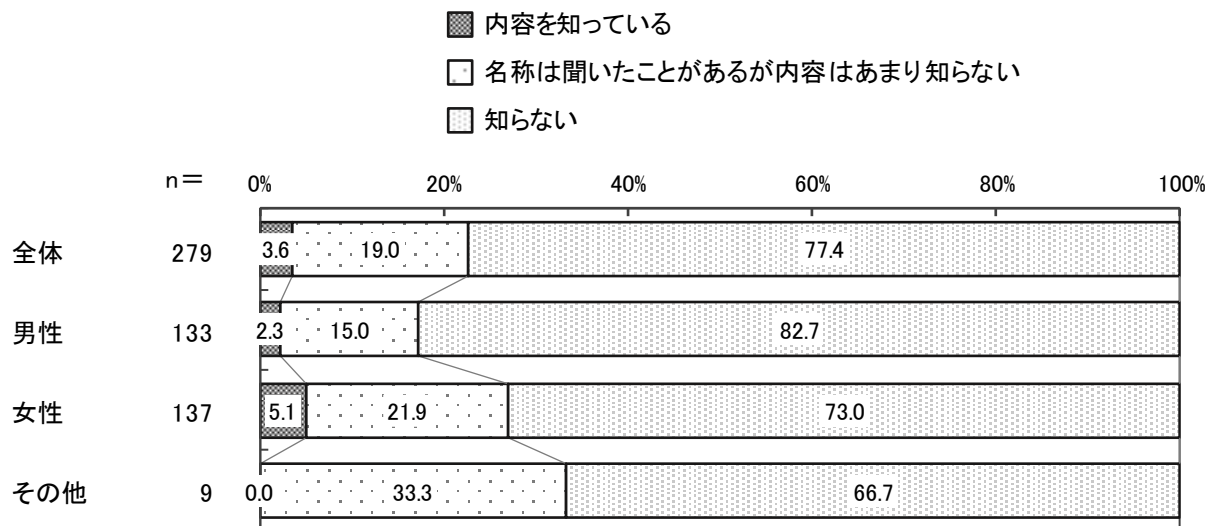
区分	有効回答数(件)	家族に相談する	友人に相談する	相手に抗議をする	学校に相談する	警察に相談する	黙って我慢をする	県や市役所などの公的機関に相談する	その他
男性	133	61.7	45.9	44.4	38.3	34.6	27.8	23.3	-
女性	137	68.6	56.9	22.6	26.3	21.9	26.3	16.1	2.2
その他	9	33.3	55.6	55.6	33.3	33.3	55.6	22.2	-

2 女性の人権について

問6 あなたは、「みんなが輝くまち関市男女共同参画推進条例」を知っていますか。(1つだけ)

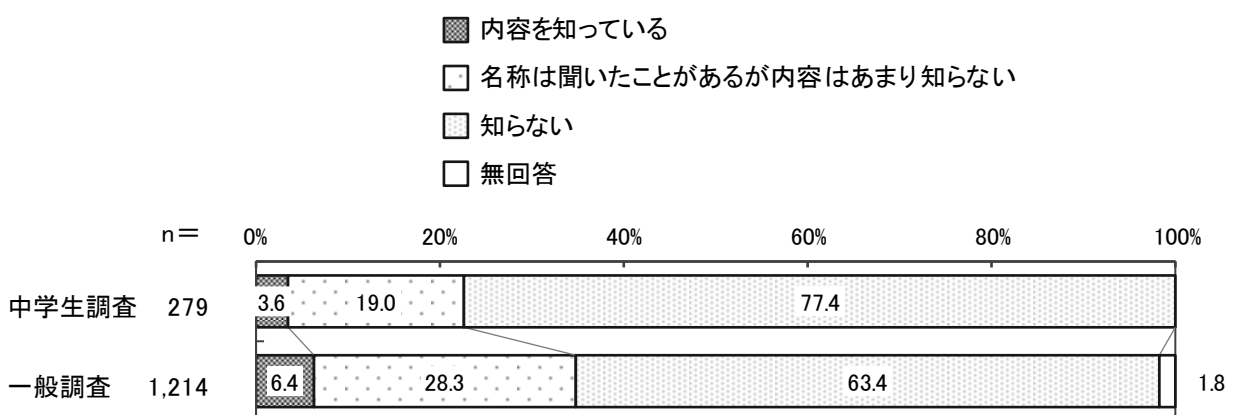
【全体/性別】

「知らない」が77.4%と最も高く、次いで「名称は聞いたことがあるが内容はあまり知らない」が19.0%、「内容を知っている」が3.6%となっています。



【一般調査との比較】

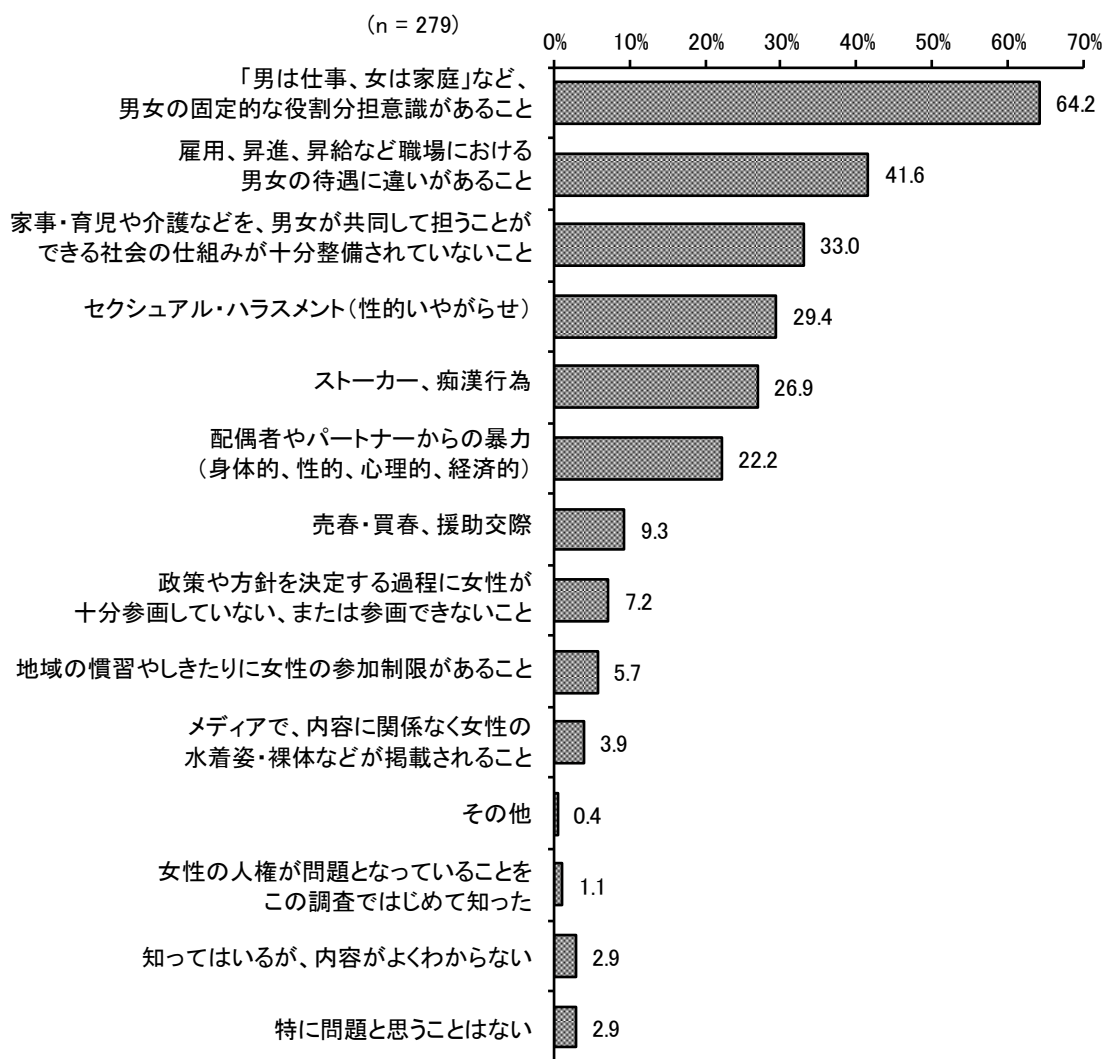
一般調査と比較すると、「知らない」は、中学生(77.4%)が一般(63.4%)より14.0ポイント高くなっています。



問7 次にあげるもののうち、女性の人権について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

【全体】

「男は仕事、女は家庭」など、男女の固定的な役割分担意識があること」が64.2%と最も高く、次いで「雇用、昇進、昇給など職場における男女の待遇に違いがあること」が41.6%、「家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」が33.0%となっています。



【性別】

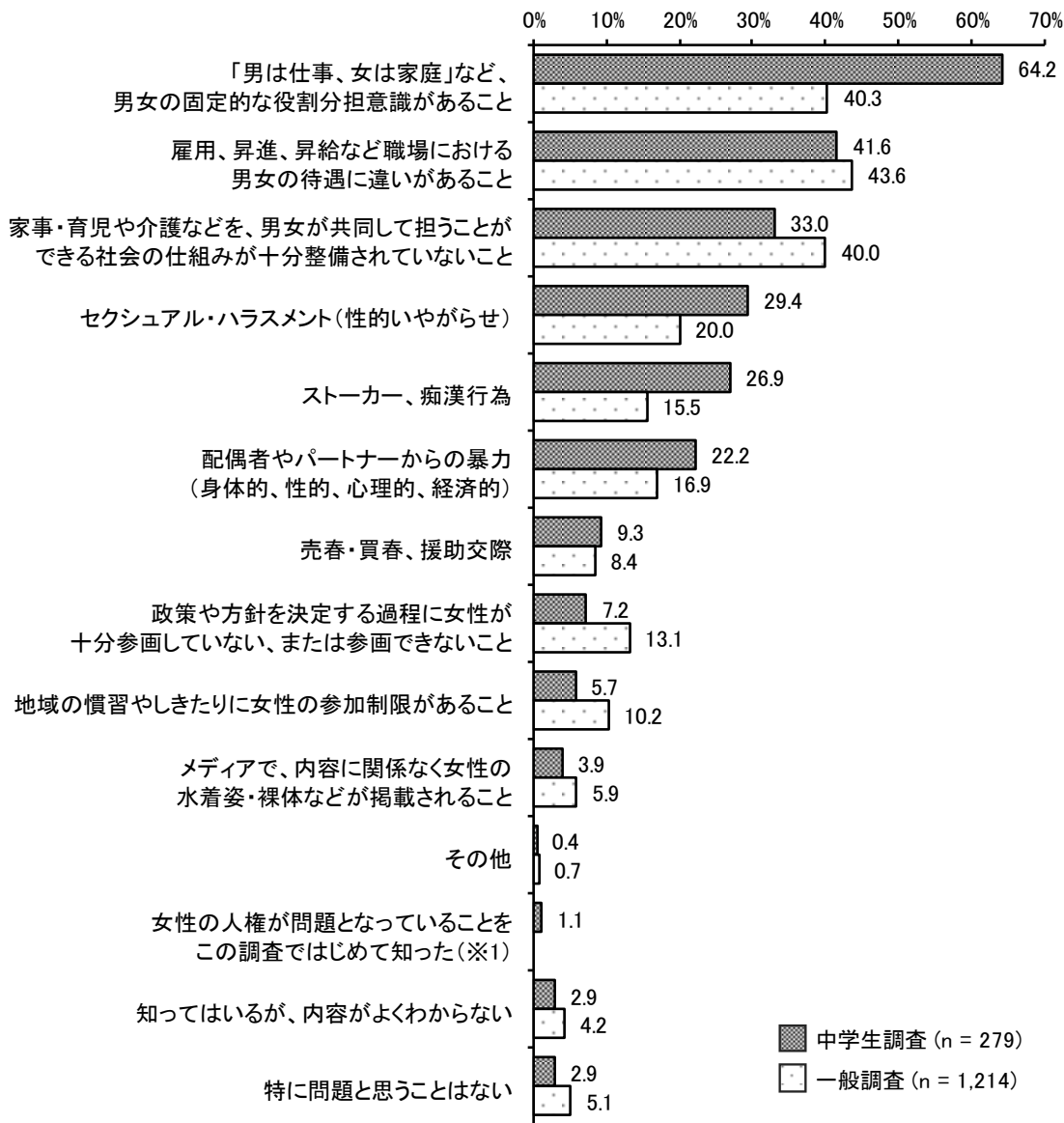
単位：%

区分	有効回答数(件)	「男は仕事、女は家庭」など、男女の固定的な役割分担意識があること	雇用、昇進、昇給など職場における男女の待遇に違いがあること	家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと	セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)	ストーカー、痴漢行為	配偶者やパートナーからの暴力(身体的、性的、心理的、経済的)	売春・買春、援助交際
男性	133	65.4	39.1	30.8	24.1	23.3	21.1	15.0
女性	137	63.5	44.5	35.0	34.3	29.9	22.6	3.6
その他	9	55.6	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	11.1

区分	有効回答数(件)	政策や方針を決定する過程に女性が十分参画していない、または参画できないこと	地域の慣習やしきたりに女性の参加制限があること	メディアで、内容に関係なく女性の水着姿・裸体などが掲載されること	その他	女性の人権が問題となっていることをこの調査ではじめて知った	知ってはいるが、内容がよくわからない	特に問題と思うことはない
男性	133	3.8	4.5	3.8	0.8	2.3	1.5	3.8
女性	137	10.2	5.8	3.6	-	-	4.4	2.2
その他	9	11.1	22.2	11.1	-	-	-	-

【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、「男は仕事、女は家庭」など、男女の固定的な役割分担意識があること」は、中学生（64.2%）が一般（40.3%）より23.9ポイント高くなっています。

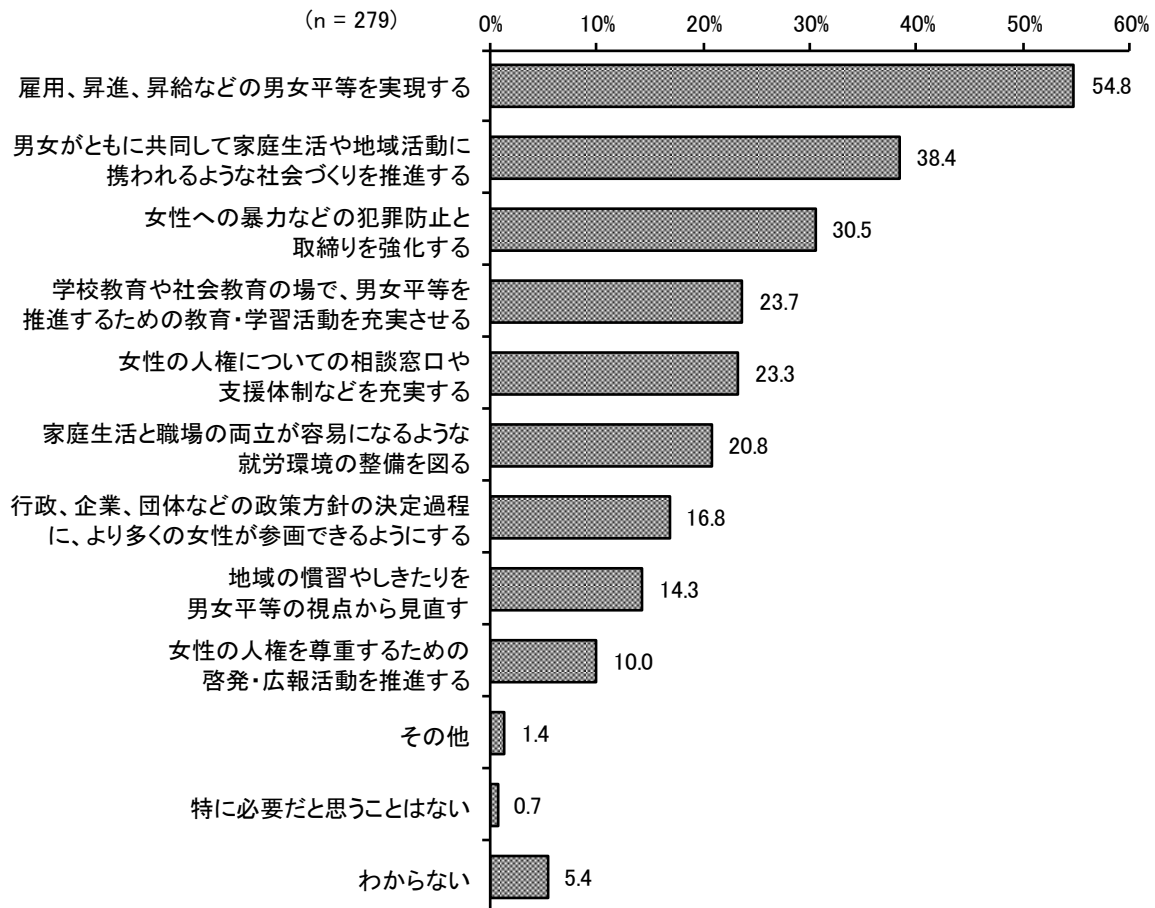


※1：中学生調査のみの選択肢

問8 あなたは、女性の人権を尊重するために必要なことは、どのようなことだと思いますか。(3つまで)

【全体】

「雇用、昇進、昇給などの男女平等を実現する」が54.8%と最も高く、次いで「男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」が38.4%、「女性への暴力などの犯罪防止と取締りを強化する」が30.5%となっています。



【性別】

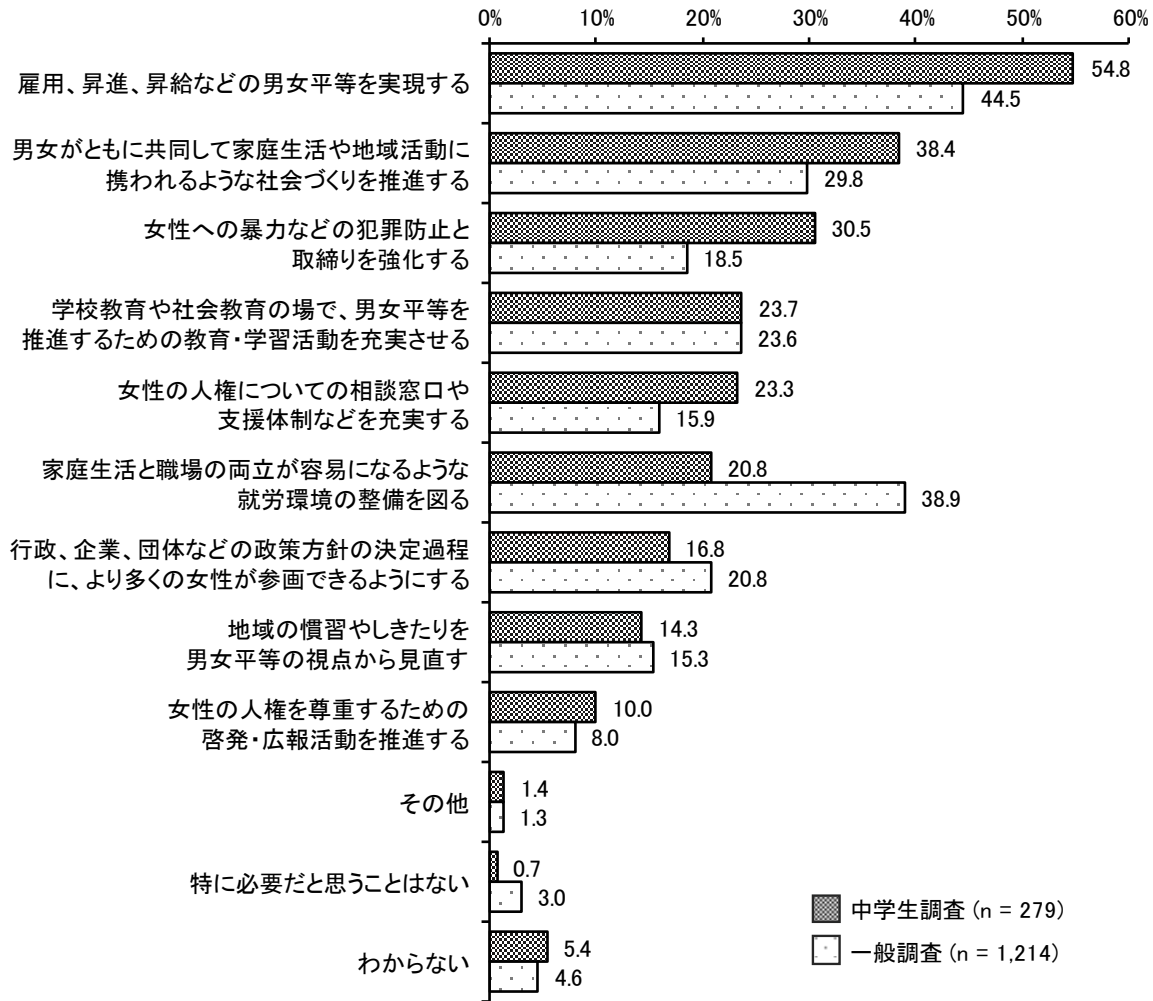
単位：%

区分	有効回答数(件)	雇用、昇進、昇給などの男女平等を実現する	男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する	女性への暴力などの犯罪防止と取締りを強化する	学校教育や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる	女性の人権についての相談窓口や支援体制などを充実する	家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る	行政、企業、団体などの政策方針の決定過程により多くの女性が参画できるようにする
男性	133	54.1	32.3	30.1	23.3	23.3	18.8	18.8
女性	137	56.2	43.8	30.7	23.4	23.4	23.4	13.9
その他	9	44.4	44.4	33.3	33.3	22.2	11.1	33.3

区分	有効回答数(件)	地域の慣習やしきたりを男女平等の視点から見直す	女性の人権を尊重するための啓発・広報活動を推進する	その他	特に必要だと思わない	わからない
男性	133	15.0	11.3	1.5	1.5	6.0
女性	137	13.1	8.8	0.7	-	5.1
その他	9	22.2	11.1	11.1	-	-

【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、「女性への暴力などの犯罪防止と取締りを強化する」は、中学生(30.5%)が一般(18.5%)より12.0ポイント、「雇用、昇進、昇給などの男女平等を実現する」は、中学生(54.8%)が一般(44.5%)より10.3ポイント、それぞれ高くなっています。一方、「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」は、中学生(20.8%)が一般(38.9%)より18.1ポイント低くなっています。

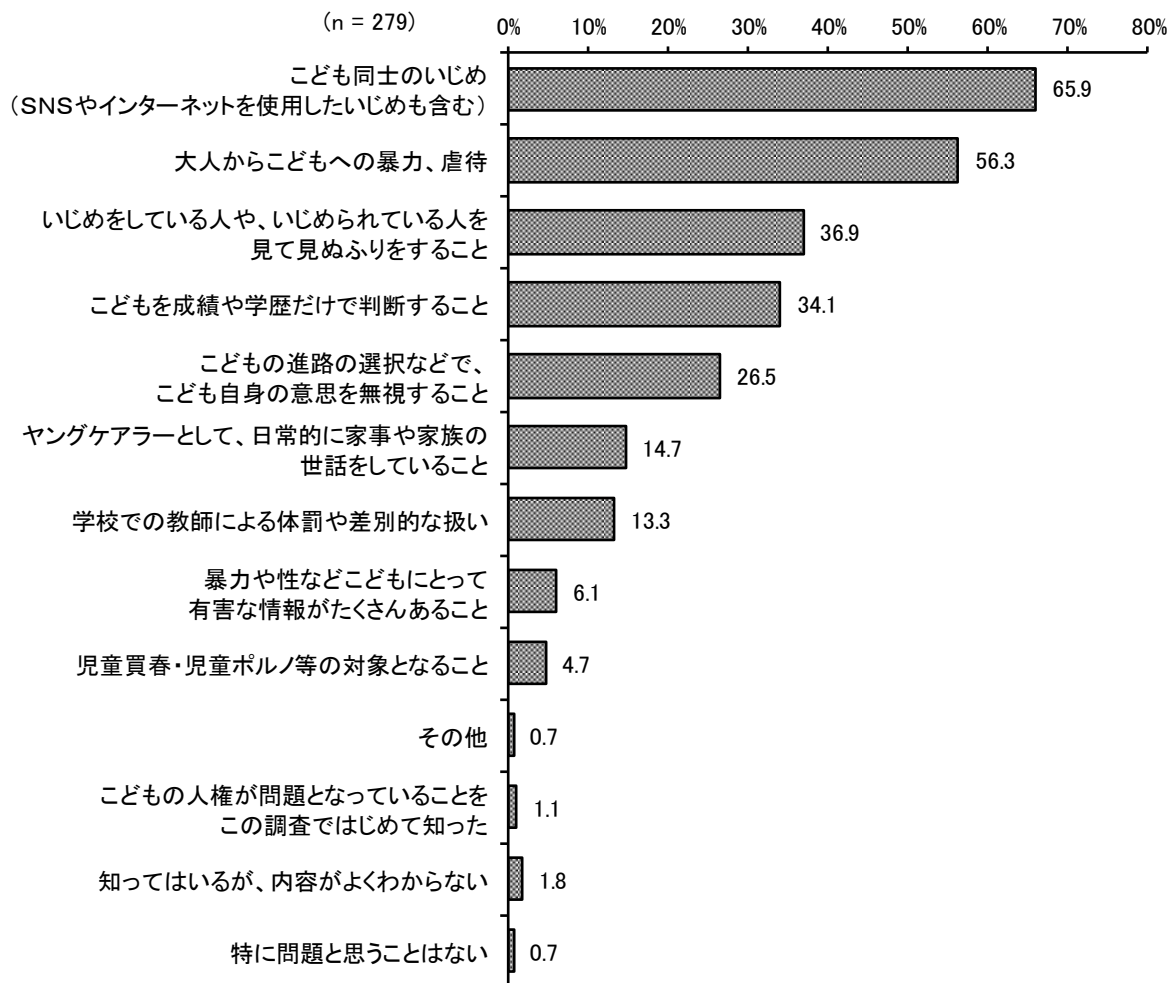


3 こどもの人権について

問9 次にあげるもののうち、こどもの人権について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

【全体】

「こども同士のいじめ（SNSやインターネットを使用したいじめも含む）」が65.9%と最も高く、次いで「大人からこどもへの暴力、虐待」が56.3%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」が36.9%となっています。



【性別】

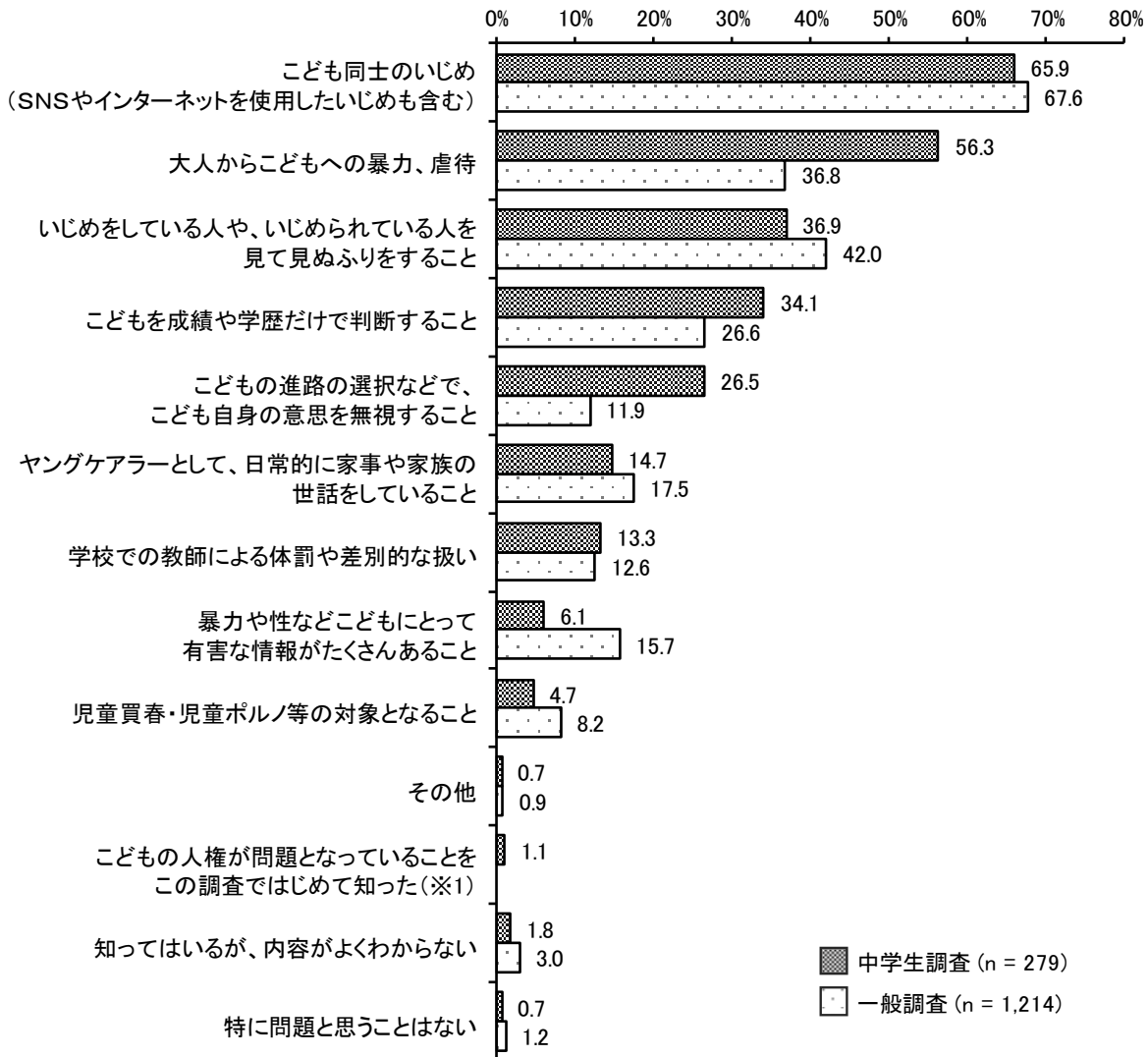
単位：%

区分	有効回答数(件)	子ども同士のいじめ (SNSやインターネットを 使用したいじめも含む)	大人から子どもへの暴力、 虐待	いじめをしている人や、い じめられている人を見て 見ぬふりをすること	子どもを成績や学歴だけ で判断すること	子どもの進路の選択など で、子ども自身の意思を 無視すること	ヤングケアラーとして、 日常的に家事や家族の 世話をしていること	学校での教師による体罰 や差別的な扱い
男性	133	66.9	57.1	40.6	32.3	28.6	11.3	9.0
女性	137	67.2	54.7	33.6	34.3	23.4	16.8	17.5
その他	9	33.3	66.7	33.3	55.6	44.4	33.3	11.1

区分	有効回答数(件)	暴力や性など子どもにと って有害な情報がたくさん あること	児童買春・児童ポルノ等 の対象となること	その他	子どもの人権が問題と なっていることをこの調査 ではじめて知った	知ってはいるが、内容が よくわからない	特に問題と思うこととはな い
男性	133	6.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
女性	137	5.8	8.0	-	0.7	2.2	-
その他	9	-	-	-	-	-	-

【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、「大人から子どもへの暴力、虐待」は、中学生 (56.3%) が一般 (36.8%) より 19.5 ポイント、「子どもの進路の選択などで、子ども自身の意思を無視すること」は、中学生 (26.5%) が一般 (11.9%) より 14.6 ポイント、それぞれ高くなっています。

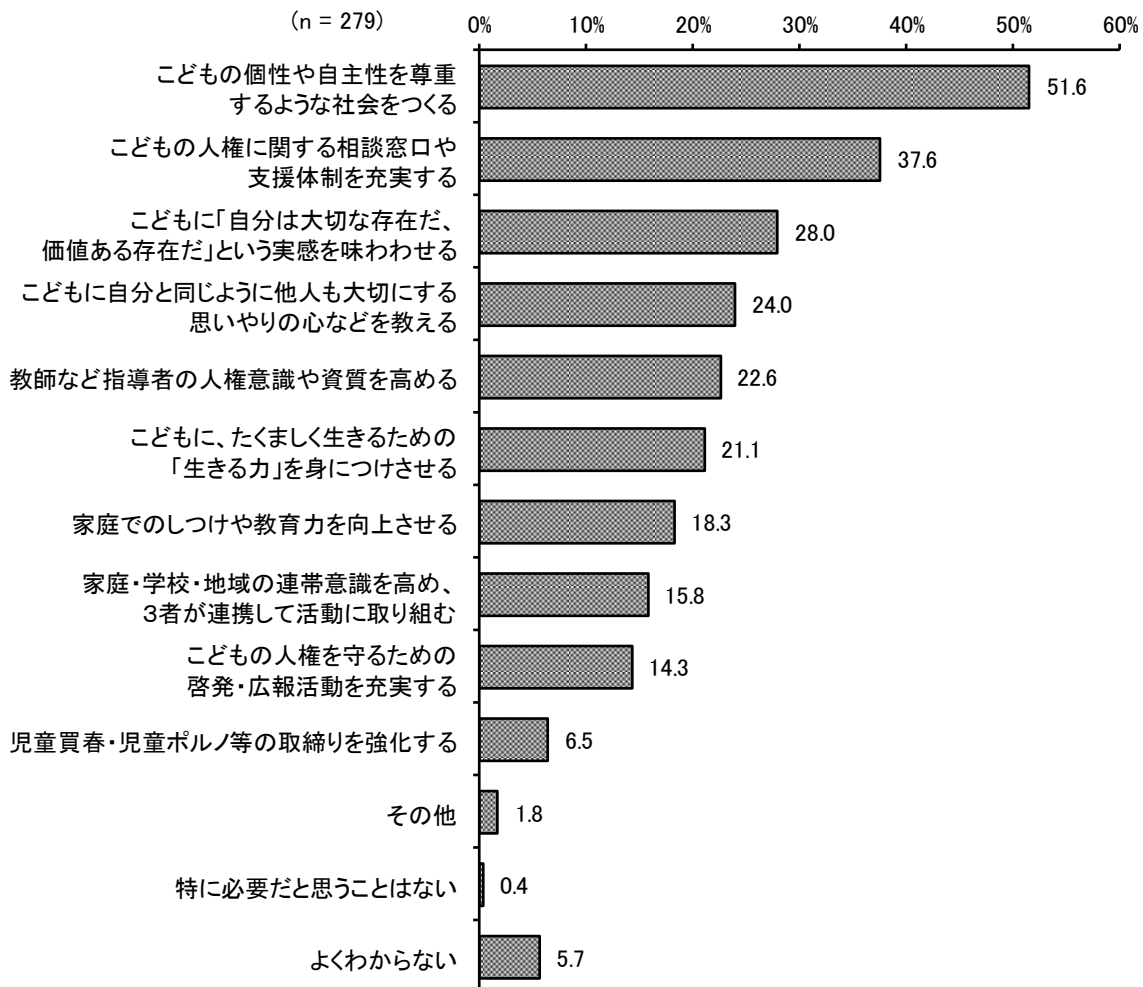


※1：中学生調査のみの選択肢

問10 こどもの人権を尊重するために必要なことは、どのようなことだと思いますか。
(3つまで)

【全体】

「こどもの個性や自主性を尊重するような社会をつくる」が51.6%と最も高く、次いで「こどもの人権に関する相談窓口や支援体制を充実する」が37.6%、「こどもに「自分は大切な存在だ、価値ある存在だ」という実感を味わわせる」が28.0%となっています。



【性別】

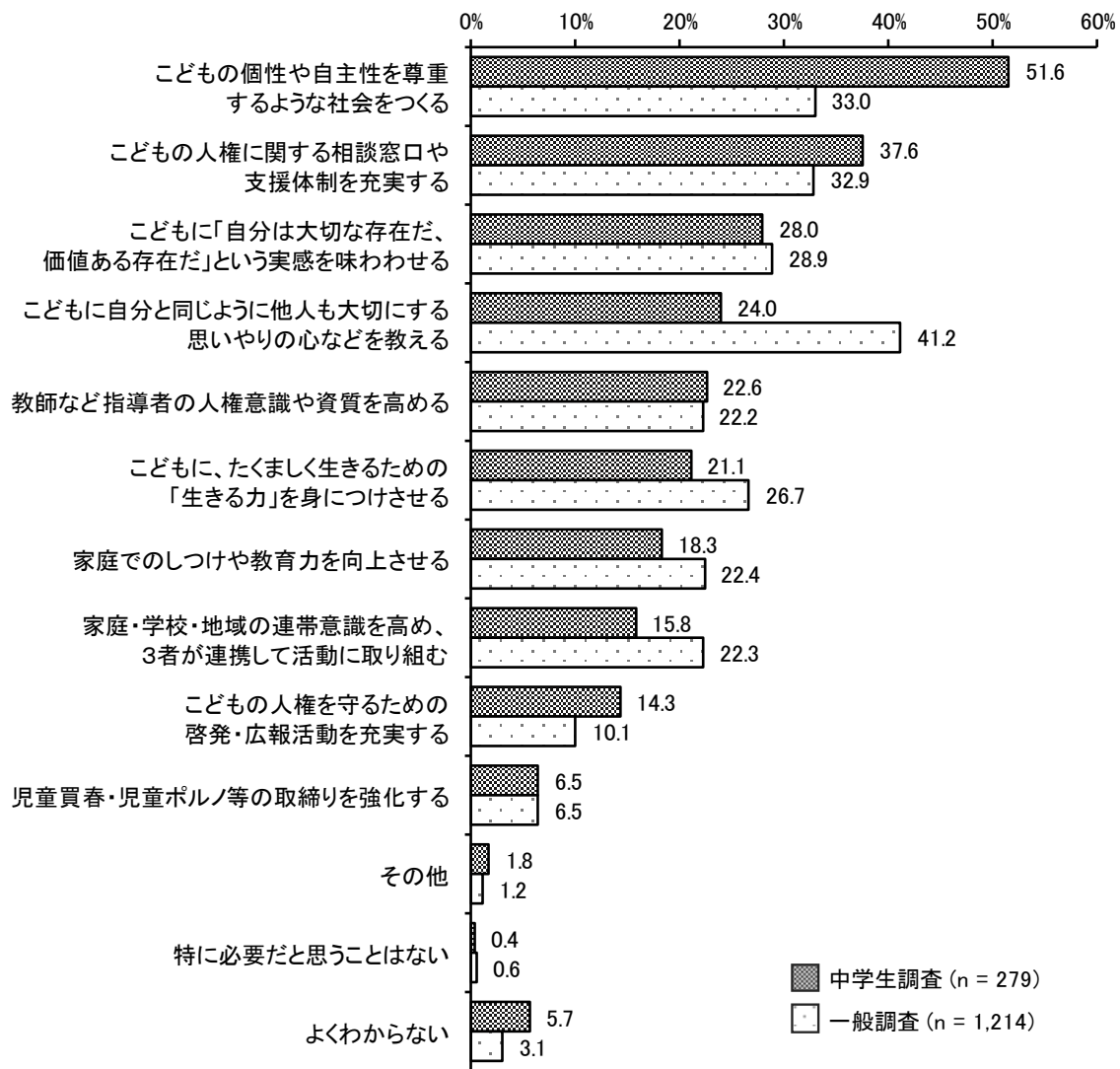
単位：%

区分	有効回答数(件)	子どもの個性や自主性を尊重するよつな社会をつくる	子どもの人権に関する相談窓口や支援体制を充実する	子どもに「自分は大切な存在だ、価値ある存在だ」という実感を味わわせる	子どもに自分と同じように他人も大切にする思いやりの心などを教える	教師など指導者の人権意識や資質を高める	子どもに、たくましく生きるための「生きる力」を身につけさせる	家庭でのしつけや教育力を向上させる
男性	133	50.4	39.8	25.6	18.8	20.3	23.3	22.6
女性	137	52.6	37.2	27.0	28.5	25.5	19.0	13.9
その他	9	55.6	11.1	77.8	33.3	11.1	22.2	22.2

区分	有効回答数(件)	家庭・学校・地域の連帯意識を高め、3者が連携して活動に取り組む	子どもの人権を守るための啓発・広報活動を充実する	児童買春・児童ポルノ等の取締りを強化する	その他	特に必要だと思つことはない	よくわからない
男性	133	15.0	12.8	5.3	3.8	0.8	7.5
女性	137	16.1	16.8	8.0	-	-	4.4
その他	9	22.2	-	-	-	-	-

【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、「こどもの個性や自主性を尊重するような社会をつくる」は、中学生（51.6%）が一般（33.0%）より18.6ポイント高くなっています。一方、「こどもに自分と同じように他人も大切にしたい思いやりの心などを教える」は、中学生（24.0%）が一般（41.2%）より17.2ポイント低くなっています。

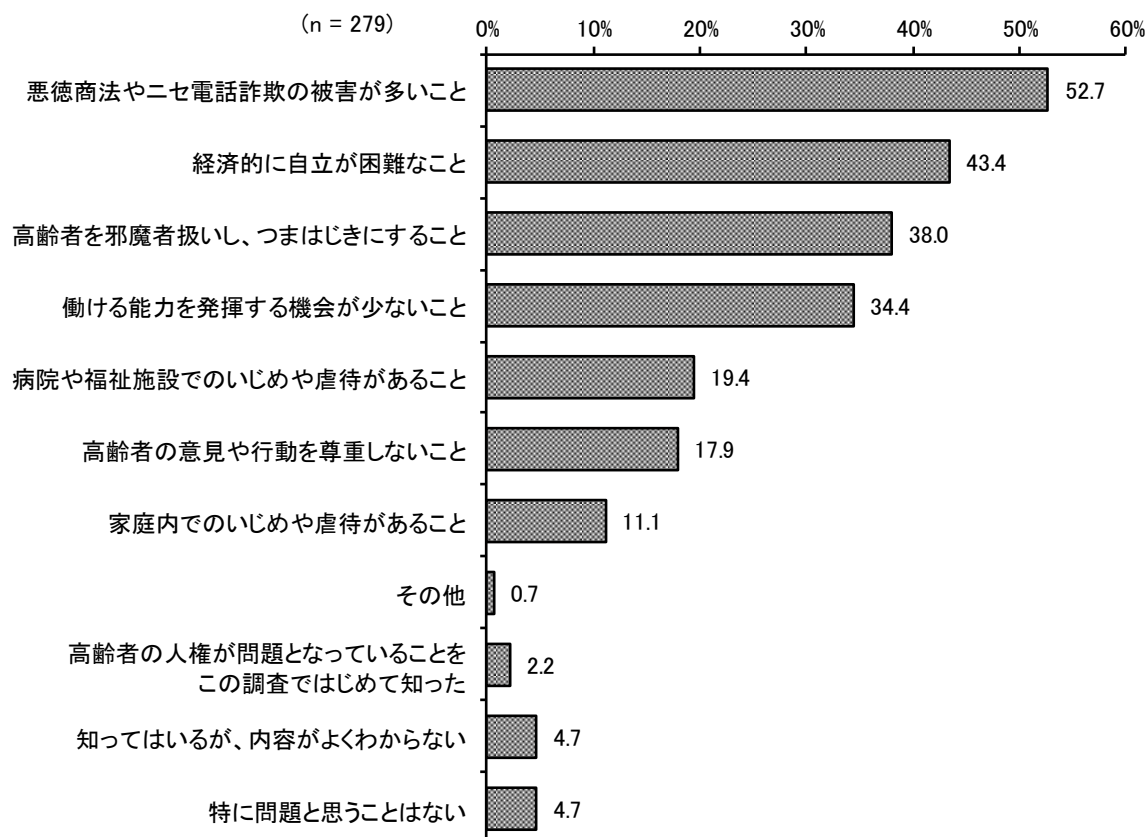


4 高齢者の人権について

問11 次にあげるもののうち、高齢者の人権について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

【全体】

「悪徳商法やニセ電話詐欺の被害が多いこと」が52.7%と最も高く、次いで「経済的に自立が困難なこと」が43.4%、「高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること」が38.0%となっています。



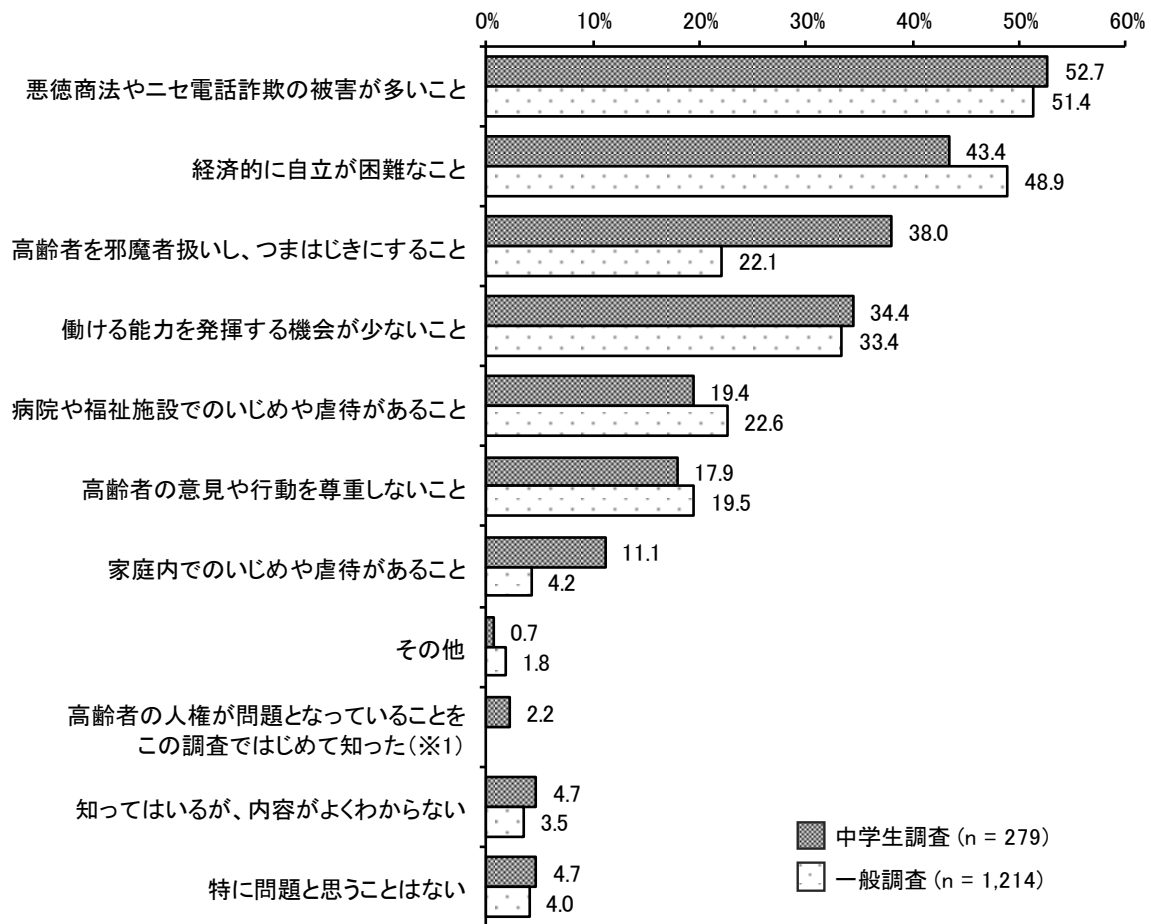
【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	悪徳商法やニセ電話詐欺の被害が多いこと	経済的に自立が困難なこと	高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること	働ける能力を発揮する機会が少ないこと	病院や福祉施設でのいじめや虐待があること	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	家庭内でのいじめや虐待があること	その他	高年齢者の人権が問題となっていることをこの調査ではじめて知った	知ってはいるが、内容がよくわからない	特に問題と思うことはない
男性	133	53.4	45.9	35.3	32.3	15.8	19.5	6.8	1.5	1.5	4.5	5.3
女性	137	53.3	41.6	38.7	35.0	21.9	14.6	16.1	-	2.9	5.1	4.4
その他	9	33.3	33.3	66.7	55.6	33.3	44.4	-	-	-	-	-

【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、「高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにする事」は、中学生（38.0%）が一般（22.1%）より15.9ポイント高くなっています。

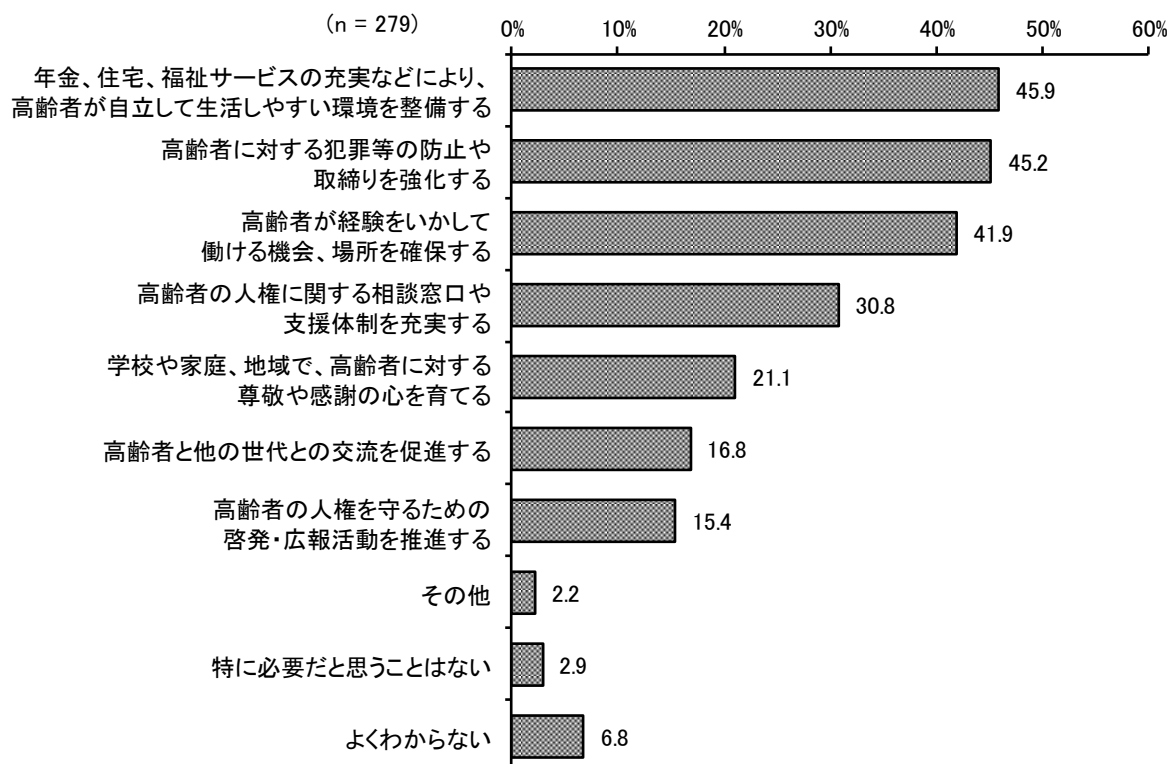


※1：中学生調査のみの選択肢

問12 高齢者の人権を尊重するために必要なことは、どのようなことだと思いますか。(3つまで)

【全体】

「年金、住宅、福祉サービスの充実などにより、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」が45.9%と最も高く、次いで「高齢者に対する犯罪等の防止や取締りを強化する」が45.2%、「高齢者が経験をいかして働ける機会、場所を確保する」が41.9%となっています。



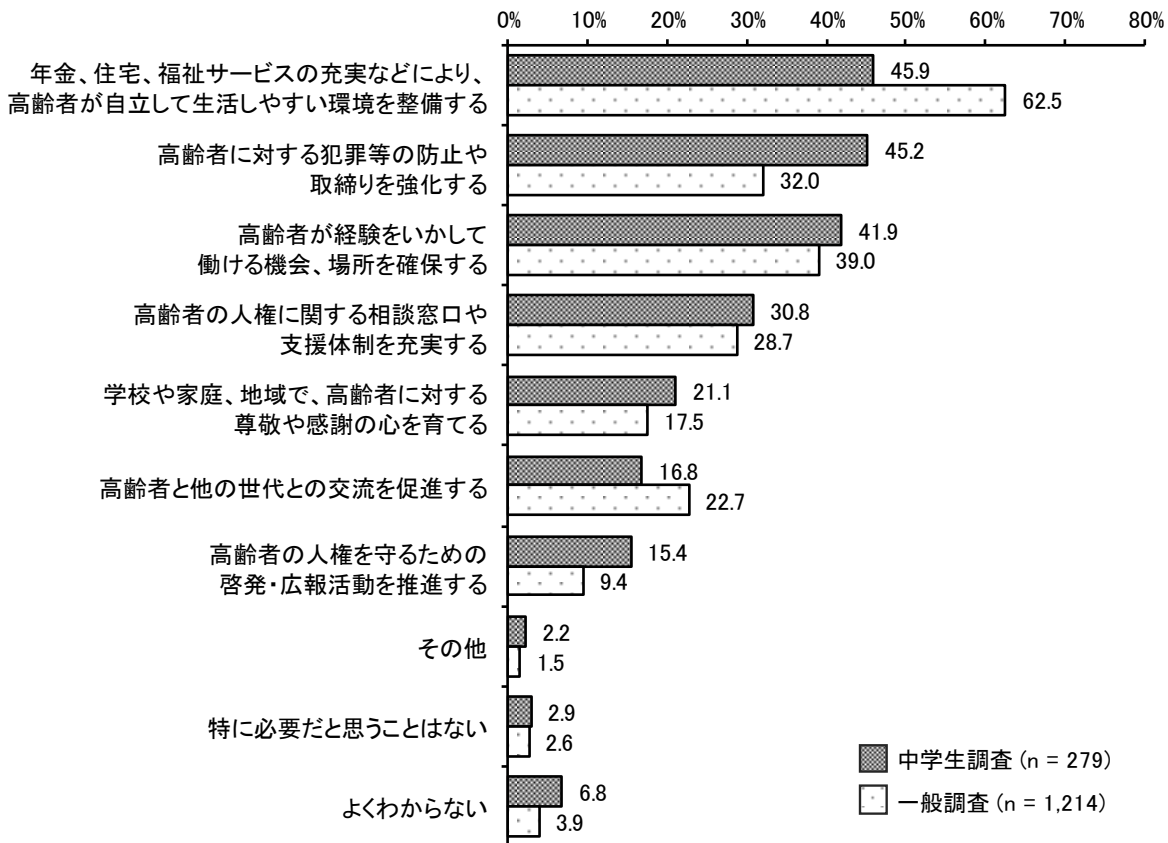
【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	年金、住宅、福祉サービスの充実などにより、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する	高齢者に対する犯罪等の防止や取締りを強化する	高齢者が経験をいかして働ける機会、場所を確保する	高齢者の人権に関する相談窓口や支援体制を充実する	学校や家庭、地域で、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てる	高齢者和其他の世代との交流を促進する	高齢者の人権を守るための啓発・広報活動を推進する	その他	特に必要だと思うことはない	よくわからない
男性	133	42.1	43.6	42.9	33.1	18.0	15.8	18.8	3.8	5.3	6.0
女性	137	49.6	47.4	39.4	29.2	23.4	18.2	11.7	0.7	0.7	7.3
その他	9	44.4	33.3	66.7	22.2	33.3	11.1	22.2	-	-	11.1

【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、上位3項目は同じものになっていますが、「高齢者に対する犯罪等の防止や取締りを強化する」は、中学生（45.2%）が一般（32.0%）より13.2ポイント高く、「年金、住宅、福祉サービスの充実などにより、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」は、中学生（45.9%）が一般（62.5%）より16.6ポイント低くなっています。

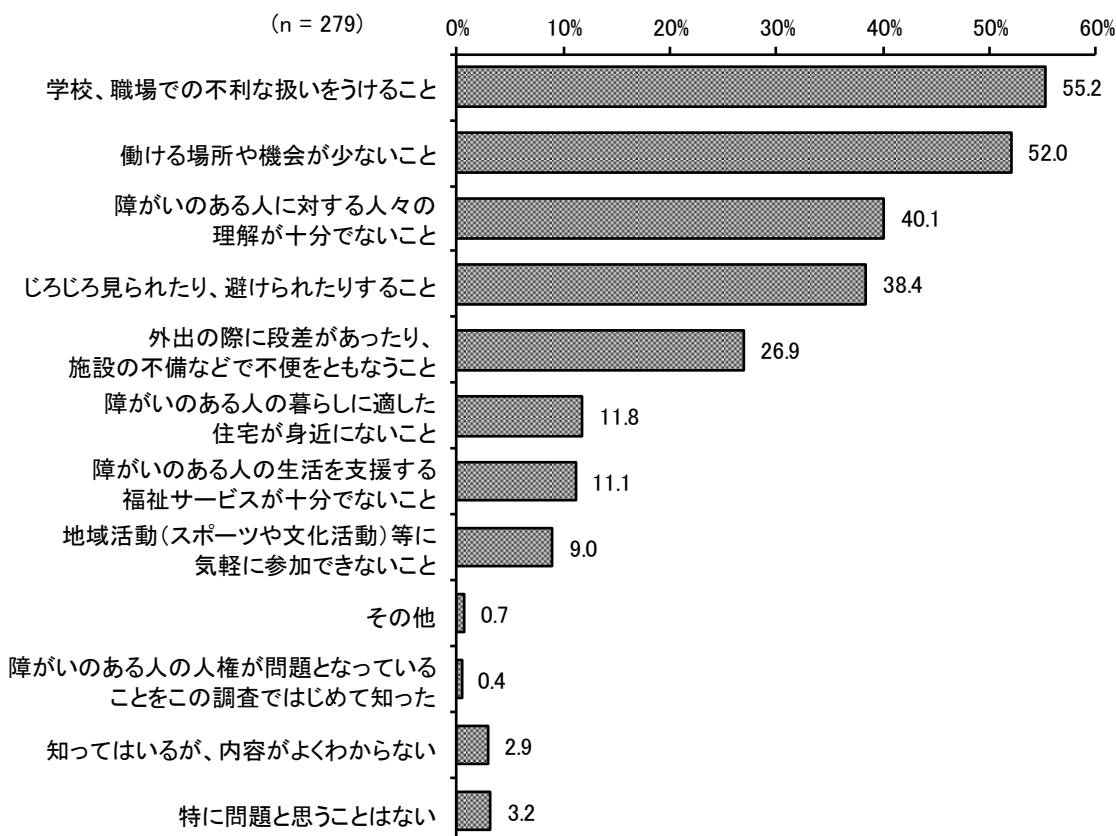


5 障がいのある人の人権について

問13 次にあげるもののうち、障がいのある人の人権について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

【全体】

「学校、職場での不利な扱いをうけること」が55.2%と最も高く、次いで「働ける場所や機会が少ないこと」が52.0%、「障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと」が40.1%となっています。



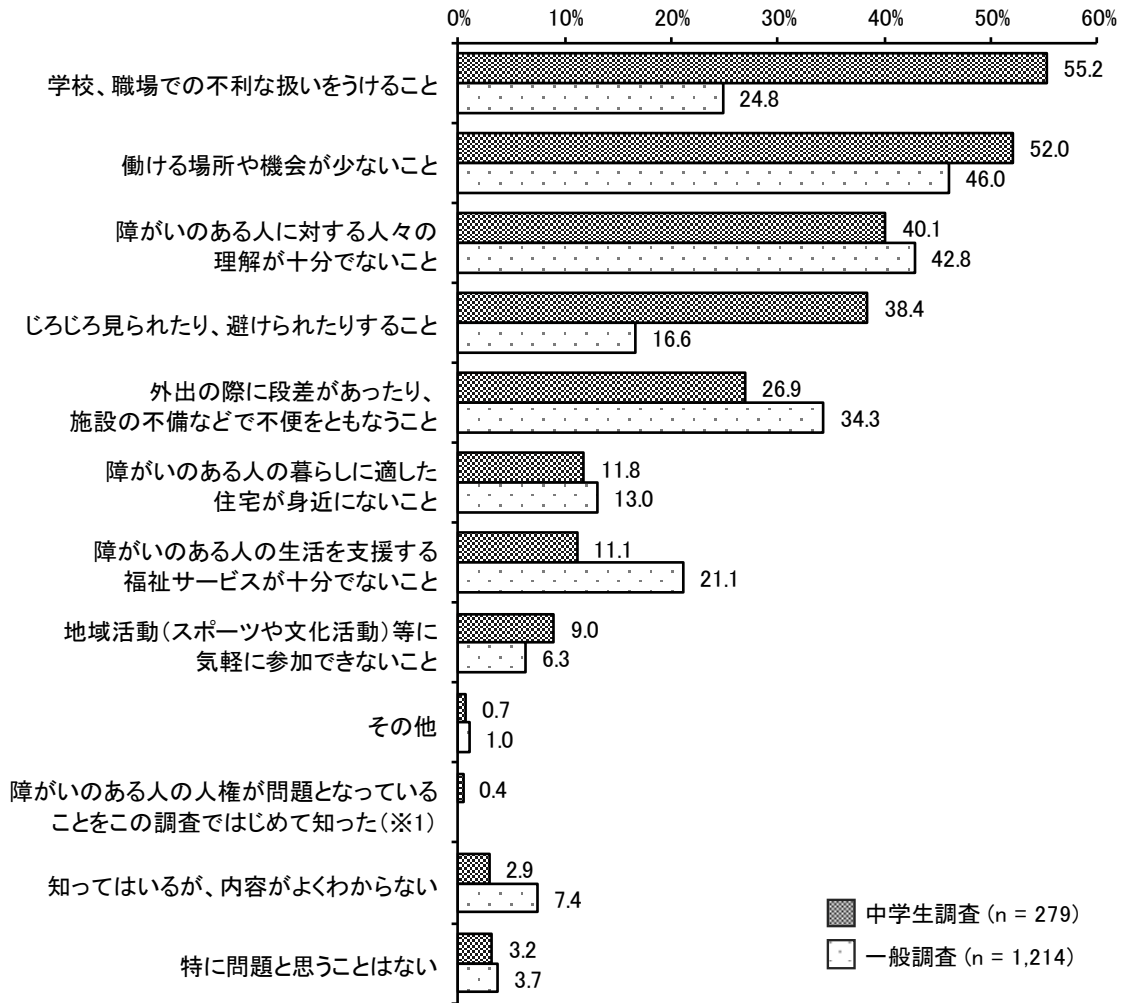
【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	学校、職場での不利な扱いをうけること	働ける場所や機会が少ないこと	障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと	じろじろ見られたり、避けられたりすること	外出の際に段差があったり、施設の不備などで不便をとまうこと	障がいのある人の暮らしに適した住宅が身近にないこと	障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと	地域活動(スポーツや文化活動)等に気軽に参加できないこと	その他	障がいのある人の人権が問題となっていることをこの調査ではじめて知った	知ってはいるが、内容がよくわからない	特に問題と思うことはない
男性	133	54.1	48.1	40.6	32.3	29.3	13.5	11.3	11.3	1.5	-	1.5	4.5
女性	137	57.7	55.5	39.4	44.5	23.4	10.9	9.5	5.8	-	0.7	4.4	2.2
その他	9	33.3	55.6	44.4	33.3	44.4	-	33.3	22.2	-	-	-	-

【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、「学校、職場での不利な扱いを受けること」は、中学生（55.2%）が一般（24.8%）より30.4ポイント、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」は、中学生（38.4%）が一般（16.6%）より21.8ポイント、それぞれ高くなっています。一方、「障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと」は、中学生（11.1%）が一般（21.1%）より10.0ポイント低くなっています。



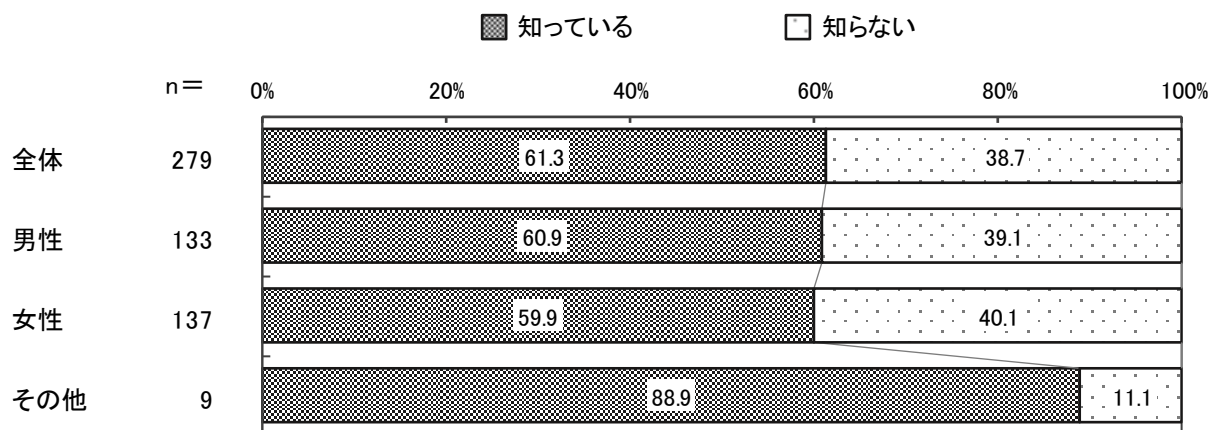
※1：中学生調査のみの選択肢

6 部落差別（同和問題）について

問14 部落差別（同和問題）といわれているものがどういう内容のものか知っていますか。
（1つだけ）

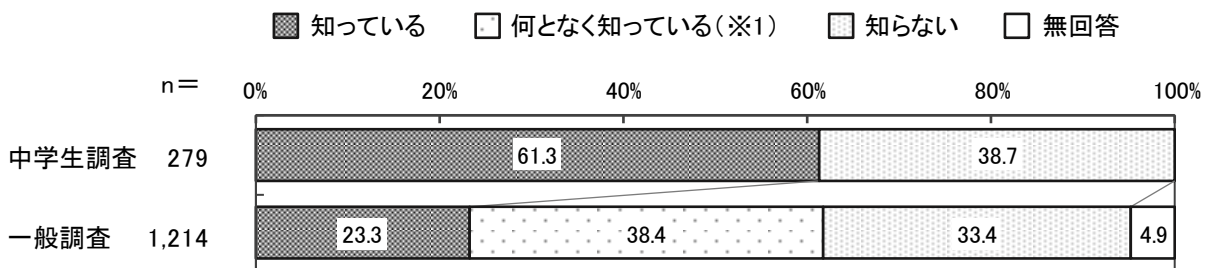
【全体/性別】

「知っている」が61.3%、「知らない」が38.7%となっています。



【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、中学生では「知っている」が61.3%、一般では「知っている」と「何となく知っている」を合わせた“知っている”が61.7%となっています。

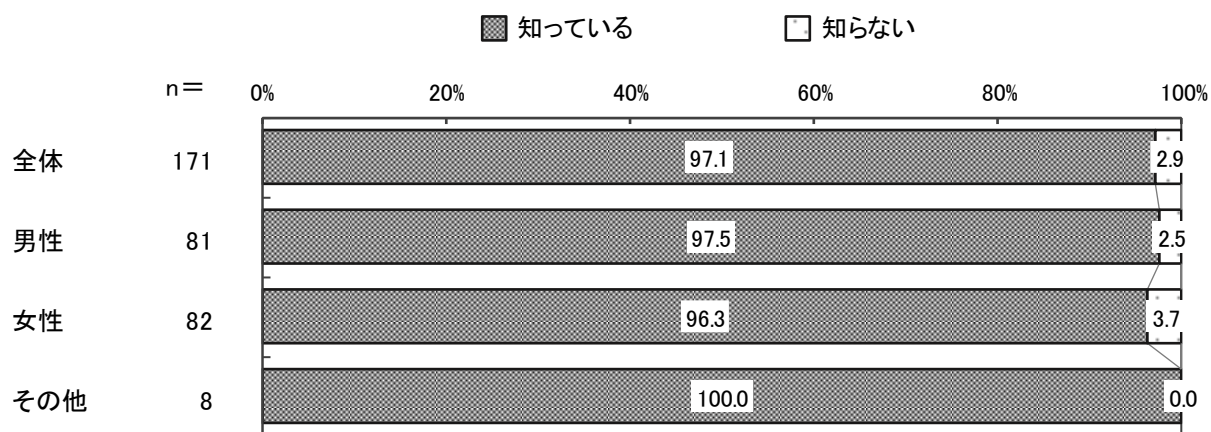


※1：一般調査のみの選択肢

問15 部落差別（同和問題）が不当な差別であるのを知っていますか。（1つだけ）
 ※問14で「知っている」と答えた方

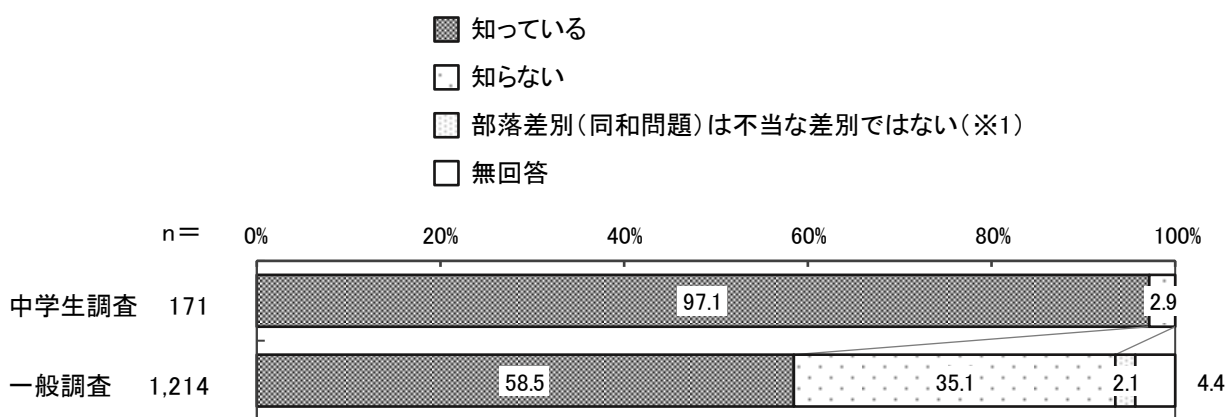
【全体/性別】

「知っている」が97.1%、「知らない」が2.9%となっています。



【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、「知っている」は、中学生（97.1%）が一般（58.5%）より38.6ポイント高くなっています。



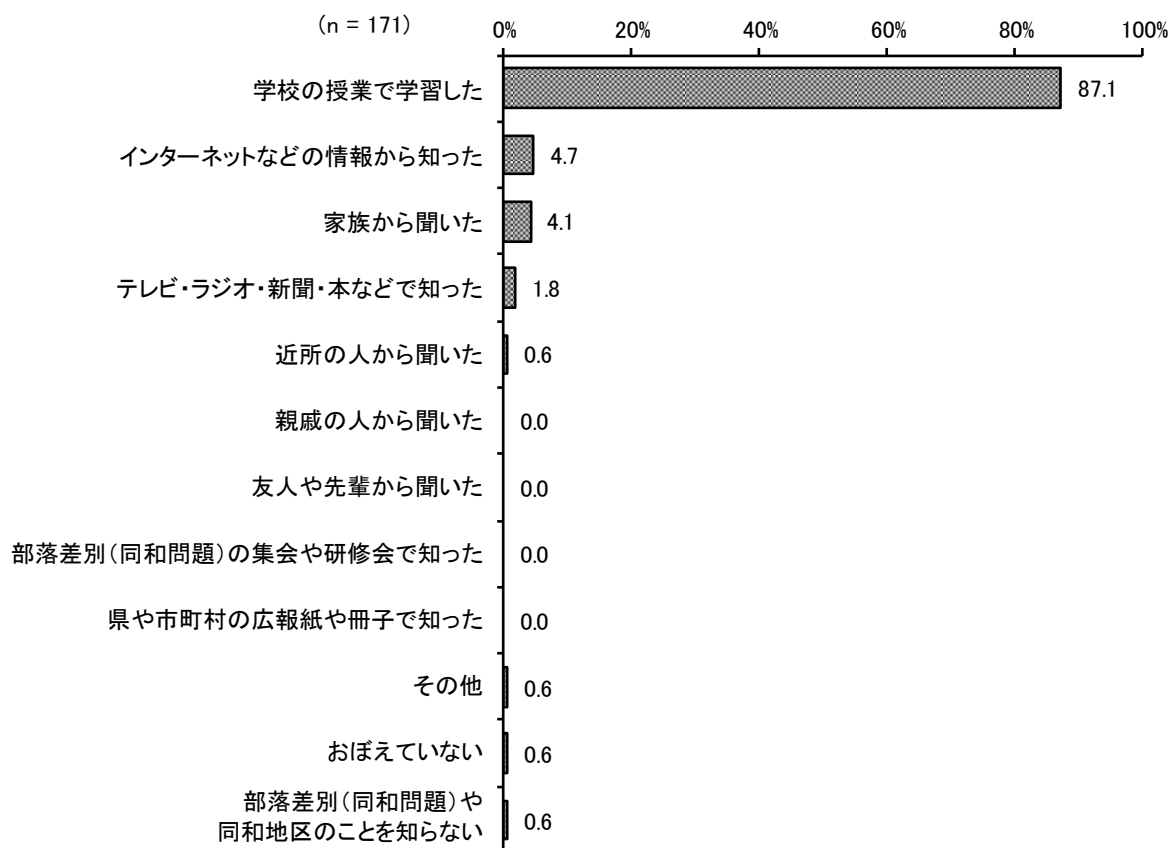
※：一般調査では、すべての方が回答の対象者となっています。

※1：一般調査のみの選択肢

問16 あなたが部落差別（同和問題）や同和地区について、はじめて知ったきっかけは何ですか。（1つだけ）
 ※問14で「知っている」と答えた方

【全体】

「学校の授業で学習した」が87.1%と最も高く、次いで「インターネットなどの情報から知った」が4.7%、「家族から聞いた」が4.1%となっています。



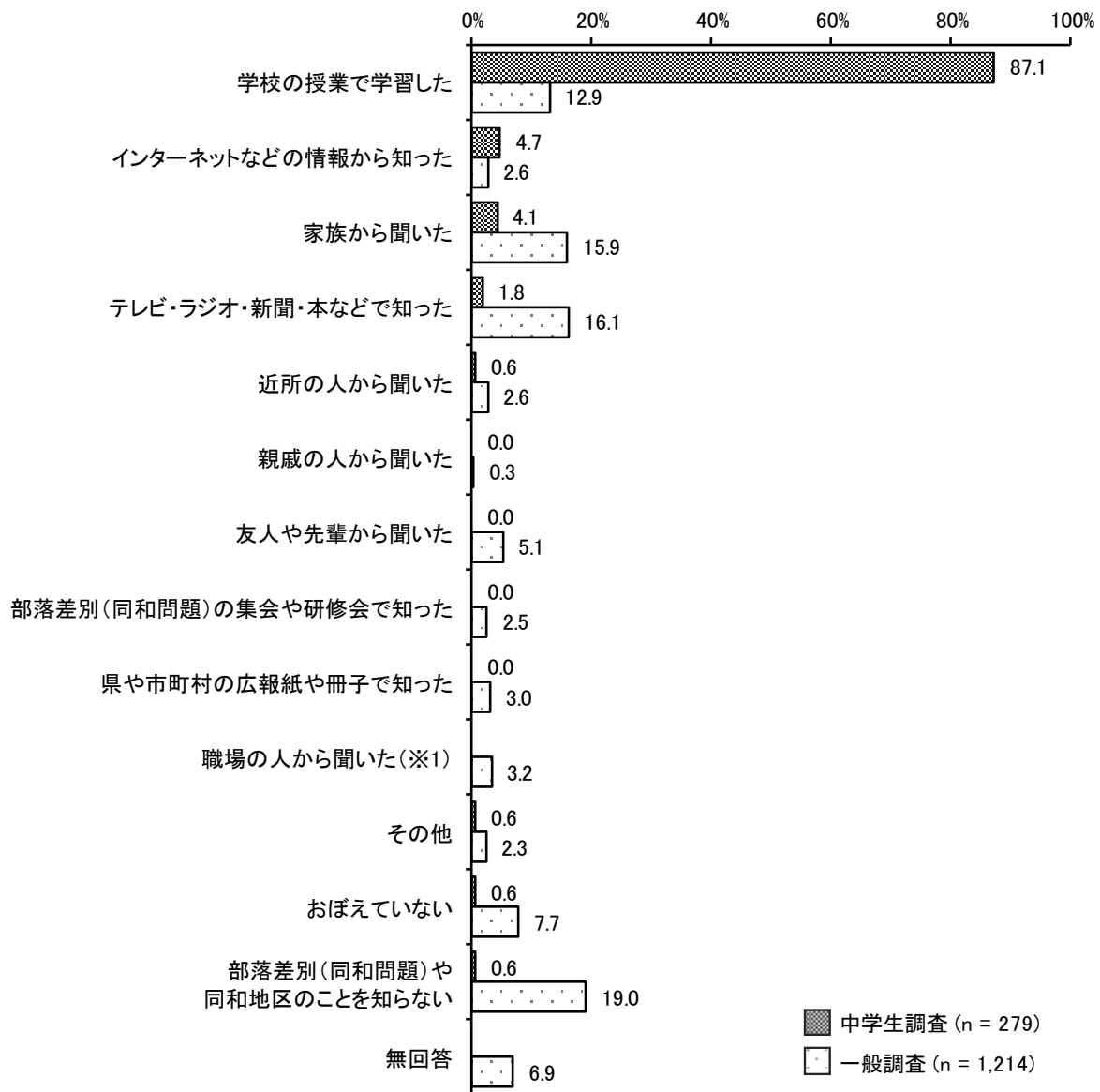
【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	学校の授業で学習した	インターネットなどの情報から知った	家族から聞いた	テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	近所の人から聞いた	親戚の人から聞いた	友人や先輩から聞いた	部落差別(同和問題)の集会や研修会で知った	県や市町村の広報紙や冊子で知った	その他	おぼえていない	部落差別(同和問題)や同和地区のことを知らない
男性	81	84.0	4.9	4.9	2.5	1.2	-	-	-	-	1.2	-	1.2
女性	82	91.5	2.4	3.7	1.2	-	-	-	-	-	-	1.2	-
その他	8	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、「学校の授業で学習した」は、中学生では87.1%と最も高くなっている一方、一般では12.9%となっています。



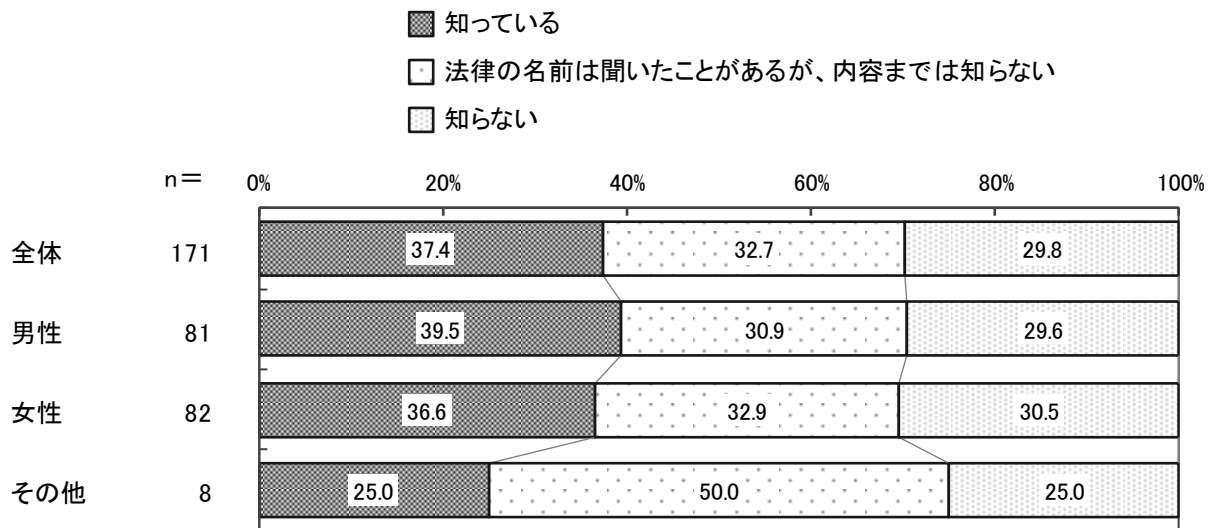
※：一般調査では、すべての方が回答の対象者となっています。

※1：一般調査のみの選択肢

問17 あなたは、「部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）」を知っていますか。（1つだけ）
 ※問14で「知っている」と答えた方

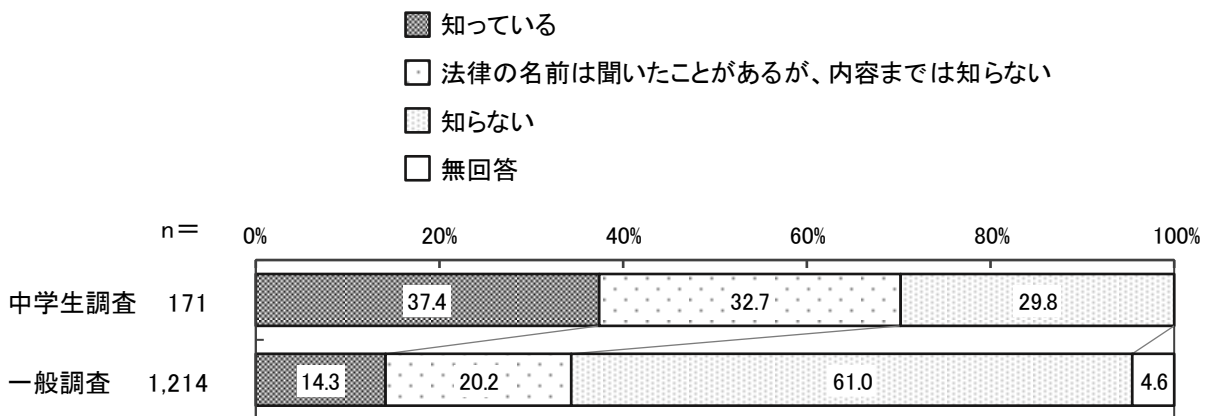
【全体/性別】

「知っている」が37.4%と最も高く、次いで「法律の名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」が32.7%、「知らない」が29.8%となっています。



【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、「知っている」は、中学生（37.4%）が一般（14.3%）より23.1ポイント高くなっています。



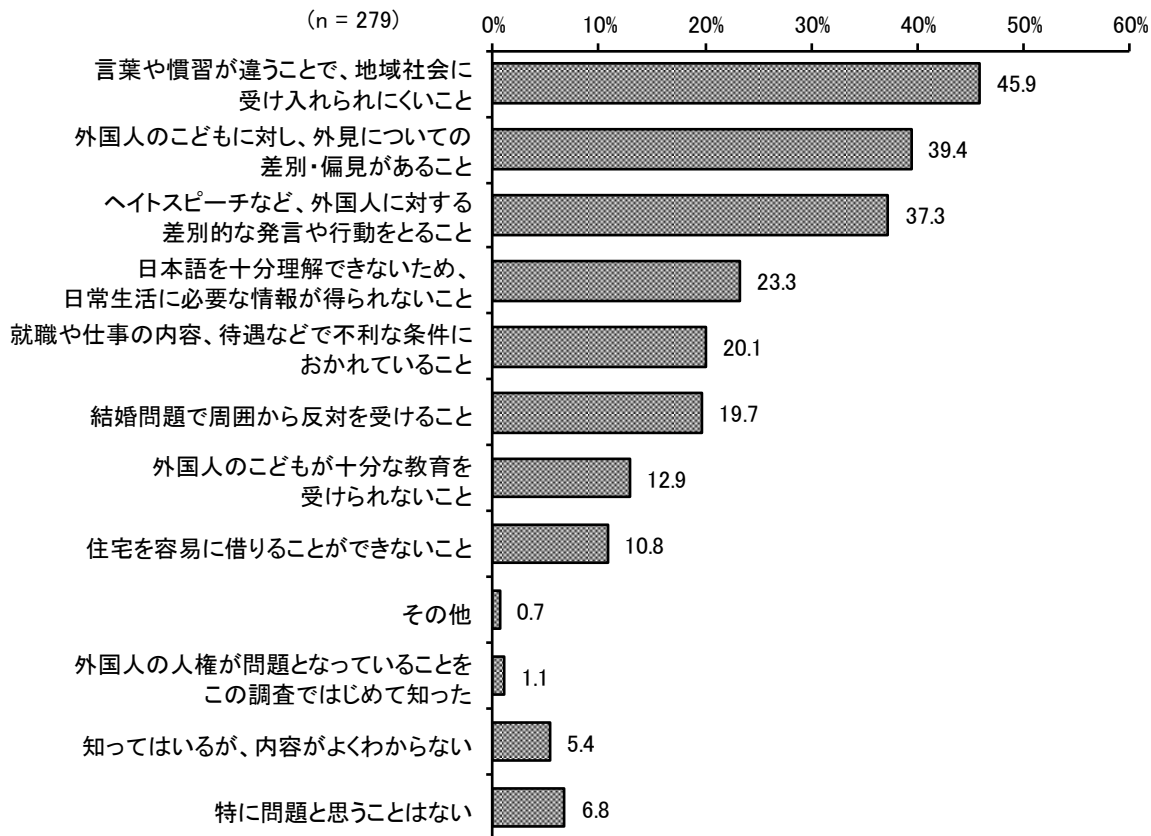
※：一般調査では、すべての方が回答の対象者となっています。

7 外国人の人権について

問18 次にあげるもののうち、外国人の人権問題について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

【全体】

「言葉や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと」が45.9%と最も高く、次いで「外国人の子どもに対し、外見についての差別・偏見があること」が39.4%、「ヘイトスピーチなど、外国人に対する差別的な発言や行動をとること」が37.3%となっています。



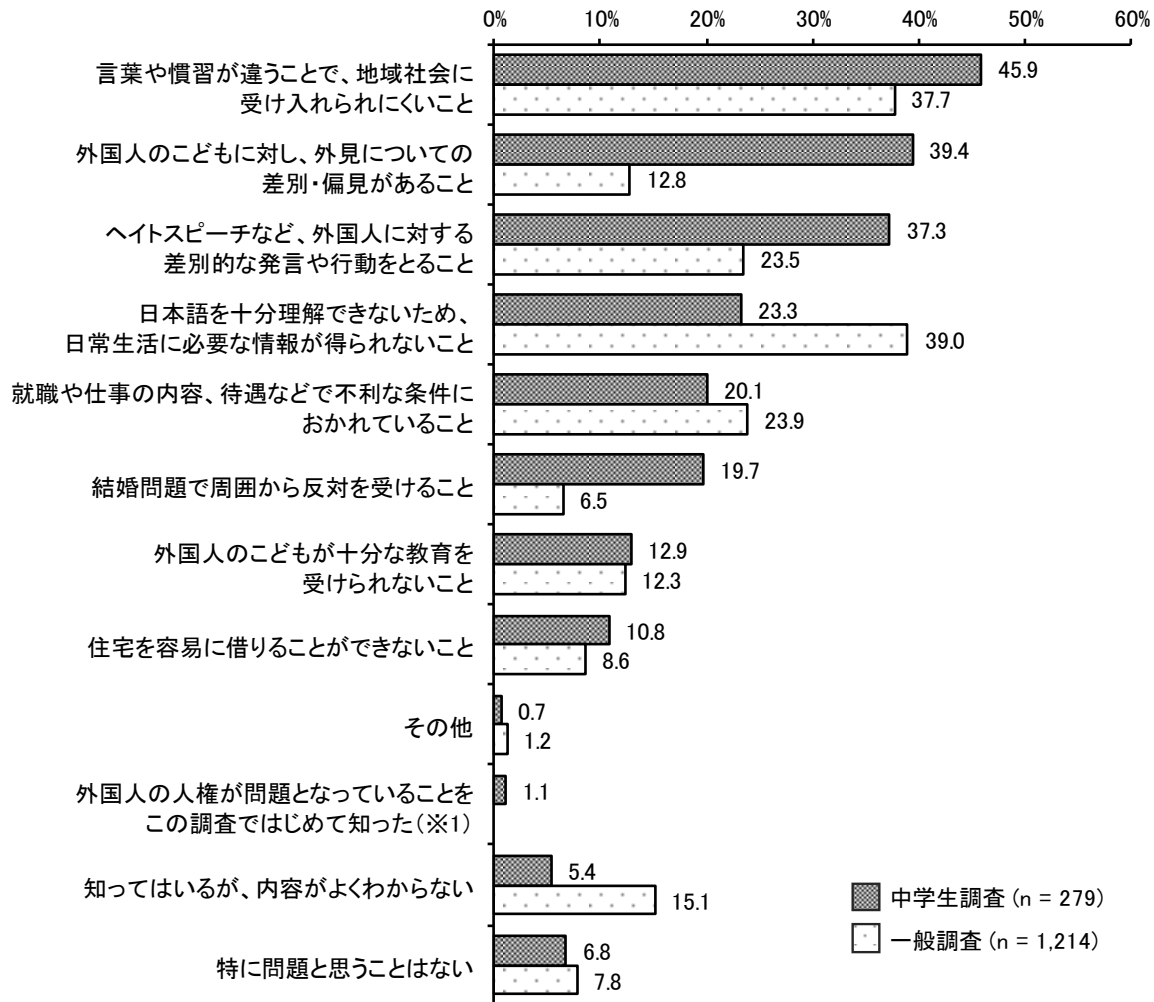
【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	言葉や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと	外国人の子どもに対し、外見についての差別・偏見があること	ヘイトスピーチなど、外国人に対する差別的な発言や行動をとること	日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報が得られないこと	就職や仕事の内容、待遇などで不利な条件におかれていること	結婚問題で周囲から反対を受けること	外国人の子どもが十分な教育を受けられないこと	住宅を容易に借りることができないこと	その他	外国人の人権が問題となっていることをこの調査ではじめて知った	知ってはいるが、内容がよくわからない	特に問題と思うことはない
男性	133	41.4	37.6	42.1	25.6	19.5	18.0	14.3	9.0	0.8	1.5	3.8	8.3
女性	137	48.2	40.9	34.3	21.2	20.4	20.4	11.7	12.4	0.7	0.7	7.3	5.1
その他	9	77.8	44.4	11.1	22.2	22.2	33.3	11.1	11.1	-	-	-	11.1

【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、「外国人の子どもに対し、外見についての差別・偏見があること」は、中学生（39.4%）が一般（12.8%）より26.6ポイント高くなっています。一方、「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報が得られないこと」は、中学生（23.3%）が一般（39.0%）より15.7ポイント低くなっています。



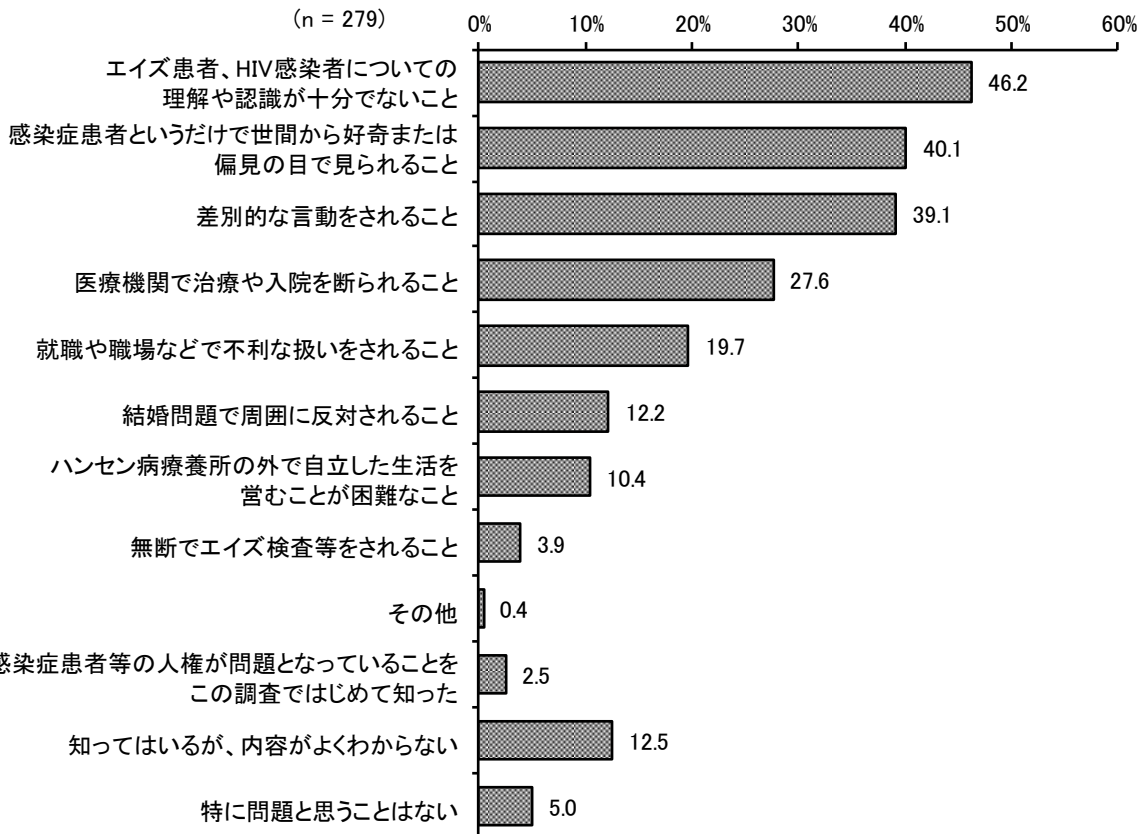
※1：中学生調査のみの選択肢

8 感染症患者等の人権について（HIV、ハンセン病等）

問19 次にあげるもののうち、感染症患者等の人権について特に問題があると思われることは何ですか。（3つまで）

【全体】

「エイズ患者、HIV感染者についての理解や認識が十分でないこと」が46.2%と最も高く、次いで「感染症患者というだけで世間から好奇または偏見の目で見られること」が40.1%、「差別的な言動をされること」が39.1%となっています。



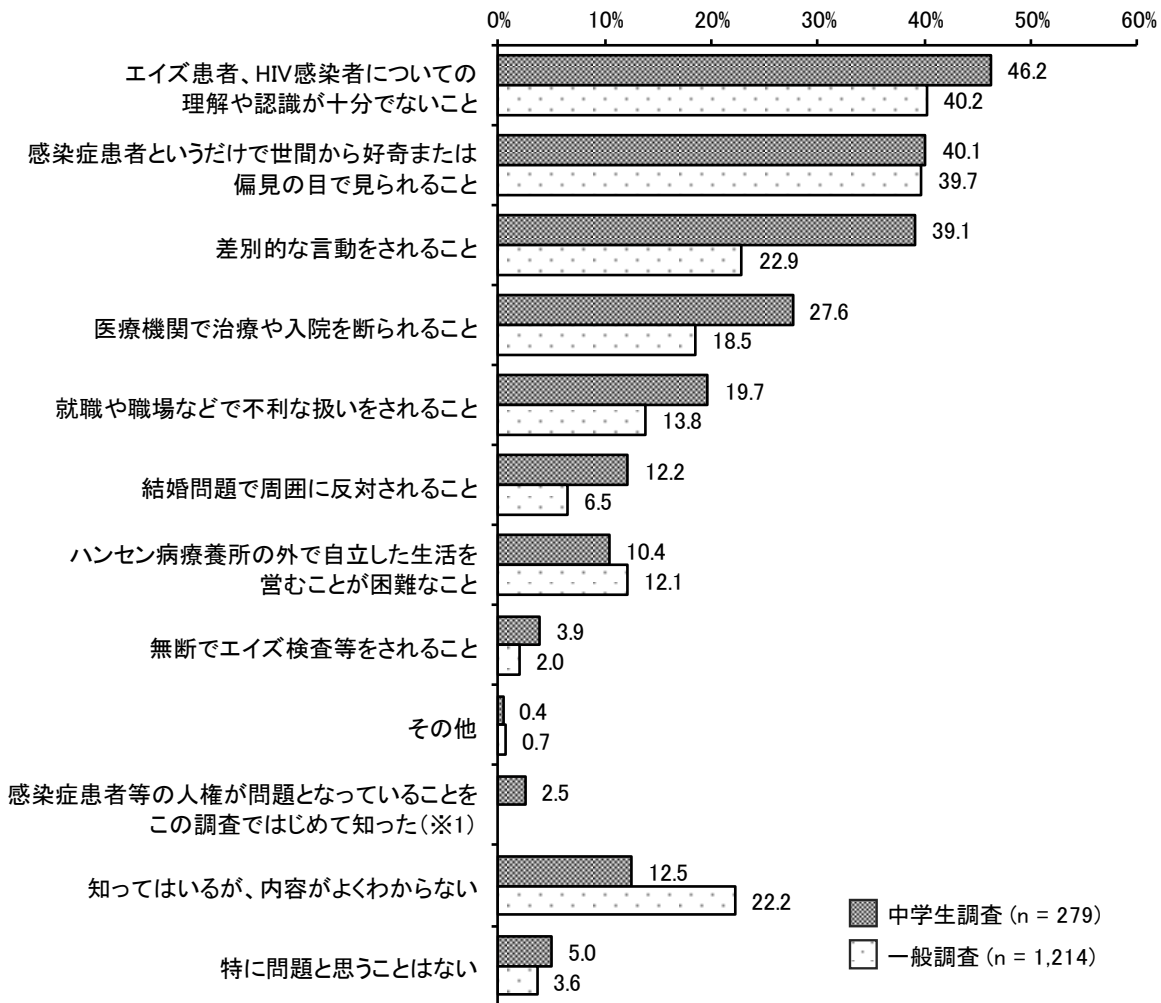
【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	エイズ患者、HIV感染者についての理解や認識が十分でないこと	感染症患者というだけで世間から好奇または偏見の目で見られること	差別的な言動をされること	医療機関で治療や入院を断られること	就職や職場などで不利な扱いをされること	結婚問題で周囲に反対されること	ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと	無断でエイズ検査等をされること	その他	知ってはいるが、内容がよくわからない	感染症患者等の人権が問題となっていることをこの調査ではじめて知った	特に問題と思うことはない
男性	133	45.9	37.6	42.9	33.1	18.8	13.5	12.8	4.5	0.8	3.0	7.5	5.3
女性	137	46.0	41.6	35.8	23.4	19.7	10.2	7.3	3.6	-	2.2	17.5	5.1
その他	9	55.6	55.6	33.3	11.1	33.3	22.2	22.2	-	-	-	11.1	-

【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、「差別的な言動をされること」は、中学生（39.1%）が一般（22.9%）より16.2ポイント高くなっています。



※1：中学生調査のみの選択肢

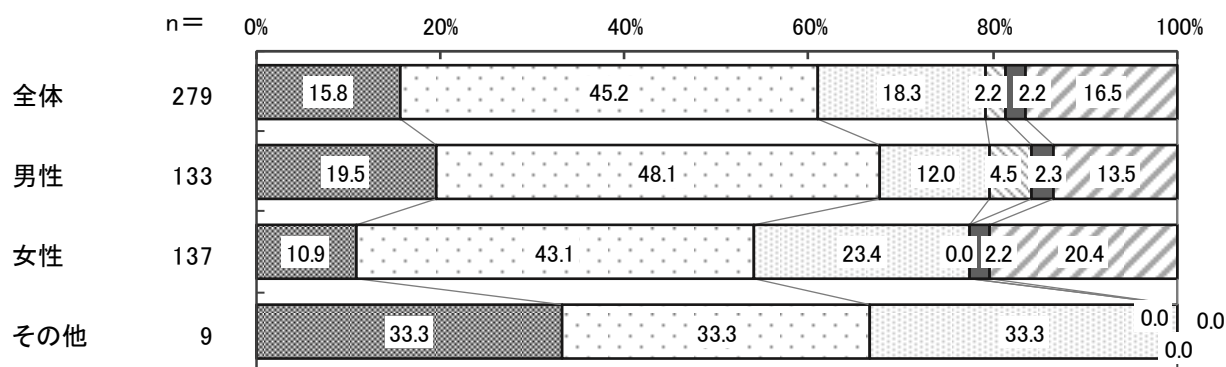
9 アイヌの人々の人権について

問20 「アイヌの人々の文化を保護し、人権を尊重する法律」について、あなたはどのように考えますか。(1つだけ)

【全体/性別】

「アイヌの人々の伝統や文化を大切に保存していく必要がある」が45.2%と最も高く、次いで「アイヌの人々と身近に接したことがなく、あまり考えたことがない」が18.3%、「知ってはいるが、内容がよくわからない」が16.5%となっています。

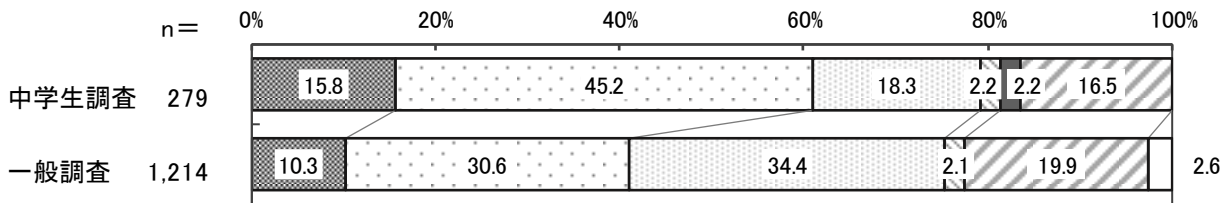
- 「日本は単一民族だ」という考えは、アイヌの人々の存在を無視した見方であり、アイヌの人々の人権を守ることが必要である
- アイヌの人々の伝統や文化を大切に保存していく必要がある
- アイヌの人々と身近に接したことがなく、あまり考えたことがない
- 法律まで定めてアイヌの人々を支援するのは、理解できない
- アイヌの人々の人権が問題となっていることをこの調査ではじめて知った
- 知ってはいるが、内容がよくわからない



【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、「アイヌの人々の伝統や文化を大切に保存していく必要がある」は、中学生（45.2%）が一般（30.6%）より14.6ポイント高くなっています。

- 「日本は単一民族だ」という考えは、アイヌの人々の存在を無視した見方であり、アイヌの人々の人権を守ることが必要である
- アイヌの人々の伝統や文化を大切に保存していく必要がある
- ▨ アイヌの人々と身近に接したことがなく、あまり考えたことがない
- ▩ 法律まで定めてアイヌの人々を支援するのは、理解できない
- アイヌの人々の人権が問題となっていることをこの調査ではじめて知った(※1)
- ▨ 知ってはいるが、内容がよくわからない
- 無回答



※1：中学生調査のみの選択肢

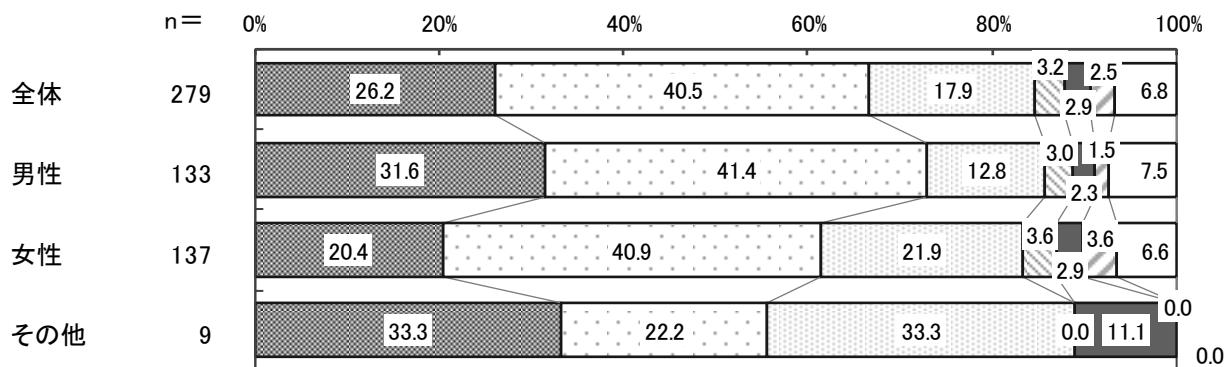
10 刑を終えて出所した人の人権について

問21 日頃から親しくつきあっていた地域の方が、刑を終えて出所した人であるとき、あなたはどうしますか。(1つだけ)

【全体/性別】

「つきあいは変わらないが、いろいろ気をつけてつきあう」が40.5%と最も高く、次いで「これまでと同じように、親しくつきあう」が26.2%、「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいを避けていく」が17.9%となっています。

- これまでと同じように、親しくつきあう
- つきあいは変わらないが、いろいろ気をつけてつきあう
- ▨ 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいを避けていく
- ▩ つきあいをやめてしまう
- その他
- ▨ 刑を終えて出所した人の人権が問題となっていることをこの調査ではじめて知った
- 知ってはいるが、内容がよくわからない

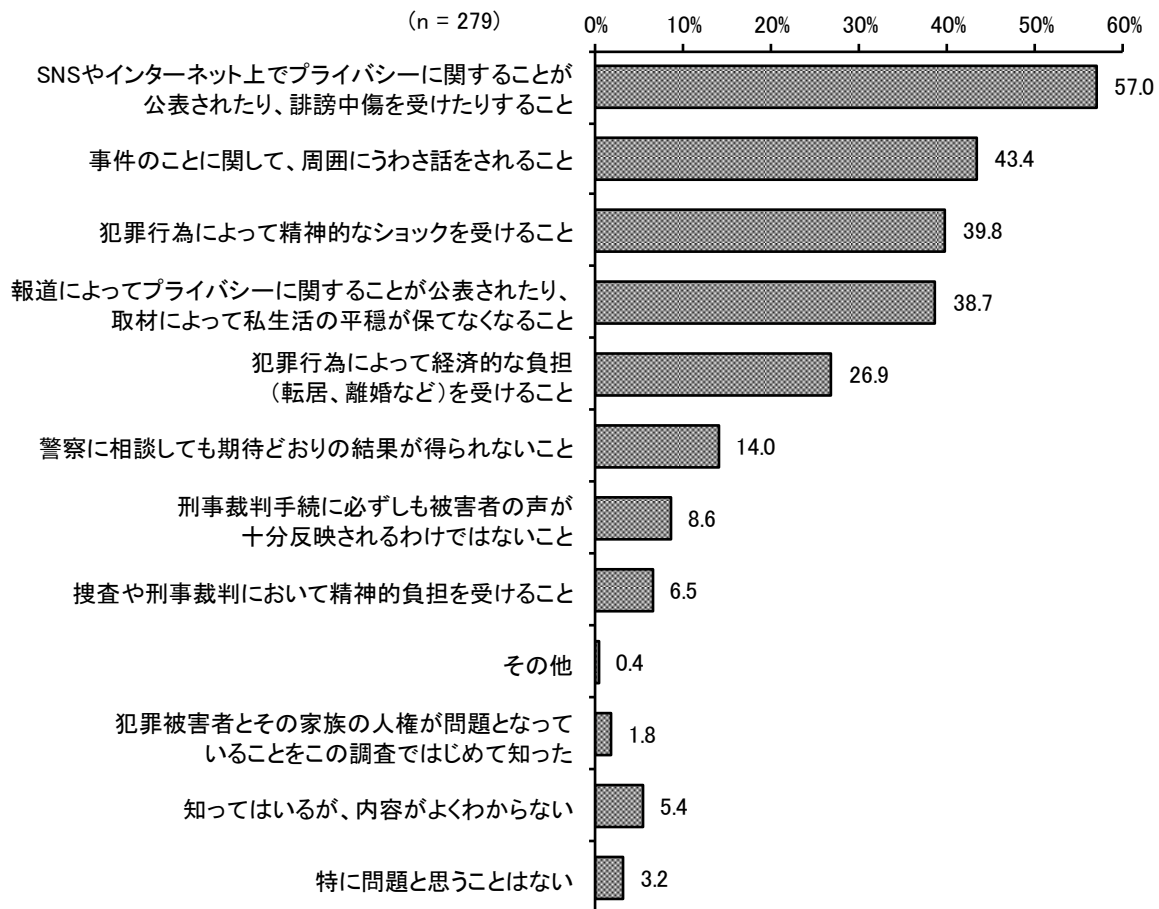


11 犯罪被害者とその家族の人権について

問22 次にあげるもののうち、犯罪被害者とその家族の人権問題について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

【全体】

「SNSやインターネット上でプライバシーに関することが公表されたり、誹謗中傷を受けたりすること」が57.0%と最も高く、次いで「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」が43.4%、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」が39.8%となっています。



【性別】

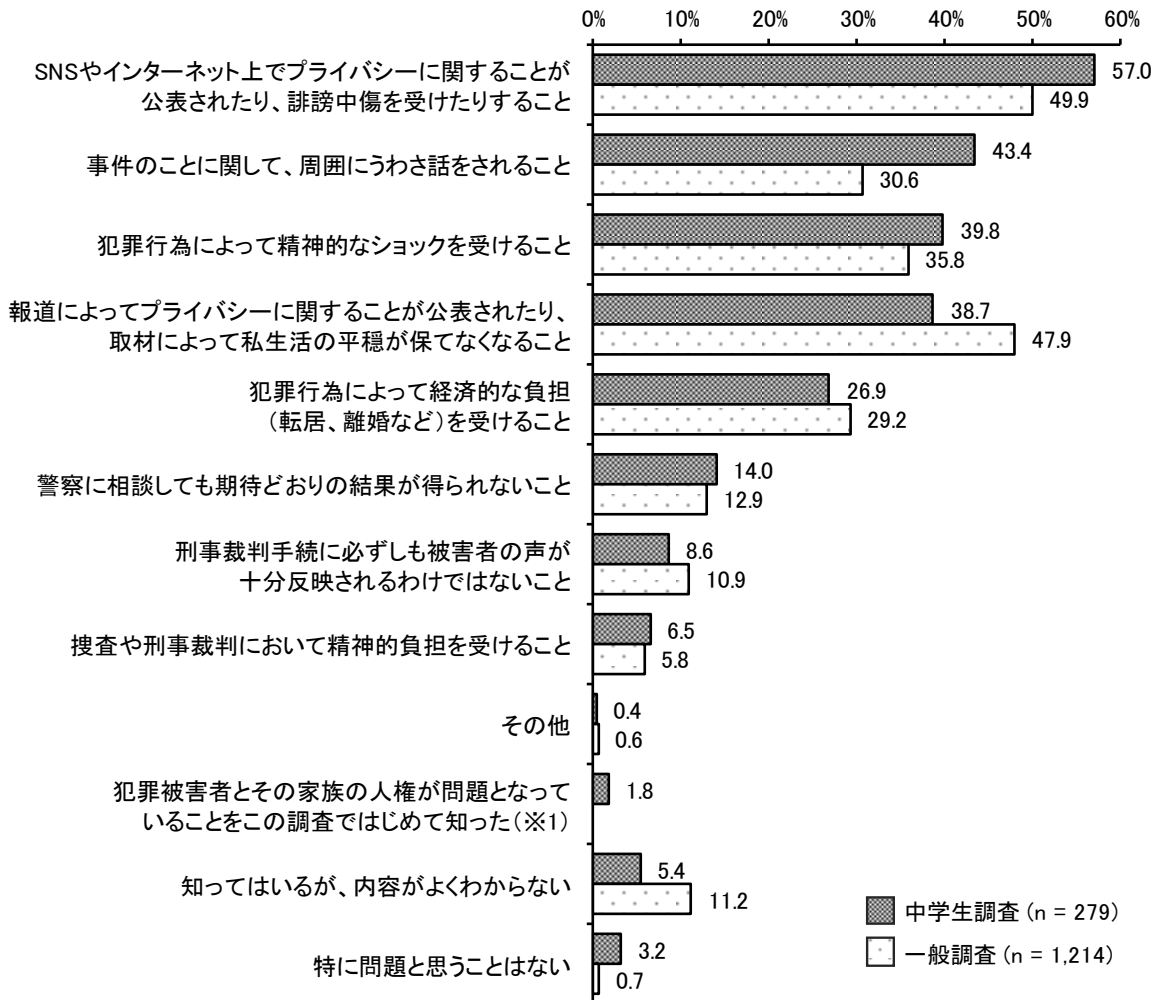
単位：％

区分	有効回答数(件)	SNSやインターネット上で、プライバシーに関することが公表されたり、誹謗中傷を受けたりすること	事件のことにに関して、周囲にうわさをされること	犯罪行為によって精神的なショックを受けること	報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなることに	犯罪行為によって経済的な負担(転居、離婚など)を受けること	警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと	刑事裁判手続に必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
男性	133	57.1	36.1	45.1	31.6	33.1	15.8	9.8	5.3
女性	137	57.7	50.4	35.8	45.3	21.9	12.4	6.6	5.1
その他	9	44.4	44.4	22.2	44.4	11.1	11.1	22.2	44.4

区分	有効回答数(件)	その他	犯罪被害者とその家族の権利が問題となっていることをこの調査ではじめて知った	知ってはいるが、内容がよくわからない	特に問題と思うことはない
男性	133	0.8	2.3	6.0	3.0
女性	137	-	1.5	5.1	3.6
その他	9	-	-	-	-

【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、「事件のことに、周囲にうわさ話をされること」は、中学生(43.4%)が一般(30.6%)より12.8ポイント高くなっています。一方、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」は、中学生(38.7%)が一般(47.9%)より9.2ポイント低くなっています。



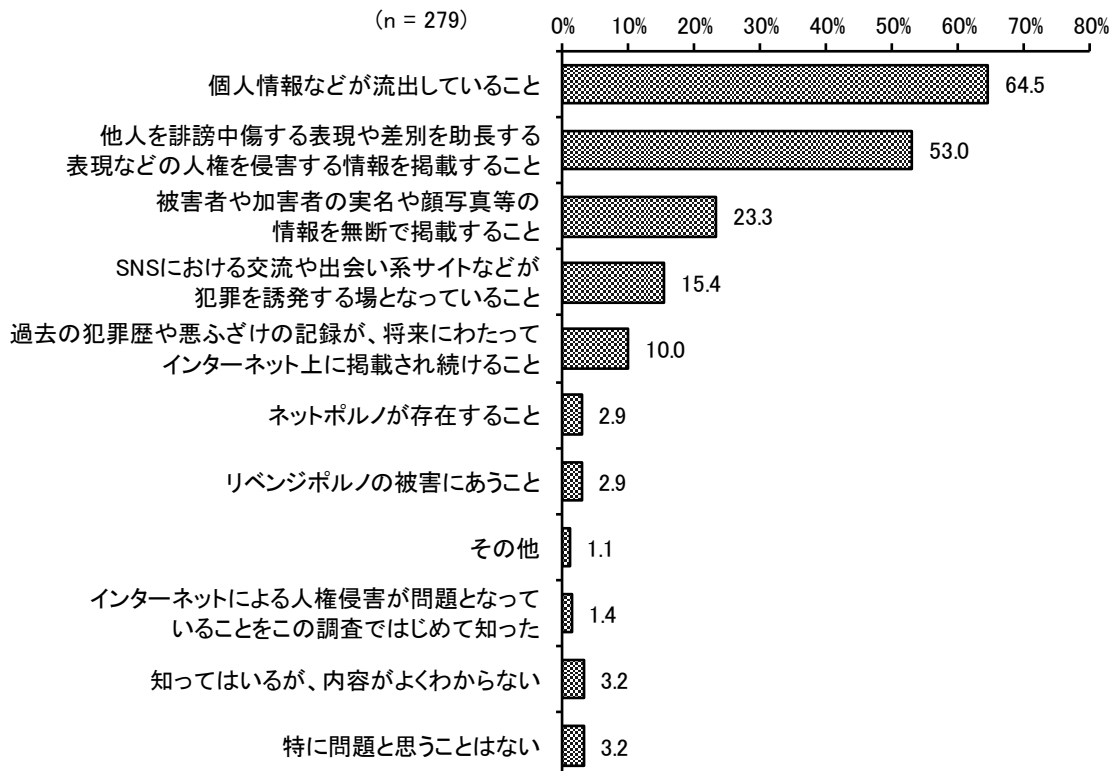
※1：中学生調査のみの選択肢

12 インターネット等による人権について

問23 次にあげるもののうち、インターネットによる人権侵害について特に問題があると思われることは何ですか。(2つまで)

【全体】

「個人情報などが流出していること」が64.5%と最も高く、次いで「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などの人権を侵害する情報を掲載すること」が53.0%、「被害者や加害者の実名や顔写真等の情報を無断で掲載すること」が23.3%となっています。



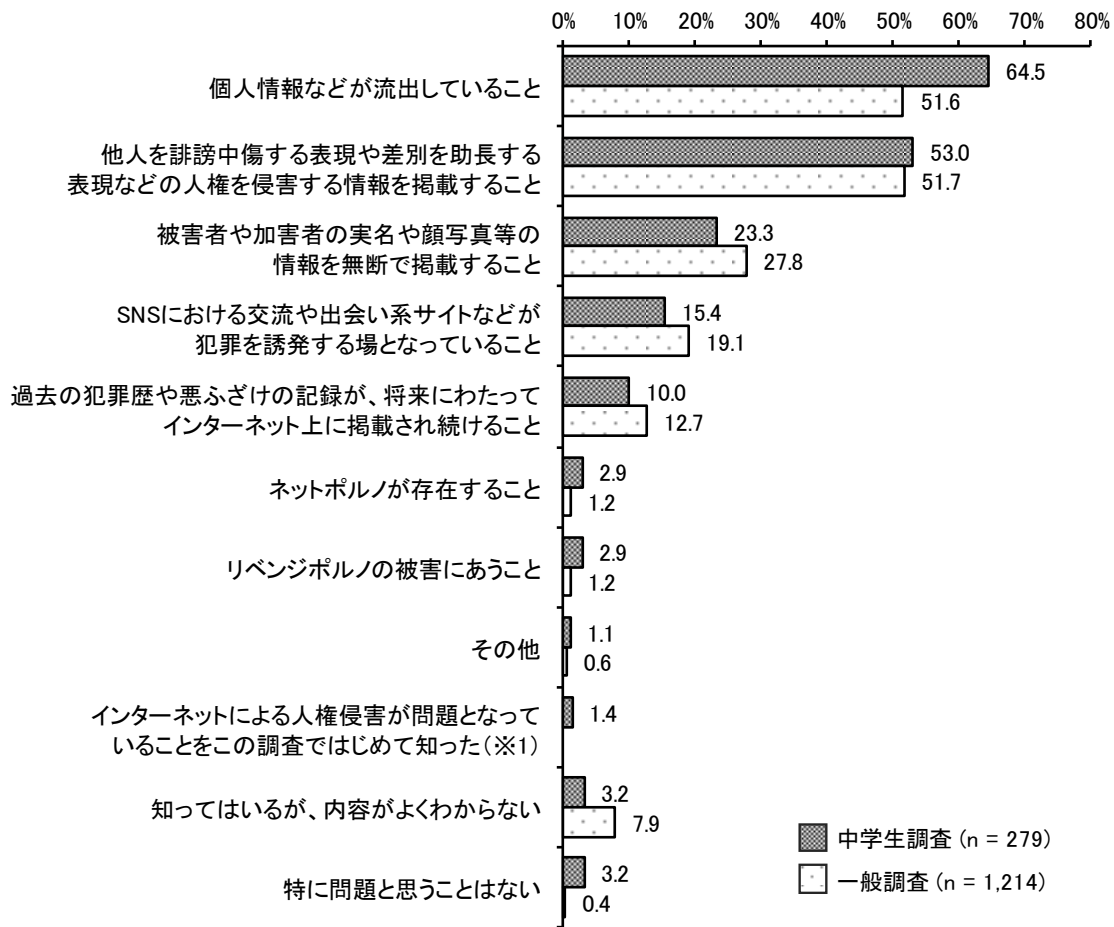
【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	個人情報などが流出していること	他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などの人権を侵害する情報を掲載すること	被害者や加害者の実名や顔写真等の情報を無断で掲載すること	SNSにおける交流や出会い系サイトなどが犯罪を誘発する場となっていること	過去の犯罪歴や悪ふざけの記録が将来にわたってインターネット上に掲載され続けること	ネットポルノが存在すること	リベンジポルノの被害にあうこと	その他	インターネットによる人権侵害が問題となっていることをこの調査ではじめて知った	知ってはいるが、内容がよくわからない	特に問題と思うことはない
男性	133	67.7	48.9	24.1	12.0	12.0	3.0	4.5	2.3	2.3	3.8	2.3
女性	137	62.0	56.9	21.9	19.7	8.0	2.2	0.7	-	0.7	2.9	4.4
その他	9	55.6	55.6	33.3	-	11.1	11.1	11.1	-	-	-	-

【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、「個人情報などが流出していること」は、中学生(64.5%)が一般(51.6%)より12.9ポイント高くなっています。

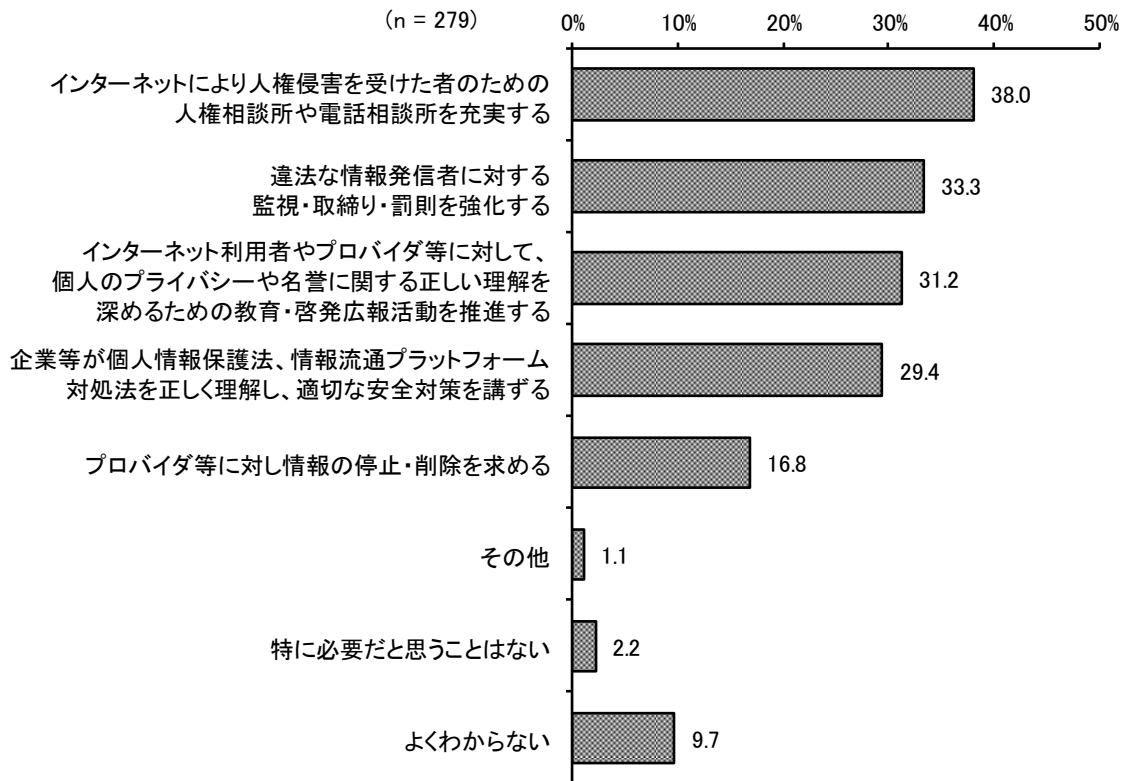


※1：中学生調査のみの選択肢

問24 インターネットによる人権侵害を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(2つまで)

【全体】

「インターネットにより人権侵害を受けた者のための人権相談所や電話相談所を充実する」が38.0%と最も高く、次いで「違法な情報発信者に対する監視・取締り・罰則を強化する」が33.3%、「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が31.2%となっています。



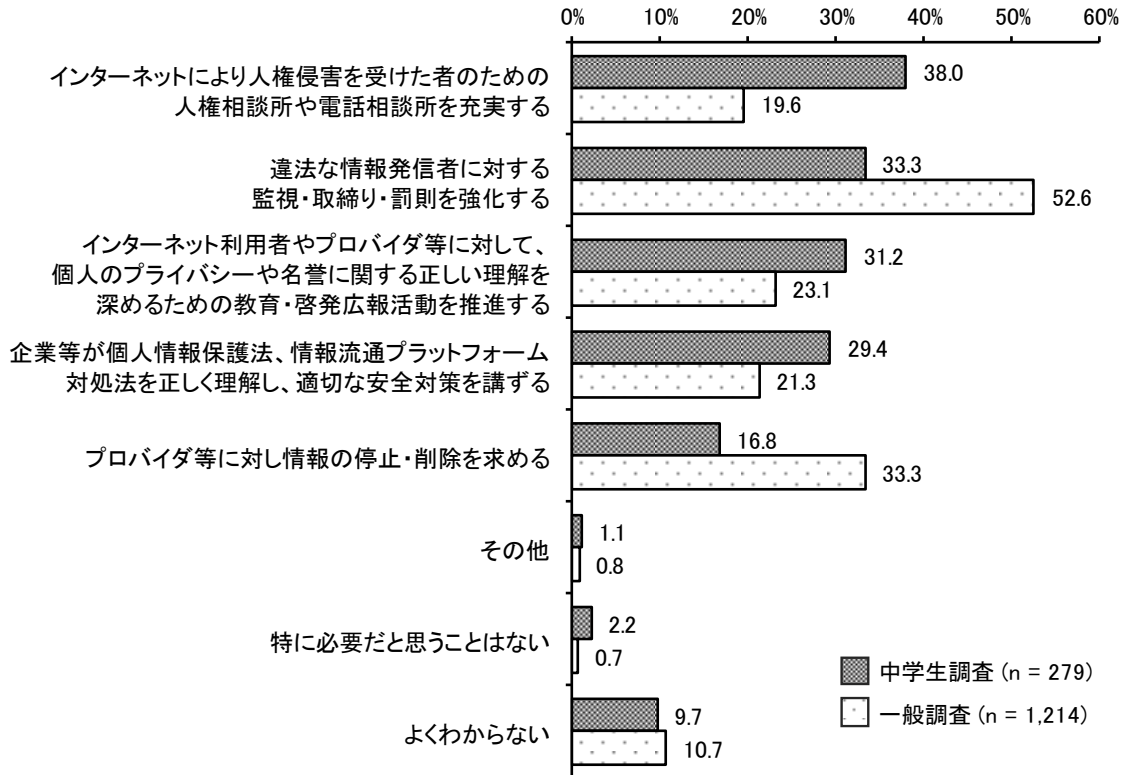
【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	インターネットにより人権侵害を受けた者のための人権相談所や電話相談所を充実する	違法な情報発信者に対する監視・取締り・罰則を強化する	インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する	企業等が個人情報保護法、情報流通プラットフォーム対処法を正しく理解し、適切な安全対策を講ずる	プロバイダ等に対し情報の停止・削除を求める	その他	特に必要だと思うことはない	よくわからない
男性	133	45.9	32.3	27.8	32.3	15.0	2.3	3.8	6.8
女性	137	31.4	36.5	33.6	26.3	16.1	-	-	13.1
その他	9	22.2	-	44.4	33.3	55.6	-	11.1	-

【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、「インターネットにより人権侵害を受けた者のための人権相談所や電話相談所を充実する」は、中学生（38.0%）が一般（19.6%）より18.4ポイント高くなっています。一方、「違法な情報発信者に対する監視・取締り・罰則を強化する」は、中学生（33.3%）が一般（52.6%）より19.3ポイント、「プロバイダ等に対し情報の停止・削除を求める」は、中学生（16.8%）が一般（33.3%）より16.5ポイント、それぞれ低くなっています。

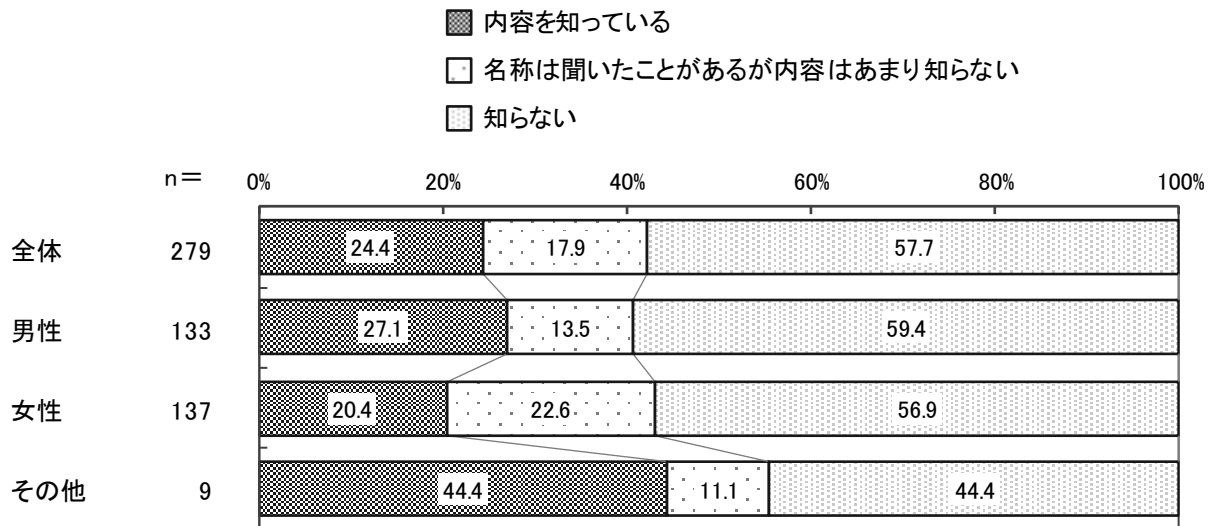


13 性的マイノリティの人権について

問25 あなたは、関市が「LGBTフレンドリー宣言」をしていることを知っていますか。
(1つだけ)

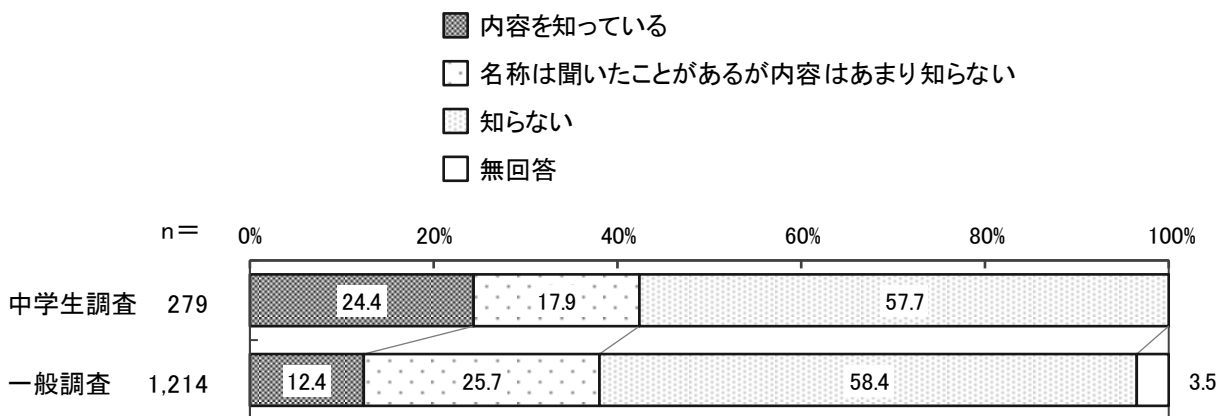
【全体/性別】

「知らない」が57.7%と最も高く、次いで「内容を知っている」が24.4%、「名称は聞いたことがあるが内容はあまり知らない」が17.9%となっています。



【一般調査との比較】

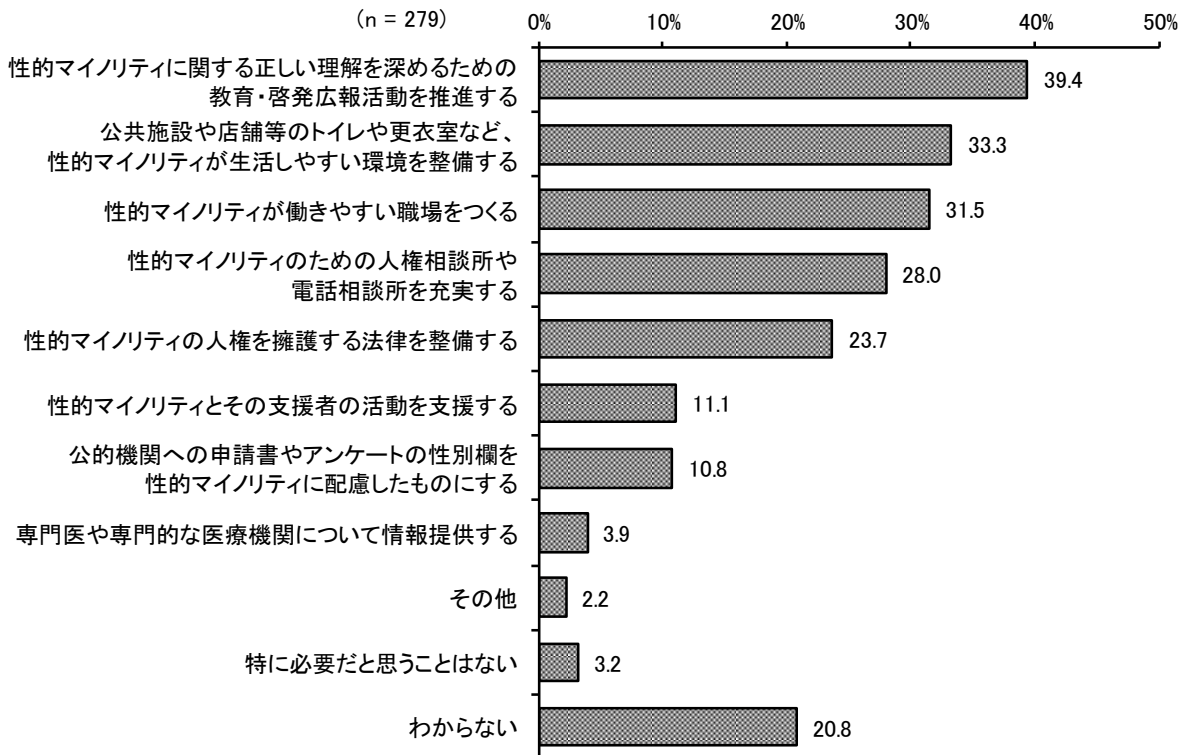
一般調査と比較すると、「内容を知っている」は、中学生(24.4%)が一般(12.4%)より12.0ポイント高くなっています。



問26 性的マイノリティへの人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(3つまで)

【全体】

「性的マイノリティに関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が39.4%と最も高く、次いで「公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、性的マイノリティが生活しやすい環境を整備する」が33.3%、「性的マイノリティが働きやすい職場をつくる」が31.5%となっています。



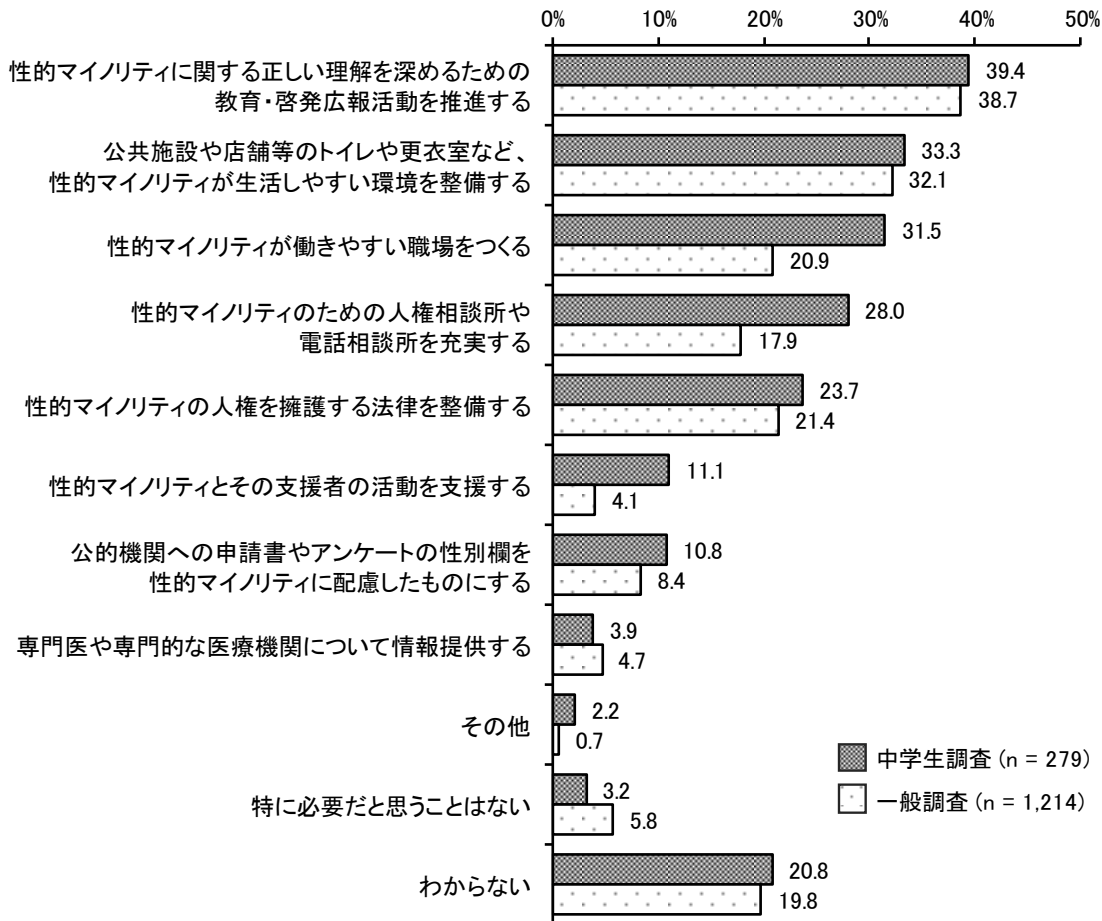
【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	性的マイノリティに関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する	公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、性的マイノリティが生活しやすい環境を整備する	性的マイノリティが働きやすい職場をつくる	性的マイノリティのための人権相談所や電話相談所を充実する	性的マイノリティの人権を擁護する法律を整備する	性的マイノリティとその支援者の活動を支援する	公的機関への申請書やアンケートの性別欄を性的マイノリティに配慮したものにする	専門医や専門的な医療機関について情報提供する	その他	特に必要だと思うことはない	わからない
男性	133	41.4	29.3	27.1	31.6	30.1	11.3	9.8	2.3	3.0	4.5	20.3
女性	137	37.2	35.0	35.8	26.3	17.5	10.2	10.9	5.1	1.5	2.2	21.9
その他	9	44.4	66.7	33.3	-	22.2	22.2	22.2	11.1	-	-	11.1

【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、「性的マイノリティが働きやすい職場をつくる」は、中学生（31.5%）が一般（20.9%）より 10.6 ポイント、「性的マイノリティのための人権相談所や電話相談所を充実する」は、中学生（28.0%）が一般（17.9%）より 10.1 ポイント、それぞれ高くなっています。

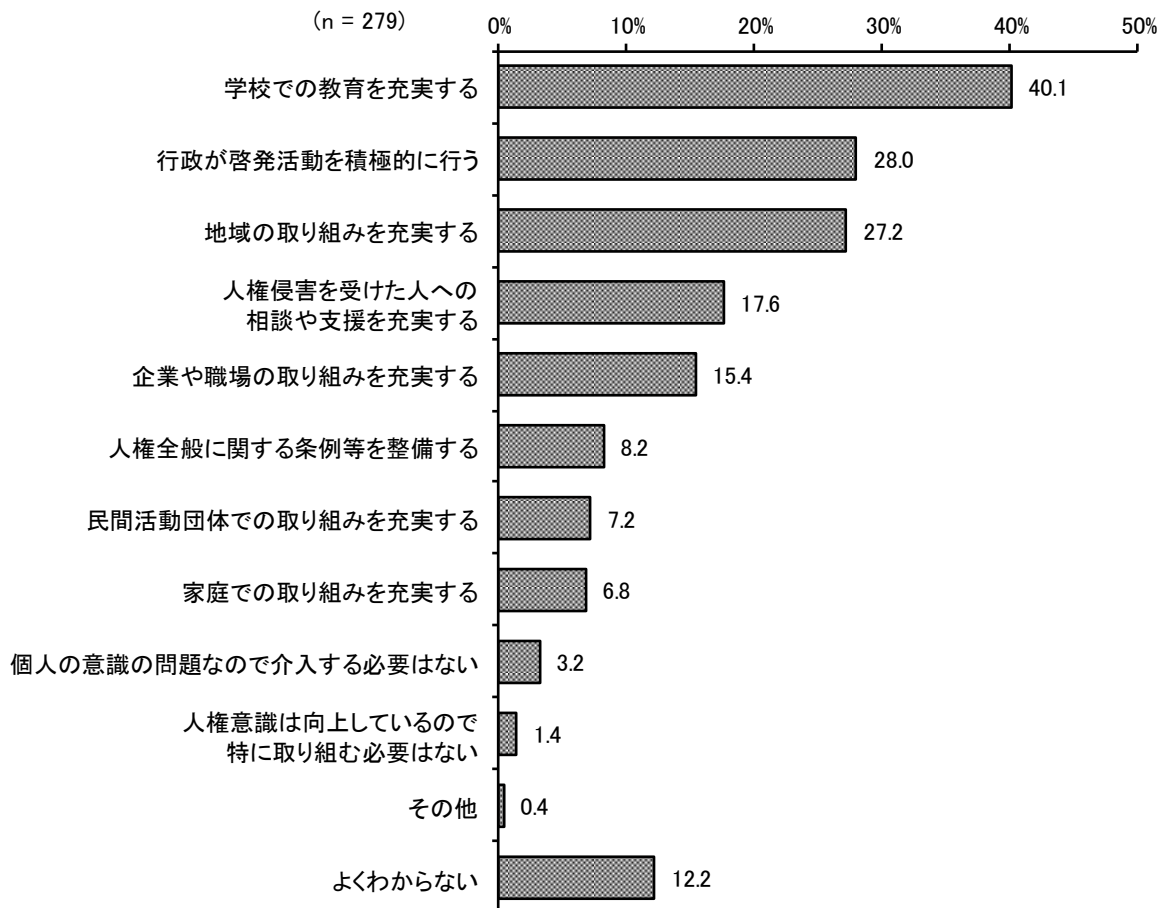


14 今後の人権教育啓発について

問27 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めるために、今後どのような取り組みを行えばよいと思いますか。(2つまで)

【全体】

「学校での教育を充実する」が40.1%と最も高く、次いで「行政が啓発活動を積極的に行う」が28.0%、「地域の取り組みを充実する」が27.2%となっています。



【性別】

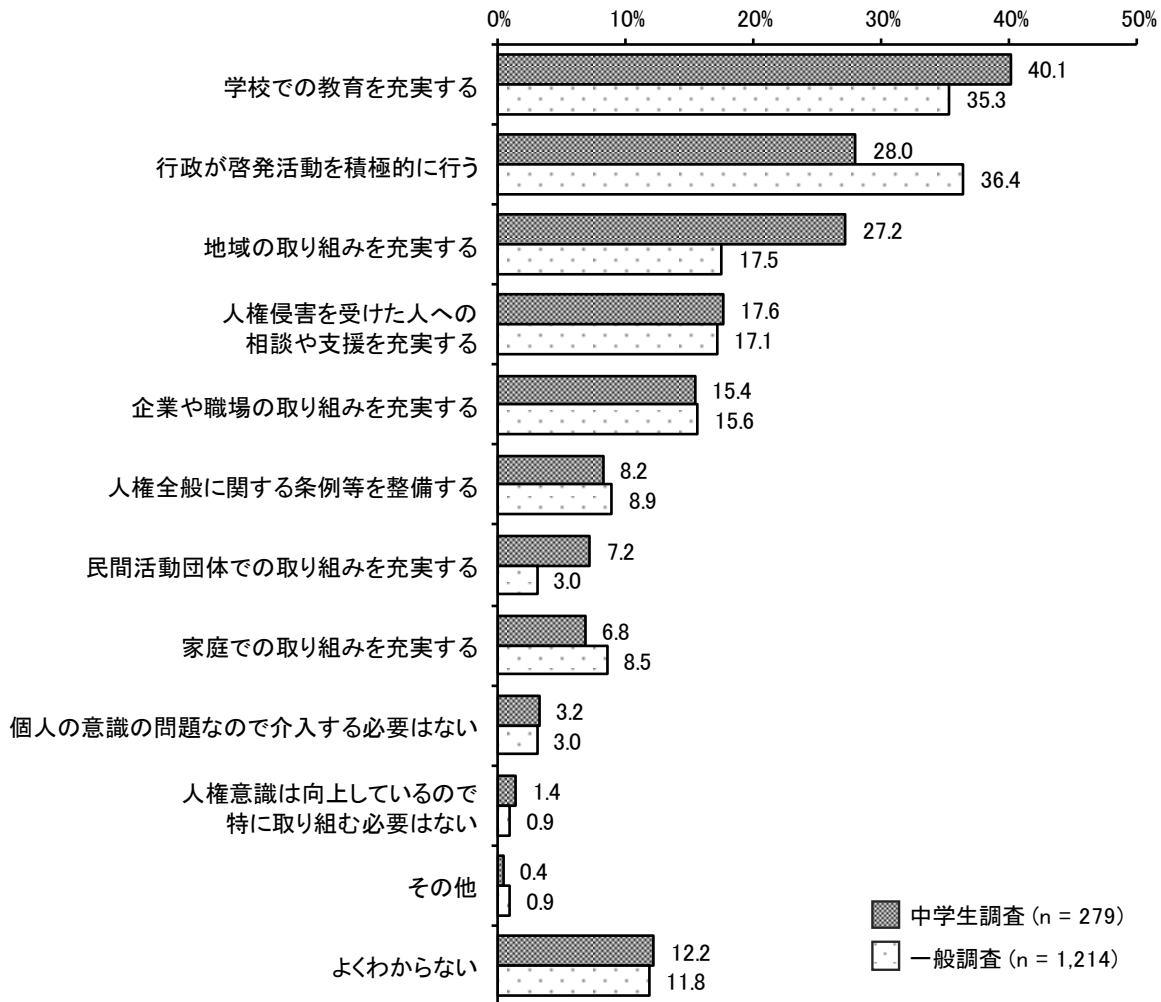
単位：%

区分	有効回答数(件)	学校での教育を充実する	行政が啓発活動を積極的に行う	地域の取り組みを充実する	人権侵害を受けた人への相談や支援を充実する	企業や職場の取り組みを充実する	人権全般に関する条例等を整備する	民間活動団体での取り組みを充実する	家庭での取り組みを充実する
男性	133	35.3	33.1	30.1	14.3	16.5	7.5	7.5	5.3
女性	137	42.3	23.4	26.3	19.7	12.4	8.8	6.6	8.8
その他	9	77.8	22.2	-	33.3	44.4	11.1	11.1	-

区分	有効回答数(件)	個人の意識の問題なので介入する必要はない	人権意識は向上しているので特に取り組む必要はない	その他	よくわからない
男性	133	6.0	2.3	0.8	11.3
女性	137	0.7	0.7	-	13.9
その他	9	-	-	-	-

【一般調査との比較】

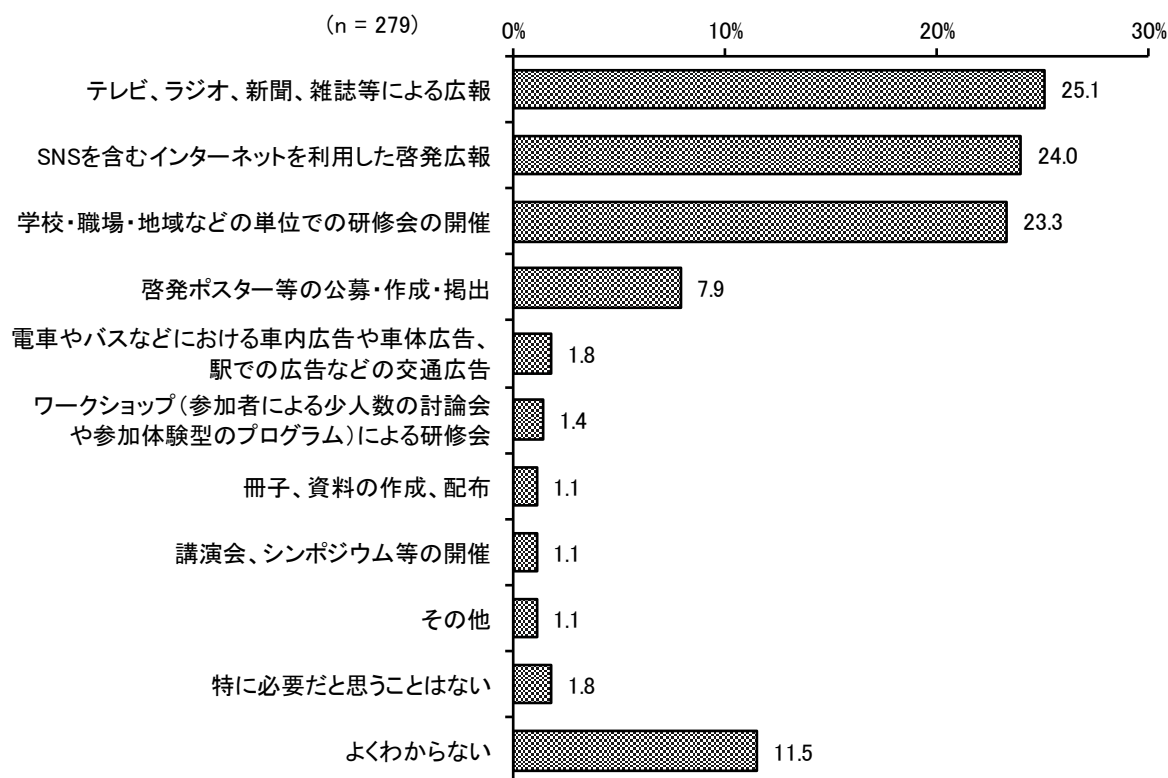
一般調査と比較すると、中学生では「学校での教育を充実する」が最も高く、一般では「行政が啓発活動を積極的に行う」が最も高くなっています。また、「地域の取り組みを充実する」は、中学生（27.2%）が一般（17.5%）より9.7ポイント高くなっています。



問28 人権問題についての理解を深めるための人権教育・人権啓発方法について、特にどのような啓発・広報活動が効果的だと思いますか。(1つだけ)

【全体】

「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」が25.1%と最も高く、次いで「SNSを含むインターネットを利用した啓発広報」が24.0%、「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」が23.3%となっています。



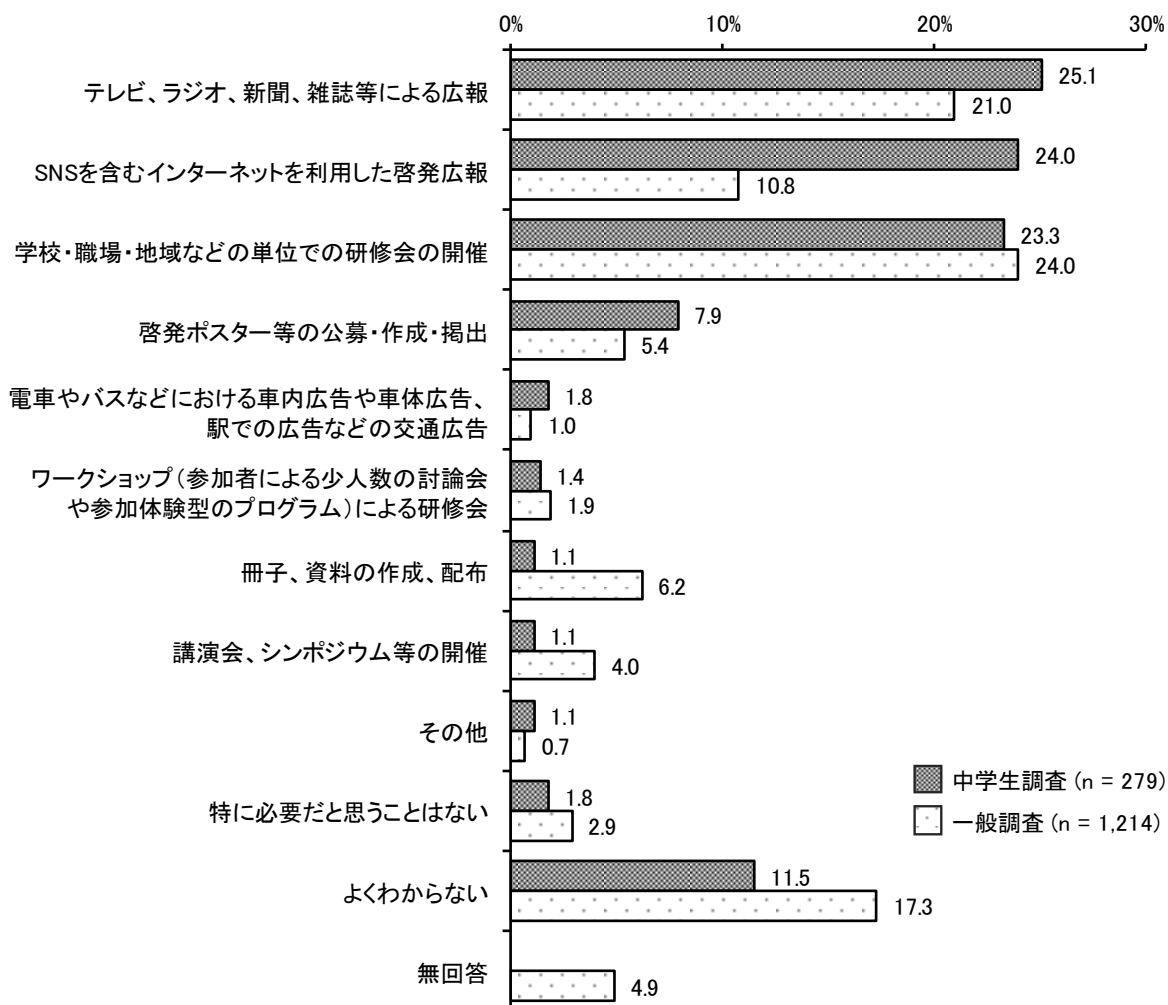
【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報	SNSを含むインターネットを利用した啓発広報	学校・職場・地域などの単位での研修会の開催	啓発ポスター等の公募・作成・掲出	電車やバスなどにおける車内広告や車体広告、駅での広告などの交通広告	ワークショップによる研修会	冊子、資料の作成、配布	講演会、シンポジウム等の開催	その他	特に必要だと思わない	よくわからない
男性	133	27.1	18.8	23.3	10.5	1.5	0.8	0.8	1.5	1.5	2.3	12.0
女性	137	22.6	27.7	23.4	5.8	2.2	2.2	1.5	0.7	0.7	1.5	11.7
その他	9	33.3	44.4	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-

【一般調査との比較】

一般調査と比較すると、中学生では「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」が最も高く、一般では「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」が最も高くなっています。また、「SNSを含むインターネットを利用した啓発広報」は、中学生（24.0%）が一般（10.8%）より13.2ポイント高くなっています。



問2 日本の社会にはいろいろな人権問題がありますが、次のうち、あなたが関心を持っている問題は何ですか。

女性の人権問題は大きく取り扱われる一方、男性の人権問題に関する社会の関心が薄いこと。

問4 問3で「ある」と回答された方にお聞きします。それはどのような人権侵害ですか。

外国人差別

問5 もしも人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか。

気にしない

インターネットで調べたり相談する

問7 次にあげるもののうち、女性の人権について特に問題があると思われることは何ですか。

1～10の全て

問8 あなたは、女性の人権を尊重するために必要なことは、どのようなことだと思いますか。

育児のしやすい環境を整え、育休を取りやすいなど、育児に対し一人ひとりの理解ある社会であることが大切だと思います。

女性には人権などいない

1～10の全て

性的接触の拒否権

問9 次にあげるもののうち、子どもの人権について特に問題があると思われることは何ですか。

教師が生徒によって態度を変えている

1～10の全て

問10 子どもの人権を尊重するために必要なことは、どのようなことだと思いますか。

守りすぎることで生まれる世間知らずな子どもを増やさないこと（守りすぎないこと）。

子どもにたくましく生きるための生きる力やいじめをなくすための運動とか、いじめは平安時代の部落や仕事の差別やずっと前から続いていることで、それが今になっていじめをなくす！いじめをなくす！みたいなこと言ってるけれど、実際に何を行うのかそれを行うことでいじめを受けられている方も悪いという意味のわからない定義もなくなるのでしょうか。いじめを受けている側の一部の生徒や受けていない生徒は先生たちの裏とか絶対あると考えてしまいます。だから相談が軽々と言えない人がいると思います。よって子どもの人権を守るためにはっきりとした規定が必要だと私は考えます。

子どもの意見を尊重する。

みんながみんなに優しく接してあげること。
1～10の全て
問11 次にあげるもののうち、高齢者の人権について特に問題があると思われることは何ですか。
尊重できないような態度、言動をしている人が多すぎる。
1～8の全て
問12 高齢者の人権を尊重するために必要なことは、どのようなことだと思えますか。
もうすでに守られすぎてると思う。
高齢者の意見を聞いて、尊重できる仕組み。
「〇〇した高齢者を□□のような処分をする」のような規則を作る。
現代の知識、常識のアップデート、高齢者だからこそできる仕事、高齢者の自立。
1～7の全て
高齢者の健康維持、促進のためのサービスを充実させ、健康寿命を延ばすこと。
問13 次にあげるもののうち、障がいのある人の人権について特に問題があると思われることは何ですか。
保護しなければいけないという考え方こそが差別の一環だと思う。
1～9の全て
問16 あなたが部落差別（同和問題）や同和地区について、はじめて知ったきっかけは何ですか。
勉強
問18 次にあげるもののうち、外国人の人権問題について特に問題があると思われることは何ですか。
給料が少ない、寮などが整ってない
1～8の全て
問19 次にあげるもののうち、感染症患者等の人権について特に問題があると思われることは何ですか。
1～8の全て
問21 日頃から親しくつきあっていた地域の人が、刑を終えて出所した人であるとわかったとき、あなたはどうしますか。
内容による

両親などにあまり関わらないでと言われるような気がする。
親しくつきあっていた人の態度によって変わる。
今はわからない。もう少し社会の仕組みを理解してから決める。
犯罪の重さによるが、なぜ犯罪をしたのか事情を聞く。
これまで以上に深く関わる。
刑の内容や動機によって関わるか決める。
問22 次にあげるもののうち、犯罪被害者とその家族の人権問題について特に問題があると思われることは何ですか。
1～8の全て
問23 次にあげるもののうち、インターネットによる人権侵害について特に問題があると思われることは何ですか。
他人が作成した著作物を無断で使用する事。
バイトテロや私人逮捕のような迷惑行為の増加、偏見の増加、闇バイトの増加。
1～7の全て
問24 インターネットによる人権侵害を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。
無理だと思う。
インターネットの利用制限、義務教育で十分なネットリテラシーをつけさせる、インターネットを許可制にする。
1～5の全て
問26 性的マイノリティへの人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。
LGBTという名前をつけて呼ぶことが差別の一環だと思う。
相手に押し付けずに、まずは知ることが大切だと思うので、性的マイノリティについて知る機会を作る。
私たちが気をつかうことは当たり前だけど、性的マイノリティの人も普通に人に対して気をつかうことが大事だと思う。苦勞して生きてきたりした分理解してほしいのはわかるけど、自分が理解してもらうために自分の意思を主張しすぎることによってこちら側も困るから、お互い様だということを認識するのがいいと思う。あくまで私は私、あなたはあなただから、他人のことに口出ししないことが大事だと思う。
そもそもLGBTという言葉自体を広めない。知らなければわざわざ差別しようだなんて考えない。
この質問のように性的マイノリティを区別しない社会づくり。
1～8の全て

問27 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めるために、今後どのような取組みを行えばよいと思いますか。

1～8の全て

問28 人権問題についての理解を深めるための人権教育・人権啓発方法について、特にどのような啓発・広報活動が効果的であると思いますか。

1～8の全て

皆の根本的な考えを変えるべき。

人権問題に理解がない人は啓発活動に興味ないと思うから。

問29 これまでの設問に関することも含めて、人権問題に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

常に女性やLGBTQ+、外国人側の視点しか書かないが、女性側がDVを行ったり、自らの都合のいいように「多様性」という言葉を使ったり、日本で奨学金をもらってタダで学校に行っているくせにヨーロッパ側に「日本人は黒人を人だと思っていない」「黒人差別は日本から始まった」等と吹聴する外国人など、全体として人権侵害をされることが多いという立場を利用している人たちに制裁を与えてください。

小学校や中学校などの子どもだけでなく大人の方にも今の人権のことなどもっと知ってもらえるといい。

今までいろんな人権問題があったけど、介入するのが遅いのと関心を持っている人興味を持っている人が少ないことに対して適当な答えをアンケートしても意味がないと思う。

男女問題などがあることをより広め、多くの人に理解されるようにすることが重要だと思う。

この答えが取り入れられるようにしてほしい。行政は聞くだけであまり対策してくれない。

人に対して偏見をすることはいけないと感じた。

高齢者が、若い女性、男性に立場を利用して、凶々しい態度、言動をしている報道をよく聞く。このような人は法律、規則委を作り一時的に支援などを行わないなどの政策を取るべきだと思う。高齢者より、未来ある若者の人権や、待遇を支援すべき。

人権について考える中で、悪ふざけでいじめをする人や「あいつが嫌いだから」という理由でいじめをする人が増えてきたと思う。その中でも盗撮されたのにも関わらず先生に相談しても謝りの言葉などがなく、学校でもそんなことがあっていいのかと思ってしまう。多くの人々が傷ついているのに対してもっと無くそうという実習や実際に起こってしまった事故などの説明などを年に一度程度にしてなるべくいじめが減らせるようにすること。

人権を保障することも大切であるが、どれも十分な知識を持たせたり、環境を整備したら良くなりそうである。人権問題をアニメや漫画にリンクさせないでほしい。ここじゃないかもだが下手に提示しすぎたり、批判すると逆効果をもたらす可能性がある。

外国人が日本の神社に落書きなど文化を破壊したり、日本の海に侵入したり、サッカーでは日本の国家斉唱の時にブーイングしたりしているのに、そういうのを助ける動きするのは理解できないし、それに、甘い対処をしている政治家にも理解できません。日本や日本国民を大切にしてほしいです。

関市人権市民意識調査（中学生）

調査結果報告書（自由記述欄）

令和7年3月

①女性の人権について、職場などの参画を完全に平等にすることに関して、実際男女では生物学的な差があるためそのことも配慮すべきだと思う。また、女性の人権問題が重視されるあげく男性の人権が軽視されているように感じる。男性に対する差別も少なからずあるから、そちらに対する理解を深めるための活動もすべきだと思う。②外国人について、民族意識というものはどうしても消えない。なのに外国人に対して何も思っていない、同じ民族のように接しようと言うのは無理がある。この国は日本だから、日本に来た外国人は日本の文化や風習に合わせるなど日本に対してある程度の配慮をするべきだと思う。③刑を終えた人、性的マイノリティの人に関して、過去に罪を犯した人と距離を取りたい、性的マイノリティの人に抵抗があると思うことは自然なことである。特に性的マイノリティに関して、今の社会は性的マイノリティの人々に配慮しすぎていると思う。彼らに抵抗があるという意見が言えないことの方が問題だと思う。